

歴史山手線ゲーム 第3部

お題 西洋の国、都市を漢字で 2001/ 8/ 1 21:39 [No.2229 / 15915]

西洋とかきましたが、漢字文化圏（日、中、韓、朝）以外ならOKです。

ryozanpaku_69 さん

#01 仏蘭西 2001/ 8/ 1 21:41 [No.2230 / 15915]

フランス、首都はパリです。

マニアックなもの期待しています。

ryozanpaku_69 さん

#02 奥地利 2001/ 8/ 1 21:55 [No.2231 / 15915]

オーストリア。

ハプスブルク家が皇帝として君臨したヨーロッパの大国でしたが、第1次世界大戦の敗北で、ハンガリー、チェコスロバキア、ユーゴスラビアなどに領土が分割され、小国となってしまいましたが、多くのクラシックの作曲家が活躍した、音楽の都ウィーンを擁し、また国内にアルプス山脈があって、スキーリゾートも発達し、冬季オリンピックでは多くのメダリストを輩出しています。

Rockmonsen さん

#02 劍橋 2001/ 8/ 1 21:57 [No.2232 / 15915]

「劍橋」

大不列顛及北部愛倫連合王国こと英吉利国にある研究学園都市。

1209年、牛津大学の、教員・学生が移って設立しました。

牛津大学が人文・社会科学分野に強く、大学の中に町があると言われてのに対して、劍橋大学は自然科学分野に強く、町の中に大学があると言われてのようです。

カレッジ数は35。

数え方はしりませんが、ノーベル賞受賞者数が世界一だそうです。

spat さん

#03 布哇 2001/ 8/ 1 22:04 [No.2233 / 15915]

ハワイ。

19世紀末までは独立した王国でしたが、西部開拓が西岸に達し、さらに太平洋への進出を図ったアメリカに強引に併合されました。

正月になると、なぜか日本の芸能人たちが大挙してこの島へ押しかけ、よせばいいのにレポーターも追っかけて、ワイドショーを賑わしたりしますが、最近映画公開で話題になった、真珠湾の海軍基地を擁する、アメリカの大軍事拠点でもあります。

Rockmonsen さん

#05 耶路撒冷 2001/ 8/ 1 22:57 [No.2234 / 15915]

「耶路撒冷」

意味は「平和の都」。意識するなら「平安京」です。

猶太の民が、長い流浪生活の上、この地に千数百年ぶりに戻り、以色列共和国を建て、首都と決めました。（1948年に宣言）

平和であってほしい都 ？

spat さん

#06 埃及 2001/ 8/ 2 0:20 [No.2235 / 15915]

日が改まったので、もう1件行きます。

エジプト。

以色列（これは初めて知りました）と第二次大戦後、長年戦争を続けてきた国でしたが、アメリカの仲介で、キャンプデービッドの和解を果たし、両国の首脳はノーベル平和賞を受けました。

世界最初の4大文明の一つが、この国のナイル川流域に栄え、王たちはこの時代にこんな土木技術が？と驚かされる、巨大なピラミッドやスフィンクスを築きました。

その後の支配者は、アッシリア、ペルシャ、ローマ帝国、ビザンチン帝国、イスラム帝国、オスマン・トルコ、イギリスと変遷を続けました。

Rockmonsen さん

#番外 越南 2001/ 8/ 2 0:53 [No.2236 / 15915]

だって、漢字文化圏だもの....

忘れちゃだわ...

hui*_k さん

#7 里斯本 2001/ 8/ 2 6:13 [No.2237 / 15915]

伊東マンショ、千々石ミゲルらの天正少年遣欧使節一行は1584年ポルトガルの首都である里斯本に到着。1585年3月にローマ入りし、教皇グレゴリオ十三世に謁見...

kt104net さん

#08 伊太利亜(イタリア) 2001/ 8/ 2 7:00 [No.2238 / 15915]

ベタベタだがイタリア。レストランの名前のようだ。

どうでも良いことだが↓の人たちせめてどこか書かないと判らんところもあるぞ。

NOBUSERIsan さん

#09 伯林 2001/ 8/ 2 9:16 [No.2239 / 15915]

ベルリンです。

ひさびさに骨のある(?)お題、歓迎します!

ぼちぼちでんな～さん

#番外 河内(ハノイ) 2001/ 8/ 2 10:27 [No.2240 / 15915]

便乗させてもらって

【越南】の首都

ホン川のデルタの地形からそう呼ばれた。湖が多い美しいところ。

nagoyanoojisan さん

#番外 西貢 2001/ 8/ 2 11:59 [No.2241 / 15915]

かつての南越南の首都で、越南戦争時は米国軍の拠点でしたが、戦後は越南の独立運動を指揮した政治家に因んで「胡志明」

と
改められました。

hui*_k さん

#10 白耳義 2001/ 8/ 2 12:01 [No.2242 / 15915]

八十年にも及ぶ戦役の後、ようやく西班牙のくびきから脱し、
尼達蘭共和国として独立を果たしましたが、次第に、北部の
新教徒や清教徒の多い地域との摩擦が生じるようになった、
南部の加特力教徒の多い地域が分離独立したのが白耳義国

で、
国名は、羅馬時代にこの地域に住みついた日耳曼人「バルガ
エ」族

に由来するものと思われます。

hui*_k さん

#11 雅典 2001/ 8/ 2 12:02 [No.2243 / 15915]

次の夏の五輪大会が開催される、希臘の首府です。

紀元前第八世紀頃から台頭し始めた都市国家で、
波斯や斯巴爾達との戦いの中、希臘の盟主として
紀元前第五世紀には華やかな都市文明が開花し、
欧羅巴文明の故郷としてその実りは豊穡です。

馬基頓の台頭後は衰え、羅馬の属州となり、

更に第十六世紀頃からは土耳其の支配下に長くをかれたた
め、

英吉利浪漫派の詩人バイロン卿が義勇兵として赴いた独立
戦役の頃は、

希臘人は全く土耳其風の風俗の中で暮してあたさうです。

尚、「雅典」は「都」の意味で使われることもあるやうで、

仏蘭西の華の都巴里も、雅典の異名を有してをります。

「バイロン」が漢字に出来なかった、口惜しい...

(いちおう、アテネ／ギリシア／ペルシャ／スパルタ／ヨー
ロッパ／

マケドニア／ローマ／トルコ／イギリス／フランス／パリ
のつもりです)

hui*_k さん

訂正 2001/ 8/ 2 12:07 [No.2244 / 15915]

どうでも良いことですが、

誤：土耳其の支配下に長くをかれたため

正：土耳其の支配下に長くおかれたため

慣れないことはするもんじゃありませんね。

hui*_k さん

#12 瑞西 2001/ 8/ 2 19:03 [No.2245 / 15915]

『スイス』

ヨーロッパの永世中立国。

kuma_taro_7 さん

#13 桑港 2001/ 8/ 2 19:06 [No.2246 / 15915]

サンフランシスコ

桑港平和条約って入試でかいたら×でしょうね。

kos*uya*h*nab*shi さん

#14 香港 2001/ 8/ 2 22:58 [No.2247 / 15915]

ひさしぶりだけど皆げんきそうだねー、相変わらず盛り上が
ってて安心したけど、キスミーさんは何処？

kiba_totugeki さん

#15 北京 2001/ 8/ 2 23:01 [No.2248 / 15915]

すいません、べたなのしか浮かばない。

kiba_totugeki さん

1 4 と # 1 5 は 2001/ 8/ 2 23:06 [No.2249 / 15915]

NGでは？

>漢字文化圏（日、中、韓、朝）以外ならOKです。

ということなので...

hui*_k さん

#14 墨西哥 2001/ 8/ 2 23:29 [No.2250 / 15915]

メキシコ

日墨交流でなんのことだかわかんなかった。

ところで、メキシコって合衆国（合州国）だったんですね。

合衆国ってアメリカだけだと思ってました。

ryozanpaku_69 さん

#15 葡萄牙 2001/ 8/ 2 23:37 [No.2251 / 15915]

はじめまして、なんか面白そうなトピなんで、わたしも混ぜ
てください。

解答はポルトガルと読みます。

kyukanba さん

#16 秘露 2001/ 8/ 2 23:42 [No.2252 / 15915]

ペルーです。

kyukanba さん

#17 伯刺西爾 2001/ 8/ 3 0:00 [No.2253 / 15915]

ブラジル。

コーヒーの産地、サッカーでは世界でトップクラス、そして
毎年数百人の死者も出す、熱狂的なりオのカーニバルでも知
られています。

日本とは、地球のほぼ裏側の位置にありますが、古くから多
くの日本移民が海を渡り、成功した人々は大農場を経営し、
近年はそこで育った日系人の子孫が日本に出稼ぎに来たり
しています。

Rockmonsén さん

#18 濠太刺利 2001/ 8/ 3 0:19 [No.2254 / 15915]

オーストラリア。

最初の「濠」は、「豪」とも書き、近年は「豪州」と略称で
呼ぶのが一般的です。

日本からは、ほぼ真っ直ぐ南下した位置にあり、季節は逆にな
っています。

思いつくのは、大陸の真ん中の巨石エアーズロック、グレート
バリアリーフ、シドニーのオペラハウスって所ですか。

1 国で、1 つの大陸を占めていますが、政体上は、完全な独
立国ではなく、英連邦の一員で、国家元首はエリザベス 2 世、
国旗の左上にはユニオンジャックが入っています。

Rockmonsén さん

#番外 緬甸 2001/ 8/ 3 0:42 [No.2255 / 15915]

ビルマ。

近年、国名はミャンマー、首都のラングーンはヤンゴンと改称しましたが、現在の軍事政権に反対し、拘束中のアウンサン・スーチー女史を支持する人々は、多く「ビルマ」の名称を使っています。

第2次大戦中、日本軍はタイのバンコクとビルマのラングーンを結ぶ鉄道を建設し、

この名が、両国の頭文字を取って「泰緬鉄道」と呼ばれました。

建設には、英国人捕虜が使役させられ、これが戦後には捕虜虐待として、東京裁判にかけられ、多くの将兵が有罪となり処刑されました。また、これを題材にした、映画「戦場にかける橋」では、晩年の日系人俳優、早川雪洲が、冷酷な日本人将校の役を演じました。

「ミャンマー」にあたる漢字は、あるのかな？

Rockmosen さん

#番外 君府 2001/ 8/ 3 2:29 [No.2256 / 15915]

コンスタンチノーブル。

ボスポラス海峡に面する、ヨーロッパとアジアの接点の町です。

古くは、ビザンチウムと呼ばれていましたが、ローマ帝国のコンスタンティヌス帝が、330年にこの地に遷都を行なった際に、この名に改称されました。

その後長く、ビザンチン帝国の首都となり、ギリシャ正教の聖地、聖ソフィア大聖堂を擁する政教の一大拠点として栄えましたが、1453年、オスマン・トルコ軍の、船を山地を越えて侵入させる奇策などを用いた総攻撃を受け、ついに陥落、イスタンブールと名を改め今日に至っています。

Rockmosen さん

#19 紐育（ニューヨーク） 2001/ 8/ 3 9:02 [No.2257 / 15915]

ご存知のニューヨーク。マンハッタンやらソーホーやらを抱

える世界最大のリンゴの街

NOBUSERIsan さん

#20 亜歴山特（アレキサンドリア） 2001/ 8/ 3 10:29 [No.2258 / 15915]

「亜歴散大」とも「亜勒山特利亜」とも書くそうです（ホンマかいな）。

埃及第二の都市で、馬基頓のアレキサンダー大王によって、彼の広大な帝国の中に数多く作られた「亜歴山特」のうち最大のもです。

プトレマイオス朝の都として、ヘレニズム文化の中心でもあり、

図書館が出来、幾何学や天文学が発達しました。

hui*_k さん

お題：海外へ渡った日本人 2001/ 8/ 3 10:36 [No.2259 / 15915]

ほんの思いつきのお題ですが、...

歴史上の人物の中で、日本を飛び出して海外へ渡った人を20人挙げて下さい。

#00 昭和天皇

周囲の心配を余所に、皇太子時代に欧州歴訪を敢行し、英国のジョージ五世を訪ねたりもしています。

その経験が、天皇自身による皇室の改革につながったと言われています。

hui*_k さん

#01 お春 2001/ 8/ 3 11:27 [No.2260 / 15915]

「母の長崎石畳 オランダ屋敷に雨が降る…／濡れて泣いてるじゃがたらお春…」

江戸鎖国体制が進む中、南蛮人との混血児らが、東南アジアに追放されました。

その中で有名な女性。

彼らが望郷の念で綴った手紙をジャガタラ文、といいます。

渡った、というのか、、、

#亜歴山特

アレクサンドロス大王を歴山王といいますね。

b_blue_hearts さん

渡った... 2001/ 8/ 3 12:00 [No.2261 / 15915]

「渡った人」の定義はおおむね自由で構いません。

行っちゃった人でも、行って戻ってきた人でもオッケーです。

「海外」の定義も、当時の植民地を含んでも、含まなくてもどちらでも構いません。

hui*_k さん

#02 高山右近 2001/ 8/ 3 13:06 [No.2262 / 15915]

キリシタン大名だった彼は、キリスト教の教えに従い、歩いてマニラまで行きそこで客死します。

大名の地位を捨てたわけで、きっと純粋な人だったろうなと想像します。

クイズ パンチ de デートさん

#03 阿倍仲麻呂 2001/ 8/ 3 14:24 [No.2263 / 15915]

698～770年。

遣唐使の一員として唐に渡りました。

唐の地で詠んだという和歌

「天の原ふりさけみれば春日なる三笠の山にいでし月かも」が有名。

日本への帰国途中に船が遭難し、結局は二度と祖国の地を踏むことができませんでした。

にざりいさん

#4 支倉常長 2001/ 8/ 3 17:00 [No.2264 / 15915]

ひさしぶり、ほんとひさしぶりにわたくし向きのお題です。この人の功績は、報われることはありませんでしたね、我が

息子政宗の命で使者としてわたったのですが...

かわいそうな一生でした。

最近戦国物とか、日本史本来のお題が少なくなってきた、も

うひとつ盛り上がりにかけているような

それとも皆様夏バテでしょうか？

以前の盛り上がりを取り戻すためにも、トピ主さんの復帰を一日も早く、願ってます。

mogamiyosi さん

#05 島津義弘 2001/ 8/ 3 17:10 [No.2265 / 15915]

以下秀吉の朝鮮出兵へ赴いた人たち。

<http://www.pp.ij4u.or.jp/~butakai/sisenn.htm>

mogamiyosi さん

#05 鑑真和上 2001/ 8/ 3 17:14 [No.2266 / 15915]

この人もそうでしたか？

航海途中で、失明してしまった人。

kyukanba さん

#07 野口英世 2001/ 8/ 3 17:21 [No.2267 / 15915]

西アフリカへ渡ってそこで殉職してしまいました。

kyukanba さん

ちょっと待った鑑真はん 2001/ 8/ 3 17:29 [No.2268 / 15915]

元が日本人で、海外へ渡った人だとすると、鑑真はんは一応NGではないかと....

hui*_k さん

0 7 小野妹子 2001/ 8/ 3 21:24 [No.2269 / 15915]

遣唐使の前の、遣隋使として中国に渡りました。

有名な、聖徳太子の「日出ずる処の天子、日没する処の天子に致す。恙無きや」の国書を持参し、独裁者煬帝を激怒させたといいますが、煬帝は高句麗を討とうとしていて、日本の協力が必要だったため、2年後には返礼の死者を送ったそうです。

Rockmonsens さん

0 8 山田長政 2001/ 8/ 3 21:49 [No.2270 / 15915]

ベタな所ですが。

日本での素性ははっきりしませんが、駿河の国静岡の出身で、沼津城主大久保氏の駕籠かきだったとも言われています。

17世紀初頭にタイのアユタヤ王朝の日本人町に渡って頭角を表し、日本人傭兵を擁して、国王に貴族に叙せられ、リゴールの反乱の鎮圧や、侵攻して来たパタニ軍との戦闘に活躍しましたが、戦闘でついた傷に付ける薬に毒を盛られ暗殺されました。

暗殺の理由は、暗殺を繰り返した末国王になったブラサトーンに抹殺されたとも、日本に代わってタイと貿易を始めたオランダの謀略とも言われています。

Rockmonsens さん

0 9 大黒屋光太夫 2001/ 8/ 3 21:55 [No.2271 / 15915]

海外に渡ったと言うより、漂流した人。

江戸後期の商人で、船が難破してロシア（アリューシャン列島）に漂着。

帰国の許可を得るために、ペテルスブルクまで行って、女帝エカテリーナ2世に

会いに行きました。

結局、日本への帰国はできましたが、江戸幕府の対応は冷たかったようですね。

仲間の数人は、日本語の講師として優遇されロシアに留まった人もいたそうです。

安全運転さん

0 7 訂正です。 2001/ 8/ 3 22:55 [No.2272 / 15915]

誤・返礼の死者を送ったそうです。

↓

正・返礼の使者を送ったそうです。

このままだと、違った意味にとらえられるかも知れませんが訂正します。失礼しました。

Rockmonsens さん

#10 山川捨松 2001/ 8/ 3 23:29 [No.2273 / 15915]

会津藩に生まれ、幼少時に戊辰戦争を体験。岩倉具視遣外使

節団に津田梅子らと同行してアメリカに留学します。

帰朝後、陸軍大臣大山巖の後妻となり、家庭内のみならず、米英の新聞、雑誌などへの寄稿などでも、かつては戊辰戦争時の会津攻めの将校であった大山を助けて活躍します。

kt104net さん

#11 夏目漱石 2001/ 8/ 4 5:42 [No.2274 / 15915]

言わずと知れた明治の文豪。一度英国に留学している。

NOBUSERIsan さん

#12 森鷗外 2001/ 8/ 4 12:03 [No.2275 / 15915]

漱石は倫敦でしたが、鷗外は伯林でした。

漱石は極度の神経衰弱のため「夏目狂せり」の噂が伝わったほどですが、

鷗外は帰国後独逸女が日本まで追いかけてくるようなことになりました。

hui*_k さん

#13 高田屋嘉兵衛 2001/ 8/ 4 12:04 [No.2276 / 15915]

今の北方領土の漁場を開拓しているところを

露西亜の軍艦に捕らえられ露西亜側に渡り、

ゴロウニンと交換トレードで帰国しますが、

露西亜語を憶えたことから後に日露間の折衝に活躍したそうです。

「いよっ、ゴロウニン！」

そのお題はもう終わってる??

hui*_k さん

14 吉備真備 2001/ 8/ 4 22:13 [No.2277 / 15915]

二度の遣唐使に随行しました。奈良時代の儀式典礼の整備は、唐から帰った吉備真備の成果です。

宣伝ですが、わたしのサイトに、九州時代の吉備真備についてまとめております。

<http://www.geocities.co.jp/Bookend/8675/dazaifu/dazaif02.html>

tokacyan さん

#15 皇太子殿下 2001/ 8/ 5 10:19 [No.2278 / 15915]

英吉利の牛津大学に留学なされました。

kos*uya*h*nab*shi さん

#16 ジョン万次郎 2001/ 8/ 5 11:09 [No.2279 / 15915]

1827～1898年。

元は土佐の国の漁師。

14歳のときに足摺岬沖での漁中に漂流。

米国の捕鯨船に救助される。

その後米国で教育を受け、帰国。

その後、ペリーの来航による開国騒ぎのときにも活躍。

にぎりいさん

#17 天正遣欧少年使節 2001/ 8/ 5 11:30 [No.2280 / 15915]

九州のキリシタン大名連合（大村・大友・有馬）が派遣しました。

えっと、名前、名前。。

熱海のマンション、縮れ毛、中までこし餡、腹まるだし じやなくて。。

あ、あったあった。

伊東マンショ・千々石ミゲルが正使

中浦ジュリアン・原マルチノが副使

帰国後は、棄教・殉教・海外追放と、それぞれの人生を送ったようです。

spat さん

#18 皇太子妃殿下 2001/ 8/ 5 12:53 [No.2281 / 15915]

まさこさま

小さい頃は外交官の父にしたがってモスクワで過ごしましたことがあったそうです。

高校生の頃はハーヴァードで教鞭を執ることになった父とともにボストンに渡り、名門の女子校で「マグナ・クーム・ラウド」（たしか二番の人に与えられる）を受けて卒業し、ハーヴァードで経済学を修めました。

その後外交官になるため帰国し、東大に編入し、外務省入省後はオックスフォードの大学院に留学されました。

hui*_k さん

#番外 新庄剛史 2001/ 8/ 5 12:58 [No.2282 / 15915]

紐育め組の浮動の四番打者。

ryozanpaku_69 さん

#19 加藤清正 2001/ 8/ 5 13:03 [No.2283 / 15915]

朝鮮出兵で半島にわたりました。

清正是家来が朝鮮の女性を捕虜にしたことに激怒、すぐに親元に帰しています。

こんな一面も清正にはありました。

ryozanpaku_69 さん

#20 増岡鉄斎 2001/ 8/ 5 15:06 [No.2284 / 15915]

明治の文豪で日本に関しての書物は少なく、むしろ自分で赴いた海外のさまざまな

人間模様が描かれた作品を、多く残しています。

oozutu さん

お題 戦国時代の戦死者 2001/ 8/ 5 15:08 [No.2285 / 15915]

いかん！いかん！

こんな調子じゃ消えてしまう！！

解答できない期間が続いていたので、ここは起死回生の初心に戻って

戦国時代（1550－1616）の期間での戦死した武将を挙げてください。

どの戦いでどのように亡くなったか、書いてください。

oozutu さん

#01 織田信長 2001/ 8/ 5 15:12 [No.2286 / 15915]

本能寺の変にて明智光秀に謀反され、感極まって自害。

oozutu さん

#02 竜造寺隆信 2001/ 8/ 5 15:38 [No.2287 / 15915]

コンピューターに触るのも初めてなんですけど、不備な点をご了承ください

参加させていただきます。

藤原氏流肥前の虎とうたわれた猛将、大友、島津と並ぶ3強の一角。

酒がたたり、九州の覇者を賭けた沖田畷の合戦で島津義久の軍に討たれる。

その後竜造寺家は衰退していき、後鍋島直茂が家督を継いで盛り返す。

kdd_motmot さん

#03 江里口信常 2001/ 8/ 5 15:57 [No.2288 / 15915]

竜造寺四天王の一人、で討ち取られた当主隆信の首を取り戻そうと

島津軍に一人飛び込んで行き、討ち取られた。

kdd_motmot さん

#04 山本勘助 2001/ 8/ 5 16:12 [No.2289 / 15915]

武田信玄に仕え、第四回の川中島合戦で戦死。

進言した「啄木鳥の戦法」が上杉謙信軍に見破られたこと

責任をとって、敵陣へ乗り込んだ末の戦死といわれています。

城作りの名人で、高遠城、小諸城、海津城などを手がけたそうです

にぎりいさん

#05 池田恒興 2001/ 8/ 5 17:01 [No.2290 / 15915]

信長の乳兄弟にして側近。信長の死後秀吉方につき家康と長久手に戦うが戦死。

ところで戦国時代を1550年スタートとするのは如何にや？
NOBUSERIsan さん

#07 今川義元 2001/ 8/ 5 20:50 [No.2291 / 15915]

1560年、三河守任官。

そう、あの足利尊氏と同じ「三河守」。

仁木・細川・斯波・吉良・畠山・一色など、足利源氏の諸族に勝るとも劣らない名門。有能すぎて中央政界から外された名家。

いよいよ、上洛して、中央の要職にでも就こうか、と、行く先々で武威を示しながら。。と、領国を出た矢先、思いがけずゲリラ襲撃に合い、討ち取られました。

戦国時代の終わりと始まりって。。

個人的には「北条早雲から関ヶ原まで」かなあ。いろいろな捉えかたがあるとは思いますが。

よかったら、談話室で。。

spat さん

↓ ありや #06 2001/ 8/ 5 21:04 [No.2292 / 15915]

6でし。

ついでに。

死んだのは1560年。

場所は桶狭間。

これ、「正確には田楽狭間」とよく聞くのですが。

桶狭間という地域に田楽狭間という地点があるのでしょいか。それとも単なる伝言ミスか。混同か。

一度行ってみて確かめてみたいです。

spat さん

#07 馬場信房 2001/ 8/ 5 21:55 [No.2293 / 15915]

そうそう久々飛びつくいいお題ですね、oozutu さん。

武田二四将のひとり、頭もきれる軍師の猛者でしたね。

長篠の戦いで武田勝頼をかばって、討ち死にしました。

1550年～が戦国時代最も話題性に富んだ時期と言えるのではないのでしょうか？

mogamiyosi さん

#08 山形昌景 2001/ 8/ 5 22:01 [No.2294 / 15915]

こちらも武田二四将のひとり、天下に恐れられた武田騎馬軍

団を束ねる。

長篠の戦いで不利を悟り、勝頼に一旦引く事をすすめるが受け入れられず、織田、徳川軍の鉄砲隊に突進して果てた。

mogamiyosi さん

#09 遠藤直径 2001/ 8/ 5 22:28 [No.2295 / 15915]

武田二四将やられた（笑）

浅井長政の家来、信長の暗殺計画など企てた策略家。

信長との姉川の戦いで戦死しました。

kibatotugeki さん

#10 十河存保 2001/ 8/ 5 22:36 [No.2296 / 15915]

父は三好義賢、義父は実の叔父・猛将十河一存。

落ちぶれた三好家を立て直そうと奮闘するも、長宗我部元親に度々攻められ敗れ

最期は島津家久との戸次川の戦いで戦死しました。

kibatotugeki さん

#11 真田幸村 2001/ 8/ 6 2:01 [No.2297 / 15915]

1550-1616の最後の年の、大阪夏の陣より。

5月7日、茶臼山に陣を敷いた幸村は、正面の越前の松平忠直の陣に正面から斬り込み、多くの死傷者を出しながらも、ひたすら突進、ついに徳川家康の本陣に突っ込み、旗本の兵たちは慌てふためいて遁走したと言います。

この時、家康は討ち取られたとの異説もありますが・・・

幸村の最期は、越前隊の鉄砲頭、西尾宗次に討ち取られますが、そのときは傷つき倒れた状態のため、彼は手柄にはならなかったと言います。

Rockmonsén さん

#12 斎藤道三 2001/ 8/ 6 2:27 [No.2298 / 15915]

一介の油商人から身を起こし、謀略を尽くして美濃一国の国主となった道三ですが、弘治2年（1556）息子の義龍の謀反を受け、長良川河畔の戦いで、討ち死にします。

謀反の理由は、義龍が、実は道三がかつて国主の座から追放した、土岐頼芸の愛妾の子で、仇を取るためと言われていま

す。

Rockmonsén さん

#13 村井貞勝 2001/ 8/ 6 7:44 [No.2299 / 15915]

#1のあおりをうけて二条城にて戦死。

NOBUSERIsan さん

#14 土方歳三 2001/ 8/ 6 11:32 [No.2300 / 15915]

戊辰最終戦、五稜郭にて、単身官軍に突入。

b_blue_hearts さん

「海外へ渡った人」のお題御礼 2001/ 8/ 6 12:03 [No.2301 / 15915]

ほんの思いつきのテーマでしたが、まじめにお付き合いいただいて有り難うございます。大変に結構でございました。

出された以外に考えていたのは、

神功皇后

空海

最澄

高丘親王

呂宋助左衛門

福沢諭吉

勝海舟

オノヨーコ

野茂、伊良部、佐々木、イチロー...

今年の夏も数十万人が海外へ渡るんでしょうね。

hui*_k さん

#14 清水宗治 2001/ 8/ 6 12:20 [No.2302 / 15915]

B_BLUE_HEARTS 様。

このたびのお題は『戦国時代(1550-1616)で...』なので NG かと思います。

...なので、#14 にいたしました。

清水宗治(1537~1582)。

小早川隆景に属し、戦功を立てました。

備中高松城の城主でしたが、豊臣秀吉による水攻めで家臣の命を救うことを条件に自刃。

本能寺の変でこの方も人生が変わったのかも？
にぎりいさん

#15 森長可 2001/ 8/ 6 14:05 [No.2303 / 15915]

欄丸の兄貴に当たるんですか、長久手の戦いで池田恒興と同様戦死。
ぼちぼちでんな～さん

#16 品川大膳 2001/ 8/ 6 18:23 [No.2304 / 15915]

やっぱり戦国時代ってみんな好きなんですね。
あの尼子十勇士の一人山中鹿之介と一騎打ちをして、敗死しましたね。
kyukanba さん

#17 斎藤利三 2001/ 8/ 6 18:26 [No.2305 / 15915]

明智光秀の側近中の側近、こちらも#1 のあおりを受けて、山崎の戦いにて戦死しました。
kyukanba さん

#18 柴田勝家 2001/ 8/ 6 18:47 [No.2306 / 15915]

B_BLUE_HEARTS さん、土方才蔵大好きなんですけど今回はご勘弁ください。
織田家きっての猛将でしたが、秀吉とはそりが会わず対立、結局北の庄で秀吉にせめられ、秀吉の憧れお市の方と共に自害して果てました。
清水宗治りっぱな人でしたね、城兵の命と引き換えに、自ら散って行くとは...
戦国武将たる人ですね。
oozutu さん

1 9 佐久間盛政 2001/ 8/ 7 7:22 [No.2307 / 15915]

1 8 の柴田勝家が、羽柴秀吉と戦った賤ヶ岳の戦いで、中川清秀を敗死させる猛攻を見せましたが、その後「七本槍」の活躍で形勢を逆転され、捕えられて、秀吉の家来になるの

を拒んで斬首されました。

Rockmonsén さん

#20 長曾我部信親 2001/ 8/ 7 9:05 [No.2308 / 15915]

元親の長男だったが、戸次川の戦いで戦死、元親は非常に悲しんで後を追って死のうとしたとか。
責任者の仙石秀政は責任を取らされ、しばらく秀吉から謹慎処分になっていたと記憶しています。
ぼちぼちでんな～さん

お題「関ヶ原の戦いに参加した東軍武将」 2001/ 8/ 7 10:49 [No.2309 / 15915]

戦国もののお題が待望されているようなので、基本に戻ってこのようなお題はどうでしょうか。
地方で争っていた武将も含むものとします。
クイズ パンチ de デートさん

#01 福島正則 2001/ 8/ 7 11:07 [No.2310 / 15915]

秀吉恩顧の大名ですが、三成憎しからか、東軍の先陣をまかされました。
関ヶ原は井伊直政隊の抜け駆けによる発砲によって口火が切られました。
kos*uya*h*nab*shi さん

#02 伊達政宗 2001/ 8/ 7 17:00 [No.2311 / 15915]

やっぱり我が息子を出したいと思います。
秀吉には媚びず反抗的でしたが、家康に付いて一理ありと見たのでしょうか。
上杉軍の猛攻にあわやというところまできました。西軍が簡単に敗れ、命拾いました。
3ヶ月前を思い出しますこのお題、少ない歴史トピ人口の中で、このトピよく健闘していると思います。
mogamiyosi さん

#03 最上義光 2001/ 8/ 7 17:16 [No.2312 / 15915]

ついに我が家も最後の時と兄も感じていたでしょう、上杉軍の直江兼次、本庄繁長などに次々攻め込まれましたが志村光安殿などの活躍で、九死に一生得ました。
mogamiyosi さん

#04 本多忠勝 2001/ 8/ 7 17:33 [No.2313 / 15915]

徳川四天王
西の島津義弘、東の本多忠勝と歌われたほどの名将でしたね。
kdd_motmot さん

#04 可児才蔵 2001/ 8/ 7 17:34 [No.2314 / 15915]

福島正則に仕えて、数え切れない首級を取ってその首に笹を突っ込んで、自分の手柄の証にしたらしいです。
しかし先陣の役目をまんまと井伊直政にしてやられました。
kibatotugeki さん

#06 黒田長政 2001/ 8/ 7 17:38 [No.2315 / 15915]

ご存知黒田如水のせがれです、鉄砲隊を率いて宇喜多秀家軍などと争いました。
戦国武将が並ぶと何故か気持ちいい。
kibatotugeki さん

#07 伊東祐兵 2001/ 8/ 7 19:14 [No.2316 / 15915]

九州・飢肥の大名
メジャーに飽きた貴方に。
NOBUSERIsan さん

#08 山内一豊 2001/ 8/ 7 19:45 [No.2317 / 15915]

遠州掛川6万石の小大名でしたが、小山評定のとき、「家康殿に城と領地を差し出す」ともうしてました。
家康は感激し、大して功績のなかった一豊に土佐一国24万石の加増をしました。
実はこの提案、もとは、遠州浜松の堀尾吉晴のもの、堀尾も

同じことを、家康にもうしてしましたが、時すでに遅し。
タイミングも大事ですね。

ryoanpaku_69 さん

#09 細川忠興 2001/ 8/ 7 20:49 [No.2318 / 15915]

関ヶ原の前に、ガラシャ夫人が石田三成の人質になるのを拒んで自害すると言う悲劇を生んでいます。

戦功により、豊前一国と豊後の国東郡が与えられ、所領39万9千石となり、豊前仲津城へ移住しました。

Rockmonsensan さん

#10 織田有楽斎 2001/ 8/ 7 21:10 [No.2319 / 15915]

織田信長の弟、長益ですが、若くして出家しこの名を号するようになりました。

千利休の伝授を受けた茶人でもありましたが、関ヶ原では小西行長の隊を攻撃し、戦後は大和で加増を受け、3万石の大名となりました。

東京の地名「有楽町」は、ここに彼の屋敷跡があったことに由来します。

Rockmonsensan さん

#11 藤堂高虎 2001/ 8/ 7 22:04 [No.2320 / 15915]

この人も元は豊臣の家臣ですね。

関ヶ原の戦功で、今治12万石を領し、現在の今治城を築いたそうです。

色々な人物に仕えましたが、べつに裏切ったわけではなく、主家の死後に移っただけ。

仕えた人物には忠誠を尽くしたそうですし、時勢の判断は的確だったといえる人物でしょうね。

ecc**ler さん

戦国時代の御礼 2001/ 8/ 8 13:44 [No.2321 / 15915]

遅れてすいません

kdd_motmot さん

竜造寺隆信、一時は九州制覇も夢じゃなかった大名でしたね、酒は魔物。

江里口信常、鍋島直茂に隠れて目立たない存在でしたが、武功はかなりのもの。

nizaly さん

山本勘助、実在したかどうか？謎の男で興味津々です。

清水宗治、自らを犠牲に盾となる、今の政治家じゃ考えられません。

NOBUSERIsan さん

池田恒興、秀吉嫌いは相当のものだったとか。

人それぞれ戦国時代の見方って違うと思いましたが、大和時代にも戦いはあった

わけで、タイトルを戦国時代だけにしたらとんでもなく長い時代遡ったりして

今回はわたしの最も関心のある、戦国時代に限定させて頂きました。

村井貞勝、戦いよりも頭の人でしたから...

SPAT1997 さん

今川義元、この日を境に今川家は滅亡へと...

著者によって田楽桶狭間って書く場合もありますよね。

mogamiyosi さん

馬場信房

山形昌景

武田二四将でも最も重要な2人でしたね、この戦いで名のある武将は殆ど散っていきました。

kibatotugeki さん

遠藤直径、海北、磯野、浅井家にも名将は数数いましたね。十河存保、信長の時代までは十河城も安泰だったのですが...

Rockmonsensan さん

真田幸村、合戦の経験は余りないのですが、それでも真田は日本一の兵なんですね。

斎藤道三、説はいくつもありますが、このトビによく登場しますね。

wavenao88 さん

森長可、父も弟も戦死でしたよね。

長曾我部信親、関ヶ原で一国の大名から浪人へ大阪の陣でも奮起しましたが...

kyukanba さん

品川大膳、相手が名のある武将山中鹿之介だったのが幸いして、世に名を残せました。

斎藤利三、光秀もこの人にだけは何でも打ち明けた程の信頼関係にあったらしいです。

Rockmonsensan さん

佐久間盛政、猪突猛進ぐせで秀吉の思う壺にはまったって感じですね。

戦国時代でまだまだ盛り上がりたいたいですね。

oozutu さん

#12 榊原康政 2001/ 8/ 8 13:46 [No.2322 / 15915]

こちら徳川四天王のひとり。

所領を与えられても拒む、律儀な人だったそうです。

oozutu さん

#13 松平忠吉 2001/ 8/ 8 14:13 [No.2323 / 15915]

家康公御曹司！

のちの将軍秀忠の同母弟。

東条松平の当主。

赤い彗星の娘婿。

武蔵忍城主。10万石。

関ヶ原では、赤い舅殿と一緒に先陣切って大奮戦。

戦後は 尾張清洲57万石。

が。1607年、28才にして病死。

遺領遺臣は 家康九男義直に継がれ、御三家筆頭尾張家となりましたとさ。

spat さん

#14 寺沢広高 2001/ 8/ 8 17:35 [No.2324 / 15915]

秀吉にかわいがられて頭角を表わした彼ですが、東軍に参加。天草に加増されていますが、子供の堅高が発狂して自殺。

昔の殿様は、発狂したり自殺したりするひとが散見できますが、なぜなのでしょう？

クイズ パンチ de デートさん

#15 九鬼守隆 2001/ 8/ 8 21:32 [No.2325 / 15915]

父は織田家海賊大名で名の知れた嘉隆ですね。

何の因果か、関が原では西軍の父と戦う破目になってしまいます。

勝った東軍の息子守隆は家康に、父の許しを願い降うのですが

一足遅く父嘉隆は切腹して果てていた悲しい親子の結末でした。

みなさま～こんばんは

ほんまに長い間すいませんでした。

少し人数も減ったようですが、懐かしい顔ぶれが揃ってはって感激です。

みなさまほんまお元気そうでなによりです。

今年はいちだんと暑く、ほんま解けそうでしたよね。

みなさまお体など壊していませんか？

暑くて仕事も捗らない方も居てはることでしょう。

わたしも色々ありましたがそれはさて置き

今後とも時間の許す限り、お付き合いいただきますよう

よろしくお祈りしま～す。

KISSME_PLAY さん

#16 鍋島勝茂 2001/ 8/ 8 21:37 [No.2326 / 15915]

こちら親子対決となってしまいましたね。

父は後の龍造寺家を継いだ智勇兼備の名将鍋島直茂。

こちらは父直茂の必死の謝罪と、勝茂の反省の武功で

所領を安堵されましたね。

KISSME_PLAY さん

↓ごめんなさ～い 2001/ 8/ 8 21:39 [No.2327 / 15915]

父直茂の方が東軍でした。

KISSME_PLAY さん

#16 筒井定次 2001/ 8/ 8 21:46 [No.2328 / 15915]

山崎の合戦時、「洞ヶ峠」を決め込んだと言われる、筒井順慶の養子です。

と言っても、順慶は実際は洞ヶ峠には行かず、明智光秀の援軍の依頼を拒み、大和郡山の居城にこもっていたと言います

が。

関ヶ原では東軍に参戦、大和郡山の3万石を安堵されますが、8年後には、キリシタンへの信仰や家臣団の内紛のため改易

になりました。

K I S S M E P L A Y さん、お帰りなさい。

トピ主さんの復帰、嬉しく思います。

ちょっとお題作りが苦しい点もありますが、何とか絞り出して、長く続けたいと思いますので、よろしく。

Rockmonsén さん

#18 徳川秀忠 2001/ 8/ 8 22:29 [No.2329 / 15915]

地方で争っていた武将もOKという事なので。

関ヶ原の前哨戦の、会津の上杉景勝の討伐戦のために、東北へ向かっていましたが、三成の挙兵を知り、急遽西へ転進しましたが、配下だった真田家の、昌幸・幸村が、裏切って信州上田城に籠りました。

秀忠は大軍を以って上田城を攻撃しましたが、真田軍の、秀忠軍を奥深く引き込んだ上での、川の堰を切ったの奇襲攻撃などに悩まされて攻略を果たせず、結局支隊を残し関ヶ原に向かいましたが、合戦には見事に遅参となり、家康に厳しく叱責されというのは、真田の強兵を伝える逸話として名高いです。

Rockmonsén さん

Rockmonsén さま～ 2001/ 8/ 8 23:27 [No.2330 / 15915]

あなたの一言で凄く救われました。

毎日盛り上げてくれはって、感謝の言葉もありません。

なかなかみなさま共通のお題をだすって難しいですね。

わたしも努力してみます。

力になってくださ～い！

KISSME_PLAY さん

#19 津軽為信 2001/ 8/ 9 0:08 [No.2331 / 15915]

彼ひとりで南部家を混乱させ、それに乗じて独立大名にまでのし上がりましたね。

関が原では上杉構えとなって、東軍に属しました。

キスミーさまお帰んなさい

自分の最近まで休んでました、また一緒にできて光栄です。これからもよろしくお祈りします。

mogamiyosi さん

#20 浅野幸長 2001/ 8/ 9 0:13 [No.2332 / 15915]

豊臣家とも関係が深いが、反三成の武断派の武将の1人。

関ヶ原では毛利の押さえとして南宮山の麓に布陣。

todo_51 さん

お題 日本の地名に残る歴史上の人物 2001/ 8/ 9 0:47

[No.2333 / 15915]

皆さん参加型ってのも考えるのむずかしいなー

そこでこういうお題にしてみましたがいかがでしょう？

都道府県市町村、平野、盆地なんでも結構です。

ご協力よろしくお祈りします。

mogamiyosi さん

#01 津軽平野 2001/ 8/ 9 0:48 [No.2334 / 15915]

先程の解答とリンクして恐縮ですが

津軽為信以下、津軽藩の基礎を築きました。

mogamiyosi さん

お題：武士達の幼名 2001/ 8/ 9 0:53 [No.2335 / 15915]

久々に、お題を出そうかなと思います。

さて、鎌倉時代から江戸時代まで、武士と言えば、幼い頃は〇〇丸と言った幼名を名乗り、元服して正式に先祖代々の本名を名乗るのが慣例でしたが、この幼名を20件、レスをお願い致します。

タイトルには幼名を書き、メッセージに元服後の名と、幼年時代のエピソードなど書いていただけると幸いです。

なお、このレスについては、俗書のみ用いられ、信憑性が薄いものもOKとします。天下人の幼名が出ないのでは面白

くないですから。

0 0 牛若丸

悲劇の英雄、源義経の幼名です。

鞍馬山の修行や、五条大橋での武蔵坊弁慶との渡り合いは、事実ではないでしょうが、東の間の栄光の後の転落と言う、悲劇的な生涯を惜しむ、日本人の感情が、最期を迎えた後も、成吉思汗としての雄飛の伝説をなどを生んだのでしょうか？

Rockmosen さん

↓取消で、# 0 2 半蔵門 2001/ 8/ 9 1:24 [No.2336 / 15915]

今回は、「日本の地名に残る歴史上の人物」が先に上がりましたので、「武士達の幼名」はまたの機会にとおもいます。

地名に残る人物としては、まずは、半蔵門。

かつては江戸城の門、現在も、皇居の西側の門として現存し、近くには地下鉄半蔵門線の半蔵門駅もありますが、由来は、徳川家康に仕え、本能寺の変の際の伊賀越えの脱出に協力し、忍者の頭目としても名高い、服部半蔵の屋敷に面し、彼が守っていた門であったことによります。

Rockmosen さん

#01 間宮海峡 2001/ 8/ 9 6:19 [No.2337 / 15915]

当時、樺太が島なのか、半島なのかは世界のだれもが知りませんでした、間宮林蔵が樺太を探検し、島であることを確認しました、世界地図に日本人の名前が唯一載っている地名です。

ryozanpaku_69 さん

04 信玄堤 2001/ 8/ 9 8:16 [No.2338 / 15915]

甲州・釜無川にかかる堤防。信玄の偉業を伝える事例のひとつ。

こういうのしか思いつかない・・・

NOBUSERIsan さん

東軍武将、お礼 2001/ 8/ 9 9:21 [No.2339 / 15915]

みなさまの投稿、ありがとうございます。確かに、戦国武将が並ぶとなぜか気持ちいいですね。

最上義姫さんや騎馬突撃さん、巨砲さんと、ひさしぶりのお名前も並んで、良かったと思います。

最近は、お題の消化ペースが鈍化していますが、それが普通かなと考えています。

いろいろ勉強になるトピですので、細く長く続いて欲しいです。

クイズ パンチ de デートさん

#05 道灌山 2001/ 8/ 9 9:38 [No.2340 / 15915]

私の実家、東京都荒川区は日暮里のウラにありますちょっとした丘の名前。

地元だったのに、詳しく調べたことないんですが、あの太田道灌の前線基地があったのだと思います。

道灌は、石神井城の豊島氏と抗争を繰り返していました。その豊島氏の勢力と接するところがこのあたりだったと想像しています。

現在、日暮里駅前には、道灌の銅像が建てられています。騎馬に乗って、勇壮なものです。

クイズ パンチ de デートさん

#05 有楽町 2001/ 8/ 9 9:44 [No.2341 / 15915]

有楽町で逢いましょう、の東京有楽町は、織田信秀の11男、ですから信長の弟有楽斎長益にちなんで名づけられたそうです。屋敷があったとか。

でも京都か大阪ならわかるような気もするけどなあ…

kt104net さん

06 八重洲 2001/ 8/ 9 10:25 [No.2342 / 15915]

東京駅の東側の一帯の地名。

1600年に豊後に漂着したオランダ船リーフデ号の航海士「ヤン・ヨーステン」の住居があったことから地名として残った。ヨーステンは外交・貿易顧問として、同じ船で漂着したウィリアム・アダムス(三浦安針)とともに家康に仕えた外国人。

kuma_taro_7 さん

#8 足利市 2001/ 8/ 9 16:23 [No.2343 / 15915]

有名な物としては現在も足利市昌平町に史跡を残す足利学校跡

わたしの母校足利学校の歴史は(それはうそですけど)

奈良時代の遺制説、平安時代の小野篁説、鎌倉時代の足利義兼説などがあるそうです。

1550年頃フランススコザビエルによって世界に広められました。

明治年に廃校になったそうです。

重要文化財としては、上杉憲実の残した書物他8種98冊あるそうです。

キスミーさんご無沙汰っす

歓迎の意味を込めて京都の地名を出させていただきやした。

kibatotugeki さん

#09 伊達市 2001/ 8/ 9 16:41 [No.2344 / 15915]

義姫さん出させてもらいやす。

北海道です、伊達武者祭りが有名ですね。

伊達騎馬総陣立と言って、騎馬に跨り街をパレードするそうです。

kibatotugeki さん

#10 朝倉市 2001/ 8/ 9 16:59 [No.2345 / 15915]

越前朝倉市、一乗谷朝倉氏遺跡などが有名。

kyukanba さん

#11 謙信平 2001/ 8/ 9 17:55 [No.2346 / 15915]

栃木県の大平山にあるちょっとした広場。

上杉謙信がここで馬の訓練をしたというけど、本当かどうか。ここは陸の松島の異名を持つ景勝地でもあります。秋はぶどう狩りなども楽しめます。水運で栄えた栃木市を観光したいでに寄ってみるのもいいでしょう。

ぼちぼちでんな～さん

#12 御木本道路 2001/ 8/ 9 20:01 [No.2347 / 15915]

道路でもいいですか？

ちっちゃいんですが。

ご当地ネタです。

鳥羽において、真珠の養殖に成功した、真珠王 御木本幸吉(1858 : 安政 5~1954 : 昭和 29) が、昭和 20 年、米寿の祝いに市に資金を贈り開設された道。

伊勢神宮の内宮と外宮を 3.5 km で結ぶ。当初は人と自転車の専用道路だったが、その後自動車の普及により道幅を拡張。

現在では、御幸は、昭和 43 年にできた「御幸道路」を使います。もちろん普通の道です。路線バスも、観光自家用車も、こちらをとおります。

spat さん

#13 大岡山 2001/ 8/ 9 20:41 [No.2348 / 15915]

大岡越前守忠相の屋敷があった場所です。

kos*uya*h*nab*shi さん

#番外 桑田佳祐通り 2001/ 8/ 9 20:44 [No.2349 / 15915]

彼の出身地茅ヶ崎市にあります。

kos*uya*h*nab*shi さん

#14 柿崎市 2001/ 8/ 9 20:45 [No.2350 / 15915]

越後猿毛城ならびに木崎城主、上杉二十五将の一人柿崎景家。川中島合戦では先鋒としてあの天下無双の、武田騎馬隊を撃ち破り

数々の軍功を上げていますね。

それだけの手柄をあげながら、他の配下の罪は罰せられず

信長に内通した疑いだけで

彼だけが謙信によって一族諸共、殺害されてはりますね。

その後謙信は景家の亡霊に悩まされるというエピソードがあります。

大河ドラマ『天と地と』に登場した柿崎景家が好色で裏切り者に描かれて

はったのを観た地元の市民はがっかりしていたといえます。

KISSME_PLAY さん

#15 直江津 2001/ 8/ 9 21:30 [No.2351 / 15915]

現在も人気の衰えない、直江兼続。

幼少時代から謙信を見てきているだけに、頭も武勇も誇れるものでしたね。

義姫さまには申し訳ございませんが、お気に障ること書かせてもらいます(笑)

関が原合戦の起こる前は、上杉家と最上家は何の因縁もなかったのですが

合戦が起こるや直江兼継は殿を務める前田慶次と、最上家攻略にあたりましたね

もし西の合戦が長引けば、当然長谷堂城を難なく攻略し、最上家の本城山形城も

本庄繁長軍に包囲され、落城も時間の問題だったでしょう。勢いに乗って、本体と合流して伊達家攻略も上杉軍なら可能だったでしょう。

その頃の南部家はお家の混乱続きで、援軍もそこそこで引き上げてはる状態で

頼りにならず、上杉軍の東一体は攻略間違いなしでしたよね。会津上杉討伐軍も反転して関が原へ向かい、徳川二万の本体は真田幸村の水攻め

父昌幸の攻撃、止めの幸村の突撃にあい、大敗しています。そうしてはる間に、東から上杉軍本体が中立を保つ佐竹家と連携して

江戸城へ攻撃をしかければ、家康とてそこで The End…

上杉幕府の誕生がみられたのに～！！

KISSME_PLAY さん

#16 織田市 2001/ 8/ 9 22:10 [No.2352 / 15915]

お市の方ではありません、織田信長家発祥の地として知られます。

kdd_motmot さん

#17 八戸 2001/ 8/ 9 22:20 [No.2353 / 15915]

ありそうでなかなか出て来ませんね、南部家の重臣八戸政栄を祖に青森八戸藩 2 万石を領します。

kdd_motmot さん

1 6 巖流島&「朝倉市」はNGで・・・ 2001/ 8/ 9 22:23 [No.2354 / 15915]

本州と九州を隔てる、関門海峡に浮かぶ無人島です。

この島で慶長 17 年（1612 年）4 月 13 日、名高い宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘が行なわれ、武蔵の勝利に終わりました。

が、なぜか島の名は、敗者の小次郎の別名「巖流」を付けています。

昭和 46 年以来、無人島となったこの島ですが、もう 10 年位前、この島でプロレスラーのアントニオ猪木が、当時抗争していたマサ斎藤と、観客なし、リングもなしと言うかつての決闘を踏まえた時間無制限 1 本勝負を行い、確か 1 時間半くらいで、猪木が勝ちました。

P・S

1 0 の「朝倉市」ですが、一乗谷の朝倉市の遺跡のあるあたりは、現在行政的には福井県福井市の領域で、「朝倉市」という市はこの周辺にはなく、また一乗谷付近に、「朝倉」という集落名もないようですので、挙げられた k y u k a n b a さんには申し訳ないですが、NG とさせていただきます、本来 # 1 7 の所を # 1 6 と致します。

あっそれと、# 1 4 ですが、新潟県にあるのは、「柿崎市」ではなく「柿崎町」のようです。Yahoo 検索エンジンの、新潟県のカテゴリを確認したら、やはり県内にあるのは「柿崎町」でした。

しかし、上杉二十五将や柿崎景家は存じてませんでした。

Rockmonsens さん

↑ 次は # 1 8 からお願いします 2001/ 8/ 9 22:26 [No.2355 / 15915]

順番が少し乱れてすみません。

Rockmonsens さん

Rockmonsens さん 2001/ 8/ 9 22:36 [No.2356 / 15915]

昨夜の衝突といい、NG 検索といいすいませんと、ありがと

うございます。

わたくしもあなたに負けないようこのトビ盛り上げていきたいです。

キスミーさん

ご遠慮なく書いてください (爆)

mogamiyosi さん

#18 山形県最上郡最上町 2001/ 8/ 9 22:44 [No.2357 / 15915]

やっぱり遠慮なく出します。

最上川の白鳥、最上平野の雄大な眺め

戦いこそなければ、住めば都と人は言う(笑)

mogamiyosi さん

#18 徳川町 2001/ 8/ 9 22:50 [No.2358 / 15915]

結構 良題で難題ですね。

では

「名古屋市 東区 徳川町」

尾張徳川家の屋敷がありました。

この二代藩主光友の隠居所として、元禄 9 年 (1696) , 造営された屋敷は、のち家老成瀬家のものとなったが、明治以後、尾張徳川家の屋敷となった。

昭和 6 年、徳川氏から市に寄子贈された。

地図で見た印象では、ご町内の面積 3 分の 1 は「徳川園」という公園。

地図で見た印象では、ナゴヤドームと同じくらいの広さ。

尾張家ゆかりの品々収蔵の徳川美術館に蓬左文庫、このほか、プール・草野球場・図書館があるようです。

spat さん

#20 道頓堀 2001/ 8/ 9 23:53 [No.2359 / 15915]

安井道頓という人が開削した道頓堀川から来ています。

P.S. 実は、僕も同じお題を考えていましたが、

こんなに沢山あると思っていませんでした。

hui*_k さん

#番外 夏目坂 2001/ 8/ 9 23:56 [No.2360 / 15915]

東京には有名人に因む地名が結構ありますが、早稲田にある「夏目坂」は、夏目漱石の父で、11ヶ町をまとめる名主で武士に準ずる格だった夏目小兵衛直克が、自分でつけた名前だそうです。

漱石は、これを「呆れるよりも失笑を禁じ得ない」とかいうふうに表示していました。

hui*_k さん

新題について 提案 2001/ 8/ 9 23:58 [No.2361 / 15915]

2 3 3 5 「武士達の幼名」 で いきませんか？

spat さん

お題：武士達の幼名 2001/ 8/10 0:11 [No.2362 / 15915]

S P A T 1 9 9 7 さん。

気を使って頂いて、ありがとうございます。

では、改めまして、このお題を出そうかと思います。

さて、鎌倉時代から江戸時代まで、武士と言えば、幼い頃は〇〇丸と言った幼名を名乗り、元服して正式に先祖代々の本名を名乗るのが慣例でしたが、この幼名を 2 0 件、レスをお願い致します。

タイトルには幼名を書き、メッセージに元服後の名と、幼年時代のエピソードなど書いていただけると幸いです。

なお、このレスについては、俗書のみ用いられ、信憑性が薄いものもOKとします。天下人の幼名が出ないのでは面白くないですから。

それと、徳川家などは、同じ幼名を、一族の複数の人物が名乗っている例がありますが、そういう場合は、別々の# + 番号でレスをして、メッセージに各々元服後の名を書き込むことでOKとします。

0 0 牛若丸

悲劇の英雄、源義経の幼名です。

鞍馬山の修行や、五条大橋での武蔵坊弁慶との渡り合いは、

事実ではないでしょうが、東の間の栄光の後の転落と言う、悲劇的な生涯を惜しむ、日本人の感情が、最期を迎えた後も、成吉思汗としての雄飛の伝説をなどを生んだのでしょうか？

Rockmosen さん

#01 竹千代 2001/ 8/10 0:38 [No.2363 / 15915]

まずは基本から...

徳川家康の幼名です。

以後も、家光や家綱など、生まれながらに世継ぎであった徳川家の御曹司は幼名が竹千代とつけられています。

hui*_k さん

#02 万千代 (虎松) 2001/ 8/10 7:15 [No.2364 / 15915]

赤い彗星：井伊直政

「幼名」ではないかも。

調べてきたら、ほんとの幼名は虎松。

1 5 歳のとき、浜松城主徳川家康に仕えるようになる。このとき、「竹千代」にちなんで、「万千代」という「幼名を与えられた」ようです。

家康公には、それはもう、大変大変可愛がられたと聞きます。文字通り、主従一心同体。

元服前に戦場や外交現場に出ています。武田遺領の分割問題で北条氏と折衝しています。

このあと、武田旧臣を配下に与えられ、具足を赤備えにします。地縁血縁の薄いぶんだけ、功に励む新参譜代の旗頭となったようです。

元服は 2 2 歳。

東条松平氏の女性と結婚していたらしく、その縁もあって、東条松平を継いだ、家康九男忠吉の舅になり、後見したようです。

娘婿の軍功のため、関ヶ原では大奮戦し、その際の鉄砲傷がもとで、死去。4 2 歳。

直政と忠吉が長命だったら、こちらが將軍家だったかもしれませぬ。

(ふう。「東軍の武将」で投稿しそびれたことまで書いちゃ

いました)
spat さん

#03 吉法師 2001/ 8/10 9:53 [No.2365 / 15915]

織田信長です。
幼少のころのうつけぶりは枚挙にいとまがありませんので、
割愛します。
ryozanpaku_69 さん

#04 奇妙丸 2001/ 8/10 9:56 [No.2366 / 15915]

信長の嫡男、織田信忠の幼名です。
以前我が子に「悪魔」と名づけようとした人がいましたが、
奇妙丸も随分変わった名前ですよ。ね。
ryozanpaku_69 さん

#03 犬千代 2001/ 8/10 10:06 [No.2367 / 15915]

前田利家の幼名、彼は若いころ、信長の小姓を殺してしまい、
勘当(?) されていたことがありましたね。
しかし、なぜ犬? 干支からか?
猫千代なんて、いませんしね。
クイズ パンチ de デートさん

#04 源五郎 2001/ 8/10 10:38 [No.2368 / 15915]

真田安房守昌幸の幼名。
1 1 歳の時信玄のもとに人質として出され、信玄の小姓とな
ったがその才能ゆえ甲斐の名門、武藤の姓を与えられ武藤喜
兵衛と名乗り、兄 2 人が設楽原(長篠) の戦いで戦死したた
め真田姓に復帰。
todo_51 さん

#05 文殊丸 2001/ 8/10 10:44 [No.2369 / 15915]

古代の「武士」の代表的存在、源頼光の幼名、とか。
『系図纂要』でしか見つけられません。それ以前の古い史料
には見えず、きわめてうそ臭い・・・。
頼光は「清和源氏」の始祖源経基の孫で、土蜘蛛を退治し
たり、酒呑童子を退治したりと、大活躍でした。まあ、信憑性

のある史料では『小記目録』に闘乱事件を起こして召喚され
た、ってことぐらいですけど。
ちなみに、武士ではないんですが、頼光の弟で僧侶の源賢の
幼名は「美女丸」。
msk*08*ije*さん

#08 市松 2001/ 8/10 10:55 [No.2370 / 15915]

あれ、いつのまにか投稿がすすんで、番号を混乱させてしま
いました。
福島正則の幼名です。
クイズ パンチ de デートさん

#09 春王 2001/ 8/10 12:33 [No.2371 / 15915]

古河公方足利持氏の遺児で結城氏が擁して立てこもった
幼い兄弟のひとりが有名ですが、元は足利義満の幼名です。
古くは足利家初期の足利義兼なども幼名が春王なので、
足利家伝統の由緒ある幼名とも言えるのかもしれませんが。
hui*_k さん

#10 梵天丸 2001/ 8/10 12:49 [No.2372 / 15915]

我が子政宗です。
幼少時代はその醜い片目のため、憎んだこともありましたが、
それは間違いでした。
どうです! この立派に成長し、仙台城本丸から市民を眺める
勇士を見てやってください。
<http://hb2.seikyou.ne.jp/home/fm/>
仕事ですので、前お題の御礼は後ほど。
mogamiyosi さん

#11 白寿 2001/ 8/10 12:58 [No.2373 / 15915]

お兄様が、俺も出せだせとうるさいものですから失礼して
顔に似合わずいいお名前でしょ。
山形城二の丸から市民を眺める兄の勇士も、ご覧あれ。
<http://www2.ocn.ne.jp/~canyon/yoshiaki.htm>
mogamiyosi さん

地名人名の御礼 2001/ 8/10 13:52 [No.2374 / 15915]

Rockmonsén さん半蔵門はわたくしも毎日見ってます、気おっ
けて見ていれば
東京のど真ん中にも、たくさん自然、歴史的建物って多いで
すよね。
ryozanpaku_69 さん間宮林蔵は日本人初の探検家でしょう
かね?
探検に詳しくないわたくしでも存じております。
NOBUSERIsán さん信玄堤は大河ドラマにもその工事の様
子が描かれてましたね。
中井喜一の信玄もなかなかハマっていたような。
kashitarou_itou_2001 さん日暮里の駅には迷わされた覚え
があります。
確かホテル街でしたよね? 大田道灌の道灌山は初耳でした。
kt104net さん有楽町ですか、わたくしここに住むのが夢です。
ゆうらくちょう、織田の方はうらくって呼びますよね。
kuma_taro_7 さんつまり、ヤン・ヨーステンがにごってヤエ
スって名前に
なったんでしょうか? こちらも初耳でした。
kibatotugeki さん足利学校は何度か足を運んだ事がありま
した。
伊達市、出して頂きましてありがとうございます。
kyukanba さん一乗谷朝倉市、あってもおかしくない地名な
んですがねー
今回はNG ってことでご了承くださいませ。
wavenao88 さん謙信平は新潟ではなく、栃木なんですか? 謙
信と栃木って
何か結びつきなどあるのでしょうか?
SPAT1997 さん御木本幸吉、さすがに真珠の養殖までは勉強
不足でした。
徳川町ありそうでありましたかやっぱり。(笑)
koshuya_hanabishi さん大岡越前ってTV 以上に働き者だ
ったらしいですね。
眠気覚ましに髭を抜いていたらしいです。
桑田佳祐通り、今や茅ヶ崎きっての英雄、当然でしょう。
KISSME さん柿崎景家の死については、わたくしも疑問に思

えてなりません。

家老にまで拔擢された人ですしね。

直江兼統、我が家を滅ぼそうとした憎い奴なんです、憎めないんですよ

わたくしも好きなんです。(笑)

kdd_motmot さん織田市、こちらもあってもおかしくないと思っていたら

本当に実在していたのですね。

八戸政栄、この方にも援軍などで色々お世話になりました。

Huis_K さん同じお題を考えてらしたなんて光栄です。

本当勉強になりますねこのトピ。

みなさまお付き合いくださってありがとうございます。

mogamiyosi さん

#12 日吉丸 2001/ 8/10 14:17 [No.2375 / 15915]

豊臣秀吉の幼名(と言われている)。

信長も家康も出ているのなら、やはり出しておかなくてはいけません。…と思ったので出します。

にざりいさん

#13 又太郎 2001/ 8/10 14:41 [No.2376 / 15915]

足利尊氏。

尊氏は、元服のときは「高氏」でした。

これは当時の執権・北条高時の「高」の字をもらってのことで

後の「尊」の字は、後醍醐天皇の諱

「尊治(たかはる)」からもらいました。

が！

結局どちらとも敵になっちゃってなんだか運命ですね。

にざりいさん

#13 お拾 2001/ 8/10 14:49 [No.2377 / 15915]

12 の豊臣秀吉の子。

秀吉と側室「淀殿」との間に産まれた、秀吉の子としては唯一の成人した嫡男。

「お拾」という一風変わった幼名は、秀吉の子がみな夭折し

ていたので、日本古来の慣わしで、卑しい名を付けて魔除けとしたため。

kuma_taro_7 さん

↓ # 13 補足 「豊臣秀頼」のこと 2001/ 8/10 15:02 [No.2378 / 15915]

元服後の名前を書き忘れてしまいました。(´～`)

kuma_taro_7 さん

#15 太郎 2001/ 8/10 22:31 [No.2379 / 15915]

意外に知られていませんが、武田信玄の幼名です。

大永元年(1521)武田信虎と、大井氏の夫人の間に誕生。

元服前に、上杉氏(謙信が家を継ぐ前の、関東管領家)から妻を迎えましたが、間もなく早逝しました。

元服時、当時の将軍、足利義晴から1字を賜り、「晴信」と名乗るようになりました。

父信虎は、甲斐一国を武力統一した実績を持つものの、領民に過酷な税を課したり、諫める家臣を次々と切り捨てるなどの暴虐を重ね、ついに晴信に、娘が嫁いでいる、今川義元の駿河へ追放されました。

Rockmonsén さん

#16 虎千代 2001/ 8/10 22:57 [No.2380 / 15915]

信玄を出したら、謙信もペアでという事で、上杉謙信の幼名です。

享禄3年(1530)寅年に生まれたため、この名が付けられたそうです。

越後守護代長尾為景の末子として生まれ、家督は最初、長兄の晴景が継いだのですが、元服して「景虎」を名乗った後、越後守護上杉氏の家臣、黒田秀忠の謀反を武力鎮圧した事で評価を上げ、ついに晴景から長尾家の家督を相続しました。後に関東管領上杉家を相続し、上杉政虎、輝虎と名を改めますが、「輝」の字はやはり、当時の将軍、足利義輝から賜ったものです。

Rockmonsén さん

#16 徳寿丸 2001/ 8/10 23:02 [No.2381 / 15915]

奥州の伊達政宗、関東の北条氏康、その板ばさみとなった領土で

何度となく侵攻を防ぎ、鬼義重と恐れられた佐竹義重です。関が原合戦では西軍に付こうとする息子に猛反発し、中立を保たせ

結果転封だけでしたすみませぬ。

KISSME_PLAY さん

#17 徳松 2001/ 8/10 23:06 [No.2382 / 15915]

徳川綱吉の幼名です。

最初に生まれた男の子にも自分の幼名と同じ徳松と名づけました。

その徳松が程なく死んでしまったことが、『生類…』のきっかけとも言われています。

hui*_k さん

#18 菊寿丸 2001/ 8/10 23:16 [No.2383 / 15915]

それにしてもみなさまマニアックでよくご存知ですね。

もしかしたら天下を取っていたであろう？と言われてはる毛利元就です。

息子の吉川元春、小早川隆景、毛利隆元この優秀な三矢までは順調だったんですがね…輝元が～…

ロクモンセンさまってトドさま同様真田家に縁がある人なのかしら？

KISSME_PLAY さん

↓#19 のようですね。 2001/ 8/10 23:18 [No.2384 / 15915] (-☆)キラリ

KISSME_PLAY さん

#20 七郎麿 2001/ 8/11 0:12 [No.2385 / 15915]

徳川慶喜です。

水戸斉昭の七男ということなのでしょう。

ちなみに水戸家の嫡男は鶴千代をなれることが多いです。

kos*uya*h*nab*shi さん

お題「忍者でござる」 2001/ 8/11 1:09 [No.2386 / 15915]

おや、久しぶりに来たら2000年ってますね。

お題いっちゃいます！

「RED SHADOW」観たいな～、とか思ってたとかなので。

忍者といわれた実在の人物20人お願いします。

「スパイ」「隠密」「密偵」もあります。また、「忍者だったのでは・・・」という説のある人物もOKでいきます。

では#00はメジャーなところで、服部半蔵といきます。

よろしくお願いします。

mum*san*9さん

#01 大伴細入 2001/ 8/11 9:48 [No.2387 / 15915]

01だ！ということで、「日本最初の忍者」。聖徳太子に仕えたとか。眉唾ちゃんですけど。

しかし、どんな史料に出て来るんだか…？細入に関する史料を見たことがあるという方、教えて下さい！

msk*08*ije*さん

#02 風車の弥七 2001/ 8/11 10:39 [No.2388 / 15915]

水戸黄門の中では「うっかり八兵衛」とは対照的な渋くてカッコいいキャラクターですが、実在の人物で、昔は盗賊だったのを光圀に赦されたのを恩義に感じて、以来光圀の隠密として忍者として尽くします。

でも本名は「小八兵衛」って言うんですけどね。

hui*_kさん

#03 西郷隆盛 2001/ 8/11 10:43 [No.2389 / 15915]

島津斉彬のお庭番。

諜報活動をしていました。

ryozanpaku_69さん

#04 松尾芭蕉 2001/ 8/11 12:08 [No.2390 / 15915]

「忍者だったのでは？」というのもOKということなので、あげてみました。

奥の細道での尋常ならぬ(？私は詳しくはわからないので

すけど…)行程で

忍者だったのでは、といわれてるんでしたよね？

間違っていたらどなたかなにとぞ訂正お願いいたします。

出身が伊賀上野ですしね。

にざりいさん

↓#04 ですね…。 2001/ 8/11 12:09 [No.2391 / 15915]

あら、なぜかしら？？

申し訳ありません。

にざりいさん

#05 小幡 勘兵衛 景憲 2001/ 8/11 14:11 [No.2392 / 15915]

おばた かんべえ かげのり

忍者というより、軍学者として有名。

ま、密偵・間諜だったこともありますので。

「甲陽軍鑑」の編纂者と言われる。

祖父 小幡山城守虎盛・父 小幡豊後守昌盛とともに武田24将に数えられる。

大坂夏の陣では大坂城に入城して徳川方の間諜を務めたとされる。

その後、板倉勝重を通じて幕府御使番として出仕し1500石を与えられた。

甲州流軍学の兵学者として名を馳せ、2000人にも及ぶ門弟を抱えていたという。

司馬遼太郎さんの「城塞」では、主人公格のひとりというか、狂言回し格として描かれています。

spatさん

#06 梁田正綱 2001/ 8/11 18:48 [No.2393 / 15915]

織田信長が圧倒的勢力を持つ今川義元を奇襲戦法で破った「田楽狭間の戦い」において、今川方を監視してその動向を

信長に報告し勝利に導いたスパイ。

todo_51さん

#07 果心居士 2001/ 8/11 19:15 [No.2394 / 15915]

山田風太郎さん追悼の意味もこめて投稿。

松永久秀に仕えていた(？)、幻術使い。魔界転生でも悪役として登場。

司馬遼太郎の果心居士によると、最後は同じ幻術使いと対戦し、破れて死ぬことになっています。

ぼちぼちでんな～さん

#08 風魔小太郎 2001/ 8/11 19:18 [No.2395 / 15915]

北条氏につかえた忍者集団の棟梁。

背が高く、目が青いと記述が残っているそうで、ロシアの人の説あり。

馬を巧みに乗りこなす術に長けていたとか。

ぼちぼちでんな～さん

#09 百地三太夫 2001/ 8/11 19:39 [No.2396 / 15915]

忍者というと、その役割からして、素性や経歴などははっきりしない事が多いのですが、この人も、生没年不詳です。

伊賀の国の現在の名張市に生まれ、伊賀流忍法の創始者といわれています。

1581年の天正伊賀の乱では、織田信長を苦戦させ、開城後は紀伊の国に移り住んだといいますが、その晩年もはっきりしていません。

Rockmosenさん

#10 柳生十兵衛三厳 2001/ 8/11 20:08 [No.2397 / 15915]

徳川家光の剣術指南として、柳生新陰流の指導をしていましたが、突然理由もなく暇を出され、10年あまりを柳生の里で過ごしたといいますが、この間に「裏柳生」としての、他

藩の動向を探る隠密活動をしていたという説が出され、「柳生忍法帖」など、多くの小説、映画、ドラマに取り上げられています。

Rockmosenさん

#11 間宮林蔵 2001/ 8/11 23:26 [No.2398 / 15915]

間宮林蔵は、19世紀初頭、日本の北辺に20年以上滞在し、樺太・東韃靼の探査では間宮海峽を発見したことで有名です。

しかし、もう一つの顔として全国を歩きまわり異国船渡来の風聞内偵等の仕事のため、隠密的な行動をとっています。また、シーボルト事件では密告者として、一般に知られていません。

todo_51 さん

#12 霧隠才蔵 2001/ 8/12 3:14 [No.2399 / 15915]

キスミーさんからのレクチャーから（笑）
本当にくの一だったの？フィクションでしょう？
何方か本当の正体を教えてください！

Byrdcliffe さん

#13 八瀬童子 2001/ 8/12 3:33 [No.2400 / 15915]

総称ではまずいですかね

「山人」の中で唯一宮中と関わりを
持っていたために尊厳を保った集団ですね。
天皇家の雑用係りとして動いて、隠密、密偵をしていたとも言われています。
皇太后の葬儀の時も子孫が4人列席したとうですね。今だ関係があるようです。

Byrdcliffe さん

#14 伊賀崎道順 2001/ 8/12 10:13 [No.2401 / 15915]

おはようございます。
おもしろいお題まだまだ残ってはるようですね(笑)
彼は六角義賢に反抗して佐和山城に籠もった百々某の討伐を義賢から依頼され
妖者の術を用いて城内に潜入し見事城を落としたそうです。
バドさまほんまほんまだっ〜！！
わたしも書物は色々読んで、NHKでも歴史評論家が言っ
てはったもん。
真田十勇士には実在の人物が3人居て、ひとは霧隠才蔵
ひとは真田氏の本元海野一族を、信玄の息子で盲目だった
ため出家しはった
龍宝が再興しはった海野六郎。そして由利鎌之助って言って
はりました。

そやけど著者によって好きにかかれてはるのも、否めない。
KISSME_PLAY さん

#14 猿飛佐助 2001/ 8/12 10:33 [No.2402 / 15915]

そろそろ、日本の忍者の最大のビッグネームを出そうと思います。

猿飛佐助については、そのモデルになった人物について、森備前守の浪士で、真田幸村に仕え活躍した、鷲尾左太夫の子・幸吉を始め、多くの説がありますが、真相は不明です。明治末期から大正初期にかけ、青少年に大人気を博した「立川文庫」の女性の創始者、山田敬が、その1作として、猿飛佐助の物語を刊行し、これが大ヒットしたのですが、この人の故郷の四国愛媛県の今治市に近い石鎚山の麓に「猿飛橋」という橋があり、ここから猿飛佐助の名がみだされたとい

います。
ストーリー的には、甲賀流忍法を、戸沢白雲斎から学び、忍術を駆使して、徳川方を翻弄するという感じです。

戦後には、最近亡くなった漫画家の杉浦茂

が佐助を取り上げて人気を博しました。

私の記憶に残っているのというのと、昭和50年代前半に、「新八犬伝」の路線で、柴田錬三郎原作、本宮ひろ志画の「真田十勇士」を、NHKで人形劇にしたのですが、登場人物の名は覚えたいますが、ストーリーは全然覚えていません。

>キスミーさん

残念ですが、私の「六文銭」は、前にも書き込みしましたが、行きつけの居酒屋の名から採ったものでして（笑）

しかし、真田家には興味が湧いてきたので、近いうちに居城のあった信州上田や、真田家の発祥の地の、近くにある真田町を訪ねてみようかと思っています。

この町の角間溪谷には、佐助が修行をしたという伝説があり、「猿飛岩」もあるそうです。

Rockmosen さん

#16 石川五右衛門 2001/ 8/12 10:42 [No.2403 / 15915]

ご存知、天下の大盗賊で、「石川や浜の真砂はつくるとも世に盗人の種はつくまじ」の辞世の句を詠んで、釜ゆでの刑に

されましたが、この人も、モデルに実在の人物が、いたといわれ、一説に、#09の百地三太夫から甲賀流忍法を伝授されたとい

います。
Rockmosen さん

#17 藤林保武 2001/ 8/12 11:03 [No.2404 / 15915]

伊賀の忍者であるにもかかわらず、江州甲賀郡隠士となっている。

これは明らかに誤りで、理由としてはそもそも藤林姓は三重県阿山町湯船に多く

藤林保武の祖は天正伊賀の乱でも活躍したと言われる伊賀の忍家である。

それに『万川集海』の内容にもまず同書の『忍術問答』に、忍術の起源を伊賀にあると宣言し

次に忍者の名人11名は全員伊賀出身である。

また同書に記載されている忍者の行動記録はほとんど伊賀で

しかも伊賀甲賀の名称の順番も常に伊賀が先である。

伊賀も甲賀も元々地続きで、流派も似通っており血のつながりが当然であったと考えられる。

Rockmosen さま

ネ〜ムの由来はそうでしたか(笑)

見落として申し訳ございませぬ。

ま〜何にせよ真田家に興味を持たればって光栄で〜す。

トドさまがその筋にお詳しい方です。

何時かお話する機会もございましょう。

rakia_o さまとおっしゃる方がトピ主の

<真田家について>のコ〜ナ〜でもよく見かけます(笑)

そうそう憶えてますよ NHKの真田十勇士の人形劇懐かしいな〜

小学校上がる前でしたもの

こちらは服部半蔵とは陰悪な仲でしたよね。

たしか夕方6時くらいからやりましたよね。

懐かしい思い出に浸らせて頂きました。

KISSME_PLAY さん

#18 秀丸 2001/ 8/12 16:54 [No.2405 / 15915]

我が子政宗の義兄弟留守政景が、わたくしの実家最上家と対立時に、編成した部隊。

結局それでもわたくしの兄義光と、夫輝宗との亀裂は修復できず、わたくしが自ら戦場に赴き仲裁に入りました。

mogamiyosi さん

#19 水戸黄門 2001/ 8/12 17:35 [No.2406 / 15915]

TBS の顔も正体は全国で情報収集する忍者だったそうです。

kibatotugeki さん

#20 筒井門者 2001/ 8/12 17:36 [No.2407 / 15915]

筒井順慶に仕えて、忍者活動よりもむしろ使者としての役割を果たしていたそうです。

kibatotugeki さん

お題 外国の作曲家 2001/ 8/12 17:38 [No.2408 / 15915]

音楽関係のトピからもよく訪れる方が増えてきましたね、そこで音楽の歴史も紐解いていきましょう。

日本以外のクラシックの作曲家を挙げてください。

#01 ベートーヴェン

彼にとってナポレオンは”自由精神””民衆の権利”の新しい時代を告げる偉大な英雄に思えたそうです。

ピアノ協奏曲第5番「皇帝」、交響曲第3番 「英雄」など。

kibatotugeki さん

#02 リスト Liszt 2001/ 8/12 17:47 [No.2409 / 15915]

ハンガリーの作曲家

1811-86

「ハンガリー狂詩曲」など

NOBUSERIsan さん

#03 ヨハン・ブラームス 2001/ 8/12 18:02 [No.2410 /

15915]

北ドイツのハンブルク生まれ

小さい頃から好きなクラシックと言えばブラームスでした。

交響曲第1番ハ短調

ハンガリア舞曲

子守唄なんかもいい曲ですよ。

kyukanba さん

#04 ローベルト・シューマン 2001/ 8/12 18:03 [No.2411 /

15915]

こちらもドイツ出身

妻クララとのロマンスは有名ですね。

トロイメライしか知りません。

kyukanba さん

#05 エリック・サティ 2001/ 8/12 18:21 [No.2412 / 15915]

最近よくベートタけしの映画の挿入歌としても、彼の曲が沢山つかわれてますね。

わたくしもそれから聴くようになりました。

ジムノペイジ NO.1 が一番好きです。

mogamiyosi さん

#06 リチャード・ワーグナー 2001/ 8/12 18:22 [No.2413 /

15915]

まさに迫力ある音響が、真情の彼の作品

タンホイザー、ローエングリン、ワルキューレなどいいですね。

mogamiyosi さん

つつこみをいれるようですが… 2001/ 8/12 18:33

[No.2414 / 15915]

こんにちは、kuma_taro_7 と申します。

出題者の方に、つつこみをいれるようです大変申し訳ありませんが、

>お題 外国の作曲家

>日本以外のクラシックの作曲家を挙げてください。

一応、このトピックスおよびカテゴリーは「日本史」に関連したネタがテーマなのではないでしょうか。

いくら音楽関係のトピから訪れる方が多いからって、関連性がない出題はいかなものかと思います。(´～`)

せめて「日本に関連のある外国の作曲家」とかいう出題のほうがよかったですと思います。

これでは「ピカチュウに関する出題」だって場合によっては、良いってことに成りかねませんか…

トピ主さま、参加者各位さまのご意見うかがいたいですね。

kuma_taro_7 さん

私も kuma さんに賛成します 2001/ 8/12 18:44 [No.2415 /

15915]

トピ主さんは日本史の勉強に役立つようにとのことでこのゲームを始められたのですから、それに協力できる内容にされたほうがよいと思います。

出題者の方にもう一度問題を出しなおしてもらってはいかがでしょうか？

daw*_*さん

つつこみについて* |) 2001/ 8/12 21:21 [No.2416 /

15915]

こんばんは kuma_taro_7 さま、お世話になってはります。

Dawa_c さまはじめまして。

古くからお付き合いくださってはる方は、ご存知だと思うんですが

以前のお題で「あだ名・世界篇」、暗殺者、人名を使ってジャンルにしてください

地理的な物などに、違和感無く参加されてはった方も居て

今回の指摘については悩むところです。

すでに解答してはる方にも申し訳なく思えますし

そこで、こうしてみました。

kibatotugeki さまのお題に『日本の作曲家』を加えます。

kuma_taro_7 さま、Dawa_c さま、kibatotugeki さま

これで許してもらえないでしょうか？

2.000 を越えて、全ての人に対応できるお題を出すのも難し

い時期にきてはると
思うのです。
多少のズレはご了承ください。
KISSME_PLAY さん

#07 山田耕作 2001/ 8/12 21:30 [No.2417 / 15915]
1886～1965
赤とんぼ、もうそういう季節ですね。
宝塚でも有名な、この道もかれの作品ですね。
KISSME_PLAY さん

#08 ショパン 2001/ 8/12 21:35 [No.2418 / 15915]
ワルツ、ポロネーズ、マズルカ、エチュード、バラード
彼の作品が一番のお気に入りかな。
KISSME_PLAY さん

#09 滝廉太郎 2001/ 8/12 22:10 [No.2419 / 15915]
春の小川、さくらさくら、荒城の月。
世界史や、ギャグめいた物も散りばめても面白いと思うので
すが？
oozutu さん

#09 チャイコフスキー 2001/ 8/12 22:11 [No.2420 / 15915]
この人まだ出てないの？一番に出すべきなのに
ピアノコンチェルトやシンフォニー、いい曲たくさんありますね
くるみ割り人形や白鳥の湖が有名な。
kdd_motmot さん

#11 シューベルト 2001/ 8/12 22:20 [No.2421 / 15915]
この人は未完成交響曲で知りました、ます、野ばらなど名曲
多いですね。
トピ主さんへ
投稿者の意見をいちいち聞いていたらその人の個性を生かせない、つまらないトピになり兼ねませんよ。

ある程度は聞き流しましょ。
でも苦労はよく理解してますよ。
oozutu さん

#12 ドヴォルザーク 2001/ 8/12 22:45 [No.2422 / 15915]
トピ主さん、皆さんお久しぶりです。
出張出張で全国を飛び回っていて、かなり休んでました。
お盆休みの間、またお世話になります。
なんかトピ間違ったのかと思いましたが、クラシックの歴史
ですか、こんなのあってもいいと思いますよ。
ぼくは携帯の着信音にも使用している、新世界交響曲がいい
な。
ikenobou_JR さん

#13 中山晋平 2001/ 8/12 22:51 [No.2423 / 15915]
シャボン玉とんだで有名な、このお方も忘れずに。
ikenobou_JR さん

#14 アントン・ブルックナー 2001/ 8/13 7:10 [No.2424 / 15915]
0 6 のワーグナーに心酔していた人で、地味ながら、第 0
号を含め、1 0 曲の交響曲を作りましたが、気の弱いところ
があって、発表した作品が評論家などに批判されると、何度
も改訂をするため、同じ曲でもいくつものバージョンがあり、
後世の指揮者などを悩ませています。
>キスミーさん
このお題の是非の件、考えさせられましたが、確かに基本的
には、日本史に関連するお題をメインで出すべきと思ってま
すが、時には海外を含めたものや、海外メインのお題も出し
て、文化・文明の比較をするのも楽しいのではと思ってます。
色々とお疲れ様です。
真田家のトピ、今度じっくり拝見してみますね。
Rockmonsens さん

#15 グスタフ・マーラー 2001/ 8/13 7:21 [No.2425 / 15915]

この人も、第 1 番「巨人」第 2 番「復活」を始め、計 1 1 曲
の交響曲を作りましたが、最後は未完の「第 1 0 番」
先人のベートーベンやブルックナーが、第 9 番を最後に世を
去ったため、それを繰り返すの恐れた彼が、9 番目の歌唱
付き交響曲の番号を付けず「大地の歌」と称したためです。
Rockmonsens さん

#16 エリック・サティ 2001/ 8/13 8:50 [No.2426 / 15915]
キスミーさん ごめんね
どうも才蔵と、くについてイメージが合わなかったので。
ジムノペディア : 昨夜 NHK の深夜 BGM でエレクトロ
ックジムノペディアはクールで
カッコよかったな
Byrdcliffe さん

↓ # 16 削除です 2001/ 8/13 9:08 [No.2427 / 15915]
朝から、御見苦しい所をみせてすいません
Byrdcliffe さん

「歴史山手線」 2001/ 8/13 9:11 [No.2428 / 15915]
日本史カテゴリーにあるとはいえ「歴史山手線」と銘打っ
ていることは当然世界史もその範疇であるものと判断して設
立当初より参加しており、ここでは初めて世界史のみの題を
出した人間として言わせてもらおうと世界オンリーな状態は
自然であると思う。
正直、世界史オンリーねたを作る前に世界史トピに作ろうと
考えたがそれを世界史でやってもここの食い合いで持た
ないことを考えてやっているし、今までそういうトピが出来
なかった原因のひとつと思っている。
2 千ヒット超えたということは単純計算しても題の数は 100。
ここのシステムを考えると世界史のみというのにもかまわな
いのではないかな？
何かわかりづらくなったのでこの一行上の文をだけを讀ん
で欲しい。
本来談話室で話すべき内容だろうがこうしないと何に対す

る文かわからないね失礼しました。

NOBUSERIsan さん

#16 ロッシーニ 2001/ 8/13 9:19 [No.2429 / 15915]

本来に戻って

「セビリアの理髪師」を作曲した人。

NOBUSERIsan さん

#17 モーツァルト 2001/ 8/13 9:32 [No.2430 / 15915]

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756~1791)
まだ出ていなかった、よかった。

私の父親がとてもモーツァルトが好きで、私も幼き頃よりモーツァルトを聞いて育ってしまいました。

このお題でモーツァルトを私が出さなかったら父親に怒られてしまいます…(^^)

小さい頃買ひ与えられたモーツァルトの伝記のような本には「ミューズの子」って書いてありました。

「ミューズ」というのは確か音楽の神様のことだったと思います。(う～ん、ギリシャ神話だったかしら…)

何年か前の『アマデウス』という映画も父親に見に連れて行かれました。

あの中でモーツァルトは奥さんから「ウルフィ」(というか「ウッフィ」というか)と

呼ばれていて最初はどういうあだ名なのか不思議だったんですけど

あれはヴォルフガングの「Wolf」がドイツ語だから「ヴォルフ」なのが、

映画は英語だったので「ウォルフ」になってしまうからだということ、

後になって知りました。

おっと、代表作品もあげておかねば。

オペラでは『魔笛』『フィガロの結婚』『ドンジョバンニ』

…あとはどれをご紹介してよいのかわからないので

これだけにしておきます。(先の3曲はオペラを見たので挙げてみました)

にぎりいさん

バッハ 2001/ 8/13 10:10 [No.2431 / 15915]

ヨハン・セバスチャン・バッハ。(1685~1750)

音楽の父。

…ちなみに音楽の母はヘンデル。

なぜ男の人なのに『母』なのか。私にとっては永遠の謎。

よく音楽室にかかっている肖像画の髪型は、カツラ。

あの時代はカツラをかぶるのがおしゃれ(?)だったらしい。

お風呂に入らないので体臭を紛らわそうと

香をたきしめていた平安時代の貴族のように、

洗わない頭をごまかすためにかぶっていたときいたことがあります。

にぎりいさん

#19 サン=サーンス 2001/ 8/13 11:45 [No.2432 / 15915]

さんざんつす、じゃなくて、サン=サーンス (1835-1921)。代表作として、組曲「動物の謝肉祭」があります。ちなみに

生まれた年は坂本龍馬と同じです。

3歳からピアノを始め、10歳の時にはすでにベートーヴェンのピアノ曲はすべてマスター

していたといわれ、モーツァルトの再来との評判が立ちました。

ちなみに冒頭のギャグは高校の音楽教師が言っていました。

というのも、彼は2人の息子達を

立て続けに亡くしたり、離婚したりなど、さんざんな人生だったと言います。だから本当は

こんなギャグは当人にとって不謹慎なんですけどね。

どうもご無沙汰しておりました。

Yahoo!がちょっと変わっていたのでログインできずにちょっと焦りました。

お祭り→長期出張→夏休み、と経て、ようやくもう6ヶ月首がつながり、ほっと一息

ついているところです。

磨地照美さん

#20 ベートーヴェン 2001/ 8/13 12:35 [No.2433 / 15915]

最後に大御所を。

「運命」「第九」など、

大晦日に第九を聞くと一年もおわりだなとつくづく思います。

kos*uya*h*nab*shi さん

↓削除 2001/ 8/13 12:36 [No.2434 / 15915]

例題ででてましたね。

kos*uya*h*nab*shi さん

#20 フェイトン 2001/ 8/13 12:47 [No.2435 / 15915]

イギリス人、1868年(慶応4年)に来日。

30名ほどの薩摩藩「軍楽伝習隊」に軍歌を伝授。

その後、兵部省雇いで海軍軍楽隊を教える。

薩摩琵琶「蓬莱山」から採られた「君が代は千代に八千代に…」

に節を付けた礼式曲「君が代」の作曲者として知られる。

現在の「君が代」とは違います。

kos*uya*h*nab*shi さん

お題 太平洋戦争にまつわるもの 2001/ 8/13 12:48

[No.2436 / 15915]

人気がないお題とはおもいますが。

8月15日が近いので。

kos*uya*h*nab*shi さん

#1 靖国神社 2001/ 8/13 13:25 [No.2437 / 15915]

さて模範解答がありません。

こんなん、いかがでしょうか?

hitomi212001 さん

#02 大東亜戦争 2001/ 8/13 14:16 [No.2438 / 15915]

失礼、模範解答です。

戦時中は大東亜共栄圏を設立するためということで、この名称でよばれていました。

敗戦後、アメリカにより、太平洋戦争と呼ぶようになったとか？

kos*uya*h*nab*shi さん

>大東亜戦争 2001/ 8/13 15:07 [No.2439 / 15915]

私の父母は共に昭和3年生まれですが、【大東亜戦争】と言ってます。

nagoyanoojisan さん

3 すいとん 2001/ 8/13 15:17 [No.2440 / 15915]

戦争中や終戦後の食糧難の時代、父母はこれを主食とした。でも、昭和40年代に我が家の食卓にしばしば登場した。母親は家庭教育のつもりだったみたいだが、、、育ち盛りの私にはトホホ、、でしかなかった。

nagoyanoojisan さん

#04 零戦 2001/ 8/13 17:33 [No.2441 / 15915]

零戦【れいせん（ゼロせん）】

皇紀2600年（西暦1940年）当時蒋介石の本拠地であった重慶に初実戦参加したので

零式戦闘機（零戦）と呼ばれました。そして翌年には真珠湾攻撃に参加。

アメリカの太平洋艦隊に壊滅的な打撃を加えました。

この戦闘機の特徴は燃費がよい（連続飛行距離が飛び抜けて長い）ことと、

旋回がうまくできるので、空中戦が得意、ということで、最初のうちは向かうところ

敵なし。世界一優秀だったと思われます。自動車でも戦国時代の鉄砲でもそうですが、

日本製品というのはいつの時代でもその当時のトップクラスなんです。

本当は真っ先に「あれ」を思いついたのだけれど、「あれ」は#20にふさわしい回答かと

思ったので書くのを差し控えました。

・・・まあ、独り言ですから気にしないで（笑）、皆様ご自由に回答してくださいね。

磨地照美さん

#05 小泉総理大臣 2001/ 8/13 17:53 [No.2442 / 15915]

こんにちは

靖国参拝か？否か？渦中の人

意思を貫き参拝したわけですが、わたしも参拝しても賛成でした。

一体何時まで昔の因縁で仲違いししなければならないのか？

昨日の敵は、今日の友って簡単にいかないようですね。

NOBUSERIsan さまの力強い発言もあって、このトピも世界史オンリ〜も可

ということで、お題の幅も広がると思います。

今後ともよろしくお願いします。

新しくこられた方もいますので、改めましてここに書かせてもらいますが

このトピに関する質問、意見、興味のあることなどは別トピに

山手線談話室がございますので、そちらでお願いします。

KISSME_PLAY さん

#06 白百合の塔 2001/ 8/13 18:07 [No.2443 / 15915]

映画にもなった沖縄が舞台。

婦女子の自殺率が歴史上最多、洞窟での爆死、観るのも聞くのも辛くて…

コメントは控えめに。

KISSME_PLAY さん

#06 は「ひめゆりの塔」ですね。 2001/ 8/13 18:19 [No.2444 / 15915]

キスマーさん、書き込んで早速で突っ込みを失礼しますが、沖縄で、女性の慰霊塔で、映画にもなったといいますが、「ひめゆりの塔」です。

「白百合の塔」ってあるのかな？と思って検索してみたら、

書き込まれているサイトは「ひめゆりの塔」の書き間違いのようでした。

次の方は、#07からでお願いします。

Rockmosen さん

Rockmosen さま 2001/ 8/13 18:30 [No.2445 / 15915]

いつもいつもありがとうございます。

お恥ずかしい(×_×)

KISSME_PLAY さん

#07 2200000 2001/ 8/13 18:47 [No.2446 / 15915]

自分も時期が時期だけにコメント少なく、太平洋戦争で亡くなった人の数です。

キスマーさんご迷惑お掛けしました。NOBUSERIsan さんありがとうございます。

そろそろ世界史の方でもいい時期かな？と思って、お許しが

出て光栄です。

kibatotugeki さん

#番外 鉄人28号 2001/ 8/13 20:40 [No.2447 / 15915]

最近 番外 減りました。

このナーバスな時期に 不謹慎と言われそうですが。。

戦争中、乗鞍岳で日本軍が密かに開発していたロボット。その28番目が「鉄人28号」。

それは日本が世界に誇る最初の巨大ロボットとなるはずだったが、戦争の長期化に伴い未完成のまま終わってしう。

鉄人の開発者達は南方の孤島で特攻機の研究を行うことになるが、アメリカ軍の爆撃で全滅。

爆撃で生き残った開発者の一人、敷島博士の協力を得て少年探偵、金田正太郎は鉄人の操縦者となり悪に立ち向かっていく。

spat さん

#番外 超人機メタルダー 2001/ 8/13 20:47 [No.2448 / 15915]

太平洋戦争末期、日本軍の秘密兵器として作られた超人機

と呼ばれるロボットがあった。完成後まもなく終戦を迎え、一度も目覚めることもなく設計者・古賀博士によって封印された。

秘匿されていたメタルダーであるが、桐原コンツェルン総帥・桐原剛三こと、ゴッドネロスが率いる悪の帝国『ネロス帝国』の存在を知った古賀博士の手によって、42年ぶりに復活する。

運命に翻弄されながらも、剣流星（メタルダーの人間体）は、ロボット犬・スプリンガーや女性カメラマン・仰木舞、ライダー・北八荒などの仲間を得て、ネロス帝国の野望を打ち砕くべく闘っていく・・・。

spat さん

#08 真珠湾攻撃 2001/ 8/13 22:15 [No.2449 / 15915]

日米交渉決裂、11月26日単冠湾を出た機動部隊は一路ハワイへ

昭和16年12月2日、攻撃決定「新高山上レ」の暗号電を受け取る。

8日、6隻の空母から飛び立った183機は米軍に見つかることもなく

まず飛行場を爆撃、つづいて雷撃隊が艦船に対して魚雷を放った。

第2波171機もこれに参加。かくして奇襲作戦は成功。

帰らぬ攻撃機は29機であった。

kdd_motmot さん

#09 戦艦大和の最後 2001/ 8/13 22:17 [No.2450 / 15915]

昭和20年4月6日、大和は軽巡一隻、駆逐艦八隻を伴い沖縄に向けて進撃を開始した。大和特攻、菊水作戦の発動である。翌7日、延べ数百機に上る攻撃機により、3時間あまり撃たれ続け、ついに没する。あとには5隻の傷ついた駆逐艦が残った。

kdd_motmot さん

#10 欲しがりません 勝つまでは 2001/ 8/13 22:42 [No.2451 / 15915]

名スローガンの一

いまや

「欲しがりません ヤせるまでは」？

ああ。平和飽食。

spat さん

#10 神風特別攻撃隊 2001/ 8/13 22:50 [No.2452 / 15915]

戦艦大和を書こうとしましたら、一步先に出ていましたので。

現在は、ほとんど「かみかぜ」と呼ばれていますが、当時は「しんぷう」特別攻撃隊と呼ばれていました。

太平洋戦争も終盤の1944年、米軍の圧倒的な攻勢に追い詰められた日本海軍の、大西瀧次郎中将の発案で、10月のレイテ沖海戦時に初出撃。

統計された数がまちまちですが、陸海軍合わせて2500人近くの若者が、生還の望めない体当たり攻撃に散っていきました。

欧米人の常識ではありえないその攻撃法は、少なからぬ米兵をノイローゼにしたといえます。

Rockmosen さん

#11 山本五十六 2001/ 8/13 22:57 [No.2453 / 15915]

聯合艦隊司令長官、彼の死をもって太平洋戦争の勝利を確信したとか

それほどまでに有能な元帥だったそうです。

kyukanba さん

#13 東条英機 2001/ 8/13 23:04 [No.2454 / 15915]

A級戦犯を受けての遺書

《英米諸国人に告げる》今や諸君は勝者である。我が邦は敗者である。この深刻な事実は私も固より、これを認めるにやぶさかではない。しかし、諸君の勝利は力による勝利であって、正理公道による勝利ではない。私は今ここに、諸君に向かって事実を列挙していく時間はない。しかし諸君がもし、虚心坦懐で公平な眼差しをもって最近の歴史的推移を観察するなら、その思い半ばを過ぎるものがあるのではないだろうか。我れ等はただ微力であったために正理公道を蹂躪され

たのであると痛嘆するだけである。いかに戦争は手段を選ばないものであるといっても、原子爆弾を使用して無辜の老若男女数万人もしくは数十万人を一挙に殺戮するようなことを敢えて行ったことに対して、あまりにも暴虐非道であると言わなければならない。

もし諸般の行いを最後に終えることがなければ、世界はさらに第三第四第五といった世界戦争を引き起こし、人類を絶滅に至らしめることなければ止むことがなくなるであろう。

諸君はすべからく一大猛省し、自らを顧みて天地の大道に恥じることないよう努めよ。

kyukanba さん

#12 「竹槍」 2001/ 8/13 23:14 [No.2455 / 15915]

戦況が追い詰められてきた日本では、本土決戦になった時には、国民総動員で米兵を倒せという事で、小学生や女学生、主婦達に竹槍を使つての軍事教練を盛んに行ないました。

これを批判して、「竹槍ではなく飛行機の増備が必要だ」と記事にした新聞記者は、東條英機首相の怒りに触れて、懲罰として陸軍に召集されました。

Rockmosen さん

爆笑だね。(//^▽^)_o_彡☆ 2001/ 8/13 23:16 [No.2456 / 15915]

>正理公道を蹂躪された

東条英機によって代表される帝国陸軍の行動のどこに正理公道があるものか。

(あらかじめ、いっとくけどアジア解放とかの馬鹿レスよこすなよ。そういうことは、朝鮮と台湾を独立させといて初めて言えることだからな)

だいたい、こいつの戦陣訓のせいで、いったい何十万の英霊が玉砕という無駄死にをさせられたことか。

rhf**ever さん

#15 疎開 2001/ 8/14 0:53 [No.2457 / 15915]

親戚同士で預けられたところだと、

イトコ同士って、妙に仲が濃いですよね。

遊びも友情もイジメも初恋も イトコ同士だったりして。
spat さん

#16 防空壕 2001/ 8/14 0:57 [No.2458 / 15915]

つい20年前までは、近所に3つ4つ、跡形程度残っていましたが。

もう、すっかり影も消しました。

今でも、現役の倉庫・貯蔵庫ってとこ、ありますか？

spat さん

#番外 『ゴジラ』 2001/ 8/14 1:06 [No.2459 / 15915]

はるか 太平洋の彼方からやってきて

闇の中

街を 破壊し 焼き尽くす

放射能の怪物。。。

大空襲の 過去の恐怖と

核兵器の 未来の恐怖とが

程よくミックスされた 恐怖映画でした。

spat さん

「忍者でござる」御礼 2001/ 8/14 2:18 [No.2460 / 15915]

こんばんは、夢魔です。

所用で3日ばかり家を空けていたんですが、戻ってみるとみなさんの活発なご意見で、お題がすでに次の次までいってしまってる・・・。

いつもながら、みなさんの知識には頭が下がる思いです。

今回のお題、実は太平の世の忍者の登場も期待して「隠密、密偵OK」とさせてもらったんですが、やはり出ました。松尾芭蕉に間宮林蔵！

出ていないところでいきますと、蝦夷地開発のため松前藩の動向を調査していた最上徳内、豊臣秀吉の御伽衆で忍者説のある曾呂利新左衛門、とび加藤こと加藤段三、亜細亜の麗人川島芳子・・・って感じですね。

みなさん、ありがとうございました。

mum*san*9 さん

1 7 大勝こうたい日 2001/ 8/14 9:45 [No.2461 / 15915]

これも、昭和3年生まれの話

1ヶ月に1回、大日本の戦勝を願って、おかず抜きの日を持参した日。

当時、松本高等女学校の校庭は芋の畑。竹槍は必須科目。

nagoyanoojisan さん

18 まぜごはん 2001/ 8/14 10:10 [No.2462 / 15915]

戦中、終戦後【すいとん】のほか【まぜごはん】がよく食卓に登場したそう。これには、麦や芋やら、、が入っていたそう。父はこれが嫌いだった。

現在我が家では【まぜごはん】のときには父だけ白いごはんを食べる。

父いわく、「当時の【まぜごはん】はマズカッタ。それを思い出すので食えん。」

nagoyanoojisan さん

#19 ポツダム宣言 2001/ 8/14 12:26 [No.2463 / 15915]

1945(昭和20)年7月26日、アメリカ・イギリス・中華民国により宣言。

同年8月14日、日本受諾。

翌15日、玉音放送にて終戦(敗戦)が国民に知らされる。

にざりいさん

#20 原爆 2001/ 8/14 12:32 [No.2464 / 15915]

multi_tv_2000 さんがおっしゃる「あれ」がこれでよかったかどうか…。

1945年8月6日、「リトルボーイ」と呼ばれる原爆が広島に投下される。

同年8月9日、「ファットマン」と呼ばれる原爆が長崎へ投下される。

にざりいさん

↓すみません、追加です。 2001/ 8/14 12:45 [No.2465 / 15915]

申し訳ありません、途中で投稿してしまいました。

広島での原爆投下により、その年の終わりまでに140,000人以上の人たちが亡くなったといわれています。

長崎に投下されたファットマンは、リトルボーイよりもエネルギーは大きかったようですが、町の地形の関係等で、被害は広島ほどはひどくありませんでした。

それでも、その年の終わりまでに亡くなった人は70,000人にもものぼると推定されています。

かろうじて命は助かった人たちも、いまなお後遺症で苦しんでいます。

また、子孫にもその影響が残ってしまうこともあるそうです。

いろいろな意見があると思いますのでここでは私の意見は控えさせていただきますが

今回の小泉首相の靖国神社参拝をはじめ、まだまだ太平洋戦争にからんでの問題は残っていますね。

にざりいさん

御礼 2001/ 8/14 13:20 [No.2466 / 15915]

談話室にもかきましたが。改めて。

ウケの悪いお題とは重々承知していましたが。

みなさま解答ありがとうございました。

21世紀平和を願う気持ちを新たにいたしました。

明日8月15日 終戦の日

kos*uaya*h*nab*shi さん

お題：将軍の正室で将軍の母ではない人 2001/ 8/14 15:38 [No.2467 / 15915]

あ、あの…！ お題を出すことに初挑戦したいと思います。(どきどき)

源でも足利でも徳川でもよいのですが、将軍の正室であつたけれど

子供は将軍になっていない人（子供を生まなかった人も可）を 20 人、というのはどうでしょうか??

では例として。

#00 天障院篤姫。

薩摩藩主・島津斉彬の養女として江戸幕府 13 代将軍・徳川家定に輿入れ。

家定は生来病弱であったといわれており、後継ぎを求めるといよりも幕末の政略的意向が大いに反映された輿入れだったようである。

にぎりいさん

築山御前《瀬名姫》 2001/ 8/14 17:29 [No.2468 / 15915]

1 5 4 2 ~ 1 5 7 9

1 5 歳の弘治 3 年（1557）、瀬名姫は今川氏の人質となっていた家康と結婚し

二年後に信康を、三年後に亀姫を産みました。

今川家の重臣関口親永の娘で、家康の正室。

唐人滅敬という医者を通じ武田家に内通した罪で

長男信康と共に信長から咎めを受け

家康の手により遠江富塚の地で殺害されはった。

KISSME_PLAY さん

#02 足利義昭の正室 2001/ 8/14 23:01 [No.2469 / 15915]

名前はわかりませんが、足利幕府最後の将軍ということなので。

調べてみましたが、このお題に的した解答は 9 しかありませんでした。

> 但し問題を出される方は自分で 20 解答把握しているのが条件となります。

多分私の数え間違いだと思うのですが、念のため。

oozutu さん

#02 日野業子（康子） 2001/ 8/14 23:02 [No.2470 / 15915]

室町幕府第三代将軍 足利義満正室

調べてみたら

業子ってえのと、康子ってえのと、2 種類出てきまして、ミスなのか、改名なのか、もう少し調べてみます。

義満の権力によって『准母（天皇の母扱い）』となっていない。

なかなか 骨のあるお題です

義持・義教とも母は藤原氏。

spat さん

#04 守邦親王 2001/ 8/14 23:06 [No.2471 / 15915]

こちらも鎌倉幕府最後の将軍ということで。

oozutu さん

↓02 に補足 2001/ 8/14 23:15 [No.2472 / 15915]

日野家も藤原氏か。

えっと、4・6 将軍の母は、「安芸法眼娘藤原慶子」です。

で、

日野業子と日野康子

わかりません。

WEB 検索は Google です。

なんか 2 人いるみたいな記述の系図も見ました。（1 サイト）

「業子」のほうは、「日野時光の娘」と載っていました。（2 サイト）

ヒット数は「康子」のほうが、「業子」を上回っています。

これ以上は、専門家に聞かなくてはわかりません。

spat さん

#05 藤原伊子 2001/ 8/14 23:24 [No.2473 / 15915]

関白藤原基房の娘。

木曾義仲が入京し平家をおっぱらった後、正妻として迎えています。

征夷大将軍になったのと、正妻を迎えたのと、どういう順だったかは知りません。調べるのも面倒なので。。

どっちにしても、一瞬の出来事でした。

spat さん

0 6 比企氏 2001/ 8/15 0:30 [No.2474 / 15915]

鎌倉幕府有力御家人、比企能員の娘で源頼家の妻。

頼家との間に男子（一幡）が生まれるが、鎌倉幕府の権力闘争に巻き込まれ、

一幡が将軍になることも、比企能員の娘が将軍の母になることもありませんでした。

安全運転さん

0 7 竹の御所 2001/ 8/15 0:30 [No.2475 / 15915]

頼家つながりでもう 1 人続けてみます。

頼家の娘（竹の御所）は、1 2 3 0 年、鎌倉幕府 4 代将軍・九条頼経の妻となります。

このとき、頼経 1 3 歳、竹の御所 2 8 歳。

4 年後、竹の御所は難産のため死亡、子供も死産だったそうです。

彼女の死によって、頼朝の血統は完全に途絶える事になります。

安全運転さん

#08 鷹司信房の娘 2001/ 8/15 2:56 [No.2476 / 15915]

徳川 3 代将軍、家光の正妻がこの人です。

鷹司というと 5 撰家の一つですが、古代から近世まで、女性の本名は文献上明らかでないのが常なので、表せないのが残念です。

4 代将軍家綱、5 代将軍綱吉は、いずれも家光の実子であります。その母はどちらも側室で、家綱の母は「増山正利の姉」そして綱吉の母は、元は京都の堀川の八百屋の娘「お玉」で、大奥の於万の方が手伝いの女中が欲しいというのに彼女の母親が応じたのがきっかけで、大奥に入り、そこで家光に気に入られて男子を出産、この男子が家綱の死後将軍となり、彼女は「桂昌院」として絶大な権威を持つようになり、悪名高き「生類憐れみの令」も、彼女が傾倒していた僧侶の「犬を大切にすれば、将軍様には世継ぎが出来ます」というお告げを信じきったためといわれます。

Rockmonsén さん

#09 今出川美賀子 2001/ 8/15 3:19 [No.2477 / 15915]

徳川 1 5 代、そして日本最後の征夷大將軍、徳川慶喜の正室です。

慶喜の將軍在位は、慶応 2 年（1 8 6 6）1 2 月 5 日から、同 3 年（1 8 6 7）1 2 月 1 2 日までのわずか 1 年で、王制復古となり、「征夷大將軍」の官位は消滅したため、当然彼女の子が次期の將軍となることはありませんでした。

数年前に、「徳川慶喜家のこども部屋」という本を読みまして、この正室の方のことも少し載っていたかと思うのですが、完全に忘れてしまいました。

明治になって戸籍制度が整ったので、この人も夫婦同姓となり、「徳川美賀子」と名乗ったのでしょうか？

Rockmosen さん

#10 和宮 2001/ 8/15 8:47 [No.2478 / 15915]

1 4 代徳川家茂の正室。

2 人の間に子はなく当然母になりえませんでした。

kos*uya*h*nab*shi さん

#11 檜皮姫 2001/ 8/15 9:39 [No.2479 / 15915]

鎌倉幕府五代將軍、九条頼嗣の妻。北条時頼の妹。

第五代執権、北条時頼は將軍家との絆を深めるため、また、年少將軍九条頼嗣を

思い通りにコントロールするために妹の檜皮姫を嫁がせましたが、

結局子供を産めぬまま、早くに亡くなってしまいました。

冒頭に挙げられた三氏ではないですが、

#07 で、源、足利、徳川以外の方を挙げているので、この方を挙げてみました。

nizaly さま、前回のお題ではお気遣いありがとうございます。

#20 私の思ったとおりでした(^_^)

鷹地照美さん

#12 真宮 理子 2001/ 8/15 11:41 [No.2480 / 15915]

紀州藩主 徳川頼方 正室

伏見宮貞致親王王女

頼方が、將軍吉宗になる前に亡くなっています。

『將軍』の正室」 厳密にはNGですか？

9 代家重の生母は、大久保忠直の娘、お須磨の方。

ちなみに田安宗武・一橋宗尹の母は、WEB 上を探してみましたが「竹本正長の女」というのが 1 件ありました。（暴れん坊將軍のサイトなので、ちょっと信憑性が。。）

ああ。このお題、思いついてから調べて書き込みするまでの時間が、すごいかかる。

勉強になるなあ。

spat さん

#13 天英院 熙子 2001/ 8/15 13:09 [No.2481 / 15915]

6 代將軍、徳川家宣の正室。

父は関白、近衛基熙。

ふたりの間に子はなく。

7 代家継は側室の月光院との間の子でした。

kos*uya*h*nab*shi さん

坂上田村麻呂の正室 2001/ 8/15 17:15 [No.2482 / 15915]

こんにちは

すいません正室の名前がみつかりませんでしたので

oozutu さまに習って

多分この人の第だけでしたよね？

蝦夷を討伐したので有名な坂上田村麻呂《天平宝字 2 年(758)～弘仁 2 年(811)》

延暦 23 年(804)征夷大將軍に任命さらはりました。

子孫は坂上是則といい、清水寺を建てはったんで有名な人で三十六歌仙の一人。

坂上清顕の娘は伊達政宗の正室となつてはる。

KISSME_PLAY さん

↓#14 2001/ 8/15 17:16 [No.2483 / 15915]

どうも物忘れがひどくなって。

KISSME_PLAY さん

《番外》巴御膳 2001/ 8/15 17:18 [No.2484 / 15915]

征夷大將軍木曾義仲の正室になっていたでしょう。

KISSME_PLAY さん

#15 旭姫 (及び、前の訂正) 2001/ 8/15 18:22 [No.2485 / 15915]

徳川家康の正室。羽柴秀吉の妹。

徳川家康には前出の#01 築山御前という正室がおりましたが武田氏との内通の疑いをかけられ殺害されはった。

その後側室はおれど、正室不在、つまり独身(?) だったわけです。

家康を従わせなければ天下統一は出来ないと考えた秀吉はそこに目を付け、

自分の妹を離縁させてまで家康に嫁がせましたが、当然 2 人の間に子供は出来ませんでした。

前回#11 の訂正です。

第五代執権、北条時頼は將軍家との絆を深めるため・・・

↓

第四代執権、北条経時は將軍家との絆を深めるため・・・

でした。北条時頼は北条経時の弟ですから、檜皮姫は共に妹で間違いはないです。

鷹地照美さん

↓(^;) 2001/ 8/15 18:26 [No.2486 / 15915]

言い回しまでコピペしてしまった(^;))

すんません。

鷹地照美さん

#16 大伴坂上大嬢 2001/ 8/15 22:50 [No.2487 / 15915]

だいじょう。おおひめ。おおいらつめ。

万葉家人 大伴家持正室

大伴宿奈麻呂と坂上郎女の間の長女。

家持とはイトコにあたる。

この二人の相聞歌が有名だそうです。

783(延暦 2)年 7.19、陸奥駐在中、中納言に任じられる(春宮大夫留任)。

784(延暦 3)年 1.17、持節征東将軍を兼ねる。
え～

家持は いわゆる「征夷大將軍」ではありません。「持節征東将軍」。

この晩年まで、大嬢が生きていたのかもわかりません。生没年不詳なのです。

NG スレスレ。。。
spat さん

#17 坊門信清の娘 2001/ 8/16 9:43 [No.2488 / 15915]

鎌倉第三代将軍、源実朝の正室。
最初、実朝周辺では足利家から正室を迎えることで政局の安定を図ろうとする動きがあったが、
政略結婚を忌み嫌った実朝自身が京の公家から探させたのが坊門信清の娘だったそうです。
名前を調べましたがわかりませんでした。
鷹地照美さん

#18 鷹司信子 2001/ 8/16 9:53 [No.2489 / 15915]

徳川第五代将軍、徳川綱吉の正室。関白鷹司房輔の娘(私の記憶)。
今、確認したら鷹司教平の娘というのも出てきましたが、どちらが本当かな？
もう、書くまでもないと思いますので簡単に。
犬をかわいがれば世継ぎが誕生すると言われた綱吉は「生類哀れみの令」を發布しますが、
結局、世継ぎは生まれず、むやみと罪人を生んでしまった。
当然次の将軍は綱吉の甥に。
失礼。私は一日二回答まで、を守っているつもりですが、
連続回答みたいになってしまいました。
さて、いよいよあとふたりです。明日は回答できないかな？
鷹地照美さん

有栖川宮喬子 2001/ 8/16 16:02 [No.2490 / 15915]

1 2代 徳川家慶の正室です。
実妹は有栖川宮吉子で後の1 5代将軍、徳川慶喜の母ですの
で、慶喜の叔母ということにもなります。
家慶が慶喜を可愛がっていたのはこんなことも理由かも。
ryoanpaku_69 さん

#19 ↓ 2001/ 8/16 16:02 [No.2491 / 15915]

失礼
ryoanpaku_69 さん

#20 島津茂子 2001/ 8/16 16:08 [No.2492 / 15915]

1 1代徳川家斉の正室。
家斉 1 7歳のときに正室として迎えましたが、すでに家斉には、お万という女性に子を産ませていました。
みなさんご存知のとおり、家斉には4 0人の側室がいて、5 5人もの子がいました、詳細はわかりませんが、茂子にも子はいたとのこと？
ryoanpaku_69 さん

お題：名前に「田」がつく人 2001/ 8/16 19:01 [No.2493 / 15915]

歯ごたえのあるお題の後はいくらなんだろうでしょう？
以前考えたもので、機会があれば出題しようと思っていました。
日本は農耕民族です。その関係もあってか、名前に田がつく人は結構いますね。
そこで歴史上の人物で「田」がつく人を 20 人挙げてみてください。

「田」の部首を含む漢字や「田」の形が含まれているのもOKとします。
NG とはしませんが、姓氏で使われている人が挙げられた場合、

なるべく前に出た姓氏を解答しないよう努力してみてください。

#00-1 織田信長

以後、織田氏は NG とはしませんが、なるべく他の姓氏で。
織田さんだけで 20 人出ちゃうので。

#00-2 藤原秀衡

この場合、姓氏で使われていないので、藤原さんは次も遠慮なく使ってください。
そもそもこれは Huis_K さんの "(R)" 的お題ですが、どうやら夏休みのご様子。
ということで代わりに私めが出題させていただきました。
鷹地照美さん

#1 種田山頭火 2001/ 8/16 19:16 [No.2494 / 15915]

できるだけ変わった名前の「田」さんを探してみたらこんな方を見つけました。たねださんとか、明治時代の俳人で、家庭を捨て日本各地を漂泊放浪しながら生きた方だそうです。
daw*_*さん

#01 田沼意次 2001/ 8/16 19:20 [No.2495 / 15915]

うーん、この方は、やっぱり生まれるのが、100 年早かったんでしょうねえ
明治以降なら、有能な経済官僚として、名を残した気が
「白河の清きに魚のすみかねて、もとの濁りの田沼恋しき」
このお題にピッタリの姓ですね
ecc**ler さん

#番外 車田正美 2001/ 8/16 20:32 [No.2496 / 15915]

たまたま、PCの横に「ビートエックス」が置いてあったので
「リングにかけろ」「星闘士(セイント)星矢」などが有名な漫画家。
ecc**ler さん

#03 坂上田村麻呂 2001/ 8/16 20:50 [No.2497 / 15915]

征討副使として蝦夷と戦う。のちに征夷大將軍。戦費増大などで遠征が中止になった後は、中央で昇進し、右近衛大将、大納言などになった。将帥の力量があると評された。
ryozanpaku_69さん

#番外 串田アキラ 2001/ 8/16 21:09 [No.2498 / 15915]
わーい。！ \ (^ ▽ ^) /
久々の番外道場！
(ー_ー;)
↑ああ。みなさまの暖かい視線を感じる。。。
で、串田アキラさん
歌手でしゅ。
代表曲「キン肉マン」「太陽戦隊サンバルカン」「ギャバン」「シャリバン」「シャイダー」
そう。80年代に おとこのこ だったアナタ。
あのハスキーボイスです。
spatさん

#04 雄略天皇 2001/ 8/16 21:57 [No.2499 / 15915]
部首でもいいとなると、この方が最古参かな。
ゆうりゃくてんのう
5C末頃に在位。
名は大泊瀬幼武（おお はつせ わか たけ）で、倭王武と推定される。
478年、宋に使いを送る。対高句麗戦での支援を要求。安東大將軍に補任された。
熊本県江田船山古墳出土の大刀に「獲□□□齒大王」の銘。（「齒」は異体字）
埼玉県稲荷山古墳出土鉄剣に「獲加多支齒大王」の銘。
これらが、雄略天皇を指すとの説が有力。当時の大和政権の勢力範囲が想像できる。
spatさん

#05 蘇我倉山田石川麻呂 2001/ 8/16 21:59 [No.2500 / 15915]
「田」の字のつく有名人では、この人が最古参かな。

えっと。
何したんだっけ。
とりあえず 2500ゲット！
spatさん

#06 誉田別 2001/ 8/16 23:37 [No.2501 / 15915]
ほむたわけ。第15代応神天皇。仲哀天皇の第4皇子。母は神功皇后。
古さでは勝ったかも？
やっと参加できた・・・
qch*nn*im*utoさん

#07 太田資正(三楽斎) 2001/ 8/17 0:06 [No.2502 / 15915]
(1522～1591)
こんばんは
こういうお題も面白そうで、もりあがりそう。
扇谷上杉朝興の重臣資頼の子で武蔵国岩槻城主。美濃守、民部大輔、晩年は三楽斎道誉を称す。
度々北条氏と戦ったが長子氏資の離反により敗れ次男梶原政景とともに常陸の佐竹義重の客将となる。
合戦に軍用犬を用いた最初の武将として知られる。
KISSME_PLAYさん

#08 柴田勝家 2001/ 8/17 0:16 [No.2503 / 15915]
(1522～1583) 大永2年(1522)、尾張に生まれ、斯波氏の一族とも言われる。幼名は権六。
はじめ織田信長の弟信行に仕え、弘治2年(1556)林通勝とともに信行を擁立して信長に謀反するが失敗。その後、信行の謀反を通報して信長に許されあらゆる戦いのたびに信長の先鋒として軍功を立てた。伊勢長島の一方向一揆や、越前小谷戦など、数々の働きがあり「掛かれ柴田に、退き佐久間」など、鬼柴田とも呼称される。織田家の筆頭家老職。
六角承禎との戦で、長光寺城に籠城したとき、糧米、飲料水が尽きてくると
甕を割って残りの水をことごとく流し捨てたため

返って味方が決死の覚悟となって敵を破った、という故事もある。
天正3年(1575)、信長が越前を平定したのち、北之庄城にあって越前を治める。
また、信長麾下の佐々成政、不破光治、佐久間盛政、前田利家を率いて
加賀一向一揆も平定。能登、越中に進出し、上杉景勝と対峙。ゆえに、本能寺の変では動けず、秀吉の明智光秀討伐に遅れを取った。
これがため、信長の後継者に三男の信孝を擁立しようとしたが
清洲会議においては秀吉に主導権を握られ、信長の第一の宿老として
信長の妹お市の方(浅井長政未亡人)を娶り、秀吉との対立姿勢を深めた。
勝家はここまでに、越前、加賀、能登、越中に加え北近江地方の180万石程度を領し
美濃の織田信孝、伊勢の滝川一益らと反秀吉派を形成。
天正11年(1583)、織田信孝、滝川一益らと秀吉を討つべく越前に兵を挙げたが
岐阜から急遽引き返した秀吉と賤ヶ岳において決戦し、大敗。北之庄城に逃げたが、秀吉軍に追撃され、4月24日、お市の方とともに自刃。推定62歳。
KISSME_PLAYさん

#番外 田寸津比賣命、櫛名田比賣 2001/ 8/17 0:16 [No.2504 / 15915]
たぎつひめのみこと。宗像3女神の一人。
くしなだひめ。ヤマタノオロチの話。
どちらも、古事記の神話の神様なので、番外にしました。部分では、神様の名前にたくさんありますので、「田」の字のつく名前だけにしました。
qch*nn*im*utoさん

#09 田能村竹田 2001/ 8/17 1:56 [No.2505 / 15915]
このお題にピッタリという感がある人です。頭と末尾が「田」。

「たのむらちくでん」と読みます。

昔、大分県の豊後竹田を訪れた時、この人の隠棲した「竹田荘」があり、存在を知りました。

竹田に安永6年(1777)に生まれ、天保6年(1835)、旅先の大阪で没。

漢学者でもあり、詩人でもあります。画家として最もよく知られています。

彼の絵は、絵を詩と同じように扱い、絵の筆使いの中に、詩と同じような風韻や余情を表す、「南画」に分類され、この系統には池大雅、与謝蕪村、渡部崋山などがいます。

竹田の岡藩の藩校「由学館」の頭取にまでなりましたが、文化8年(1811)に岡藩の悪政に対する百姓一揆が起こった時、彼は藩政改革を求める建白書を二度提出しましたが、それが受け入れられないと分かると、頭取を辞して隠居し、以後は作品の絵をこまめに売っては、京や大阪に遊び、多くの文人達と交流したといえます。

Rockmosen さん

#10 平櫛田中 2001/8/17 2:25 [No.2506 / 15915]

「ひらぐしでんちゅう」

この人も芸術家で、木彫の彫刻家です。

本名は田中倬太郎(たくとろう)

明治5年(1872)に生まれ、昭和54年(1979)没という事で、なんと107歳の長寿をまっとうしました。

その芸術の特長は、優れた写実力と深い精神性、そして美しい彩色にあるといわれています。

代表作としては、製作に20年をかけた、象高2mの、尾上菊五郎をモデルにした「鏡獅子」で、現在は国立劇場に展示されています。

日本の芸術家の最長寿となった人らしく、いかにも大物で、文化功労者になった時、「文化勲章はくれんのか？」と不満を言ったり(後に受賞)

「六十、七十は鼻たれ小僧、男盛りは百から百から」という歌はこの人が作ったそうです。

Rockmosen さん

#番外 田英夫 2001/8/17 2:40 [No.2507 / 15915]

ニュースキャスターから、参議院全国区に当選、社会党から分離した社会民主連合に代表にもなりましたが、今回の参院選では社民党から比例選に出て、惜しくも落選しました。

この人、選挙ポスターで知りましたが、戦時中は航空兵で、特攻隊になるはずだったのですね。

Rockmosen さん

#番外 藤田田 2001/8/17 2:48 [No.2508 / 15915]

ふじたでん。

ハンバーガーの業界では一人勝ちしている、日本マクドナルドの社長さんです。

「田」が2つ入る名前って、#09の田能村竹田以外ではこの人だけではないかな？

味の面ではモスパーガーの方が上だと思うけど・・・

平日半額というより、休日倍額と思うけど・・・

それとこの人、雑誌とかに文章を書くとき、名前の下に(デンと発音して下さい)とカッコ書きで入れるのが常ですが、ふり仮名を横にふるだけでいいと思うんだけどね(笑)

Rockmosen さん

御礼(遅くなりました) 2001/8/17 10:01 [No.2509 / 15915]

「將軍の正室で將軍の母ではない」に、みなさまご投稿ありがとうございました。

お題を出した翌日より急用によりPCを触れない状態に追い込まれたため

お題を出し逃げ(?)状態になってしまったことを深くお詫び申し上げます。

私は鎌倉9代、室町15代、江戸15代の將軍の正室たちで20人数え上げていたのですが(いますよね??)

「征夷大將軍」や「持節征東將軍」(の、大伴家持の正室。これにはびっくり!)がでてきて楽しかったです。

そうですね、それも『將軍』ですものね。

お題の出しがいいがありました。

また考えてお題を出すのに挑戦したいと思います。

にざりいさん

#11 原田甲斐宗輔 2001/8/17 10:18 [No.2510 / 15915]

伊達騒動(1671年)で有名。

伊達藩の家老。

幼藩主・綱村の後見役であった伊達兵部宗勝と共に藩政を動かしていたところ

保守派の伊達安芸宗重らが反発、兵部たちが悪政を行っていると幕府に訴えました。

しかし幕府の取調べの最中に原田甲斐が伊達安芸に斬りつけ

けっきょく当事者すべて死亡、何がなんだかわからなくなり原田甲斐の家は断絶となるも仙台藩にはお咎めなしでした。

原田甲斐は極悪人のように言われていましたが山本周五郎作『樅の木は残った』では忠臣として描かれています。

にざりいさん

#12 田原親賢 2001/8/17 15:03 [No.2511 / 15915]

戦国時代の武将。 奈多鑑基(なだあきもと)の子。

田原 親邦、親資の養嗣子となり 武蔵田原家を継ぐ。妹が大友 義鎮、宗麟の室。

宗麟 義統2代にわたる大友家の権力者。官途名は民部大輔尾張守 近江守。入道して

紹忍不思軒。慶長5年(1600)10月4日、豊後国海部郡 佐賀関 で戦死。

oozutu さん

#13 由井正雪 2001/8/17 15:11 [No.2512 / 15915]

慶安4年(1651年)江戸幕府3代將軍家光が没しその子家綱がわずか10歳で4代將軍となった年に起こった事件の首謀者とされています。

末期養子の禁止によるお取り潰しや、太平の世に入って、大名も

武士をさほどたくさん抱えないようになったことなどから浪人が増え、

その浪人たちが集まって乱を企てているという密告があり、由井正雪がいるところを包囲、正雪は自殺。他の仲間も捕縛されたり自殺されたり処刑されたとのこと。にぎりいさん

#13 原田宗時 2001/ 8/17 15:11 [No.2513 / 15915]

片倉景綱、伊達成実らとともに政宗軍団の重臣として活躍。18歳の若さで伊達軍の軍事を掌握。

葦名家との摺上原の戦いでは、別働隊を率いて桧原方面を攻略しました。

朝鮮出兵の際、京でいちばん目立ったのは彼だという。黒豹の馬鎧に太ぶさの鞆をつけ

金の太刀をはいたうえに、長さ一間半もある木刀をつけ、鞘の中程に金具をつけてつるしていたという。

釜山の地で病を得、最期まで戦うと主張したが、無理矢理帰国を命ぜられる。名護屋まで辿り着けず、対馬で死去。

彼の死を悼んだ政宗は「な・む・あ・み・だ・ぶ」の6文字で始まる歌を詠じた。

伊達騒動（寛文事件）「樅の木は残った」で有名な nizaly さんの出された原田甲斐は、彼の孫に当たります。

oozutu さん

#15 古田織部 2001/ 8/17 15:44 [No.2514 / 15915]

安土時代の茶道家

千利休の一番弟子

kyukanba さん

由井正雪？ 2001/ 8/17 15:49 [No.2515 / 15915]

今回のお題田がつく人だったような？

由井正雪は3代将軍家光の命を狙ったと聞いたような？

家光生存中に亡くなっていたような？

いや失礼。

kyukanba さん

↓由井正雪 2001/ 8/17 16:27 [No.2516 / 15915]

「田」の形が含まれている漢字も OK とお見受けしました

ので(^_^;)

でもやはり NG でしょうか。意味が違うかな…。

出題者の multi_tv_2000 さん及びみなさまのご裁断におまかせいたします。

ちなみに由井正雪が実際に処罰されたのはやはり家綱になってからのようです。

不安になって調べてみましたが、私の調べではやはり『家光の死後』と出てきました。

にぎりいさん

由井正雪 OK です。 2001/ 8/17 17:20 [No.2517 / 15915]

> 「田」の部首を含む漢字や「田」の形が含まれているのも OK とします。

このルールにより OK です。

例えば、野、黒、通、神、東、などなど、みんな正解です。今回は窓口がとても広いです。

なお、由井正雪についてですが、

家光没→由井正雪の乱→由井正雪自害→家綱第四代将軍就任

という流れになります。すべて 1651 年中に起こった出来事ですね。

磨地照美さん

卑弥呼 2001/ 8/17 19:30 [No.2518 / 15915]

古いといえば、やっぱりこの人でしょう。

DO6990 さん

#16 卑弥呼 2001/ 8/17 19:30 [No.2519 / 15915]

ひみこ。田の字の形が含まれている人物では、これが一番古いかな？

239年、魏に使いを送ったことが、魏志倭人伝に書かれています。

qch*nn*im*uto さん

おやまあ 2001/ 8/17 19:31 [No.2520 / 15915]

こんなこともあるんですね。失礼しました。

DO6990 さん

いえいえ、こちらこそ 2001/ 8/17 19:32 [No.2521 / 15915]

偶然ですね。失礼しました。これからも、よろしく！

qch*nn*im*uto さん

#17 額田王 2001/ 8/17 19:43 [No.2522 / 15915]

じゃあ、この人。ぬかたのおおきみ。万葉歌人です。

<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?mm=GN&action=m&board=1835208&tid=a2vbb3a4nbcjcl>

ocbcbca2v&sid=1835208&mid=102

に、代表歌について書いています。（これって、手抜き？）

qch*nn*im*uto さん

#18 真田幸隆 2001/ 8/17 21:17 [No.2523 / 15915]

真田一族興隆の基となった人物。武田信玄の謀将として有名。

todo_51 さん

#19 岡田啓介 2001/ 8/17 21:34 [No.2524 / 15915]

2. 26 事件の時の総理大臣

岡田自身は間一発難を逃れました。

kos*uya*h*nab*shi さん

番外 前田慶次 2001/ 8/17 22:54 [No.2525 / 15915]

わたしの永遠のテ～マです。

この人にひかれ、安土桃山戦国時代というものに興味を持ちました。

言わば前田慶次のお蔭で、このトピも立ち上げられたって思います。

歌舞伎者にして悪戯好き、俳句、茶道などたしなむ教養人にして

武勇絶倫！！

叔父の前田利家を寒中、風呂の支度ができたと騙し、水風呂へ入れて

そのまま前田家を飛び出して、京へ向ったといひます。

関が原では、直江兼続の知遇を得て、上杉景勝に付き大奮闘

しました。

最上軍との戦いは、はじめは上杉勢が優勢だったものの石田方敗北の報が奥羽にも届くと形勢は逆転殿軍を務めた直江兼統の手勢は激烈な撤退戦を強いられることに。

朝の卯の刻（午前 6 時）から申の刻（午後 4 時）までの 10 時間

わずか 1 里半（6 キロ）の間に 28 回の戦闘が行なわれたという記録

（『北越耆談』）がそれを示している。

この戦いで兼統は自決を覚悟したという。

が、それを思いとどまらせたのが慶次であった。

「言語道断。左程の心弱くて、大将のなす事とてなし。

心せはしき人かな。少し待、我手に御任せ候へ」（『上杉将士書上』）

こう言い置くと慶次は追いつがる最上軍に果敢に突撃して散々にこれに打ちかかり

敵の追撃の手を緩めて見事に退却戦を成功に導いたという。

このときの戦いの記録は上の『北越耆談』『上杉将士書上』に残っているが

この上杉方の書物だけでなく、敵方の最上家の文書にもこのように記されている。

「ここかしこの難処へ追ひ詰め追ひ詰め討ち捕りければ、一人も助かるべしとは見えざりけり。

然れども直江は近習三百騎ばかりにて少も崩れず、向の岸まで足早やに引きけるが

取つて返し、追ひ乱れたる味方の勢を右往左往にまくり立て、数多討ち取り

この勢に辟易してそれらを追い捨て引き返しければ、直江も虎口を逃れ、敗軍を集めて

心静かに帰陣しけり」（『最上義光記』）

歴史が勝者によって恣意的に作られ、事実が闇に葬られるということは往々にしてあるが

このように敵方も文書に残さざるを得ないようなすさまじい働きを慶次たちはした

ということだろうか。

関ヶ原の後、上杉家は 120 万石から 30 万石へと減封となりそれに伴って諸将の禄も削られることになったのだが慶次は武功に到底見合わないと思われる 2000 石の禄高で上杉家にとどまった。

これを聞きつけた諸大名は競うように彼を家臣に加えようとしているが

（中には 7～8000 石の禄高を提示した者もいたという。

そして、慶次の武功はそれほど見事なものだったのだろう）慶次は次のように言ってすべての誘いを断った。

「石田方が敗れるなり、人質を差し出して降参するような大名は、恥知らずである。

加えて、徳川家譜代の大名は、最近まで陪臣（又者）の身であり

そのような成り上がり物を主君とする気はない。

それにひきかえ、我が主君である景勝は、石田方が敗北しても

少しも弱気なところを見せず、合戦の翌年の 4 月まで戦い続けた大剛の大将である。

主君として、これ以上の人物がいるはずもない」

こうして、慶次は京の住まいを引き払って出羽米沢へ移り

寛永初年（1624）頃米沢城下で没したと伝えられるが、1605 年に病没したとの説もあり

この辺ははっきりしない。

KISSME_PLAY さん

#20 新田義貞 2001/ 8/18 0:37 [No.2526 / 15915]

新田氏は、源八幡太郎義家の孫の、新田義重を初代とし、義重の弟、足利義康を初代とする足利氏とは、長年のライバル同士でした。

鎌倉を攻略し、北条氏を滅ぼした際の、稲村ガ崎の、太刀を投げ入れた海が潮が引き、進路が開けたという伝説は、引き潮の時間を狙っての行動で、武士達の士気を高めるためと言われています。

建武の新政も 3 年で頓挫し、決起した足利尊氏を、一度は楠木正成らと撃退した義貞でしたが、九州で勢力を蓄えた足利軍に今度は勝負にならず、落ち延びた北陸敦賀の金ヶ崎城も

陥落、福井藤島城の攻防戦で最期を迎えました。

とかく「七生報国」の正成の勇猛さは多く取り上げられますが、義貞も、この最後の戦いでは、数倍の敵に囲まれ、家来達が逃走を勧めるのを潔しとせず、果敢に敵の軍勢に突入、抜いた太刀で首を掻き切って壮絶な最後を遂げました。

Rockmonsén さん

お題：歌舞伎に取り上げられた人物 2001/ 8/18 0:54 [No.2527 / 15915]

今回また、お題を出したいと思います。

今度は、歌舞伎の役柄に取り上げられた、「実在の人物、または実在したと思われる人物」という事で、いきたいと思います。

なお「仮名手本忠臣蔵」などでは、幕府のお咎めを恐れて、当時の実在の人物、Aではなく、室町時代の人物、Bをモデルとした役柄が、登場しますが、このような場合は、Aを挙げても、Bを挙げてもOKとします。

0 0 与三郎

「いやさお富！久しぶりだな～～！！」

の名台詞で知られる、「与話情浮名横櫛」のゆすり役ですが、千葉県の地元には、与三郎のモデルと思われる大旦那がいくつか存在し、木更津市内には「与三郎の墓」があったりします。

Rockmonsén さん

#01 曾我五郎 2001/ 8/18 8:23 [No.2528 / 15915]

いわゆる「曾我兄弟の敵討ち」の主人公

とはいえ具体的な作品名は無学ゆえ知らず。

NOBUSERIsán さん

「田」のつく人：御礼 2001/ 8/18 8:48 [No.2529 / 15915] 皆様、20 解答どうもありがとうございました。

やはり「田」は多いですね。

改めて日本人と田、米、稲作との強い結びつきを実感しました！！

卑弥呼。たぶんこの人が一番昔の人でしょう。しかし同じ時刻に（1分の違いもなく）

同じ解答とは、こういう偶然もあるのですね。私も以前ありましたがこれほどではなかったです。

番外の人は一人を除いてすべて存命中ということで、一番新しい人達になるでしょう。

番中の人では平櫛田中(1872-1979)と種田山頭火(1882-1940)が一番新しい人かな？

トピ主、キスミーさんの前田慶次への熱い思いもしっかり読ませていただきました。

でもなぜに番外？？ ちなみに前田利家は叔父でしたか。前田慶次はもとは滝川氏の出だと

思っていました。

ともかくまたいずれ、似たようなお題を出しますのでよろしくおつきあい下さい。

実はもう一つ考えてはいるのです。。

鷹地照美さん

#02 武蔵坊弁慶 2001/ 8/18 8:56 [No.2530 / 15915]

真っ先に思いついたのが「勸進帳」。あまりにも有名ですね。義経が頼朝の追っ手を逃れて藤原秀衡を頼って行くとき、安宅の関（石川県小松市）

で富樫左衛門尉は素性を見抜いていながら義経一行を通してしまう、というものです。

南都再建のための勸進（寄付金集め）の旅だと言い張る弁慶に、関の番人、富樫が、

「本当なら、その勸進帳をここで読め」と命令され、弁慶は何も書かれていない

勸進帳（の様な物）を読み上げるところからこの題名がついています。

でも実際は架空の話で、しかも安宅の関すらなかったということらしいです。

鷹地照美さん

#03 梶原平三景時 2001/ 8/18 10:05 [No.2531 / 15915]

「梶原平三誉石切」（かじわらへいぞうほまれのいしきり）の主人公。

私はこの演目を見るまでは「梶原景時＝やな奴」という印象があったのですが

これを見て考えを改める気になりました（単純…）

最後に刀で石の手水鉢を切りつけるのがかっこいいと思いました。

手水鉢の手前に立って観客に背中を向けて切る型と手水鉢の向こう側に立って観客側を向いて切り、二つに割れた手水鉢の間を

ぴょんと飛び越えてくる型があります。

どちらもそれぞれ趣があって Good です。

#01 曾我五郎(時致＝ときむね) の演目には「寿曾我対面」（ことぶきそがのたいめん）などがありますね！

ちなみに「助六」も五郎ですが。

それから安宅の関ですが、関所自体はあったのでは？ あったというか、義経追討のために臨時に設けたと

関所跡のそばにある神社で説明されました。

…それともそれもお話の中のこと??

にざりいさん

#04 蘇我入鹿 2001/ 8/18 11:36 [No.2532 / 15915]

「妹背山婦女庭訓」（いもせやまおんなていきん）に出できます。

極悪人で、確か妖術が使えるというような設定だったはずで

妖怪のような隈取で登場します。

青色の隈取は、ほんとに不気味だと思います。

にざりいさん

#05 菅原道真 2001/ 8/18 20:07 [No.2533 / 15915]

「菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてならいかがみ）」に出てくるそうです。

能なら少しはわかるのですが、歌舞伎はさっぱり・・・よっ

て、検索カンニングです。

でも、能や狂言は、マイナーすぎて、お題にならないかも？ qch*nn*im*uto さん

0 6 土生玄碩 2001/ 8/19 3:01 [No.2534 / 15915]

歌舞伎・・・とはちょっと外れるかなあ。

シーボルト門下生の一人。

長谷川一夫の舞台「漢の華路」に登場しています。

江戸末期の役者、中村歌右衛門との友情（いや、愛情か？）を描いたお芝居です。

mum*san*9 さん

0 7 平景清 2001/ 8/19 3:09 [No.2535 / 15915]

歌舞伎「出世景清」の主人公。

平氏の落武者で、壇浦の生き残り。

一族の復讐のため、ただ一人で鎌倉を目指すもあと一歩のところまで捕縛されてしまいます。

源頼朝の御家人への誘いにも頑として首を縦に振らず、獄死したということです。

後にゲームメーカーのナムコが、彼をモデルにしたゲーム「源平討魔伝」を出しています。

実在の人物かどうか怪しいとこですが、「実在と思われる人物」ということで・・・。

mum*san*9 さん

#08 五斗兵衛 2001/ 8/19 8:25 [No.2536 / 15915]

歌舞伎「義経腰越状」より。五斗兵衛は架空の人物ですがモデルは後藤又兵衛です。

前回の解答よりちょっとだけ時代がさかのぼります。

義経は兄頼朝の命令に背き、勝手に朝廷から検非違使に任ぜられてしまった。

また、平氏を滅ぼした際、三種の神器のうち一つを見つけたことが出来なかった。

平氏を討ったことで有頂天になり、頼朝を無視し後白河法皇の言いなりになっている。

などなど、頼朝が義経を疎んで討伐に及ぶ理由付けはいくら

でも考えられます。

しかも梶原景時は義経と仲が悪かったため、頼朝には悪く報告したので、頼朝は義経や

その他の御家人の鎌倉入りを禁じました。景時、やっぱりやな奴です（笑）。

そこで義経は鎌倉腰越の満福寺に入り、許しを請う手紙を書き、大江広元に託しました。

これがそもそもの「義経腰越状」とよばれるものです。

ところが歌舞伎の「義経腰越状」は、一言で言えば大坂夏の陣／冬の陣です。

義経を豊臣秀頼、頼朝を徳川家康に置き換えて演じられています。

義経の重臣が元木曾義仲の軍師であった五斗兵衛を軍師に迎えようとしたが、

大好きな酒が元で仕官を断られ妻にも離縁されてしまいます。

しかし、ある一人の家臣（モデル真田幸村）が五斗兵衛の才能を惜しみ、共に出陣して

そこから名誉挽回の活躍が始まる、というような話です。

「義経腰越状」となっていますが主役は五斗兵衛です。

すいません、いろいろ書いて收拾がつかなくなってしまいました（笑）。

例題で挙げられた「仮名手本忠臣蔵」と同じく、時代と人物を置き換えての話ですね。

なお「仮名手本忠臣蔵」の、当時の実在の人物、Aではなく、室町時代の人物、B

というのはもしかしたら架空の人物では？

本当はこれを挙げたかったのですが、よくわからなかったので控えています。

麿地照美さん

#09 吉良上野介義央 2001/ 8/19 8:58 [No.2537 / 15915]

せっかくお題の説明で「仮名手本忠臣蔵」がでてますから、だしましょう！

で、だすならやっぱり大物を。

ちなみに説明に当てはめますと当時の実在の人物 A とい

うのが吉良上野介で

室町時代の人物 B というのは、高師直になります。

なので、どっちの名前であげようかと思ったんですけど、吉良上野介にしました。

仮名手本忠臣蔵の中では吉良上野介は室町幕府時代の高師直として描かれています。

これは、本当の人物の名前を出すと江戸幕府からのお叱りがあるので

別な時代の人物に置き換え「嘘（または別）の話です！」とするためだったそうですね。

…あれ、これじゃ二人いっぺんにあげてることになるのでしょうか？

にぎりいさん

#10 朱成功 2001/ 8/19 9:53 [No.2538 / 15915]

「国性爺合戦」の主人公です。近松の浄瑠璃の方が有名らしいですが、歌舞伎もあるそうです。最近、野田秀樹が手がけている toka。

QchannoImouto さん：

お久しぶりです、道真は取られてしまいました。

tokacyan さん

#11 佐藤忠信 2001/ 8/19 10:31 [No.2539 / 15915]

「義経千本桜」に登場。

史実的な忠信は、源義経が平泉から鎌倉へ上るときに家臣として兄の継信と共に従いました。

継信は屋島の合戦で義経を守って戦死。忠信は、頼朝と不和になった義経を逃がしたあとで攻めこまれて自刃。

お話の忠信は、やはり義経の忠臣で剛の者なのだけれど、ひとつ違うのがこの義経千本桜においては、忠信に化けた狐が登場すること。

お話の中ではこの「狐忠信」が本物だと信じられてずーっと静御前を警護していきます。

ところがついに本物の忠信が登場してしまいます。

（ここでお芝居では早替りの見せ場。最後はに、正体がばれて侍姿で引っ込んだと思ったら狐の姿になってとびだし

てきます)

実はこの狐、義経が法皇から賜り、また静かに授けた「初音の鼓」を作るために殺された狐の子！！

話を聞いて義経は、静を守ってきた功により鼓を与えるのです。

このとき鼓をもらって喜んでしゃぐ狐がとてもかわいいと、見るたびに思います。

にぎりいさん

#12 名古屋山三郎 2001/ 8/19 21:35 [No.2540 / 15915]

こんばんは

こちらも安土桃山時代の変ったお方。

因幡守高久と織田信長の姪にあたる養雲院殿との間に生まれました。

絶世の美男子であったと言われています。

彼の嗣子蔵人は加賀藩士となって 3000 石を与えられ、「那古屋」の姓を名乗っていましたが

前田綱紀の勧めで子孫は「名越」と改姓しました。

蒲生氏郷に小姓として仕え「氏郷記」によれば彼は

15 歳で氏郷による陸奥名生(みょう)城攻略(天正 18(1590)

年 11 月)に従い

一番槍の武功を立てました。この頃から山三郎は美男の勇士として有名になったらしく

「槍師、槍師は多けれど、名古屋山三は一の槍」と囃し歌が流行ったほどであったらしい。

氏郷が没した文禄 4 (1595) 年 2 月以後は京都に浪人して四条辺りに住んでいたという。

剃髪して宗円(そうえん)と称したが慶長の初めに還俗、九右衛門(くえもん)と改名し

慶長 5 (1600) 年に妹於岩が美濃国兼山城(岐阜県可児郡兼山町)城主

森忠政の正室であった縁から忠政に仕えて 5000 石を与えられた。

1603 年、忠政の移封に伴い美作国院ノ荘(岡山県津山市)に移ったが

同年 4 月 10 日築城工事の現場で同僚の井戸宇右衛門と喧嘩

して刃傷に及び
相討ちとなって双方とも死亡した。「氏郷記」によれば 28 歳
という。

後に京都大徳寺高桐院に葬られ

梅林院殿久嶽宗遠居士という法名が付けられた。

山三郎は武勇に優れた美男子というだけではなく、遊芸にも
通じた伊達男だったという。

そのためか、彼の周りでは艶事の話が絶えず
彼の死後出雲阿国が歌舞伎で自分のかつての愛人として脚
色したことから

2 人の関係についてのうわさが広まった。

例えば「懐橘談（かいきつだん）」では山三郎は阿国歌舞伎
の演出者とされているし

「雍州府志（ようしゅうふし）」「貞丈雑記（ていじょうざつ
き）」などには

夫婦の共演者として書かれている。

いずれも俗説であるが、こういったことから山三郎は芸能文
学の世界で有名になった。

そしてさらには山三郎は浄瑠璃にも取り上げられるように
なる。

その最初は延宝年間頃に上演された江戸の土佐少掾正本

「名古屋山三郎」であり、傾城・葛城を巡って不破伴左衛門
と争うという内容で

後の不破名古屋物の先蹤となった。

この影響下に貞享年間（1684～88）頃、江戸市村座で歌舞伎
「遊女論」が上演され

初代市川団十郎の不破、村山四郎次の山三郎、伊藤小太夫の
葛城で大当たりした。

後にこの話は「不破」（「鞆当」）という歌舞伎にもなったが
これは代々の市川団十郎の荒事芸として発展し、歌舞伎十八
番にも選ばれている。

なお、不破伴左衛門のモデルになったとされる不破万作（伴
作）は尾張出身の人物で

豊臣秀次の小姓として寵愛されたが、「太閤記」巻 17 による
と、1595（文禄 4）年 7 月

高野山での秀次切腹に先だって殉死したという。享年 18 歳。

上田秋成の「雨月物語」中の「仏法僧」にも、彼は秀次に仕
える美貌の若侍として登場している。

KISSME_PLAY さん

#13 平維茂 2001/ 8/20 9:04 [No.2541 / 15915]

歌舞伎「紅葉狩」より。

平維茂【たいらのこれもち】(?-?)

平繁盛の子。その後、平将門の乱を鎮めた平貞盛の養子に入
る。

かなり武勇に秀でた人らしく、各地に鬼退治などの伝説が残
っています。

将軍になったこともあるらしい（但し征夷大將軍ではなく、
〇〇將軍の類）です。

時は平安中期。中納言平維茂一行が戸隠山（長野県戸隠村）
に

紅葉狩りに行った（または鹿狩りに行くという設定もあり）
ときのことです。

すでに山奥では、眺めのいい場所に陣取っている女性達がい
ました。こんな事なら

先に新入社員に場所取りをさせておけばよかった、と一瞬思
いましたが（笑）、

有難いことにその中の一人が、一緒にどうですか？と仲間に
加えてくれました。

その女性の名は更科姫。維茂は酒を勧められて良い心地で眠
ってしまいますが、

夢の中で、日頃からお世話になっている何とかの神様から
「その姫は人食い鬼だ」

とのお告げを受けます。はっと目を覚ますと、更科姫が人食
い鬼に変身していて、

今、まさに維茂を食ってしおうかというところでした。

ここである有名な「獅子頭」が出るのです。ぶるんぶるんと
頭をふるわせ、顔は隈取。

普通の人が実際こういうのに出会ったら、一瞬で気絶してし
まうでしょう。

しかしさすが武勇に秀でた維茂。慌てず騒がずその鬼を退治
してしまいましたとさ。

麿地照美さん

#14 佐々木盛綱 2001/ 8/20 9:30 [No.2542 / 15915]

源氏方の武将。

歌舞伎では「近江源氏先陣館」に登場。

『盛綱陣屋』の段がよく舞台にかかっています。

『盛綱陣屋』

敵味方と分かれてしまった兄弟・高綱が討ち取られたとの
知らせに首実検役となった盛綱。

しかしそれは偽首。ところがその前より人質となっていた高
綱の実子・小四郎が

『父様か?』とかけよって父親が死んだなら自分も死ぬと自
刃するのを見て

思い悩んだ末に「首は本物」と言います。

お芝居見ていると、小四郎のいじらしさにうるうる。盛綱
の苦悩の末の決断にうるうる。

…でも偽首ってことは高綱は生きていていつかは首実検
で嘘をついたことがばれるんだよな、と思うと

この後どうなったんだろうとドキドキします。

にざりいさん

#15 西郷隆盛 2001/ 8/20 12:38 [No.2543 / 15915]

大正年間に初演されたという「西郷と豚姫」の中で、京都に、
生涯独身ながら明るく気立てが良く、太っているので「豚姫」

と渾名された「お玉」という名の仲居がいて、そのお玉が西
郷どんに惚れ込んでしまうのですが、どちらも芝居にお約束

の美男美女ではないために、却って細やかな人情味溢れる恋
物語になっていると言われます。

西郷は江戸への密偵に赴く際に、支度金の百両のうちの一両
をお玉に渡して江戸に向かいます。

hui*_k さん

#16 国定忠治 2001/ 8/20 13:34 [No.2544 / 15915]

こんにちは

ご存知《名月赤城山も今宵限り》の人。嘉永 3 年、ついに御
上に捕らえられた国定忠治（市村）は

処刑のために故郷上州へと護送される。その護送の旅のなかで忠治は今までの自分の足跡をしみじみと振り返る。

8年前の田部井村、6年間の旅鳥から戻ってきた忠治だったが

その間縄張り争いや、子分の数の減少、まだ見ぬ不吉な敵そして次第に厳しくなる取り締まりといった事件に次々と見舞われる。

次第に疑心暗鬼になっていく忠治を支えたのがお町、お徳（藤）の2人の愛人だった。

ところがある時、子分の浅治（西川）に有らぬ疑いをかけてしまった忠治は

彼に母親、叔父を殺すよう仕向けてしまう。

次第に子分達との歪みが生まれ、ますます心の焦りを隠せなくなっていった忠治は…(抜粋)

KISSME_PLAYさん

#16 藤原時平 2001/8/20 13:36 [No.2545 / 15915]

「菅原伝授手習鑑」などを元に作られた「時平の七笑（しへいのななわらい）」という歌舞伎では、イアーゴのように見事なまでに沈着冷静に、政敵菅原道真を讒言し、追い落としに成功していく時平が、芝居の最後で薄笑いから高笑いに転じていくというのがクライマックスだそうです。

今朝、書棚から『歌舞伎手帖』（渡辺保）というのを引っ張り出してきて、カンニングしまくっています。

hui*_kさん

#17 加藤清正 2001/8/20 14:45 [No.2546 / 15915]

秀吉子飼いの猛将。『賤ヶ岳七本槍』の一人として活躍。朝鮮出兵のときの虎退治でも有名。

清正が主人公のお話が『二条城の清正』。豊臣秀頼が徳川家康と二条城で対面したときのことが歌舞伎になったものです。

あの、お題が3日にわたっているのでこれで6回目の解答なんですけど、

1日2回のルールは守っていますので

解答しすぎてだめということはないですよ？

歌舞伎が好きなので、私の場合は「だ・れ・に・し・よ・う・か・な」と迷っております。

にざりいさん

#18 坂田金時 2001/8/20 15:07 [No.2547 / 15915]

源頼光の四天王として有名な彼だが、金太郎としてのイメージを確立したのは近松門左衛門と市川団十郎とか。

『四天王稚立（おさなだち）』で、マサカリ、熊との相撲などを創作したそうです。

実在の金時は、坂田という姓ではなかったという説も。「きんぴらごぼう」に名を残す子供の金平も、演劇で有名になりますが、これも全くの想像上の人物と考えた方が良さそうです。

クイズ パンチ de デートさん

↓#19 ですね 2001/8/20 16:06 [No.2548 / 15915]

nizalyさま；

>あの、お題が3日にわたっているのでこれで6回目の解答なんですけど、

>1日2回のルールは守っていますので

ぼくなどは「歴史でオヤジギャグ」のお題（違ったかな？）で、7回の解答という記録を持っています。

hui*_kさん

#20 原田甲斐 2001/8/20 18:27 [No.2549 / 15915]

伊達騒動の中心人物の一人で、山本周五郎の「縦の木は残った」では、大逆臣の汚名を一人着て、仙台藩を救った忠臣として描かれています。

でも「伽羅先代萩（めいぼくせんだいはぎ）」の仁木弾正のモデルとされ、「仮名手本忠臣蔵」の高師直に模された吉良上野介と並び、歌舞伎の中の極悪人とされたのだから、江戸時代当時は相当な悪名の持ち主だったのでしょね。

初めての参加で、いきなり最終20番目の解答権をとってしまっ、みなさんごめんなさい。好きな歌舞伎キャラであるこの人が抜けていたので慌てて書き込みをさせてもらいました。

また参加させて下さい。

s11*3_0*さん

お題「応仁の乱 参加武将 20」 2001/8/20 18:48 [No.2550 / 15915]

応仁の乱って、いったいなんだったんだ!?

京の町を焼き付くし、世界大戦・日本版だったにもかかわらず、誰が勝ったのか、結論が良く分からないまま終わってしまうなんて・・・。

というわけで、この乱に加わった武将・大名、どんどん列挙し罵倒しましょう。(別に罵倒はしなくても可)

クイズ パンチ de デートさん

#01 骨皮道賢 2001/8/20 19:31 [No.2551 / 15915]

応仁の乱で初めて脚光を浴びることとなる「足軽」

その隊長がこの男

一部の史料では、東軍の一武将として扱っているそうなので、出してみました。

「応仁の乱」というと、とにかく「よく分かん」でもまあ、中世という時代が終わり、新しい時代を感じさせる、その象徴的な人物ということで

(ルー大柴のイメージも強いが)

彼は歴史に登場してから、6日でその姿を消したそうです。

「罵倒」しようにも、罵倒する知識もございません。お題主様、申し訳ございませんぬ

ecc**lerさん

#02 細川勝元 2001/8/20 20:53 [No.2552 / 15915]

昔の大河ドラマ「花の乱」で、野村萬斎が演じていました。そういえば、「花の乱」には藤岡弘も出演していました。

tokacyanさん

「歌舞伎に取り上げられた人物」御礼 2001/8/20 21:12

[No.2553 / 15915]

皆様、今度のお題には、多くの教養と思い入れのこもったレスをありがとうございます。

お題を挙げておきながら、土日と1日中出かけていたため、レスする時間が取れませんでした。

お題を出しながらも、歌舞伎の方は、メジャーな作品を10数回くらいしか見ていないので、初めてその名に接する作品も多く勉強させていただきました。特にキスミーさんの名古屋山三郎のレスでは、歌舞伎の発祥になった阿国歌舞伎の形成を知る事が出来て有り難かったです。

レスとして考えていたのは、レスのあった「仮名手本忠臣蔵」では、吉良上野介(高師直)のほか、浅野内匠頭(塩冶判官)、大石内蔵助(大星由良之助)、周辺の人物は出ましたが、本人は出なかった源義経(勦進帳、義経千本桜等)熊谷次郎直実、平敦盛(一谷嫩軍記)、夕霧(廓文章)、田宮伊右衛門、お岩(東海道四谷怪談)、俊寛(平家女護島)、明智光秀(絵本太功記)、新歌舞伎から、源頼家(修善寺物語)織田信長(若き日の信長)などでした。

Rockmonsensan さん

#03 武田信賢 2001/8/20 21:45 [No.2554 / 15915]

清和源氏武田氏は、源頼朝の時の信光以来代々甲斐守護の地位にありました。南北朝の争乱の時、足利尊氏に従って活躍した武田信武の子、信成の系統は、甲斐の支配を続け、後に信虎、信玄、勝頼へと繋がりますが、その弟氏信の系統の、4代あとのこの人が、若狭の守護職となり、応仁の乱においては、東軍の細川方について戦い、同じ若狭を領する、西軍方の一色氏の領地を、将軍足利義政から与えられています。

Rockmonsensan さん

#04 朝倉孝景 2001/8/20 22:03 [No.2555 / 15915]

朝倉氏は、開化天皇または孝徳天皇の後裔といわれ、平安末期に、但馬国養父郡朝倉に居住してから、朝倉氏を名乗ったといえます。

応仁の乱の際は、西軍山名方について戦い、当時越前守護だった斯波氏の骨肉の争いに乗じて、守護職を奪い取りました。

そして新たに一乗谷に城を築き、約100年後に、4代後の朝倉義景の代に、織田信長に滅ぼされるまで繁栄を続けました。

Rockmonsensan さん

#05 今川義忠 2001/8/20 23:37 [No.2556 / 15915]

細川勝元率いる東軍に参加。

上洛して参戦するが、隣国遠江守護が西軍であったため、帰国して地元で対抗。

この義忠の側室北川殿の兄こそ、かの伊勢新九郎こと北条早雲。

spat さん

#06 畠山政長 2001/8/21 8:35 [No.2557 / 15915]

畠山持富の子で、兄の急死に伴い、家督を相続する。詳細は次に詳しく書きます。

磨地照美さん

#07 畠山義就 2001/8/21 8:38 [No.2558 / 15915]

畠山持国の子で、後に畠山持富の子(畠山政長の兄)の養子になる。

畠山政長は畠山氏の後継争いで畠山義就を追い落とし、しかも管領になりました。

畠山政長には細川勝元という大物が後見人となっていました。

細川氏の対抗勢力Y(仮名:後に出てくるかもしれない)は、細川勝元を危険視

していました。なんとかして勝元の勢力を弱めておきたい。そこでYは、畠山義就に

力を貸して畠山後継問題を再燃させ、それに細川勝元を巻き込む事を考えました。

そうして強い後ろ盾を得た畠山義就は、兵を率いて京に入り義政に謁見し、正月には

Yの館をかりて将軍様を招き酒宴を催し、すっかり将軍様に取り入ってしまいました。

ほどなく将軍義政から畠山政長に、「館を義就に引き渡すように」とのご命令。

政長「将軍様そんなご無体な」とやんわり断ると、今度は管領職を罷免されてしまいました。

もうこうなると収まらない政長。それもこれも義就が原因と、ついに挙兵し義就の軍と

御霊林(京都市上京区)で激突します。応仁の乱前哨戦といわれるこの「御霊林の戦い」

は、初めは政長優勢でしたが、劣勢の義就軍にYが加勢したため、形勢は一気に逆転。

細川勝元は将軍義政の、「勝元とYは畠山の争いに関わるな」という命令を守って、

政長に援軍を送らなかったので、結局、畠山義就の勝利に終わりました。

ところがやはりこのままで収まるわけではなく、勝元とYの覇権争い、将軍継嗣問題、

畠山氏後継争い、管領家S(仮名)の家督争い、Yに滅ぼされたA(仮名)の怨恨、

などなど、様々な思惑が入り乱れ、それらの争い事の決着の舞台として、

応仁の乱が勃発することになるのです。

磨地照美さん

#08 赤松政則 2001/8/21 10:27 [No.2559 / 15915]

赤松家からは、政則さんが東軍細川方にエントリーです。罵倒しようにもそんな知識がないもので...

hui*_k さん

#09 斯波義廉 2001/8/21 10:48 [No.2560 / 15915]

3管領家のひとつ、斯波家も家督争いが起こりました。義廉は西軍で参戦。

うちわもめ は、ともだおれ のもと

斯波家はこれで没落します。

守護国 尾張と越前は 守護代一派に乗っ取られます。

また 遠江は 今川家に侵食されます。

spat さん

#10? 足利義尚 2001/ 8/21 13:04 [No.2561 / 15915]

厳密には応仁の乱に参加しているわけではないと思いますので、NGのような気もするが(!)、乱の原因になった主要人物。

足利義政は弟・義視に將軍職を譲ることを決意しますが、実子・義尚がうまれたので妻・Tの思惑もあり、後継者問題がぼっ発します。

義尚は、六角征伐に出陣したときは、町の人がほれほれする好男子だったようです。將軍としての器量も持っていたようですが、酒の飲み過ぎで若くして陣中に没します。

お酒を飲み過ぎてはいけません。

クイズ パンチ de デートさん

#11 大友親繁 2001/ 8/21 23:30 [No.2562 / 15915]

周防のO氏に対抗して、大友氏は東軍に属し、O氏の權益を奪取しますが、ライバルのO氏が東軍と和睦して大友の内部かく乱を工作してきて、大友親繁は子供の義右を毒殺、自身もO氏に殺害されたということです。

ぼちぼちでんな～さん

#12 足利義視 2001/ 8/22 8:37 [No.2563 / 15915]

第八代將軍足利義政の弟。

最初、義尋と名乗るが、還俗して義政の猶子となり、足利義視と名乗りました。

詳細は次へ。

麿地照美さん

#13 山名宗全 2001/ 8/22 8:40 [No.2564 / 15915]

室町第八代將軍足利義政にはなかなか跡継ぎの男子に恵まれず、また、政治への意欲も

失ってきたため、弟で仏門に入っていた義尋に足利家を継いでくれるよう頼みました。

もしその後自分に男子が誕生した場合は仏門に入れるという条件で。

やがて義尋は還俗し義政の猶子となり、足利義視と改名しま

した。

ところがその後、義政正室、Tが男子をあげてしまったのです(後の足利義尚)。

Tは自分の子供が將軍になることを望んでいました。でも、跡継ぎは義視と決まって

いたので、それを実現させるのは容易なことではありません。なんとしても義視を後継者の地位から引きずり降ろしたい。

そのためには義視の後見人

細川勝元に対抗できる人物が必要。そこで有力守護大名、山名宗全に後見を頼みました。

このようにして、足利義視、細川勝元 VS 足利義尚、山名宗全 という対立が生まれました。

すると勝元は義視の後見をやめました。將軍家が二派に割れるのを防ぐためです。

そのため宗全は義尚をおしたてて戦う理由がなくなってしまいました。

これで収まってくれれば良かったのですが、勝元を危険視する宗全は、

何とか勝元を争いに巻き込んで勢力を弱めようと考えたのです。

そしてその方法は・・・#07 畠山義就のところに書いたとおりです。

麿地照美さん

#14 一色義直 2001/ 8/22 12:51 [No.2565 / 15915]

彼の妻は前出の山名宗全の孫娘で、当然のように西軍に味方しました。

後に、丹後の守護を取り上げられて、武田氏に与えられていますが、一色氏は無視するかのよう丹後に居座り続けます。

彼の子孫は、細川幽斎・忠興が攻めてきたとき、滅ぼされています。

忠興と一色氏の婚礼の話をすすめて、その当日に暗殺したとも。

クイズ パンチ de デートさん

#15 六角高頼 2001/ 8/22 13:11 [No.2566 / 15915]

六角さんちは西軍山名側です。

ううん... むつかしい...

hui*_kさん

#16 土岐成頼 2001/ 8/22 13:14 [No.2567 / 15915]

土岐さんとも西軍です。

あと、西軍にはO氏もいますね。

hui*_kさん

#17 大内政弘 2001/ 8/22 14:59 [No.2568 / 15915]

噂のO氏。周防の守護大名で西軍側です。

NHK「花の乱」では藤岡弘が演じていました。

息子が大内義興で、孫は毛利に滅ぼされた大内家最後の当主義隆です。

s11*3_0*さん

#18 富樫政親 2001/ 8/22 15:26 [No.2569 / 15915]

加賀の守護だった富樫氏にも家督争いがあり、政親は東軍に、弟の幸千代は西軍に参加しています。

幸千代を破ることができた政親ですが、その後、一向一揆によって滅ぼされます。

クイズ パンチ de デートさん

#19 斯波義敏 2001/ 8/22 17:59 [No.2570 / 15915]

斯波家内紛における斯波義廉の対抗勢力。

斯波氏庶家に生まれながら宗家に跡継ぎがいなかったため当主に迎えられますが、山名宗全と組んだ義廉の

クーデターでその地位を追われ、必然的に東軍に属することになります。

s11*3_0*さん

#20 京極持清 2001/ 8/22 19:59 [No.2571 / 15915]

京極氏は、北近江の本拠のほか、出雲、隠岐、飛騨の分国を領していましたが、持清は、赤松満祐の嘉吉の乱を鎮圧する功を挙げ、將軍義政の時代には、二十年にわたって、侍所頭人を務めていました。

応仁の乱では、娘が細川勝元に嫁いでいたこともあり、常に東軍細川方について戦いました。

Rockmonsensan さん

お題：日本史上の「はまった」 2001/ 8/22 20:13 [No.2572 / 15915]

川や井戸に「はまった」のから、
策略、陰謀、役どころ、女色、美食に「はまった」のや、
果てはオタク趣味のコレクションに「はまった」りまで、
日本史に現れる人々に関係した「はまった」エピソードや、
日本史上の「はまった」事件を20個挙げてください。
出来れば、いちおう「はまった」を用いて
表現してみてください。

hui*_kさん

#01 淀殿 2001/ 8/22 20:48 [No.2573 / 15915]

最初に思いついたのはこの人。
京都の方広寺の、寄進した鐘の「君臣豊楽国家安健康の文字
を「豊臣を栄えさせ、この家康に仇なすものだ！」と、徳川
家康に因縁をつけられて、大坂の陣へ追い込む謀略に「はま
り」、更に開戦後は、「外堀を埋めれば和睦だ」という騙しに
「はまり」内堀も埋められ総攻撃を受け、愛息秀頼ともども、
豊臣家の滅亡を迎えました。

Rockmonsensan さん

#02 環濠にはまった 2001/ 8/22 21:33 [No.2574 / 15915]

弥生時代になって、戦争が始まるとともに、集落の周りに
濠をめぐらせた環濠集落ができてきます。(古いものでは、
縄文晩期後半のものも見つかっていますが)
この環濠は、泥・汚物・ゴミで、どろどろの大変汚いものだ
ったようです。
こんな環濠にはまりながら戦った弥生時代の人って、なんか、
悲惨！

出題者の方へ
固有名詞を挙げないとNGでしょうか？

qch*nn*im*utoさん

#3 春嶽にはめられた 2001/ 8/22 22:44 [No.2575 / 15915]

松平容保「僕って体弱いしー、会津は田舎で部下は田舎モン
だしー、京都守護職なんてできませーん」
松平春嶽「あれー？会津藩には徳川家に尽くせ、並の尽くし
方じゃだめっ。という家訓があったはずだけど、婿養子のあ
なたがそんな不忠でいーのかな？」
容保「う…」
春嶽「あなたが受けてくれないと僕、切腹しなきゃなんない。
えーん」
などと言って容保にうっとおしい役目を押し付けといて自
分はとつと逃げ出しちゃった。

daw*_*さん

#04 オランダにはめられた「鎖国」 2001/ 8/22 22:52
[No.2576 / 15915]

対日貿易を独占したいオランダはポルトガル人とキリスト
教宣教師の密接な関係を幕府に喧伝し、幕府を鎖国へと導い
た。
また、日本の植民地化の野心を説いたまわりました、オラン
ダはしてやったり、対日貿易をヨーロッパで唯一独占するこ
とに成功しました。

kos*uaya*h*nab*shiさん

#05 花山天皇、藤原兼家にはめられる 2001/ 8/22 23:52
[No.2577 / 15915]

10世紀後半、貴族階級の中で権勢を強めてきた藤原氏の兼
家は、しかし藤原氏を外戚に持たぬため障害になる、花山天
皇の退位を企て、天皇が寵愛していた弘徽殿女御が亡くなっ
たのを嘆き、皇位を保つ意欲を失っているのに乗じ、息子の
道兼に命じて、天皇に出家を勧めさせました。
道兼は、「私もお供して一緒に出家します」と偽って密かに

天皇を京都の郊外山科の元慶寺に誘い、そこで天皇は落飾し
ましたが、道兼は、「出家前の姿をもう一度だけ父に見せて
参ります」と言ってその場を去り、もう帰っては来ませんで
した。

天皇も「はめられた！」と気づきましたが、頭を丸めては後
の祭り、兼家は孫にあたる懐仁親王を即位させて一条天皇と
して、藤原氏は天皇の外戚としての地位を確固たるものとし、
後の道長の時代には「この世をわが世とぞ思ふ・・・」と豪
語するようになりました。

Rockmonsensan さん

#06 米にはまった吉宗（私もはまって長文） 2001/ 8/23
0:44 [No.2578 / 15915]

江戸幕府八代将軍徳川吉宗は、俗に「米将軍」「八木【はち
ぼく】将軍」と呼ばれました。
「暴れん坊将軍」とは呼ばれていなかったようです(笑)。
八木とは、昔の「米」
という字を分解するとそう読めるので、米の俗称としてよく
使われます。
なぜそう呼ばれたかという、吉宗は在任中の大半を米問題
に費やしたからです。
吉宗が将軍になるちょっと前まで、幕府の財政は逼迫してい
ました。それというのも、
綱吉が好き放題やって幕府の御金蔵の金が底をついてしま
ったためともいえます。

そこで吉宗は、幕府の財政難を解消するため、「享保の改革」
と呼ばれる

次のようなことを実行しました。

1. 「上米【あげまい】の令」
全国の大名の江戸滞在期間を短縮する代わりに、石高に
応じた米を幕府に納めさせる
2. 農民の中から希望者を募って、広大な武蔵野原野を切り
開き、新田開発を行う
作付け面積が増えれば当然年貢も増える。
3. 年貢の納め方を検見法から定免法に替える
検見法・・・豊作の時はたくさん納め、凶作の時は少し

だけ納める→予算が立てにくい

定免法・・・豊作でも凶作でも納める量は同じ→予算が立てやすい

でも、その実体は年貢高の引き上げでした。

4. 「足高【たしだか】の制」(わかりやすく言うと「出来高払い」に近いかも)

役目に応じて家禄を一時的に支給する。わかりやすくいえば、プロ野球選手の

出来高払いのようなものです。何年契約という風にする

と不振の時でも高い年俵を

払わなければならないので無駄ですね。これと同じで、幕府内の禄高が高い無能家臣

より、有能な下級家臣を「足高の制」によって抜擢することが出来ます。

有名な人の例では、大岡越前などかそうです。ところが皮肉なことに、米がたくさん穫れるようになってくると、段々と米相場が下落

してきました。そのため俸禄制の家臣達は暮らしが苦しくなってきたのです。

というのも、禄を米で頂いている家臣達はその米を売って酒や魚や調味料といった物を

買って生活しているので、米価の下落は収入の減少を意味するのです。そこで吉宗は、

米の相場が下がっているのに、米を原料としている酒やしょうゆなどの物価が上がって

いる事を調べ上げ、強制的にそれらの物価を下げる命令を出しました。

一方で幕府による米の買い占めを行い、米の安定供給体制を整えようとしていました。

またこのころは大飢饉が発生した頃でもあります。そこで吉宗は青木昆陽に命じて、

甘藷(さつまいも)作りを研究させ、その普及のための援助を行いました。

さつまいもは比較的栽培が容易で、不作になることも少ないため、飢饉の時の非常食に最適と考えてのことです。

その後も、米相場の統制、貨幣改鑄(インフレを引き起こす→米価上がる→家臣喜ぶ)

など、その政治生命のほとんどを米問題に費やしました。こうした吉宗による「享保の改革」はとりあえずうまくいった

ということ良く、その後、幕府財政は一応安定はするのです。

長文解答でどうもすみません。はまってしまいました(´-`); 磨地照美さん

謙信にはまった信玄 #07 2001/ 8/23 2:54 [No.2579 / 15915]

こんばんは
ふたりは生涯戦い続けました。

が為に、信玄は京へは上れず、天下取りの好機を逃しました。正義の味方謙信も、領土を広げず、家臣に不満がられ

謀反されはる始末。でも、彼らは憎みあってはったわけやございません。

信玄が亡くなりはった時、謙信の家臣が好機と武田攻めをすすめますが、謙信は涙を流しはって

家臣を諫めてはります。その後謙信は、人が変わったように酒に溺れ寿命を縮めはった。

戦ってはるうちに、何時しか友情が芽生えてはったんですね。

KISSME_PLAY さん

#08 頼朝、馬入川にはまる 2001/ 8/23 13:24 [No.2580 / 15915]

頼朝は、相模川の橋で馬を落とし、落馬の傷が元で亡くなったと云われていますが、暗殺説など諸説もあるようです。

このため、相模川は馬入川と呼ばれるようになり、今でも茅ヶ崎と平塚の間に架かる東海道の橋は馬入橋といえます。

目黒の蛇崩れにも、頼朝が馬を落とされたと言われるところがあり、失った芦毛の馬を葬ったといわれる芦毛塚というものがあります。

乗馬が下手だったのかな？

hui*_k さん

#09 畠山重忠、北条にはめられる 2001/ 8/23 13:49 [No.2581 / 15915]

頼朝の死後、権力を強める執権・北条氏は、3代将軍・実朝に重んじられる重忠を政敵として敵視していきます。やがて平賀朝雅の讒言で元久二年(1205年)謀反人として重忠討伐を命じました。

北条氏は畠山重忠に「・・・鎌倉に異変あり、至急参上されたし!」とウソの命令を伝えます。重忠は、まず嫡子・重保を鎌倉に出発させ、自身は後詰として主力を率い、次男重秀と郎党 134 騎を率いて出発。居城:菅谷館(埼玉県比企郡)を出発。鎌倉へ向かいました。二俣川へさしかかったとき、長男・重保が、鎌倉・由比が浜で北条氏によって謀殺されたことを知り、牧ヶ原(万騎ヶ原)に北条氏の追手が待ち構えている報を知ります。家臣は菅谷館に帰って軍勢を整えるよう進言しましたが、「・・・戦となれば家を忘れ、肉親を忘れるのが武将の本意。嫡子重保が討たれたからには、もはや家門や命を惜しむようなことはない。陰謀があったようにも思われたくないの、潔く迎え撃とう!・・・」と鶴ヶ峰の麓、二俣川を前にして決死の布陣をとります。

北条氏の追討軍は二俣川をはさんで相対し、押し寄せる北条軍を相手に畠山軍は戦いましたが、重忠が弓の名手愛甲三郎の矢に射られて戦死。それを知った次男重秀も自決し、郎党もことごとく討死しました。この二俣川の戦いにより北条氏は執権として幕府の中で強い力を持ち、権力を独占したといえます。

ぼちぼちでんな～さん

#10 勝海舟にはめられた近藤勇 2001/ 8/23 14:57 [No.2582 / 15915]

「はめられる」といえば、この話は絶対欠かせないでしょう。江戸にもどった新選組。こんな血気盛んな連中に「江戸にいられたんじゃたまらねえ」とばかりに勝海舟は、近藤勇に若年寄の地位(実質大名格)、と甲府城の城主を餌に江戸から厄介払いをしようとします。

大名志向の強い近藤はまんまと「はめられ」、甲陽鎮撫隊を

組織し甲府に進軍します。途中の多摩地域は近藤や土方にゆかりの地。行く先々で大歓迎を受け、進軍は遅れがち。結局は新政府軍（官軍という言葉使いたくない！！）に甲府城を先に取られ、惨敗と相なりました。あとは流山での投降へ処刑と落ち目の近藤勇でした。

シビアな土方とは異なり、新選組局長時代からどこか脳天気な近藤ですが、私は大好きです。一方の勝海舟は本当にエゲツナイ。土方から頼まれた近藤の助命嘆願もどこまで本気でやったやら・・・。

s11*3_0*さん

「応仁の乱の参加武将・・・」御礼 2001/ 8/23 15:11 [No.2583 / 15915]

御投稿ありがとうございました。

名前は有名でも、どうも応仁の乱でわかりにくいですよ。たぶん、この乱にかかわった人はかなりいるとおもうんですが、私が題を「武将、大名」などとしてしまったため、限定されたイメージを出してしまったかなと反省しています。

日野富子が出なかったのはそのためかなって思います。

クイズ パンチ de デートさん

タイトル訂正 勝海舟の策に「はまった」 2001/ 8/23 15:34 [No.2584 / 15915]

近藤勇、と訂正させていただきます。

出題者の方の、できれば「はまった」で

表現するように・・・、というコメントを見逃していました。

申し訳ありませんでした。お手数ですが、前の書き込みの中の「はめられる」「はめられ」はそれぞれ

「はまった」「はまり」と読み替えて下さい。よろしく願い致します。

s11*3_0*さん

#11 藤原薬子にはまった平城上皇 2001/ 8/23 20:18 [No.2585 / 15915]

よりによって入内した女御の母にはまってしまったのが、讓位して引退したはずの平城上皇。なぜか(^;元気を取り戻し

て、還都の勅詔を弟の嵯峨帝にたたきつけます。

私個人としては、業平父で平城皇子の阿保親王が、この時の薬子の変で結構活躍したと考えております。そのことを、私のサイトでまとめております。というか、宣伝だったりして(笑)。

http://www.geocities.co.jp/Bookend/8675/dazaifu/dazaif01.html

>こんな環濠にはまりながら戦った弥生時代の人って、なんか、悲惨！

想像したくない・・・(^;。

tokacyan さん

12 旅に「はまった」おかげ参り 2001/ 8/23 20:36 [No.2586 / 15915]

おかげ参りとは、江戸時代にはほぼ 60 年ごとに発生した、大規模な伊勢参宮のこと。

その規模は凄まじく、文政 1 3 年のものは、5 0 0 万人もの人々が伊勢神宮を訪れたとか

おかげ参りで参宮する人は、ほとんど着のみ着のまま、通行手形も無く、ろくに金も持たず旅に出て、

沿道の裕福な人達からの施しで伊勢まで行ったとか、中には餓死した人もいたとかいかなかったとか

原因としては、社会不安だの集団心理だの、いろいろあったようですが、やっぱり旅にでたかったんでしょうねえ

ecc**ler さん

#番外 てんぶらに「はまった」家康 2001/ 8/23 20:38 [No.2587 / 15915]

下はちょっと雰囲気を変えてみましたが OK でしょうか？

で、こちらは事実かどうかわからないので番外にします。

しかし、こんな情けない死に方はしたくねえ！

ecc**ler さん

#13 フランスにはまった徳川慶喜 2001/ 8/23 22:47 [No.2588 / 15915]

ナポレオン 3 世からおくられた、軍服を愛用し、フランス料

理にご満悦だったとか。

豚一將軍のニックネームもあります。

ryozanpaku_69 さん

#14 酒にはまった足利義量 2001/ 8/24 2:55 [No.2589 / 15915]

室町幕府の 5 代將軍、足利義量は、満 15 歳の若さで父の義持から將軍職を譲られました。若くして酒びたりになり、満 17 歳で世を去りました。

酒にはまった原因は、この時代にはもう將軍の権力が弱体化し、有力武将の発言力にように幕府が動かされる状況からの逃避でしょうか？

義量の死後、なり手が無いので、義持が法体のまま、將軍としての政務を執ったといいますが、いよいよ家持も最期の時、跡目争いをめぐる、重臣達の抗争を恐れた家持は、後継將軍を指名せず、結局籤引きとなり、当たった弟の義円（足利義教）が第 6 代將軍となりましたが、その後も関東公方足利持氏の反乱や、後に義教も暗殺されるなど、將軍の権威を失墜させる血なまぐさい抗争が続きました。

Rockmonsensan さん

#15 御一新にはまった偽官軍 2001/ 8/24 8:20 [No.2590 / 15915]

草莽の志士を集めて作られた赤報隊は新政府軍の先方として各地で民心の慰撫に当たることを任務としており、「年貢半減」を約束していた。長年の重税に苦しめられた人々は新政府を支持したが当の新政府は財政難よりこの方針を却下。赤報隊隊長相楽以下を偽官軍として処刑したのであった。未来の担い手として使命に燃えていた相楽らの心中はいかばかりか。

NOBUSERIsan さん

#16 早雲にはめられた大森藤頼 2001/ 8/24 10:55 [No.2591 / 15915]

北条早雲は駿河興国寺城を拠点として足利茶々丸を攻めて堀越公方を滅ぼし、

その次は相模に進出しようと考えていましたが、真っ先に控えているのが

堅固で有名な小田原城だったのです。

このころの小田原城主は扇谷上杉氏の重臣、大森藤頼でした。早雲は小田原城を落とすにはまともな方法ではだめだと考え、一計を案じました。

早雲は藤頼に「鹿狩りをしていて鹿が（城の後ろの）箱根山に逃げてしまったので、城内に勢子を入れさせてください」と使いを出しました。

勢子【せこ】とは、太鼓などの鳴り物を持って獲物を追い込む人のことです。

藤頼は「それぐらいならいいだろう」と門を開けさせましたが、

入ってきたのは勢子ではなく、勢子の格好をした早雲の精鋭でした。一気に沢山の武士が

なだれ込み、油断していた藤頼側はなすすべもなく追い出されてしまいました。

こうして堅固な小田原城を手に入れた早雲は、その後ここを拠点とし、本格的に関東進出

を開始するのです。

鷹地照美さん

#17 本多親子にはめられた武闘派 2001/ 8/24 12:32 [No.2592 / 15915]

こんにちは

家康の松平時代から数々の武功を挙げてきかした

本多忠勝、井伊直政、榊原康政(徳川四天王)ら、武闘派も

大阪の陣で豊臣家が滅び、徳川幕府が成立するや

平和な時代を迎え、幕府からも遠ざけられてしまいました。

華々しい戦功も、本多正信、正純親子の策略で、踏みにじられました。

政治屋達が幅を利かす世の中になっていきます。

そんな本多親子も父正信亡き後、正純も酒井、青山達の策略にはまり

改易の憂き目にあいなりはりました。

KISSME_PLAY さん

#18 儒学にはまった綱吉 2001/ 8/24 13:21 [No.2593 / 15915]

江戸時代の初期、綱吉の頃までは戦国の名残とも言うべき荒々しい気風が残っていて、諸侯を集めて自分の講義を聴かせるほど、儒学を中心とした学問にはまっていた綱吉は、そうした気風を一掃し、王道政治を樹立しようと躍起になっていたようです。

でも、それが現実をとらまえずに行われたため、人心を捉えることは出来ず、結果的には「犬公方」と渾名される暗愚な将軍のイメージを残すだけになりましたが....

hui*_k さん

#19 F D R の策略にはまった日本 2001/ 8/24 15:33 [No.2594 / 15915]

最近「真珠湾の真実」なる本が刊行されましたが、F. D. ルーズヴェルトとその側近たちが、大きな悪、すなわちナチスを叩くのに必要な世論を醸成する目的で、日本がアメリカ本土に攻撃を仕掛けるように追い込んでいくことを画策し、きわめて周到綿密な計画の下に英蘭との協調により日本を繰り返し挑発し、資源の補給を阻止し、日本は対米戦に向かって着実に追い込まれ、さらに、日本の通信はほぼ完全に解読され、真珠湾への攻撃やその為の調査が行なわれていることもすべて認識しながら、その情報は真珠湾駐留の海軍には秘匿され... という形で、F D R の策略にすっかりはまった日本は真珠湾を奇襲し、アメリカ海軍は二千人も命を奪われる、というかたちで、アメリカの大戦参戦への世論がようやく形成されることとなります。

hui*_k さん

#20 池にはまった近松 2001/ 8/24 20:09 [No.2595 / 15915]

赤穂浪士の討ち入りメンバー近松勘六。戦闘中敵に切りつけられ泉水にどっぼん。享年34歳。

daw*_*さん

お題：華族に列せられた人 2001/ 8/24 21:48 [No.2596 / 15915]

前のお題が20件になりましたので、また新しく挙げさせていただきます。

明治の新政府は、土農工商制度を廃し、四民平等を謳いましたが、王制復古によって地位を回復した、元公家の権威付けや、幕府の崩壊の崩壊で藩主の座を失った大名などの面目を保つなどの理由で、彼らや、政府への功労者に、特権階級として、「華族」の地位を与えました。

今度のお題は、明治初期の華族制度制定から、日本国憲法によってそれが廃止されるまでに、華族（公爵・侯爵・伯爵・子爵・男爵）に列せられた人物を、20人上げていただけるようお願いします。

レスの中に、その人の履歴を語ることで、その家系の、かつての公家、大名としての活躍ぶりや、当時の日本への貢献ぶりなどを教えていただけると幸いです。なお、華族は世襲制ですが、1つの家の人物をレスしたら、同じ家系の先祖や子孫で同じく華族の人は、出来るだけ避けるようにお願いします。

#00 幣原喜重郎

太平洋戦争敗戦後1ヶ月目に、東久邇宮に代わって首相になりました。男爵の地位にあり、当用漢字に「爵」の字が入っているのは、日本国憲法公布の際の大臣の署名に、彼が「男爵・幣原喜重郎」と記していて、憲法に載っている字は、覚えなければというのが理由のようです。

（ちなみに「朕」も公布文で昭和天皇がこうな名乗っているため当用漢字です）

Rockmonsensan さん

#01 徳川家達 2001/ 8/24 22:37 [No.2597 / 15915]

確か田安家の出で、駿府に隠退させられた慶喜の後を受けて、もはや将軍ではなくなった徳川宗家を継いだ、通称「十六代様」。

慶喜よりもずっと早く、諸侯とともに華族に列せられ、公爵として貴族院議長などのそれなりの要職を務めました。

いちど東京市長に推されたときは、「それは江戸町奉行のよ
うなものだな」ということで断ったそうです。

hui*_k さん

「はまった」お題の御礼 2001/ 8/24 22:41 [No.2598 /
15915]

またまたヘンテコなお題にお付き合いいただいて有り難う
ございます。

今回もあらためて皆さんの知識の奥の深さを思い知らされ
る結果となり、感激しまくっています。

ひとつ忘れてました。

#番外 歴史にはまった人々

わしらじゃ....

hui*_k さん

#02 男爵千家尊福（たかとみ） 2001/ 8/24 22:58 [No.2599
/ 15915]

千家氏は、北島氏とともに、代々出雲大社の神官を務める家
系で、かつては出雲国造、更にさかのぼれば大国主命を祖先
とする家柄ですから、国を譲った側です。

明治政府では重要な神社の神官のいくつかは男爵になって
いるようで（ただしそれ以上にはならなかったようです）、
千家尊福も男爵として、埼玉県令などの職を勤め（東京市長
かなにかも勤めたはず）、行政官としては有能で篤実だった
そうです。

それと並行して、大社教を組織し出雲信仰を少し新しい形で
普及しようともしています。

hui*_k さん

#03 侯爵 蜂須賀家 2001/ 8/25 1:28 [No.2600 / 15915]

蜂須賀小六の家系。

阿波徳島の殿様の家柄。

明治後、侯爵。

蜂須賀家の当主のだけだったかは忘れましたが、明治帝に謁
したときにテーブルの

葉巻を何本かポケットに入れたのが帝にバレて、「先祖の血

は争えんな」と、笑われたらしい。

sau**noke さん

#04 侯爵 東郷家 2001/ 8/25 1:36 [No.2601 / 15915]

続けて失礼します。

薩摩の東郷平八郎の家です。

バルチック艦隊を撃破した功でしょうか？侯爵になってま
す。

陸軍の大山巖公爵と比べると見劣りがする気がするが戦前
の働きを考えるとこんなものかという感じ。

息子は植木職人で、侯爵の植木職人として当時有名になった
らしい。

曾孫が防大から自衛隊にはいったとのこと。

遠洋航海でどっかの国の港で「トーゴの曾孫だ」というこ
とで歓待をうけたらしい。

sau**noke さん

#05 公爵 徳川慶喜 2001/ 8/25 16:03 [No.2602 / 15915]

朝敵の汚名を着せられ長く、謹慎の日々をすごしましたが、
明治維新を平和的に解決させた功績により、明治天皇への謁
見がゆるされ、公爵の位を賜りました、徳川宗家は家達が相
続し、慶喜は新たに静岡で別家をおこしました。

ryoanpaku_69 さん

#06 伯爵 勝安芳 2001/ 8/25 17:24 [No.2603 / 15915]

勝海舟のことです。

江戸城無血開城後は、徳川家の後見人的な役割を担ったほか、
軍艦奉行の経験を生かしてか、海軍を中心に政府の官吏とし
て枢要な地位にありました。

hui*_k さん

#07 伯爵 後藤新平 2001/ 8/25 17:25 [No.2604 / 15915]

元は医師だったのが、暴漢に襲われ負傷した板垣退助を治療
したときに誘われて内務官僚（今の厚生省にあたる職掌）と
なり、後に満鉄総裁や東京市長、内相として、植民地経営や
震災後の帝都の復興に手腕を発揮します。

「大風呂敷」と渾名されるほど壮大なプランを好んで持ち出
す人で、築地の昭和通は彼の50m道路の計画が実現した例
だそうです。

また、輸送力増強のため鉄道をすべて標軌に変更する彼の案
は、票田に鉄道を延ばすことを優先する政友会に潰され、前
後東海道新幹線でようやく実現したときには関係者が彼の
墓前に報告したそうです。

hui*_k さん

#08 男爵 渋沢栄一 2001/ 8/26 11:30 [No.2605 / 15915]

現在の埼玉県深谷市の百姓の子に生まれ、一橋慶喜の家臣に
なり、維新後は近代経済の発展に尽力した人。

本来、爵位は民間人とくに百姓出の人間などには、なかなか
縁遠いものだが、渋沢はその中でも稀有な存在。

kuma_taro_7 さん

#09 男爵 荒木貞夫 2001/ 8/26 13:43 [No.2606 / 15915]

時代が降るとともに政治家や軍人も家族に列せられるよう
になり、真崎甚三郎と並ぶ皇道派の首魁、荒木陸軍大将も男
爵に叙せられています。

hui*_k さん

#10 男爵 西竹一 2001/ 8/26 13:44 [No.2607 / 15915]

こちらの場合は、父が元外務大臣の男爵西徳二郎で、麻布で
生まれ父の死で十歳で男爵を継ぎました。

一中、陸士を経て軍人になり馬術を始めますが、上官の車を
馬で飛び越えたり、サイドカー付きハーレー・ダヴィットソ
ンを乗り回し、カメラや銃に凝り、流暢に英語を使いこなし、
という豪快で奔放なお坊ちゃまだったそうです。

陸軍中尉としてロサンゼルスオリンピックの大賞典障害飛
越で優勝し、諸外国からも尊敬を受ける存在となりました。
大戦末期には硫黄島の守備に当たり、上陸作戦にあたったア
メリカ軍は「バロン・ニシ」の存在を知っていたために、こ
の英雄を惜しんで再三マイクで投降を呼びかけたそうで
すが、従わず戦死しました。自刃したとも言われています。

hui*_k さん

#11 伯爵 大隈重信 2001/ 8/26 15:23 [No.2608 / 15915]
肥前藩出身、初代大蔵卿に就任早稲田大学の創始者でもあります。

Huis_K さま、バロン西考えていましたが、先を越されてしまいました。

ryozanpaku_69 さん

#12 男爵 川田龍吉 2001/ 8/26 15:48 [No.2609 / 15915]
イモ男爵！

1856 年生まれ。

北海道の農業に大きな功績があった。

日本で最初に自動車を輸入したのもこの方らしいです。

明治 41 年(1908)にイギリスから数種類の種いもを購入。函館市郊外の七重（現七飯町）の成田惣次郎に試作させ、好成绩をおさめたものを付近の農家が自分の畑に植え、しだいに近隣へ栽培が広がった。品種名がわからなかったので、導入者の川田男爵にちなんで「男爵薯」と呼ばれるようになった。

男爵イモは ホクホクした食感が人気です。反面煮崩れしやすいので、形を残したい料理にはメイクインが向いています。

コロッケ、ポテトサラダや、煮込んで煮溶かしてしまいたいとき（シチューやカレーの下ごしらえ）に向いています。川田家については、目下調査中。

うーん。前に読んだ『華族誕生』はどこへしまったかなあ。。。

spat さん

#13 陸爵真田幸民 2001/ 8/26 15:58 [No.2610 / 15915]

こんにちは

大いに悩ませられる問題ですね(へー)

2 日かかって調べました。

関が原では、父(昌幸)弟(幸村)と快を分ち

徳川方についた真田信幸。

そのお蔭で、松代藩藩主となります。

本多忠勝から貰った小松姫の間に、優秀な子が育ち

幕末 1 2 代まで子爵から陸爵へと繁栄。

KISSME_PLAY さん

「陸爵」とは... 2001/ 8/26 16:25 [No.2611 / 15915]
見慣れないので調べてみましたら、「しょうしゃく」と読み、「昇爵」と同じ意味のようです。

したがって、「子爵から陸爵」というのは、「伯爵」か何かに昇進したことを意味するようです。

前に挙げた「後藤新平」の場合も、台湾経営の功績で「男爵」に叙され、また「子爵 後藤新平」というサインがあったと聞いたことがあるので、一段階ずつ「陸爵」されたようです。

「徳川家達」などは、はじめっから「公爵」ですが。

hui*_k さん

1 4 男爵 山川浩 2001/ 8/26 16:33 [No.2612 / 15915]

会津戦争時、軍制改革の遅れた会津藩で洋行の経験をかわれ 2 3 歳で軍事総督となり籠城戦を指揮。維新後は旧土佐藩谷干城の推薦で陸軍に出仕、旧会津藩差別の強い中で少将にまで出世した。その後教育の場に軍隊式の規律を導入しようと考えていた森有礼の要請で東京師範学校、東京高等女子師範の校長を勤める。ランドセル、学生服、X 年 X 組 X 班という軍隊的システムの導入、修学旅行の長期遠距離化を行った。明治 2 3 年貴族院議員となり谷干城、曾我祐準とともに辛らつに政府を批判したことから「貴族院の三將軍」と呼ばれる。明治 3 1 年 1 月 2 6 日閣議で男爵が授けられる。

また東京帝大総長となった弟健次郎も大正 2 年に男爵となっている。

daw*_*さん

#15 伯爵 伊藤博文 2001/ 8/26 19:37 [No.2613 / 15915]

長州の貧農の子として生まれ、足軽の養子になりましたが、松小村塾で頭角をあらわし、初代総理大臣になりました。後、初代朝鮮総督府総監にも就任、ハルビンで暗殺されました。

kos*uuya*h*nab*shi さん

#16 侯爵 尚泰 2001/ 8/26 21:10 [No.2614 / 15915]
琉球王朝第 19 代王で、しかも最後の琉球王となった尚泰【しようたい】です。

明治政府は廃藩置県の際、琉球をとりあえず鹿児島管轄下に置きましたが、

琉球が清朝と冊封一朝貢関係（※）にあったため、それが問題となって、

日本は琉球を自国の領土だと公に示す必要があると考えました。

そこで明治政府は、琉球王、尚泰を東京へ呼び出し、華族に任ずると宣告しました。

しかしこの時は琉球を県とするところまではいかず、琉球藩として政府の直轄地

とするにとどまりました。しかもそれは名目上だけであり、実際には中央集権国家の

枠に組み入れることは出来ませんでした。

ところが同じ頃、台湾で、琉球国に属する宮古島の人々が遭難してしまい、何十人もの

琉球人が原住民に殺されるという事件が起き、それを口実に日本は台湾を攻めました。

そしてその紛争の調停国となったイギリスが、「日本国属民である琉球の人々を殺害

されたための報復として台湾を征伐するのは道理である」との見解を示したため、

琉球は公に日本国と認められてしまった形になったのです。これを受けて清も宮古島の人々を日本国属民と認めたので、

明治政府は今度は堂々と

琉球に廃藩置県を受け入れるよう要求しました。

このため琉球では親日派と反日派に割れました。特に反日派は同士を集め、

清に援軍を求め、日本との戦いも辞さずという覚悟でした。ところが、もとより清は

琉球を日本と認めてしまったので援軍が来るはずもなく、琉球および尚泰は、

沖縄県設置の命を受け入れ、尚泰は首里城を明け渡し、侯爵

の称号を与えられて

東京で暮らすことになるのです。

※冊封一朝貢関係【さくほう（さっぽう）ーちょうかんかんけい】

貢ぎ物を中国王朝に献上し、皇帝に自分の国家の支配権を追認してもらうこと

麿地照美さん

#17 公爵 近衛文麿 2001/ 8/26 23:58 [No.2615 / 15915]

明治維新を迎えて間もなく、華族制度が設けられた時、公家のうち最も家格が高く、藤原氏北家の流れをくみ、代々摂政・関白に就任する資格を持つ、五摂家はすべて当初から、最高位の公爵となりました。

その中でも最高位の近衛家には、その家格の高さを感じさせる、逸話がいくつか残っています。

明治から大正にかけて首相を務めた、西園寺公望の別荘を、近衛家の一族の、当時貧乏学生だった近衛忠麿が訪れたところ、清華家の出身で、家格の低い西園寺は、息子くらいの年齢に忠麿を、平身低頭して「本日は、藤原家の氏の長者においでいただき、身に余る光栄でございます」と挨拶した話。近衛家の雛人形は、段の上に順番に乗っているのではなく、畳の上に平らに並べてあって、「どうしてですか」と人が尋ねたら、「うちの家は、他の家の者を上にあげてまみえる事がないのでね」と答えた話。

この文麿が戦後、「うちの財産もだいぶ戦火で焼かれてね」というので、「今度の戦争で？」と問われたら、「いや、平安時代の保元・平治の乱で」と答えた話。

近衛家では、明治維新後に、篤麿が初代となり、その地位を文麿が相続し、彼は太平洋戦争開戦前夜の日本では、国民に絶大な人気を集め、3度にわたり首相として組閣しますが、日中戦争の泥沼化や、日米関係の悪化による、陸軍からの開戦への圧力の高まりに堪えられず、3度とも途中で政権の投げ出しをします。

戦争末期、終戦工作を図り、和平の仲介のためソ連訪問も予定しましたがかなわず、戦後は戦犯として逮捕が決まり、その直前に服毒して命を絶ちました。

Rockmosen さん

#18 侯爵 西郷従道 2001/ 8/27 0:46 [No.2616 / 15915]

明治維新の立役者でありながら、征韓論をめぐる対立などで、盟友の大久保利通とたもとを分かち、西南戦争で鹿児島の上野原に最後を迎えた、西郷隆盛の実弟です。

明治7年の台湾攻撃の際は、当初船や人員を貸与して協力するつもりだったアメリカが、急に局外中立する事になり、政府は攻撃中止を命令しましたが、彼は無視して攻略を断行しました。

さらに明治18年には海軍大臣となり、草創期の海軍の整備を行なって「海軍育成の父」と呼ばれ、日清戦争時にも最高指導者として活躍したほか、内務大臣や枢密顧問官も歴任しました。

彼が東京に建てた邸宅は、当時としては珍しい優美な西洋館で、後に重要文化財に指定され、現在も愛知県の明治村に保存されており、だいぶ前に近代建築を特集した記念切手にも取り上げられました。

なお兄隆盛も、明治の後半に名誉回復がなり、息子の西郷寅太郎が侯爵に列せられています。

Rockmosen さん

#18 細川護貞 2001/ 8/27 0:56 [No.2617 / 15915]

熊本の細川家は侯爵に列せられました。

侯爵は、公家では七清華、徳川では御三家に相当で、諸侯では秋田のS氏、金沢のM氏、広島のA氏、高知のY氏、佐賀のN氏などですから、石高+維新貢献度>百万石といったところが相場でしょうか。

侯爵として最後の当主護貞は京都大学出身で、(たしか) 貴族院議員として、岳父近衛文麿の首相秘書官として、戦時中の難しい局面で努力したようで、日記は当時の状況を知る上での一等資料のひとつのようです。

元首相細川護熙氏は護貞の長男で、京都大学を受験した裏にはこの父のイメージがあるのか、それとも祖父近衛文麿の方か....

次男の忠輝氏(護熙氏の弟さん)は文麿の息子が暗殺されて

跡継ぎがいなくなった近衛家を継ぎ、今はたしか日赤のエライさんです。

細川家の家宝の多くは「この前の戦争」で焼けてしまったそうです。

「この前の戦争」とは、「前の前のお題」の戦争です。

hui*_k さん

#20 公爵 山県有朋 2001/ 8/27 1:29 [No.2618 / 15915]

新記録の8個目です。

明治軍国政府の基礎を作ったとも言えますから、毀誉褒貶半ばするところもあるでしょうが、それでも、山県と伊藤が、あうんの呼吸で軍と内政をコントロールしていた日露戦争までは、日本も幸福だったのかもしれない。

日露戦争以降は、日本中が浮き足立ってしまい、沈着冷静な良識派児玉源太郎でさえ調子に乗ったことを言い出すようになるほどだったそうですから、年を取ってしまった山県には、血気盛んな若い連中の暴走を押さえることが出来なくなったのかもしれない。

hui*_k さん

お題：「〇〇の父」「△△の母」 2001/ 8/27 1:30 [No.2619 / 15915]

今回はトレンドに乗って日本史、世界史どちらも可のお題にします。

ある分野で先駆的な業績を上げたことから、

「〇〇の父」あるいは「△△の母」の異名を持つ人物を20人挙げてください。

ただし、「父」か「母」に限ります。

「兄嫁」「大伯父」「小姑」なんて言うのは今回はNGです(次回はないだろうな...).

#番外 イタリアオペラの父ヴェルディ

ワグナーと同世代のイタリアのオペラ作家ヴェルディは、ナブッコ、椿姫、リゴレット、トロバトーレ、アイーダなど、

オペラ好きのイタリア人に数多くの名作を残し、
今なおイタリア人に最も愛される芸術家のひとりで、
どんな町にいても "Via Giuseppe Verdi" (ジュゼッペ・ヴェルディ通り)
という通りが結構あります。
作曲家のお題参加したかったなあ...
hui*_k さん

#19 子爵 海江田信義 2001/ 8/27 1:32 [No.2620 / 15915]
明治陸軍の至宝となるはずだった大村益次郎を暗殺した(と、
いわれている)この男も華族に列せられ子爵になっています。
維新の志士の中でこの男だけは気味悪く好きではありません。
というか、島津家の茶坊主あがりなので志士と呼べるかは疑問
なのですが・・・
この男のせいで、陸軍が戦術と火力に重点をおく大村益次郎
の思考から、いわば精神論と組織の統制を
重視する山県有朋の考えに転換してしまったことは本当に
残念です。
hya*u*en_*hoki*さん

#01 ヨハン・シュトラウスⅡ 2001/ 8/27 12:57 [No.2621 / 15915]
こんにちは Huis K さま(^-^)
何時も何時も、ほんまいつも
盛り上げてくれるはっておおきにです。
歴題の連載も感謝！！につきます。
例題が番外になってはたんで
これもどうか？
真っ先に思いついたんで
出しておきます。
父子2代に渡って、【ワルツの父】と呼ばれはりました。
【美しき青きドナウ】
ヨハン2世もこの曲には当初はそれほど愛着がない様子でした。
しかし、オーケストラ用に手直しされて演奏されるやいなや

この曲は爆発的にヒットし
シュトラウス家のペットのオウムでさえ覚えてしまうほどの
大ヒット曲となり
今では「オーストリアの非公式国歌」とまでいわれるよう
になりました。
こういう話も残っています。
ヨハンの妻アデーレが、ひそかにこの曲の素晴らしさを見抜き
乗り気でないヨハンの楽譜カバンにこっそり楽譜を入れは
って
そのままヨハンは演奏会に行きました。
そして演奏終盤でアンコールを聴衆に要求されはって
たまたま合唱用の【美しき青きドナウ】の楽譜があったので
「まあええわ」の感覚でオーケストラのみで演奏したら聴衆
は大喜びして大ヒットとなった。
という話です。

KISSME_PLAY さん

#番外 藤原道綱の母 2001/ 8/27 14:12 [No.2622 / 15915]
『蜻蛉日記』の著者
藤原兼家の2ゴウさん。ちなみにこの日記には3号さん他
登場。歌を作るのも名人級でいろいろな歌合せに出演しまし
た。
さらに、たいへんな美人だったんですって。
hitomi212001 さん

#02 高柳健次郎 2001/ 8/27 15:15 [No.2623 / 15915]
やはり私としてはこの御方を挙げておかなくは。
高柳健次郎(1899-1990)
静岡県浜松市生まれ。日本ビクターの副社長、技術最高顧問
等を歴任。
テレビ技術の向上と後継者育成に多大な貢献をしたため、
「テレビの父」と呼ばれる。
高柳は東京高等工業学校(現東京工業大学)を卒業した後、
ラジオ放送の原理を応用し、
音声を送れるのなら映像も送れるはず、という義経的発想で

テレビの研究を始めました。
浜松高等工業学校(現静岡大学工学部)で助教授を務める傍
ら、現在のテレビ方式である
電子式テレビを共同研究にて発明した後、NHK 技術研究所
へ出向。昭和15年に開催される
はずだった東京オリンピック中継準備に当たります。が、し
かし、戦争のためあえなく
中止。高柳も一時、兵隊に取られてしまいます。
この時の戦争によるテレビ研究中断が、後に大きな影響を与
えます。
戦後、日本ビクターに入社し、研究部長として再びテレビ研
究を開始しました。
昭和25年にはNHKが試験放送開始。その後、本放送に向
けて準備を始めます。
ところが、伝送方式をNHKと日本電子機械工業会(EIAJ)
との間で日本方式で
放送することがほぼ決定していたのに、郵政省が、研究で先
行している
アメリカ方式(NTSC)を取り入れることを強引に決定して
しまいました。
郵政省は、日本方式のほうがアメリカ方式より優れていると
は知らなかったそうです。
このため本当はもっときめ細かい放送を楽しめるはずだっ
た機会を、その後現在まで
逸してしまったわけです。
その後高柳は常務取締役などを務め、自分の後継者の育成に
当たる一方、テレビ技術の
更なる向上に貢献し、世界トップレベルに引き上げました。
1990年に91歳で亡くなるまで、その生涯はまさにテレビに
捧げた一生だったといえます。

うっ、シュトラウス出されてしまった(^-^; 私も最初に思っ
ついたので。
確かⅡ世が「ワルツ王」でⅠ世が「ワルツの父」ではなかつ
たでしたっけ？
磨地照美さん

#03 日本陸軍の父 大村益次郎 2001/ 8/27 16:25
[No.2624 / 15915]

一介の医者だった村田蔵六は、書物からの知識だけで軍隊を組織、またそれを率いることで倒幕を実行してしまう。

それは明治になって陸軍として引き継がれる。

近代陸軍となると、ドイツから招かれたメッケルを父として呼ぶ様です。

彼は自分の教え子が清と戦争に突入したとき、すぐさま「勝利おめでとう」と電報を打ったとか。

日清戦争はメッケルの予想とおりの結末を迎えます。

クイズ パンチ de デートさん

#04 歴史の父 ヘロドトス 2001/ 8/27 23:53 [No.2625 / 15915]

歴史で父ときたら「歴史の父」ヘロドトスでしょう。

紀元前5世紀ギリシアの歴史家。ペルシア戦争の歴史を軸に、東方諸国の歴史・風土、ギリシア諸ポリスの歴史を記したその著「歴史」物語的歴史の典型とされる。

「エジプトはナイルの賜物」の言葉も有名ですね。

c6h14o6 さん

#05 近代絵画の父 マネ 2001/ 8/28 11:01 [No.2626 / 15915]

マネで有名なのは「草上の昼食」。

なぜか普通の格好をした男のとなりに、裸の女のひとがいます。

これが発表された当時はかなり不評を買っていた様です。こういった挑戦的な態度が”父”と呼ばれたのでしょうか。

ぼちぼちでんな～さん

#番外 国父 島津久光 2001/ 8/28 11:25 [No.2627 / 15915]

斉彬と藩主の座を争った久光は斉彬の死後藩主になれませんでした。

替わりに息子を藩主にして自分は藩主の父、国父とよばれました。

斉彬の側近、西郷隆盛は自分の主君は斉彬という考えを変えず、久光にとっては目障りな存在だったでしょう。

逆に大久保利通はさっさと久光に乗り換えました。

こんなところも、大久保の不人気かな。

ryoanpaku_69 さん

お題に追加「○△王」 2001/ 8/28 16:32 [No.2628 / 15915]

実は20人もいるのか全く自信がなくて、

進みが悪かったら加えようと考えていました。

「○○の父」「△△の母」と呼ばれる人のほかに、

先駆的業績により「○△王」の異名を取る人も

加えさせていただきます。

ただしホンモノの「王」はNGです。

hui*_k さん

#06 発明王 2001/ 8/28 16:49 [No.2629 / 15915]

エジソン

nom*c*p さん

#07 不動産王 ドナルド・トランプ 2001/ 8/28 18:39
[No.2630 / 15915]

番外のような気がします、勇気の投稿！

でも結局彼は破産したんですって？

クイズ パンチ de デートさん

#08 破壊王 織田信長 2001/ 8/28 18:42 [No.2631 / 15915]

比叡山焼き討ちにとどまらず、中世の古い考えをすべて破壊いたしました。

ryoanpaku_69 さん

#09 近代看護の母 ナイチンゲール 2001/ 8/28 18:49
[No.2632 / 15915]

マトモな投稿もしておきます。

クイズ パンチ de デートさん

>#08 破壊王 織田信長 2001/ 8/28 18:53 [No.2633 /

15915]

橋本ではなく？

nom*c*p さん

#10 電力王 福沢桃介 2001/ 8/28 20:45 [No.2634 / 15915]

福沢桃介 (1868-1938)

埼玉県比企郡 (現川越市) 出身。福沢諭吉の娘と結婚して婿養子となる。

晩年はマダム貞奴と共に 20 年近く過ごしました。

福沢桃介は、今で言えば青年実業家、とでも呼ばれていたかもしれません。

買った株はすべて値上がりし、損をしたことは一度もないといわれます。

そうして儲けた金を元手にし、いくつもの事業に手を染め、時には失敗もしましたが、

おおむね成功させていったなかなかの人物です。

明治末期には電気事業を始め、まず目をつけたのは木曾川。大正に入って、

名古屋電灯 (現中部電力) 顧問就任。木曾川水系に 7 つの水力発電所を建設しました。

後に大同電力 (現関西電力) を設立し、木曾川河口に日本初のダム式発電所、大井発電所

が完成しました。これは主に電力が足りない関西地方へ向けて 200km もの距離を

送電線で結ぶという大工事になりました。

このようにして日本の水力発電の第一人者となった福沢桃介は、後に「電力王」と

呼ばれるようになります。

磨地照美さん

#11 電力王 松永安左エ門 2001/ 8/28 20:48 [No.2635 / 15915]

もう一人、電力王を挙げます。

松永安左エ門 (1875-1971)

長崎県壱岐郡出身。長男として生まれたため、家業の回船問屋を継がなくては

ならなかったのですが、それを蹴って上京し慶応大学に入学しました。

そこで福沢桃介と出会い、一生涯を通じて共に電力事業に携わることとなります。

本当は「電力の鬼」のほうが有名です。一部の書に「電力王」とか「電力の父」とか

紹介されていますが。

松永安左エ門は大学中退後、福沢桃介と共に福松商会を設立しますが、あえなく倒産。

しかしくじけず、これからは国の発展のために尽くすと奮起し、福岡県福岡市に

福博電気軌道会社（西日本鉄道）を福沢桃介と共に設立し、後合併して福沢桃介から

九州電灯鉄道を任されます。

1922年には福沢桃介が経営するいくつかの電力会社と九州電灯鉄道を合併して東邦電力

を設立しました。このとき福沢桃介は伊丹弥太郎を社長に、松永安左エ門を副社長に

指名し、自分は名目上は身をひいた形になりました。

1925年に、松永は早川電力と群馬水力を傘下におさめ、両社を合併して東京電力を設立。

この東京電力は周辺の小会社を吸収しながら関東に勢力を拡大していきました。

その後、東京電燈と対立しましたが、三井銀行の仲立ちで両社は合併し、東邦電力が

新会社の大株主となり、松永は東邦電力の社長に就任します。ところが昭和12年、内閣調査局が電力国家管理案を発表、

松永は5大電力会社の長として

政府に猛烈な反対論を展開しました。が、折しも戦争に突入していた時期であり、

昭和17年(1942年)にはついに国家総動員法を適用されて配電事業の国家管理が決まって

しまい、ここに東邦電力その他の民間電力会社はすべて解散してしまいます。

後、松永は国家管理となった電力事業から手を引き、隠遁生活に入りました。

いつも長文ですいません。なぜかこのところ長文傾向です。なかなか短い文にまとめられず苦勞しています。

次はもう少し短く紹介するよう努力してみます。

鷹地照美さん

#12 特撮の父 円谷英二 2001/ 8/28 21:20 [No.2636 / 15915]

1901～1970

戦前は、戦争映画の航空シーンを撮影し、戦後、「ゴジラ」の特撮を担当したことで、世界に

その名を知られるようになった映画監督。

この方がいたからこそ、現在の私たちが怪獣映画を（洋画・邦画を含め）楽しめると言ってもいいかもしれません。

福島県須賀川市に、今年、西端100周年を記念して、記念館が出来るような情報も

ecc**lerさん

#番外 ウルトラの父 2001/ 8/28 21:24 [No.2637 / 15915]

ウルトラマンAにいきなり登場した時は、

「なにこれ？」と思った。

ヒッポリト星人を突き飛ばし、ブロンズ像になったAを復活させ、そのあと簡単にやられちゃう！

強いんだか弱いんだか？

追伸：このお題なら仮面ライダーは難しかろう。

ecc**lerさん

#13 原子力の父 アインシュタイン 2001/ 8/28 23:19 [No.2638 / 15915]

検索をかけて見たら、この人が一部で原子力の父と呼ばれているのが分かりました。

しかしこの人は、第2次大戦末期の原子爆弾の完成が、自らの理論によってもたらされたのを悩んで、戦後は日本の湯川秀樹らとともに反核運動に晩年を送りました。

ちなみに、あの読売新聞社を発展させた正力松太郎も、「原

子力の父」と一部で呼ばれているそうです。

Rockmonsénさん

#14 医学の父 ヒポクラテス 2001/ 8/28 23:40 [No.2639 / 15915]

古代ギリシアの医者。経験的知識に基づく医術を主張して、医道の基礎を確立。

西洋医学の祖とされる人物ですね。一方、東洋医学の祖とされるのが、神農という中国伝説上の王。江戸期日本の漢方医は神農を祀る神農祭なんてものやっていたんですが、先進的な蘭方医はそれに対抗して、ヒポクラテスの画像を掲げてオランダ正月（西暦の正月）を祝ったりしていたようです。c6h14o6さん

#14 ロケットの父 フォン・ブラウン 2001/ 8/28 23:48 [No.2640 / 15915]

この人は、第2次大戦中に英国などを攻撃したドイツのロケット兵器、V1号、2号の開発に携わっていましたが、戦後ソビエトから逃れて、アインシュシュタインと同じくアメリカに亡命し、後にアメリカが月への着陸を目指した「アポロ計画」の最高責任者になります。

アポロ11号が月に着陸した頃は小学1年。

あの頃の宇宙をテーマの学習マンガなどでは、21世紀始め頃には、ドーナツ型の宇宙ステーションが出来て、月にはドームに覆われた基地ができるように描かれていたように思いますが、最近はそういう夢のある話はめっきり聞かれないですね。

「ロケットの父」と呼ばれる人は、他に1920年代に最初の液体ロケットの開発に成功したロバート・ゴダード、ロシアで同じく液体燃料ロケットの研究を重ねたツオルコフスキー、そして日本で初めてペンシルロケットの打ち上げに成功した糸川英夫氏も、日本のロケットの父と呼ばれています。

Rockmonsénさん

↓#15です。と、お題「華族に・・・」御礼 2001/ 8/28 23:59

[No.2641 / 15915]

遅くなりましたが、前のお題の、「華族に列せられた人」のレスありがとうございます。一時投稿ペースが伸びないので心配しましたが、皆さんにまたまた知識の披露をいただき、「男爵芋」の考案者や、琉球王家からの受爵の経緯など、勉強になりました。今後ともよろしく願います。

Rockmonsensan さん

#番外 創世王 2001/ 8/29 0:15 [No.2642 / 15915]

「ウルトラの父」私もレスしたかった・・・
仮面ライダーシリーズでは「父」「母」のキャラクターは出てきませんが、「王」としては、1987～8年の作品「仮面ライダーBLACK」で、ゴルゴムの創世王が登場します。大幹部の3神官や、怪人たちを従えて、人類を滅ぼし地球征服を企てる秘密結社ゴルゴムの支配者で、生まれて5万年目で命が尽きるため、その後継者として、2人の若者を選び改造人間とし、戦って勝利した者に後継がせようとするが、一人が仮面ライダーになって、最後に倒されます。

Rockmonsensan さん

#番外 白覆面の魔王・デストロイヤー 2001/ 8/29 0:21 [No.2643 / 15915]

かなり古いですが、日本のプロレスの基礎を築いた、力道山と、その死の直前に死闘を演じましたが、私がプロレスをもっぱら見るようになった頃は、すっかり善玉になって、日本側になり、バラエティー番組の「うわさのチャンネル」に出演して、ヘルメットにバミューダという格好で、ゲストのタレントに4の字固めをかけて、悲鳴をあげさせたりしていました。今は引退したのかな？

Rockmonsensan さん

#番外 仮面ライダーの父 2001/ 8/29 1:00 [No.2644 / 15915]

こういうのは、だめかな...

<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=m&boa>

rd=1835208&tid=a4a2a4na1d3za4

7a4afnrbbka4nocal1a2a47a4dea4bba4sa4aba1a9&sid=1835208&mid=2087

hui*_k さん

#15 トルコの父 ケマル・パシヤ 2001/ 8/29 6:22 [No.2645 / 15915]

1881-1938

第一次大戦の敗北後国家存亡の危機にあったトルコに現れ、トルコの独立と近代化に尽くした人物。議会よりアタ＝トゥルク（トルコの父）と呼ばれた。

NOBUSERIsan さん

#17 郵便の父 前島密 2001/ 8/29 8:30 [No.2646 / 15915]
ケマル・パシヤが#16、これが#17ですね。

前島密(1835-1919)

越後国頸城郡津有村（現新潟県上越市）出身。前島家の養子となり前島姓を名乗る。

明治4年にイギリスで郵便制度を学び、帰国後、駅通頭（今で言うと総務大臣）に

任ぜられ、郵便制度を整えました。

明治35年には男爵の称号を受けます、ってこのお題はもう終わってる？

前島密の肖像画は一円切手にもなっていますよね。

磨地照美さん

#18 鉄道の父 井上勝 2001/ 8/29 8:32 [No.2647 / 15915]

井上勝(1843-1910)

萩藩（現山口県萩市）出身。

1863年に、井上馨、伊藤博文らと共にイギリスへ密航し鉄道について学びます。

帰国後、木戸孝允に推されて明治4年に鉄道頭、次いで鉄道庁長官（今で言うと

国土交通大臣）に就任しました。日本初の鉄道、新橋－横浜間を指揮したのも井上です。

井上は鉄道国有論者でしたが、これが民間鉄道会社の反発を

招き失脚してしまいます。

しかしその後、明治39年「鉄道国有法」が公布され、後、鉄道院顧問になっています。

磨地照美さん

#18 石油王 J. D. ロックフェラー 2001/ 8/29 12:50 [No.2648 / 15915]

ライバル企業は潰せで、有名な人ですね。

大富豪の名をほしいままにした初代ロックフェラーですが、プライベートではめったに散財せず、昼食は安レストランですませ、父親のおさがりの服を着ていたとか。ある時、ホテルで「一番安い部屋を」と言ったところ、支配人が「息子さんは、いつも最上の部屋に泊まっておられますのに」と不思議がったのに対し、「息子には私という金持ちの父親がいるが、残念ながら私にはそんな親はいないからね」と答えたそうです。

mogamiyosi さん

#20 PC 王 ビル・ゲイツ 2001/ 8/29 12:57 [No.2649 / 15915]

今わたくし達がこうやってモニターを通して会話できるのも、彼の業績他ならないですね。

mogamiyosi さん

お題：名前の読みに「タカ」のつく人物 2001/ 8/29 14:44 [No.2650 / 15915]

久しぶりに Huis_K(R)系のお題、

「よし」「のぶ」「まさ」に続く第4弾で

息抜きなさってください。

名前の読みに「タカ」のつく人物で、範囲は日本史と世界史両方にします。

苗字に含まれても、名前に含まれても、OKです。

両方にまたがっていてもOKですが、外国人で名前が先にな

る場合は
その順番で両方にまたがっている場合に限りです。
連濁で「ダカ」になるものはNGとし、あくまでも「タカ」のみです。
日本人で、苗字のみに含まれる場合は、その後同じ苗字はNGとします。
(ただし、名前にも含まれる場合はOKとします)
今回は趣向を変えて「タカ」の部分をカタカナにしてみました。

hui*_k さん

#01 タカ橋是清 2001/ 8/29 14:44 [No.2651 / 15915]
たしか下級の幕臣の庶子として生まれ、売られるようにアメリカに渡り、
帰国後は日銀に入り日露戦争の外債の募集に手腕を発揮し、
13億円を集めて元老連中を瞠目させ、頭角をあらわしました。
政治家としてその業績は大きく、浜口や井上のような大学上がりの秀才が
古典派経済学に凝り固まって失敗を繰り返していたこの時代に、
高橋は、ケインズ以前のケインジアンと呼ばれるように、
深刻な不況下で赤字公債を発行したり、フリードマンのマネタリズムを
先取りするかのように紙幣を増刷したりしてインフレ政策を進め、
金融恐慌や昭和恐慌などをよく乗り切ったと言われています。
昭和天皇もこの老人に大変な信頼を寄せ、半ば敬愛していた
そうで、
二二六事件で高橋が殺されたときには怒りに打ち震えたそうです。
ということで、以降「高橋」姓はNGですが、
名前にも「タカ」が含まれればOKです。
hui*_k さん

#02 木戸タカ允 2001/ 8/29 17:10 [No.2652 / 15915]
明治の三傑の一人。長州のリーダー。雅号は松菊。
明治以前は桂小五郎。この頃は剣客として名前が売れ、その
名声を武器に政治活動の中心になっていく。
明治新政府では、どうも愚痴ばかり言っていた印象がありません。
幕末に幕府に追われていた時期が長かったので、ストレスからノイローゼになったのかも。
nom*c*p さん

#03 西郷タカ盛 2001/ 8/29 17:24 [No.2653 / 15915]
これまた明治の三傑。薩摩のリーダー。雅号は南洲。
明治以前は吉之助ほか。薩摩藩主島津斉彬に登用され、政治
の表舞台に出る。大久保一蔵(のちの利通)らと薩摩を倒幕派の主流にする。
西郷自身も江戸開城などを、その人徳と名声により成功に導く。
明治新政府では、重鎮として活躍。特に岩倉使節団が欧米に行っている間に、
困難な事業を行う。岩倉使節団が帰国した後は、大久保利通と対立。
征韓論をめぐる意見対立と言われているが、実際は政府の主導権争い。
これに西郷は敗れ、薩摩に戻る。この時、薩摩の兵卒の多くが西郷に従い
薩摩に戻った。そして、明治10年の西南戦争に。
nom*c*p さん

#番外 タカ・田中 2001/ 8/29 17:36 [No.2654 / 15915]
日本人初の野手のメジャーリーガー。
「メジャーリーグ2」「メジャーリーグ3」に出演。
石橋貴明の怪演振りが受けた(笑)
kazusige_k さん

#番外 タカ木ブー 2001/ 8/29 19:36 [No.2655 / 15915]
雷神。(嘘)
b_blue_hearts さん

#04 宗タカ親王 2001/ 8/29 19:44 [No.2656 / 15915]
鎌倉幕府6代将軍。
今年の大河ドラマでぴかーの怪演(太平記の鶴太郎に匹敵す

るキャラだと思う)で、一躍メジャーな存在に。
「あらしゃいませぬか〜」
慇懃無礼に罵倒するときびつたりの言い回しです(笑)
b_blue_hearts さん

#05 タカ岳親王 2001/ 8/29 19:58 [No.2657 / 15915]
平城天皇の皇子で、譲位のさいに弟嵯峨天皇の皇太子に。しかし、
父親が女に「はまった」(笑)のために、叛乱へ。その責任を取らされて、
廃太子に。そのショックゆえか、唐・天竺を目指す旅にでたまま、
帰らぬひととなってしまいました。>今年の大河ドラマでぴかーの怪演
(太平記の鶴太郎に匹敵するキャラだと思う)で、一躍メジャーな存在に。
激しく同意!
tokacyan さん

#06 西宮右大臣源タカ明 2001/ 8/29 20:08 [No.2658 / 15915]
醍醐天皇の皇子で、藤原師輔の娘を娶ることで右大臣にまで昇進。
しかし、師輔没後の「安和の変」で失脚、これまた筑紫に配流となります。
右大臣になってから失脚というあたりは、菅公と同様。もともと、
程なくして京に帰還しますが、出仕はせず隠居生活をおくったまま
亡くなりました。岡野玲子「陰陽師」では、どじょう髭の人物で描か
れています。
tokacyan さん

#番外 ガダルカナル・タカ 2001/ 8/29 20:52 [No.2659 / 15915]
タケシ軍団に一員。
奥さんはフリーアナの橋本志穂
kos*uya*h*nab*shi さん

#07 柴タカつ家 2001/ 8/29 22:04 [No.2660 / 15915]
柴田勝家
両方にまたがっている数少ない人です。
苗字に「田」がつくと「だ」になってしまうことが多い。

武田勝頼・・・NG
黒田官兵衛・・・NG
鷹地照美さん

#07 タカ村智恵子 2001/ 8/29 22:12 [No.2661 / 15915]

明治19年5月20日、安達太良山を望む、現福島県安達町の、この地方随一の造り酒屋を営む、長沼家の長女として生まれました。

幼い頃から学業優秀で、福島的高等女学校から日本女子大に進学し、卒業後は女流油絵画家として活躍し、当時創刊された、平塚らいてう主宰で、日本の女性解放運動の黎明として名高い、雑誌「青鞥」の創刊号の表紙の絵を描いています。この頃に、当時新進の彫刻家、詩人、歌人、そして評論家でもあった高村光太郎と知り合い、29歳で結婚しました。

しかし、幸せな結婚生活は長続きせず、実家の長沼家が破産して、一家離散したこともあってか彼女は徐々に精神分裂の兆候をあらわし、光太郎は全国の温泉地を回って療養に努めました。病状は進行し、入院していた東京の南品川ゼームス坂病院で、昭和13年10月5日、52歳の生涯を閉じました。

7、8年前、安達町の、智恵子の実家を復元した記念館を訪ねましたが、晩年の智恵子が、ただ夫の光太郎のためだけの目的で製作した、紙の切り絵が多く展示され、「智恵子抄」や多くの詩で感じられる、光太郎の側の、妻の心の病などものともしない、愛情の深さと合わせ、実は幸福な夫婦だったのではないかと思いをはせました。

智恵子の「東京には空がない」という有名な台詞には、まだ公害という言葉など存在しない確か大正の頃に、物質文明の発展と、環境の破壊を感じ取っていたのかと、非凡な洞察力を感じます。

Rockmosen さん

「父」「母」「王」のお題御礼 2001/ 8/29 22:13 [No.2662 / 15915]

気まぐれなお題でご迷惑をおかけしました。

「〇〇の父」なんてなかなかとっさには浮かばないものです

ね、
ネットでめぼしいところを当たってみたら、ゾロゾロ出てきました。

単にHP作成者がそう呼んでいるだけというものもありますが、
とりあえず並べてみます。

【外国人】

インド独立運動の父：マハトマ・ガンディ

アフリカ独立運動の父：エンクルマ

アイルランド共和主義の父：トーン

フランスロマン主義の父：シャトーブリアン

中国革命の父：孫文

ロシアマルクス主義の父：プレハーノフ

ロシア革命の父：レーニン

キューバ革命の父：ホセ・マルティン

チプロ運動の父：スンダルラル・バフグナ

スリランカ農村開発運動の父（サルボダヤ運動の創始者）：

A・T・アリアラトネ博士

アメリカ自然保護運動の父：ミューア

チェコ音楽の父：ドヴォルザーク（スメタナはチェコ民族楽の祖）

進化論の父：ダーウィン（まんまやん）

近代哲学の父：デカルト

音楽の父：J. S. バッハ

ストア学の父：アンセルムス

ロシア文学の父：プーシキン

英詩の父：チョーサー

ルネサンスの父：ペトラルカ

トルコ人の父：ケマル・アタチュルク

近代神学の父：シュライエルマッハー

東亜植物の父：マキシモヴッチ

モダンデザインの父：ウィリアム・モリス

オランダ近代建築の父：ベルラーヘ

近代ロケットの父：ロバート・ハッチソン・ゴダード

近代サーフィンの父：デューク・カハナモク

英国陶工の父：ジョサイア・ウェッジウッド

印刷の父：グーテンベルク

自動車の父：カール・ベンツとゴットフリート・ダイムラー

【お雇い外国人】

日本近代登山の父：ウォルター・ウェストン

日本近代河川改修の父：デ・レイケ

近代日本建設の父：フルベッキ

近代日本考古学の父：モールス

近代医学導入の父：ベルツ

近代西洋医学の父：フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト

日本近代医学の父：ポンペ

日本美術の父：フェノロサ

【日本人】

日本の近代資本主義の父：渋沢栄一

郵便の父：前島密

民族学の父：澁澤敬三

日本の植物分類学の父：牧野富太郎

日本映画の父：牧野省三

日本近代の父：西周

宮崎興した観光の父：岩切章太郎

近代製鉄の父：大島高任

日本洋画の父：浅井忠

日本エスペラント運動の父：小坂鴉二

日本の労働組合運動の父：高野房太郎

日本の社会主義運動の父：堺利彦

図書館活動と青少年読書運動の父：中田邦造

近代日本洋画の父：黒田清輝

日本警察の父：川路利良

近代スポーツの父：岡部平太

日本民俗学の父：柳田國男

アジア主義思想の父：岡倉天心

学生野球の父：飛田穂洲

日本の印刷の父：本木昌造

日本近代彫刻の父：朝倉文夫

近代俳句の父：正岡子規

水彩画の父：大下藤次郎

近代空手道の父：船越義珍

日本近代眼科の父：河本重次郎

ちなみに、「母」は

アルゼンチンの母：エヴィータ・ペロン

近代看護の母：フローレンス・ナイチンゲール

くらいしか見つかりませんでした。

「王」は多そうなので割愛します。

パパがいっぱい！

hui*_k さん

#08 足利タカ氏 2001/ 8/29 22:41 [No.2663 / 15915]

室町幕府初代将軍です。

もとは高氏でしたが、鎌倉幕府滅亡後、後醍醐天皇のイミナ（尊治）をもらい尊氏と改称しました。

京都博物館にある、尊氏の肖像とされる、有名な騎馬武者像は最近、足利尊氏ではなく、高師直とする説が有力です。

kos*uya*h*nab*shi さん

#09 タカ峰譲吉 2001/ 8/29 22:49 [No.2664 / 15915]

安政元年（1854年）に、加賀藩の御用医師の長男として、高岡に生まれました。

少年時代に長崎や、維新後に英国へ留学したのを経て、明治10年代にはアメリカに渡り、まず人工肥料を開発して、後に日本農業の恩人と呼ばれるようになりました。

その後は、高峰式の醸造法を発明し、人工的にウイスキーを醸造する事に成功したのですが、これはウイスキーの既存の醸造業者から猛反発を受け、製品化は断念する事になります。しかし、この時に使われたコウジの中から、彼は食物の消化を促進させる酵素、ジアスターゼを抽出する事に成功し、これを消化薬「タカ・ジアスターゼ」として販売せ、大成功を収めました。

さらに彼は、この収益で設立した高峰研究所で、副腎で生成されるホルモン「アドレナリン」の抽出にも成功し、これは止血剤として使われるだけでなく、これをきっかけにホルモンの学が発展する基礎を築きました。

そして現在の「理科学研究所」や「三共」の設立にも携わっ

ています。

さらに彼は、アメリカに永住し、アメリカ人の妻と結婚して、日露戦争時にはアメリカ政府に両国の講和条約を開かせるための運動にも携わりまして、日露戦争の「無冠の大使」とも呼ばれています。

Rockmonsén さん

#10 細川藤タカ 2001/ 8/29 22:50 [No.2665 / 15915]

幽斎といったほうが通りがよいでしょう。

足利義昭を救出し、のちつかえましたが、のち見限り、織田信長に使えました。

本能寺の変でも明智光秀の誘いを断り、籠城いたしました。息子が細川忠興。

kos*uya*h*nab*shi さん

↓ #10です。 2001/ 8/29 22:51 [No.2666 / 15915]

次は#11からどうぞ。

Rockmonsén さん

番外 高井菜緒 2001/ 8/29 22:51 [No.2667 / 15915]

ワンダフル・ガールズの1人。

trampledunderfootloose さん

次は12から 2001/ 8/29 22:52 [No.2668 / 15915]

気が合いますね。

(^^)

kos*uya*h*nab*shi さん

次は#12です。 2001/ 8/29 22:52 [No.2669 / 15915]

たびたびすみません。

Rockmonsén さん

#番外 タカ田繁 2001/ 8/29 23:08 [No.2670 / 15915]

1968年、ドラフトのくじ運がめっぽう悪い巨人軍が、珍しく2番くじを引き、彼は明治大学から入団を果たしました。背番号8。

デビュー年には新人王となり、その後も1番柴田、2番高田の俊足コンビは、巨人軍のV9に貢献しました。

少女時代の雅子皇太子妃は、この人の大ファンだったというのは有名です。

長島監督になってからは、左翼手から三塁手にコンバートされ、見事にこなさきって注目されましたが、現役時代は短く、王選手と同じ1980年に引退しました。

その後、日本ハムの監督を経験した後、現在は解説者と思っていたら、巨人の2軍監督をしているんですね。今回初めて知りました（笑）

Rockmonsén さん

#番外 タカ見山大五郎 2001/ 8/29 23:16 [No.2671 / 15915]

1972年、大相撲史上初めての、外国人力士としての幕内優勝を果たしました。

後に帰化し、ジェシー・クハウルアから、渡辺大五郎に改めています。

横綱輪島にはめっぽう強く、ほぼ互角の対戦成績でした。

末期は足腰が弱くなり、投げ技でよく土俵に転がされたりしていましたが、長持ちして40歳まで現役でした。

布団や某船舶振興会のCMで、ユニークなキャラクターを見せていました。

Rockmonsén さん

#12 小幡タカげ憲 2001/ 8/29 23:47 [No.2672 / 15915]

小幡景憲（おばた かげのり）もしくは通称の、小幡勤兵衛（おばた かんべえ）、どちらでも姓と名にまたがってタカが入ります。

軍学者のハシリですかね。「甲陽軍艦」を集大成して、甲州流軍学の祖とされる人物です。

c6h14o6 さん

#14 小早川タカ景 2001/ 8/30 0:19 [No.2673 / 15915]

こんばんは(へーへ)

えらい盛り上がりですね〜。

さすがわ Huis さま

1533年～1597年

毛利元就の三男で、小早川氏の養子となり、兄の吉川元春と共に

「毛利の両川」として毛利氏の勢力拡大に活躍しはった。

厳島の合戦では、小早川水軍を率いて活躍してはる。

豊臣政権時代には五大老として諸大名の信望を集めはった。

外交能力に長け、秀吉が一族の秀秋を毛利の跡取りに据えようとしたときも

防波堤となってその野望を阻止し、秀秋には小早川氏を継がせて

本家毛利氏を守ってはる。

KISSME_PLAY さん

番外 陶晴カタ 2001/ 8/30 0:36 [No.2674 / 15915]

1521年～1555年

陶家は周防守護代の家柄。

若き大内義隆の後見人であった父・興房の後を継ぎ義隆に仕えはる。

毛利家の吉田郡山城が尼子軍に攻められたときは大内の援軍の将として

尼子軍を倒すことに成功。

これに続く出雲出兵では先陣切って働くが敗北。

これ以降・主家大内家は文治政治による貴族・軟弱化の色を強めはる。

その風潮に、冷泉隆豊らとともにこれを諫めるが聞き入れられず

ついにクーデターによる改革を決断。

隆房謀反は3年に渡って噂されるも、主君義隆は己を討とうとしない。

ついに、1551年、義隆側近、相良武任を排除、主君大内義隆を大寧寺で自害させ

大友家との密約にしたがい、大友宗麟の弟・大友晴英を大内家養子に迎いいれはる。

これを機に、隆房は晴賢と改名、大友晴英は大内義長と名乗りはった。

しかし、この大内家の内乱を遠くから見ていた毛利元就は静観のふりをして影では偽密書による工作で、重臣江良房榮を晴賢に殺させたりしている。

石見遠征中に、毛利軍は厳島周辺を奪取。

毛利元就は厳島に城を築くが

「厳島の宮ノ尾城は重要な拠点じゃ」とっていた舌の根も乾かないうちに

「厳島に城を築いたのは間違いであったかのお」とまわりにぼやく。

陶の間者がいる前であった。

また元就は重臣・桂元澄を偽装内通させ、陶軍の目を厳島にむけることに成功。

厳島を攻めた陶軍、しかし城は落ちない。

そのうちに毛利軍は嵐を衝いて村上水軍の協力により島に渡り

陶軍の背後に廻ることに成功。

奇襲された陶軍になす術はなく、五倍もの兵力差はあつという間に覆った。

晴賢は自刃しはって、大内家は2年後滅亡することとなる。

KISSME_PLAY さん

#14 毛利タカ元 2001/ 8/30 0:41 [No.2675 / 15915]

1523年～1563年

毛利元就の長男として生まれる。

15歳のとき、大内義隆の人質として山口へ赴く。

そこで、吉田郡山城への援軍を義隆に要請したりと、活躍してはる。

1546年に元就から家督を譲られるが、戦略は父がずっと考えていったようである。

隆元が戦略について無為無策なわけではなく

元就があふれんばかりの発想を持ちすぎていたからであろう。

主に内政方面や家中の取り締まりで活躍しはった。

しかし、それは非常に目立たない行為で、父・元就には常に遠慮していかねばならなかった。

隆元急死後、その内政や家中引き締めを他の重臣が担当した

ところ、うまくいかなかった。

毛利家が隆元生存時にほどの落ち着きを見せるのは長じた弟・小早川隆景がその役目を担うのを待たねばならなかったのである。

KISSME_PLAY さん

番外 クリス・タッカー 2001/ 8/30 0:45 [No.2676 / 15915]

映画俳優だが

・・・こういうのを待ってるのかな？

NOBUSERIsan さん

#15 タカ司輔熙 2001/ 8/30 6:10 [No.2677 / 15915]

鷹司輔熙（たかつかさすけひろ）。安政の大獄で処分された公卿です。

nom*c*p さん

#16 たか杉晋作 2001/ 8/30 6:20 [No.2678 / 15915]

高杉晋作。長州の志士。吉田松蔭の弟子。29才で死んじゃいました。彼が生きていたら明治新政府でどんな働きをしたでしょうね。大久保利通と対立し前原一誠の代わりに萩の乱を起こしそう。そうになったらエライ事になりそうですね。萩に高杉、薩摩に西郷…。国内の統制が取れず、日本崩壊…。おおげさですね。

nom*c*p さん

#番外 タカタカシ 2001/ 8/30 7:55 [No.2679 / 15915]

たかたかし

初めは新聞記者などの職を転々としていましたが、青島幸男との出会いがキッカケとなり

放送作家となりました。その合間に美川憲一などの作詞を手掛けたりしていましたが、

「陽はまた昇る」「情熱の嵐」あたりからヒット作品が出始めたため、本格的に

作詞家としての活動に入ります。「あしたのジョー」などアニメ主題歌から演歌まで

幅広く作詞を手掛け日本歌謡界の父と呼んでもいいでしょう（その題は終わってる？）。

世が世なら、男爵の称号ぐらい授けられていたかもしれません（それも終わってる！）。

鷹地照美さん

#番外 ジャパネットたか〇 2001/ 8/30 7:57 [No.2680 / 15915]

あまりネット銀行のことを知らない人に「ジャパンネット銀行」の話をする

「ジャパネットたか〇」と勘違いされることがあります。

鷹地照美さん

#17 タカ木兼寛 2001/ 8/30 10:45 [No.2681 / 15915]

「ブー」さんが番外だったのでいちおうOKということで、森鷗外よりやや年長の軍医で、日本で最初に医学博士の称号を得た人。

イギリス留学の経験から、臨床や経験を重んじる医療を主張したそうで、

海軍の水兵に多かった脚気の対策として、ドイツ医学を信奉する森鷗外が

「伝染病説」を墨守しようとしたため、あたら多くの若い命を失って

いったののに対して「栄養説」を唱え真っ向から対立し、最後は白米を

麦飯に代えて脚気の追放に成功します。

P.S.

「父」の件で、リストアップしながら出し忘れていたのを追加します。

イギリス実験音楽の父：カーデュー

現代音楽の父：ストラヴィンスキー

無線電信の父：マルコーニ

国際法の父：グロチウス

赤十字の父：アンリ・デュナン

国際連盟の父：ウィルソン

国際連合の父：コーデル・ハル（ハルノートで知られるアメ

リカの国務長官）

近代物理学の父：ガリレオ

物理学の父：ニュートン

近代演劇の父：イプセン

ロシア音楽の父：グリンカ

蒸気機関の父：ワット

蒸気機関車の父：トレビシック

ヘブライ語の父ベン・イエフダー

コンピュータの父：チャールズ・バベッジ

近代歴史学の父：ランケ

近代経済学の父：サミュエルソン

アメリカ映画の父：D. W. グリフィス

近代外科の父：パレ

hui*_k さん

#18 タカ倉天皇 2001/ 8/30 21:00 [No.2682 / 15915]

80代天皇。

後は平清盛の娘、健礼門院徳子

安徳天皇の父で、平家に利用されていました。

kos*uaya*h*nab*shi さん

#19 タカらの皇女 2001/ 8/30 22:09 [No.2683 / 15915]

宝皇女。皇極天皇の時に、大化の改新がおきました。その後、孝徳天皇の後に重祚して、斉明天皇に。

この辺が、古い方でしょうか？

神代ならば、高御産巢日神（タカみむすびのかみ）が一番古いでしょうね。

qch*nn*im*uto さん

#20 タカ野長英 2001/ 8/30 22:17 [No.2684 / 15915]

意外にもこの人、トピが始まって以来レスされるのは初めてではないでしょうか？

文化元年（1804）仙台藩の水沢留守家の家臣、後藤家に生まれ、後に母の実家の

高野家に入り、伯父の高野玄斎の養子となりました。

17歳で江戸に上がって蘭学を学び、さらにシーボルトが長

崎を訪れた時、彼を慕って長崎に渡り、鳴滝塾で蘭方医学を学びました。

その後は、江戸で町医者、蘭学者として活躍をしましたが、1837年の米商船モリソン号の来航にあたり、幕府が日本人漂流民の送還の目的で江戸湾に入ったのを、「外国船打払令」の原則によって撃退したのを、「一度漂流民の受け渡しを受けた上で、鎖国を主張して交易は断ればいい」と、穏健的な対応策を著書「夢物語」で主張したところ、蘭学者の取り締まりを強めていた幕府に、渡辺崋山等とともに捕えられ、（蚕社の獄）無期懲役に当たる永牢の刑を受けました。

入牢後4年、小伝馬町の牢屋敷が火事になり、長英は解放されたまま戻らず、逃亡の日々を送りますが、この脱獄には、手下に放火を指図して行なった、計画的犯行という有力な説もあるそうです。

その後は、東北から関西まで全国を回り、硝石で顔焦がし、人相を変える事までしたといいますが、ついに嘉永3年（1850）10月30日、江戸で南奉行所の縛吏に捕えられ、喉を突いて命を絶ちました。享年46歳。

その4年後には、ペリーの浦賀来航で、日本の夜明けを目前にしての最期でした。

Rockmonsén さん

#20 タカ倉下 2001/ 8/30 22:25 [No.2685 / 15915]

高倉下、たかくらじ。

熊野で神武天皇に太刀をあげた人。

これが、一番古いかも？

qch*nn*im*uto さん

お題：歌枕 2001/ 8/30 22:29 [No.2686 / 15915]

久しぶりにお題出します。

歌枕となった土地を挙げてください。本文には、作品を必ず書いてください。できれば、出典も。

歌枕とは、和歌に詠まれた土地のことです。作者が実際にそ

の土地を訪れていなくても結構です。短歌に限らず、長歌、旋頭歌でも、・・・ついでに俳句もOKとします。

お住まいになっているところか、出身地で、マイナーな場所が出てきたら、うれしいです。

#00 埼玉の小崎沼 (埼玉県行田市)

前玉 (さきたま) の小崎の沼に鴨ぞ羽きる

おのが尾に降りおける霜をはらうとにあらし
(さきたまの小崎沼で鴨が羽をきっている。自分の尾に振りつもった霜をはらっているのであろう) (万葉集巻九・1744)
私の出身地の近くです。小さいころには、ちゃんと風情のある沼があったように記憶していますが、今はどうなっているかなあ・・・

すぐそばに、辛亥銘鉄剣の出た埼玉古墳群があります。

qch*nn*im*uto さん

#01 松島や... 2001/ 8/30 22:50 [No.2687 / 15915]

「歌枕」と聞いて、「そりゃあ、むつかし過ぎませ」と思いましたが、
俳句まで含めて詠まれた土地、とのことで、一気に勢いづきました。

とはいえ、とりあえずは、メジャーなところから....

「松島やああ松島や松島や」というのは弟子の曾良の歌だとか、全然後から作られたとか... いろいろあります。

hui*_k さん

0 1 待兼山 2001/ 8/30 22:56 [No.2688 / 15915]

現在の大阪府豊中市。大阪大学のキャンパスになっています。

「待ち兼ねる」という意味から、多くの歌が詠まれているそうです。

枕草子にも、「山は待兼」という一節が。尤も、清少納言が、実際に待兼山を見たとは考えにくいという話ですけどね

「夜をかさね待ちかね山の郭公雲みのよそに一声ぞきく」
(周防内侍・新古今和歌集)

ちなみに、ここでワニの化石が発掘されたので、「マチカネワニ」

ついでに、馬主がこの辺の人かどうか知りませんが、「マチ

カネ」の冠号の競走馬も

「マチカネワラウカド」「マチカネフクキタル」 e t c
さすがにこの御題で「ウルトラシリーズ」や「仮面ライダーシリーズ」の番外は思いつかん。

ecc**ler さん

↓ # 0 2 です 2001/ 8/30 22:57 [No.2689 / 15915]

よろしく

ecc**ler さん

#02 白河の 2001/ 8/30 22:58 [No.2690 / 15915]

白河の清きに魚すみかねて

もとの濁りの田沼こひしき

松平定信の寛政の改革を皮肉った狂歌です。

狂歌もOK？

kos*uya*h*nab*shi さん

#03 明石の海 2001/ 8/30 23:00 [No.2691 / 15915]

春の海 ひねもすのたり のたりかな

与謝蕪村 (与謝野蕪村) の俳句だと教わりました。

hui*_k さん

↓ #04 です。 2001/ 8/30 23:01 [No.2692 / 15915]

活気付きましたね。

hui*_k さん

ごめんなさい、春の海は、NGで・・・ 2001/ 8/30 23:17 [No.2693 / 15915]

すみません！

掛詞になっていてもいいですが (待兼山のように)、地名が作品に入っていないものは歌枕になっていませんので、NGとさせていただきます。

狂歌は微妙ですが、地名が入ってますので、OKとします。できれば歌枕の所在地 (都道府県・市町村) を書いていただけるとうれしいです。

ついでに、前玉の小崎沼の歌は、高橋虫麻呂歌集からのもの

です。書き忘れてました、申し訳ありませぬ。

qch*nn*im*uto さん

#04 象潟 2001/ 8/31 0:11 [No.2694 / 15915]

象潟 (きさかた) は秋田県象潟町の歌枕。

「奥の細道」にある芭蕉の句

象潟や 雨に西施が ねぶの花

でつとに有名です。

c6h14o6 さん

#05 筑波山 2001/ 8/31 0:35 [No.2695 / 15915]

筑波峯の 峯よりおつる 男女 (みな) の川

恋ぞつもりて 淵となりぬる

陽成院の歌で、百人一首にも入っているのが有名です。

これこそ、ほんまに見たんかい、と言いたくなるようなシチュエーションです。

陽成天皇は、清和天皇と藤原タカイ子との間の皇子で、在位8年ほどの二十歳代で退位させられ、その後は昭和天皇に継ぐ八十年あまりの余生を送った悲劇の天皇です。

偏執病的な性格だとも伝えられますが、こういう人の場合は、その評判は往々にして政治的な歪曲を伴っているものだから、あまり信用は出来ません。

hui*_k さん

#06 宇治山 2001/ 8/31 0:43 [No.2696 / 15915]

わが庵は 都の巽 しかぞ住む

よを宇治山と ひとと言うなり

子供の頃は、これを「鹿が住んでいる」のかと思っていましたが、「こうして (ひっそりと) 住んでいる」くらいの意味なんだそうです。

六歌仙のひとり喜撰法師の歌ですが、実は喜撰法師の歌はこれしか知られていないんだそうです。

それゆえ、六歌仙「怨霊」説なんてのも出てきます。

宇治には喜撰山という山もあり (宇治山と同一なのかもしれませんが)、上質の宇治茶のブランドとしても古くから知られていたそうです。

hui*_k さん

#07 三重県 宮川 2001/ 8/31 14:05 [No.2697 / 15915]

宮川の春たつ空の初風に

うちいづる波の花や散るらん (後鳥羽院)

宮川を渡ると、いよいよ伊勢の神域です。

下流域の土手際に 拙宅があります。

水がキレイです。

今年の、国土交通省 全国一級河川水質調査 で、キレイ順の一位 (北海道の尻別川

・後志利別川、新潟県の姫川と並び) に輝いています。

spat さん

#08 恋の山 燃えるぜ 富士山 2001/ 8/31 14:29 [No.2698 / 15915]

注。 富士山は活火山です。

(古今) 富士の嶺のならぬおもひに燃えばもえ神だに消たぬ空しけぶりを

(後撰) 我のみや燃えて消え南世とともに思ひもならぬ富士の嶺のごと

(後撰) 富士の嶺をよそにぞ聞きし今は我が思ひに燃ゆる煙なりけり

(後撰) しるしなき思とぞ聞く富士の嶺もかごと許の煙なるらん

(拾遺) 千早振神も思ひのあればこそ年へて富士の山も燃ゆらめ

(新古今) 煙たつ思ひならねど人しれずわびては富士のねをのみぞなく

(新古今) 富士のねの煙もなをぞ立ちのぼる上なきものは思ひなりけり

(新古今) 世中を心たかくもいとふかな富士の煙を身の思ひにて

(新古今) 風になびく富士の煙の空にきえてゆくゑも知らぬわが思哉

(後撰) 富士の嶺の燃えわたるともいかがせん消ちこそ知らぬ水ならぬ身は

spat さん

↓ ヱ(>y<)ノ 2001/ 8/31 14:34 [No.2699 / 15915]

ヨソのサイト

コピーで丸写ししてしまっただが、

よくよく読むと 誤字脱字が多いゾ

spat さん

#番外 襟裳岬 2001/ 8/31 16:37 [No.2700 / 15915]

学生のころ、みんなで北海道を廻ったときに、襟裳岬の手前でみんなが「岬には、きっと『えりも岬』の歌の碑があるだろう」というので、

♪風はあ ひゆるひゆるうー 波はあ ざんぶりこ... ♪

と島倉千代子の「えりも岬」を歌ったらチョーひんしゅくを買ってしまいました。

でも、結果はぼくの大勝利でした。

hui*_k さん

#09 田子の浦 2001/ 8/31 18:47 [No.2701 / 15915]

たごのうらに うちいでてみれば しろたへの ふじのたかねに ゆきはふりつつ

山部赤人だが、百人一首で知っているのみです。

子供の頃、「田子の浦は昔はこの歌のようにきれいだったが、今はヘドロの海となっている」と教わりましたが、現在はどうなのでしょう。

クイズ パンチ de デートさん

#10 大宰府政庁近所の 2001/ 8/31 19:40 [No.2702 / 15915]

1234 題知らず 在原業平朝臣

染河を渡らん人のいかでかは色になるてふ事のなからん

tokacyan さん

補足・・・ 2001/ 8/31 19:43 [No.2703 / 15915]

すみません、誤作動で記述途中で投稿してしまいました。

1234 題知らず 在原業平朝臣

染河を渡らん人のいかでかは色になるてふ事のなからん

拾遺和歌集の和歌です。「染河」とは、大宰府政庁の近所にあったとされる川だ toka。おそらくは、政庁に付設されていた工房があり、そこで布の染色が行われていたものとおもわれます。

それにしても、業平朝臣の父親である阿保親王が流されたのが、その大宰府。なんだか意味深のような気が。

tokacyan さん

#11 有度浜(静岡県清水市) 2001/ 8/31 19:55 [No.2704 / 15915]

1300 題しらず さがみ

いつとなくこひするがなるうどはまのうとくもひとのなりまさるかな

鎌倉時代前期の、「新勅撰和歌集」の和歌です。「するが」と「うと」が掛詞というよりダジャレになっているのが特徴です。有度浜とは、三保松原の西にある海岸です。久能山のあたりでしょうか。天女の羽衣で有名ですね。

SPAT1997 さん :

誤字脱字はないです。全て、当時の漢字用法です(^ ^)。

(歌1)消たぬ->「けたぬ」と読みます。

(歌2)消え南->当て字です、「きえなん」と呼んでください。

(歌4)かごと許の->「かごとばかりの」。ちょっと聞きなれないかもしれませんが。

(歌5)千早振->「ちはやぶる」。結構送り仮名を略することがありますので。

(歌8)世中を->「よのなかを」。「の」を略す記載は相当あります。

(歌10)消ちこそ知らね->「けちこそしらね」。

tokacyan さん

#12 能取岬【のとろみさき】 2001/ 8/31 19:59 [No.2705 / 15915]

打はえて 海原かけて 能取岬 かよう汐路の 八百よろずまで

1792年、ロシア使節ラックスマンが根室に、1804年、ロシ

ア使節レザノフが長崎に

それぞれ来航し通商を求めましたが、幕府はさんざん待たせたあげくこれを断りました。

のらくら外交に腹を立てたロシアは、蝦夷に艦隊を差し向けたため、戦となりました。

これと前後する形で、幕府は北辺防備を強化するため、蝦夷地を直轄地とし松平信濃守を

蝦夷巡検使として派遣しました。その時に松平信濃守が網走あたりへ来たときに、松平か、

もしくは随行していた家臣、どちらかは不明ですが、詠んだということらしいです。

なるべくマイナーな場所をとのご要望で、これを選んでみました。

あまり自信ありません・・・まちがってるかも？

麿地照美さん

(^_^) /~~~~~ (>_<) ピシー 2001/ 8/31 20:22 [No.2706 / 15915]

消たぬ

消え南

おおお。

これでよかったんですか。。。

ムチをさらけてしまった。

(^_^) /~~~~~ ヴピシッ！

spat さん

#13 志賀の都 2001/ 8/31 21:02 [No.2707 / 15915]

さざ波や 志賀の都は 荒れにしを

昔ながらの 山桜かな

志賀は現在の天津市

朝敵となった平忠度が詠んだ歌ですが、千載集には詠み人知らずとされています。

ryozanpaku_69 さん

#番外 アメリカ 2001/ 8/31 21:05 [No.2708 / 15915]

武具馬具屋 アメリカさまと

そっといひ ペロリ

ペリー来航時によまれた狂歌（落書）です。

ryozanpaku_69 さん

#14 難波 2001/ 8/31 21:47 [No.2709 / 15915]

露と落ち 露と消えにし 吾が身かな 難波のことは 夢のまた夢

豊臣秀吉の辞世の句

難波はもちろん大坂のこと。

ryozanpaku_69 さん

#15 多摩川 2001/ 8/31 23:49 [No.2710 / 15915]

万葉集、第3390番。

多摩川にさらす手作りさらさらに

なにぞこの子のここだ愛しき

よみ人知らずの東歌ですが、万葉集では唯一の多摩川を取り上げた歌です。

当時多摩川では、武蔵国府へ献上する麻の布を、染め上げた後、川の水にさらす作業をしていたそうで、この歌には、その布がさらさらと川の流に揺れる様子と、その作業を行なう女性を「さらにさらに恋しく思う」という意味をかけていると言います。

私は生まれてずっと、東京は世田谷区在住なので、多摩川は一番馴染みの深い大河（は大袈裟か）でありまして、お題にふるさとを描いた歌をというリクエストもありましたので、取り上げてみました。

ここで晒される布は、大化の改新後に設けられた、租庸調の3租税の「調」として国に納められ、これが東京都内の「調布」市

や田園「調布」の地名の発祥のなったといわれています。

Rockmosen さん

#16 逢坂の関 2001/ 9/ 1 0:24 [No.2711 / 15915]

これやこの 行くも帰るも わかれては

知るも知らぬも あふ坂の関

(出典 後撰集・雑)

有名な蟬丸の歌です。

上代、都の防備のために設けられた三つの関所は三関と呼ばれました。平城京のときは、伊勢の鈴鹿の関、美濃の不破の関、越前の愛発（あらし）の関。都が平安京に移ると、愛発の関が廃され、逢坂の関が置かれました。

c6h14o6 さん

#17 真間（千葉縣市川市） 2001/ 9/ 1 1:12 [No.2712 / 15915]

山部赤人の歌で有名です。

勝鹿の 真間の入江に うちなびく 玉藻刈りけむ 手児名し 思ほゆ

我也見つ 人にも告げむ 勝鹿の 真間の手児名が 奥つき処

「まま」とは崖の意味で、河岸段丘ではないかという話がありました。

下総国葛飾郡真間は『雨月物語』の「浅茅ヶ宿」の舞台でもあります。

hui*_k さん

#18 年魚市潟（名古屋市熱田区） 2001/ 9/ 1 2:15 [No.2713 / 15915]

かつて熱田神宮の北西まで湾が入り込んでいたそうで、その潟湖を

年魚市潟（あゆちがた）と呼び、古代の景勝地だったそうです。

柿本人麻呂

年魚市潟 潮干にけらし 知多の浦に 朝こぐ舟も 沖に寄る 見ゆ

これは「玉津島」が人麻呂に因縁の深い歌枕だそうなので、調べてみようかと万葉集を開いていたら偶然見つけました。年魚市は「愛知」の元になった地名でもあるようですね。

hui*_k さん

#18 唐崎（滋賀県大津市） 2001/ 9/ 1 2:19 [No.2714 / 15915]

樂浪之 思賀乃辛碯 雖幸有 大宮人之 船麻知兼津 （万葉集

巻一・30)

楽浪(ささなみ)の志賀の辛崎幸くあれど大宮人の舟待ちかねつ

柿本人麻呂の歌で、これは長歌の反歌になっています。大津京をしのんだ歌ですが、地名を詠み込むことで人麻呂の政治的立場を表したと言う説も聞いたことがあったような・・・琵琶湖の西岸も、私には懐かしい土地です。

qch*nn*im*uto さん

#20 淡路島 2001/9/12:59 [No.2715 / 15915]

淡路島かよふ千鳥のなく声に

幾夜寝ざめぬ須磨の関守

「金葉集」巻四冬に入った歌という事で、百人一首の一つです。

作者は源兼昌で、源氏物語で光源氏が、須磨に左遷された話を踏まえ、須磨の関の番人の寂寥を語った歌と言われています。

淡路島は、古くからの有名な歌枕という事で、「あわぢ」には、阿波の国へ行く道という意味があります。

古くは記紀で、伊邪那美命が最初に産み出した島の一つとして語られ、奈良時代には、道鏡と恵美押勝の抗争のため、淳仁天皇が流されて、淡路廢帝となる悲劇を生んでいます。

Rockmosen さん

お題：戦国時代の廃城 2001/9/13:27 [No.2716 / 15915]

春高樓の花の宴

めぐる盃かげさして

千代の松が枝わけいでし

昔の光いまいずこ

と、明治の佳曲「荒城の月」の一番を取り上げましたが・・・次のお題ですが、私からも戦国時代をテーマにしたものを出そうと思います。

戦国時代に、落城や、そこに居住していた武将の城替えなど

により、廃された城を20ヶ所、レス頂きたいと思います。条件としては、「戦国時代」はスパンを長く取って、応仁の乱勃発(1467)から大坂の陣終結(1615)までの間、「廃城」の定義としては、落城等によって、武将や家来達がそこを去ったものとし、落城後勝利した武将などが同じ城に居住したものはNGとします。

なお、現在その城が、廃墟のままか、天守閣等が復元されているか等は問わないものとします。

#00 八王子城

現東京都八王子市の、高尾山の北方にある山城で、境を接する甲斐の武田軍からの防備のため建てられ、小田原北条氏の、早雲から数え4代目の、氏政の弟、氏照が城主でしたが、天正18年(1590)の豊臣秀吉の小田原城攻略の際、この城は豊臣軍の猛攻を受け1日で落城となりました。

最近この城が、武者の幽霊が現れる心靈スポットだとTVのワイドショーなどで盛んに紹介され、それに興味を持った若者たちがこの城跡で夜な夜な騒ぎ、標識を壊したりして問題になっているそうです。

Rockmosen さん

#01 津久井(築井)城 2001/9/11:21 [No.2717 / 15915]

津久井湖の南西にそびえる城山(宝ヶ峰)山頂の西側の峰に津久井(築井)城址がある。この城は北に相模川が流れ、南に三増峠、志田山を指呼の間に望み、「呂」の字型の城郭や、放射状に掘られた空堀、溜池として使われた「宝ヶ池」など、典型的な山城としての遺構を残し、歴史的にも重要な文化遺産である。鎌倉時代、三浦大介義明の弟義行は三浦郡北下浦津久井にあって、在名の津久井を称した。その子為行(築井太郎二郎義胤ともいわれている。)が北相の宝ヶ峰に城を築城し、津久井(築井)城と称し、城下一帯を津久井領と称したのが「津久井」の由来といわれる。戦国時代は北条氏の武将内藤景定の居城となった。永禄12年(1569)、城主景豊のとき、三増峠を中心に北条・武田の三増合戦(大山岳戦)が行われ、北条軍が大敗した時、隠沢の武田兵に牽制された津久井勢は武田の行動を眼下に見下ろす城にいながらついに戦うことをせず、山頂から見守るのみであったという。天正

18年(1590)、豊臣秀吉の小田原攻めの時、城主景豊は津久井勢を率いて小田原城の渋取口を固めていたが、津久井(築井)城も徳川の武将平岩親吉、本田忠勝、鳥居元忠ら1万1千の兵に囲まれて落城し、廃城となった。

JR横浜線・京王相模原線 橋本駅より、バスで20分
ryoanpaku_69 さん

#02 近江高天神城 2001/9/113:01 [No.2718 / 15915]

こんにちは

わたしも何度か足を運んだ、近江高天神城。

最寄り駅・・・東海道本線(東海道新幹線)掛川駅

車の場合・・・東名高速掛川ICより県道38号(掛川大東)線約8km。

2つの城域からなる高天神城。

東峰と呼ばれる方は鶴翁山山頂標高132mに本丸をおきその東に三の丸、西に二の曲輪・的場曲輪がつづく西峰と呼ばれる方は

東峰より尾根でつながっており、最高地点128mに西の丸を

その北に西北の丸・堂の尾曲輪を配してはる。

その周囲は天然の要害をなす絶壁の急斜面。

現状は整備されその遺構を偲ぶことができるようになってはる。

またハイキングコースにもなっているので歩きやすくなってはる。

※高天神城を制する者は遠州を制すとまでいわれた、大東町にある高天神城。

高天神城をめぐる攻防は元龜2(1571)年

武田信玄率いる総勢2万の兵の攻撃によって幕が切られました。

元龜2年3月武田信玄来攻に備えて城主小笠原長忠二千騎を以って籠城。

天正2年5月武田勝頼当城包圍猛攻、7月9日開城。

城主長忠武田方に降り城兵東西に分散し、退去。

天正9年3月徳川家康来攻、包圍10ヵ月、城中飢に瀕し

22日夜半大将岡部眞幸、軍監江馬直盛以下残兵800

二手に分かれて城外に総突し激斗全滅した。
23日家康入城、検視。城郭消滅、廃城となる。
KISSME_PLAY さん

#03 諏訪原城跡 2001/9/1 17:07 [No.2719 / 15915]

私からも武田家関係を1つ

最寄り駅は、大井川の渡しや、SLが走る大井川鉄道で有名な、東海道線の金谷駅です。

武田勝頼が馬場美濃守氏勝に命じて天正元年(1573)に築城させた山城。金谷坂の石畳を登りきった右手、牧ノ原台地の高台にたたずんでいます。

徳川との攻防の末、廃城となりました。

昭和50年に重文指定されています。

ecc**ler さん

#番外 黒十字城 2001/9/1 17:14 [No.2720 / 15915]

「秘密戦隊ゴレンジャー」より

悪の組織「黒十字軍」の拠点。

城そのものが移動可能な要塞で、あちこちに出没し、バリドリールン(ゴレンジャーの飛行メカ)に度々攻撃されては逃げ出します。

そしてなんと、黒十字軍の総統、彼の正体は「黒十字城」そのものであった!

つまり生体兵器?

こんな展開、ありかい!

お題主どの、申し訳ない。仮面ライダーもウルトラマンも思いつきません。

ecc**ler さん

#04 羽生城(埼玉県羽生市) 2001/9/1 18:45 [No.2721 / 15915]

故郷の北埼玉郡からマイナーなお城を挙げます。(戦国のネタで参加できた!)

今でも城沼と言われるくらいの湿地にあったお城で、上杉謙信の関東攻略の最前線であったが、天正2年(1574年)北条氏政に攻められ落城。その後、慶長19年(1614年)

最後の城主・大久保忠隣(ただちか)の改易により廃城となりました。

資料が実家に置きっぱなしだ・・・検索では、この程度しかわかりませんでした。ああ、もう記憶のかなたの羽生城!

qch*nn*im*uto さん

歌枕の御礼 2001/9/1 21:15 [No.2722 / 15915]

#01 松島・・・松嶋や鶴に身をかれほとゝぎす 曾良(奥の細道)

#02 待兼山・・・ありがとうございます。

#03 白河・・・都をば霞とともに立ちしかど秋風ぞ吹く白河の関 能因法師(後拾遺和歌集巻九・518)

(#04) 明石・・・天離 夷之長道従 戀来者 自明門 倭嶋所見 柿本人麻呂(万葉集巻三・255)

天(あま)離(さかる)鄙(ひな)の長道(ながち)ゆ 恋ひ来れば明石の門(と)より大和島(やまとしま)見ゆ

#04 象潟・・・今は田んぼの中ですね。

#05 筑波山・・・ありがとうございます。

#06 宇治山・・・ありがとうございます。

#07 宮川・・・ありがとうございます。

#08 富士山・・・ごくろうさまでした。

#09 田子の浦・・・田児之浦従 打出而見者 真白衣 不尽能高嶺余 雪波零家留 山部赤人(万葉集巻三・318)

田子の浦ゆ 打ち出でて見れば 真白にぞ 富士の高嶺に 雪は降りける

#10 染河・・・ありがとうございます。

#11 有度浜・・・ありがとうございます。それから、解説ご苦労様でした。

#12 能取岬・・・うーん?地名だし・・・

#13 志賀・・・左散難弥乃 志我能 [一云 比良乃] 大和太 與 杼六友 昔人二 亦母相目八毛 [一云 將會跡母戸八] 柿本人麻呂(万葉集巻一・31)

楽浪(ささなみ)の志賀の [一云 比良の] 大わだ淀むとも昔の人にまたも逢はめやも [一云 逢はむと思へや] #19の続きです。

#14 難波・・・難波津に咲くやこの花冬籠り 今は春べと咲

くやこの花 王仁(古今和歌集 仮名序)

これくらいしか思いつかない・・・

#15 多摩川・・・ありがとうございます。なつかしいです。

#16 逢坂の関・・・夜をこめて鳥のそらねははかるともよに逢坂の関はゆるさじ 清少納言(後拾遺和歌集巻十六・939)

#17 真間・・・ありがとうございます。

#18 年魚市潟・・・先日、熱田神宮へ行きました。そうなんです、勉強になりました。

#19 唐崎・・・ま、いいや。

#20 淡路島・・・ありがとうございます。

思いつくままに書かせていただきました。

そのほかには、百人一首でも「みちのくのしのぶもちずり」「大江山いく野の道の」etc. 地名なら「奥の細道」でもありますね。

変わったお題にお付き合いいただきありがとうございますでした!

qch*nn*im*uto さん

#番外 風雲たけし城 2001/9/2 11:28 [No.2723 / 15915]

ふううん。。。。。。。

spat さん

↓ #02 とおつあわみ です 2001/9/2 11:31 [No.2724 / 15915]

KISS ME さま～

おわかりとは思いますが

近江(あわみ)ではなくて

遠江(とおつあわみ)です～

spat さん

#05 佐和山城 2001/9/2 11:34 [No.2725 / 15915]

石田三成居城

関ヶ原の合戦の 後片付け戦で、

「東軍寝返り組」連合軍が

わさわさと 襲い掛かりました。

井伊さんが この すぐお向かいに
彦根城を作りました。

spat さん

#06 墨俣城 2001/9/2 17:21 [No.2726 / 15915]

木下藤吉郎の出世物語で有名なこの城も、美濃攻略のあとは
不必要になったため廃城となっています。

いまは、当時には無かった天守閣が聳えているとか。

ぼちぼちでんな～さん

#07 安土城 2001/9/2 20:51 [No.2727 / 15915]

織田信長が天下統一の礎として築いた安土城の跡で、当時、
北西と東が湖に囲まれた天然要塞の地であった。天主閣は 5
層 7 階で、当時最高の人工美を極めたという。しかし 3 年後
の天正 10 年 (1582) 本能寺の変後、安土城も天主閣が焼失
し、今は石垣ばかりが残る。

ryozanpaku_69 さん

#08 一乗谷城 2001/9/2 23:53 [No.2728 / 15915]

前の「応仁の乱に参加した武将」でも、書き込みましたが、
朝倉孝景は、応仁の乱の時期に、主君であった越前守護斯波
氏の内紛に乗じて越前守護の座を奪い、一乗谷に城を構えて
戦国大名化に成功しました。

その後一乗谷は、氏景、貞景、孝景(別人)、義景の計 5 代に
渡って繁栄を続け、

義景は、兄の 1 3 代將軍義輝が殺害され、難を逃れてきた足
利義昭をこの地で庇護し、彼の元服を執り行いました。

その後、織田信長の助力で 1 5 代將軍となった義昭が、信長
と険悪な関係になると、経緯を持つ義景も信長と敵対するよ
うになり、旧交厚い浅井氏と共に、1 5 7 0 年姉川の合戦に
臨むも敗れ、1 5 7 3 年にはついに信長軍に一乗谷に攻め込
まれ、義景は自害、一乗谷はその歴史を閉じました。

1 0 年位前、一乗谷の遺跡を訪れた事があります。

福井より、九頭竜湖へ向かうローカル線「越美北線」の「一
乗谷駅」を降りまして、そこに地元の方が備え付けたレンタ
サイクルで訪れましたが、一乗谷川が左右の山に囲まれた細

長い平野部に、「朝倉館跡」として、広広と湯殿跡庭園や御
殿跡の庭園が広がり、かつては越前の小京都といわれた面影
を垣間見ることが出来ました。

当時は全貌を見損ないましたが、家臣たちの武家屋敷跡や、
やはり廃寺になった大寺院、西山光照寺もこの地域にあり、
現在も発掘調査や復元作業が継続していて、一部武家屋敷が
復元されているそうです。機会があったらもう 1 回訪れた
いものです。

なお、「一乗谷城」そのものは、この朝倉館の背後の、標高
4 7 3 メートルの山上にあるそうです。

Rockmosen さん

#09 躑躅ヶ崎館 2001/9/3 0:34 [No.2729 / 15915]

この館跡は現在の中央本線の甲府駅から、「武田通り」を北
に 3 キロ位の所にあり、現在は武田信玄を祭神とする、武田
神社となっています。

この館が造られたのは、武田信虎が城主の頃の永正 1 6 年
(1 5 1 9) で、その後信玄、勝頼の 3 代の居城でしたが、
天正 9 年 (1 5 8 1)、織田・徳川勢に追い詰められた勝頼
が、韮崎市の新府城を築き、放棄されました。

「人は石垣 人は城」と唱え、山々に囲まれた甲斐の国が、
自然の城塞のような特長もあり、生涯城を築かなかったとい
われる信玄ですが、この館、東西 2 8 3 m、南北 1 9 3 m の
内郭に囲まれ、背後は山に囲まれた自然の要害となっていて、
戦国時代の他の城郭と比べても引けを取らないといわれて
います。

> ECCOOLER さん

確かに、今回はウルトラマンでも、仮面ライダーでも、「城」
が出たケースは、思いつかないですね。「城」がついた人物
で、仮面ライダーストロングの「城茂」はいますが (笑)

Rockmosen さん

[前の 5 件 | 次の 5 件

#10 武州松山城 2001/9/3 12:09 [No.2730 / 15915]

東松山は鎌倉街道と川越街道とが交差する関東の交通の要
衝でもあり、

松山城は扇ガ谷家最後の当主上杉朝定が川越を攻められた
ときに一時

退いて籠った城で、戦国期には太田三楽が依拠し、上杉謙信
の軍を

凌いでよく守りましたが、その後も争奪戦が繰り返され、
最後は

前田利家が落とし、1 6 0 1 年に廃城になっています。

hui*_k さん

#番外 武州私市 (きさい) 城 2001/9/3 12:10 [No.2731 / 15915]

埼玉県騎西にある騎西城は私市城とも書き (大阪の私市【き
さいち】と

関係があるのかな)、上杉謙信が松山を攻める前に攻めたと
ころですが、

廃城になったのが 1 6 3 2 年なので、残念ながら番外です。
hui*_k さん

#11 小谷城 2001/9/3 12:12 [No.2732 / 15915]

浅井氏の居城で、陰阻をもって知られる中世の名城だったよ
うですが、

信長の命を受けた秀吉の激しい攻めにとうとう落城します。
その後秀吉が入城したりもしましたが、ほどなく廃城になり
ます。

時代が変わったということでしょうか。

hui*_k さん

#番外 あき竹城 2001/9/3 17:30 [No.2733 / 15915]

たまにはこういう番外も...

山形出身のズーザー弁の中年の女優さんです。

かれこれ 1 5 年くらい前に、友達が新宿の中華料理屋で食事
をしていたら、テレビ局の取材でこの人が現れ、名物の巨大

な餃子を注文して大騒ぎしながら食べるシーンを撮影し、取
材が終わったら残った巨大な餃子を友達に「食べて良いよ」
と残して去ったそうです。

hui*_k さん

#番外 風雲幻城 2001/9/3 18:44 [No.2734 / 15915]

「忍者戦隊カクレンジャー」に登場する実体の無い城。

普段は天界に通じる亜空間に存在する。

Ginga_red_Ryoma さん

#12 備中高松城 2001/9/3 19:57 [No.2735 / 15915]

天正10年4月、秀吉率いる織田勢3万は高松城を取り囲んだ。宇喜多勢が幾度となく攻めこむが敗退するなどし、そのうち毛利本隊が高松に近づいてきた。苦慮しているところで、黒田官兵衛は秀吉に「水攻め」を提案する。全長3キロ、高さ7.2メートル、底辺幅24メートルの大工事は、12日間で完成(宇喜多勢が動く)、足守川の水を引き入れた高松の地は数日で水につかり、高松城は湖の孤城となった。これには援軍の毛利勢も手が出せず、結果、秀吉と毛利の和議が進む事となる。城主清水宗治は、6月4日城兵と毛利を救うため湖面に小船を浮かべ自刃する。その直後、毛利は6月2日に明智光秀によって織田信長が自害した事を知るが、追撃せず兵を引いた。秀吉は明智光秀を討つべく姫路に向かう。これが有名な「中国大返し」である。

コピペ

ryoanpaku_69 さん

#13 原城 2001/9/3 20:01 [No.2736 / 15915]

明応5年(1496年)、東肥前までも勢力を延ばし当時26万石ともいわれた領主・有馬貴純によって築かれたといわれ、周囲4キロの三方を有明海に囲まれ難攻不落の天然の要害で、本丸・二ノ丸・三ノ丸・天草丸からなり、別名「日暮城」とも呼ばれた美しい城であった。

晴純の代に至り、有馬氏の全盛時代となったが、次第に衰退、義直時代には、佐賀の龍造寺により再三侵略されたが、島津氏の救援で島原沖田暉にて勝利をおさめ、島原半島の南部をкаろうじて維持できた。

有馬晴信が慶長17年(1612年)に岡本大八事件に連座し配流・切腹となり、子直純が再度有馬の地をおさめたが、2年後日向に転封となった。

その後、元和2年(1616年)大和五条より松倉重政が入封、一国一城の令によって島原城(森岳城)を築城したので、日之江・原城は廃城となった。

1637(寛永14)年、この廃城となっていた原城に一揆が籠城した。世にいう「島原の乱」である。

コピペ(手抜きですみません)

ryoanpaku_69 さん

#14 小牧山城 2001/9/3 20:57 [No.2737 / 15915]

永禄6年(1563)織田信長が美濃攻略の為に築き、一時は本拠を移すも、美濃攻略とともにその役目を終え、廃城となる。ところが、秀吉対家康の「小牧・長久手の戦い」で、家康の本陣がしかれ、再び脚光を浴びることに

>お題主殿

赤影とか、変身忍者嵐のストーリーを探せば、どっかに城は出てきそうだけど、「そんなもん、誰が知ってんねん?」ということでやめました。

カクレンジャーまでは知りません(笑)

ecc**ler さん

#14 大河内城 2001/9/3 20:58 [No.2738 / 15915]

三重県松阪市。

伊勢北畠氏の居城。

織田信長の伊勢攻めの時、北畠具教が約1カ月籠城して迎えうった。

その後和睦し、信長の息子、信雄が北畠家の養子に来て、田丸城を本拠にしたので、1569(永禄12)年、廃城。

信長の伊勢侵攻戦って、イマイチ派手さがなくて、テレビなんかでは取り上げられないですよ。

実際は「北畠信雄」「神戸信孝」と、息子を縁組させたりで、寝技あり、投げ技ありの大舞台なんです。。

spat さん

#16 小田城 2001/9/3 23:00 [No.2739 / 15915]

茨城県つくば市。

地元遠州はトピ主さまが書いてくれたし、現住勢州は自分で書いた。

というわけで、次はわが修行地、常陸から。

筑波山のふもとにあります。

でも、かなり見つけにくい。田んぼの中の、小学校の近くに、こんもりとした小山があつて、「神皇正統記」の石碑があります。

鎌倉時代初期、常陸国守護・八田知家によって築城された。この子孫が小田氏を称する。

南北朝時代は、南朝の雄、北畠親房がたてこもり、この地で「神皇正統記」を著したといわれます。

戦国時代の小田城は上杉、結城、佐竹、北条の入り乱れる激戦地。

結局は佐竹氏の所有になります。

慶長7年(1602年)佐竹氏が秋田に転封と同時に廃城。
spat さん

#17 名護屋城 2001/9/4 1:05 [No.2740 / 15915]

天下統一を成し遂げた豊臣秀吉は、それに飽き足らず、中国・朝鮮の征服を企て、ついに文禄元年(1592)4月、15万余りの大軍を持って朝鮮半島に上陸、1598年に秀吉の死によつての撤兵まで、文禄、慶長の2回にわたり、朝鮮半島全土を戦場となし、多大な損害を与えました。

この朝鮮侵略の日本の本土側の前進基地となつたのが、現在は佐賀県の鎮西町にある名護屋城で、当時としては大阪城に次ぐ、17万㎡の規模ながら、加藤清正の設計に

より、諸大名に工事を分担させたその城郭は、わずか5ヶ月で完成したといひます。

城の周辺は多数の諸大名の陣屋で埋め尽くされ、本城では秀吉が、朝鮮半島での過酷な戦闘をよそに、何度も茶の会を催していたといひます。

この名護屋城も、秀吉の死による日本軍の撤兵後は役割を終え、城は取り壊されました。

現在、この城跡周辺では、諸大名の陣屋跡が、史跡として整備され、城跡の入り口には、佐賀県立の名護屋城博物館が設けられています。

Rockmonsen さん

#18 備中高松城 2001/ 9/ 4 3:18 [No.2741 / 15915]

こんばんは

今城巡りの旅から帰って来ました。

清水宗治に魅せられて

何度も通ったお城跡

浮世をば

今こそ渡れ

もののふの

名を高松の

苔に残して

天正十年六月、秀吉の水攻めにより孤立無援となりはった高松城。

城主清水宗治は、五千人の家臣を救うため

秀吉の勸告をのみ、誓願寺の曲舞を舞い。

自刃して果てました。

毎年6月の第一日曜には、備中高松城跡で「宗治祭」が行われています。

廃城となった今でも、宗治の時世の句どおり

清水宗治は400年たった今も、その名を高松に残してはります。

KISSME_PLAY さん

#19 播磨三木城 2001/ 9/ 4 3:41 [No.2742 / 15915]

天正5年に織田信長は、羽柴秀吉を播磨攻略を命じはった。この時の別所氏の当主長治は、当初東播磨の旗頭として参陣しはる。

しかし、長治は、秀吉の言葉に面目を失った結果、毛利氏に通じ反旗を掲げる。

天正6年、秀吉は三木城攻めを開始するが、なかなか落城させられず

天正8年まで三木城攻めは続く。

ついに、別所長治は城兵の命と引き替えに自刃し、三木城を開城した。

城自体は、三木氏滅亡後も存続しはるが

元和3年に明石城が築城されたときに廃城となった。

KISSME_PLAY さん

#19 吉田郡山城 2001/ 9/ 4 3:48 [No.2743 / 15915]

備中高松城は出はったんで失礼。

全盛期を迎えはった毛利家の居城。

郡山全体を要塞化した戦国時代屈指の山城。

本丸は標高三八九．七米で、難攻不落の上杉氏の春日山城の倍の高さ。

山腹には元就をはじめとする一族の墓所、元就火葬の地、百万一心の碑などが点在してはる。

麓の吉田町歴史民族資料館で詳細なマップを入手すると便利。

本丸までは元就墓所から約八〇〇米の山道を登る。

周囲では現在も遺構を発掘作業中。

KISSME_PLAY さん

#20 春日山城 2001/ 9/ 4 8:22 [No.2744 / 15915]

南北朝以来の城だったそうで、越後の国府の守備の拠点だったそうです。

上杉の居城が直江津からここに移ったと聞きました。

その後上杉が秀吉により会津に移封になり、廃城になります。

hui*_k さん

お題：戦国の妻（おんな）たち 2001/ 9/ 4 8:23 [No.2745 / 15915]

略して「ごくつま」。

必ずしも結婚していなくてもOKです。

戦国の動乱期を、武将の妻として、母として、娘として、あるいは側室、妾として生きた女性を20人挙げてください。戦国武将とまったく関係のない女性はいちおうNGとします。

hui*_k さん

#01 山内一豊の妻 2001/ 9/ 4 10:01 [No.2746 / 15915]

名前は「千代」というそうです。1557～1617年。

夫のために駿馬を買い求めた話が有名です。

関ヶ原の戦いでは大坂勢の動向を知らせて一豊が土佐24万石を与えられるきっかけになったそうです。

裁縫や書に優れ、千代紙もこの人の考案といわれているのだそうです。

晩年は生まれた近江に近い京都妙心寺大通院に入りました。

お墓の大きさは一豊とまったく同じなのだそうです。

にざりいさん

#02 慶ざん尼 2001/ 9/ 4 11:46 [No.2747 / 15915]

「ざん」という字は、もんがまえに言うという字。(変換できん)

龍造寺隆信の母なのだが、隆信をもりたてるためと、鍋島信生(直茂)とのむすびつきを深める目的で、鍋島家に再婚した肝つ玉母さん。(ある陰謀で隆信の父は亡くなっていた)。鍋島信生の父、清房は前妻を亡くしており、慶ざん尼に「いい嫁さん探してあげる」といわれて「？」と思っていたら、有る日花嫁行列が自分の家に到着、花嫁は慶ざん尼自身だったというお話。

クイズ パンチ de デートさん

#03 細川ガラシャ 2001/ 9/ 4 16:15 [No.2748 / 15915]

細川忠興の妻。関ヶ原の戦い前に、西軍が東軍についた武将の人質を確保しようとした時、ガラシャは屋敷に火を放ち自害。

ファイヤー！

nom*c*p さん

#04 北政所 2001/ 9/ 4 16:18 [No.2749 / 15915]

豊臣秀吉の妻。秀吉死後、家康と接近し加藤清正、福島正則ら子飼いの武将を東軍につくよう工作したという。本当か

な？

nom*c*p さん

#05 三条殿 2001/9/4 19:42 [No.2750 / 15915]

武田信玄の正室。その名の通り公家の三条家の姫君です。京育ちのプライドの高さか、山国・甲斐の風土にはなじまず、信玄とはあまりしっくり

いっていなかったと言われています。(NHK 大河「武田信玄」の紺野美沙子

の三条は、そんな冷たさがよく演じられていました。

ちなみに後を継いだ勝頼は三条の子ではなく、側室で、信玄が滅ぼした諏訪家の姫君。

こんなところにも夫婦仲の悪さが伺えます。

s11*3_0*さん

#06 お松（芳春院） 2001/9/4 22:06 [No.2751 / 15915]

前田利家の正室、秀吉夫妻とは足軽長屋時代からの親友とか、利家亡き後の関ヶ原では自ら人質として江戸へ下向しました、大名の人質1号。

来年の大河ドラマは「前田利家」

お松役は松嶋菜々子でしたよね。

ryoanpaku_69 さん

#07 小松姫 2001/9/4 22:14 [No.2752 / 15915]

徳川四天王本多忠勝の娘。

家康がこの姫を自分の養女にして、真田徳川両家の和睦のため

真田昌幸の長男信幸に娶らせはった。

信幸は知謀の父昌幸のお家生き残り大作戦のコマだった。

自分と次男（真田幸村）が西軍につくかわり、長男を東軍において安全パイとし

どう転んでも真田家を存続させようしたのだ。

それならばと父親と同じ名前の「幸」を「之」の字に改めてはる。

そんな信之の奥さん、小松姫もすごい人。

自ら戦うことも厭わない、勇敢な姫だったらしい。

城壁の上で長刀構えて仁王立ち、叔父昌幸の入城を頑なに阻止した。

関が原合戦で敗れた西軍の将、昌幸の助命嘆願を願い出たのも、小松姫だった。

いくら舅とはいえ、小松姫の立場からいったら敵なのに

智勇兼備のわたしの憧れの姫像ですね。

KISSME_PLAY さん

#08 濃姫（帰蝶） 2001/9/4 22:57 [No.2753 / 15915]

濃姫の名が有名ですが、斎藤方では帰蝶とよばれているようです、

斎藤道三の娘にして、織田信長の正室、帰蝶が嫁ぐとき道三は娘に短刀を渡し、「信長が噂どおりのウツケなら、構わずこの刀で刺せ」といって、帰蝶は「逆にこの刀で父上を殺すことになるかも知れませんね」といって笑ったそうです、娘の言葉を聞いた道三は「それでこそ我が娘」と満足したとのこと。

帰蝶の晩年は明らかでなく、道三の死後信長に離縁された、殺されたとされています？。

kos*uya*h*nab*shi さん

#09 生駒吉乃 2001/9/4 23:06 [No.2754 / 15915]

まずは訂正

>帰蝶の晩年は明らかでなく、道三の死後信長に離縁された、殺されたとされています？。

帰蝶の晩年は明らかでなく、道三の死後信長に離縁された、殺されたとさともいわれています？。

その信長の側室というよりは正室待遇されていた女性です。家臣の娘ですが、信長より、6歳年上でしかも出戻り（未亡人）でした。

吉乃は嫡男・信忠、次男？・信雄の母でもあります。

わたしが推測するには、吉乃が正室待遇された頃には帰蝶は実家に帰されたものと思われます。

kos*uya*h*nab*shi さん

「戦国時代の廃城」お礼 2001/9/5 0:35 [No.2755 / 15915]

今回も皆様レスありがとうございました。

20件の中には、初見の城も少なからずありまして、地域にその歴史をとどめる城郭は、まだ少なからずあるんだと再認識させられました。

ちなみに戦国時代には、小規模な砦程度のもので含めると、城は1万を超えるようで、よく研究すれば、まだ知られざる城郭の物語を発見できるかと思います。

今回のレスの外に、候補で考えていたのは

・出雲の月山富田城

鎌倉時代の佐々木氏の建てた居館を発祥とし、戦国期には尼子経久が11カ国を領する戦国大名として腰を据えるが、毛利元就の謀略も交えた粘り強い攻略で落城、その後は毛利、吉川氏の居城となるが、関ヶ原後に入城した堀尾吉晴がまもなく松江城に移り廃城

・信貴山城

松永久秀の居城。1577年、織田信長の総攻撃を受け、久秀は「平蜘蛛」の茶釜を割り落城

・北ノ庄城

現在の福井市にあり、賤ヶ岳で秀吉に敗れた柴田勝家が、お市の方と自害し落城

・清洲城

織田信長没後も、豊臣秀次、福島正則、徳川義直等が居住したが、1610年の名古屋城完成で廃城

など考えていました。

あとはそう、「仮面の忍者赤影」は、CSで放送しているのを録画しているんですがなかなか見られなくて（笑）番外の城を発見したら、見合うお題の時に報告します。

Rockmonsén さん

#10 おつやの方（長文失礼） 2001/9/5 2:23 [No.2756 / 15915]

おつやの方 (?・1575)

遠山氏最後の当主、遠山景任の妻。織田信長の叔母。景任死後、女性でありながら、岩村城城主となる。戦国時代では恐らく彼女一人だけだったでしょう。

名前については修理夫人とする説や不明とする説もあり。
絶世の美女だったという記録もあります。

信長は美濃をほぼ手中に収めようとしていた頃、武田信玄への備えとして、
岩村城城主遠山景任に自分の叔母を嫁がせて同盟を結びました。

岩村城は美濃への東入口に当たる場所だったので、もし景任が信玄につくと、
面倒なことになると考えたからです。

1570年、武田氏配下の秋山信友が岩村城を攻めました。その時は信長の援軍もあって
何とか撃退したのですが、翌年、当主である遠山景任が病死してしまいます。

そこで信長は五男御坊丸を遠山氏の養子にする為岩村城に送りましたが、
まだ7～8歳位だったため、おつやの方が暫定的に岩村城城主となります。

景任の死を知った信玄は、再度秋山信友に岩村城攻めを命じました。

秋山信友は岩村城に使いを出し、信友がおつやの方と御坊丸を引き取って城に入り、
将来的には御坊丸を遠山家の跡継ぎとする、という条件で、城受取に成功しました。

ところが、御坊丸は信玄の元へ人質として送られてしまいました。

激怒した信長でしたが、当時は近畿出兵を余儀なくされ、岩村城だけに専念する

ことが出来なかったため、岩村城は完全に武田方に落ちてしまいました。

その後、1573年に信玄が亡くなり、1575年には長篠の戦いによって武田勢力を弱体化

させることに成功した信長は、かねてからの懸案事項だった岩村城に嫡子信忠を

総大将とする軍を差し向けました。

実は岩村城は高取城、松山城と共に日本三大山城の一つで、天然の要害でもあったので

容易に落ちませんでしたが、持久戦の末、数ヶ月後によりやく開城となりました。

秋山信友を処刑した後、信長は、おつやの方が御坊丸を人質として信玄に送った事を

咎めました。この時おつやの方は「私は女であるが故にそうせざるを得なかったのに、

それをわかろうとせず、実の叔母である私を殺すと、今に因果応報を招くことになる

でしょう」と言い残して刑死しました。

またまた長文になってしまいました。うまくまとまらず、失礼しました。

麿地照美さん

#11 阿西御前 2001/9/5 7:59 [No.2757 / 15915]

おはようございます。

キリシタン大名大友宗麟の娘で、「阿西御前」という名。
他の説では大村義純の娘、マキゼンチャという人もいてはる。
大友家が滅亡し桑姫も親元を離れ流浪の旅に出て、最後の安住の地を長崎に求めはった。

長崎にはキリシタンもぎょうさん居て
姫がキリストを讃えても誰も役人に密告する者もないだろう
うと思

淵村の志賀という家に身を寄せはった。

彼は淵村の信者や里人の尊敬を集めていたのである。

村里では、美しい姫が、桑の葉を摘み、蚕の飼い方を手ほどきするのを見て

誰言うとなく「桑姫」と呼びはった。

墓は竹之久保のもと砲兵隊跡にあったのを明治になって淵神社境内に移しはった。

「桑姫さま」と親しまれている。

この裏に墓碑銘のない墓が三つある。

それが大村家の墓か、神功皇后が三韓から帰還の時

途中で背いた三人の高官の墓かは不明である。

ただ、大分の国東半島に多い家紋がここにも見られるという。
KISSME_PLAYさん

#12 成田氏長の妻（太田氏？） 2001/9/5 9:46 [No.2758 / 15915]

現・埼玉県行田市にあります忍城は、成田氏の居城で、秀吉の小田原征伐の際、石田三成らに攻められていました。

氏長は小田原城にいて、早々に内通してましたが、忍城の妻や娘はそうとも知らずに抵抗して、秀吉方を悩ませます。

（このとき三成は高松城の水攻めをまねして堤防を作りますが、決壊して味方のほうが損害を受けています。三成が戦がヘタの風評はこのとき出来たのか！？）

小田原開城後、忍城は自ら城を明け渡しますが、女性の陣頭指揮のみで抗戦したちょっと珍しい例です。成田氏長も家族を見捨てて、自分だけ内通している珍しい武将と思われる。クイズ パンチ de デートさん

#13 寿桂尼 2001/9/5 11:18 [No.2759 / 15915]

寿桂尼は今川義元の母、もとは公家の娘なのに、夫の氏親が早く亡くなり、家督争いが起きたりしますが上手く家中をまとめて実質的には今川家を治めていきます。

大河ドラマ「武田信玄」では岸田今日子さんがうまく演じてました。

ぼちぼちでんな～さん

#14 徳川秀忠の妻 お江 2001/9/5 20:45 [No.2760 / 15915]

小督、お江与とも

浅井長政とお市の方の三女、徳川家光の母親。

秀忠とは、三度目の結婚だったそうですね。

ecc**lerさん

#番外 岩下志麻 2001/9/5 20:48 [No.2761 / 15915]

昨年、葵～徳川三代で、お江を演じてました。

他、独眼竜政宗では、政宗の母親、義姫など、戦国の女と言え、この方が。

しかし、なんといっても、「ごくつま」と言えば、やっぱりecc**lerさん

#15 大井夫人 2001/9/5 21:02 [No.2762 / 15915]

武田信虎の正室というよりは、信玄の生母といったほうがよいでしょう。

大河ドラマ「武田信玄」では若尾文子さんがナレーション兼任で演じていました。

「今宵はここまでにいたしとうございます」

は流行語に。

kos*uya*h*nab*shi さん

#16 築山殿（瀬名姫） 2001/9/5 21:12 [No.2763 / 15915]

今川義元の姪、徳川家康（松平元康）の正室。

2人のあいだには嫡男、岡崎信康が生まれましたが、今川風を吹かず築山殿との夫婦なかはあまりよくなかったようで、桶狭間の合戦の後家康は信長に接近したことは、決定的となりました。

武田勝頼との密通を疑われ、信長の命により、殺害されました。

kos*uya*h*nab*shi さん

#16 千姫 2001/9/5 21:36 [No.2764 / 15915]

徳川秀忠と、#14のお江（お江与）の方の間の娘として生まれました。

祖父の徳川家康に夜よる政略結婚で、豊臣秀頼の妻となりましたが、豊臣・徳川両家の関係は日増しに悪化し、大阪の陣となり、落城間近に大阪城を脱出、家康に秀頼と義母淀殿の助命を求めましたが叶わず、落城、夫と義母の自刃の後は、脱出を助けた坂崎出羽守との再婚が持ち上がりましたが千姫はこれを拒み、落城後まもなく立ち寄った、桑名城でを親身な世話を受けた、本多忠刻との結婚を望み、それは実現しましたが、坂崎出羽守は、これに逆上して千姫奪取を企て、見かねた家臣に暗殺され、坂崎家は取り潰しとなりました。その後は、姫路城主となった忠刻と平和な日々が続くかと思われましたが、跡を継ぐべき男児と、夫が相次いで世を去り、家督を忠刻の弟が継ぐことになり、姫路城を去って江戸へ行き、落飾して天寿院となって、鎌倉の縁切り寺、東慶寺の再建などに携わり、寛文6年（1666）、70歳で亡くなり

ました。

Rockmosen さん

#18 春日局 2001/9/5 22:18 [No.2765 / 15915]

この人も、前半生は戦国の世でした。

明智光秀の重臣、斉藤利三の娘、お福として生まれ、父は光秀が山崎の合戦に敗れた時、自刃の後礫にされるという悲劇を幼くして経験します。

17歳で、関ヶ原合戦で功を挙げた、で小早川秀秋の家老、稲葉正成と結婚しますが、夫が秀秋と対立して浪人となり、故郷の美濃に帰って不遇の日々を送ることになります。

26歳の時、徳川將軍家で、將軍の子の乳母を募集するのに応じて江戸城へ入り、幼いときから親身に育てた、徳川秀忠の嫡子、竹千代が、將軍の後継の決定に当たり、弟の国松が聡明ゆえに、父母にも疎まれて、不利な立場に立たされたのを、大御所家康に直訴して、後継者の立場を安泰にしました。竹千代が、3代將軍家光となってからは、実母のお江与の方も世を去っていたため、大奥に右に並ぶ物のない権勢を持ち、幕府と後水尾天皇が対立した、紫衣事件の際は、宮中に参内し、天皇に直談判して、その退位の意味を諫めたといひます。

この時、二位に准ずる位と、「春日局」の名を、朝廷から与えられています。

家光に対する愛情は終生変わらず、家光が病気の際、薬は一切飲まないと神に誓って祈願し、それを一生貫きました。

享年56歳。

現在は東京都文京区にある春日町は、この人の屋敷があったことにちなむ地名です。

Rockmosen さん

#18 お梶の方（徳川家康室 英勝院） 2001/9/5 22:22 [No.2766 / 15915]

徳川家康初老以降の側室

『影武者徳川家康』での描かれ方がいいんです。

実在のご本人がどんなだったかはわかりませんが。

お八、お勝とも。

男子は産んでいませんが、水戸頼房を養子としています。

水戸家では、実母お万の方（蔭山殿、養珠院）と同様に、厚い供養（？）の対象だった、とかじり聞きした記憶が。。

spat さん

#20 お市の方 2001/9/6 0:49 [No.2767 / 15915]

この20年以上大河ドラマを見ていないので、お市の方の顔は「おんな太閤記」の夏目雅子さんで固着していて、美人薄命のイメージから幾分ダブってしまっています。

織田家の系統は美男美女揃いのようですが、中でもお市の方が、もっとも美人の誉れが高いようです。

政略結婚で浅井長政に嫁しますが、小谷落城の際に城を出、秀吉の保護下に入ります。

秀吉が口説いたともいわれますが、柴田勝家に再嫁し、北の庄落城で夫とともに自害し、まさに「戦国の妻」として果てます。

「なめたらあかんぜよ！」

hui*_k さん

お題「キリシタンの人 20」 2001/9/6 9:26 [No.2768 / 15915]

なぜmogami yoshiさんは前回のお題に「義姫」を投稿しないのか！？と疑問をもちつつ、、

キリシタンの方、大名、奥方、使節、誰でも結構です。

20人挙げましょう。

ぼちぼちでんな～さん

#01 宇久（五島）純堯 2001/9/6 11:13 [No.2769 / 15915]
（あまり有名でない人を最初に・・・）

宇久氏は平家の血をひく、現在の長崎県五島列島の支配者でした。

宣教師・アルメイダやロレンソに教会を寄進したりしていたようです。

五島列島の福江島には、福江教会という立派な教会があります。これもたぶん宇久氏の影響なのかと想像します。
ぼちぼちでんな～さん

#01 森宗意軒 2001/9/6 11:21 [No.2770 / 15915]
島原の乱における A 氏の軍師。
定かではありませんが、大阪の陣の生き残りの浪人だったと記憶しています。
先頃亡くなった山田風太郎氏の「魔界転生」では妖術使いとして登場。
s11*3_0*さん

「ごくつま」の御礼 2001/9/6 13:09 [No.2771 / 15915]
実は、「ごくつま」のお題は、自身 29 個目の出題で（好きだなあ...）、初めて時代を限定してみました。
自分では詳しくないのですが、まあ、「みんなの戦国」でもありますし、皆さんのお話を聞いて楽しませていただこうと思いましたが、戦国の女性たちに関しては記録が少ないようなので、意外と難問だったのかもしれない。
内容に関しては申し上げるべきことはございません。
結構なお手前で...
ちなみに、今回の「キリシタン」は目出度く百題目です。
hui*_k さん

#3 原ヨハネ主水 2001/9/6 18:18 [No.2772 / 15915]
家康の近習で千五百石の旗本でありながら、敬虔なキリシタンの彼は禁教令が出た後も熱心な布教活動を続けました。捕らえられ、酷い拷問を受けながらも信仰心を捨てず、最期には“蓑踊り”によって処刑されます。
蓑踊り：囚人を蓑で（文字通り蓑虫状）に縛り、その状態で火をつけ、焼き殺す処刑方。のたうちまわる様がるまでおどりを踊っているように見えたので、この名前がついたという。
s11*3_0*さん

#04 聖ルドビゴ茨木 2001/9/6 20:17 [No.2773 / 15915]

1587年に、「伴天連追放令」を出し、キリシタンを禁止した豊臣秀吉は、慶長元年（1597）の12月に、フランシスコ会に宣教師と信者、計24人を逮捕、翌慶長2年2月5日、自ら殉教を願ひ出た2人を含めた26人を、長崎の、西坂の丘の上で、十字架に架けて処刑しました。
最年長者は64歳、そして最年少は、12歳の聖ルドビゴ茨木で、その他にも10代の少年が4人いたようです。
彼は最初、年少ゆえに逮捕はされなかったのですが、自らそれを申し出、役人が「棄教したら武士に取り立てるぞ」と言うのに、「お役人さまもキリシタンになるとよしいです」と答え、処刑の場では、「私の十字架はどれですか？一番小さいのですね？ありがとうございます」と尋ねて、十字架に架けられたといひます。
この26人は1862年、当時の教皇ピオ9世によって聖人の列に加えられ、有名な大浦天主堂も、彼らに捧げるために西坂に向けて建てられたといひます。
ザビエル布教から、島原の乱までの期間で、キリシタンの人を20人と言うと、厳しいですね。
この殉教者を順に取り上げれば20人は越えられるけれど、それはしたくないので・・・
Rockmosen さん

#05 小西行長 2001/9/6 20:54 [No.2774 / 15915]
なぜか秀吉の家来にはキリシタンが多い。
小西は薬屋の子倅（加藤清正がよくいうセリフ）から、秀吉の取り入れられ、朝鮮出兵にも従軍しましたが、本意ではなかったようです、関ヶ原では逃亡の後自首し、石田三成とともに処刑されました。
キリシタンは自害できませんからね。
kos*uya*h*nab*shi さん

#06 五郎八姫 2001/9/7 11:28 [No.2775 / 15915]
いろは姫、で、伊達政宗の娘。松平忠輝の妻。
政宗がローマへ使節を送ったのは、キリスト教勢力の結集を計り、天下を自分のものにしたかったからとの話も。

忠輝は謹慎処分で幽閉されてしまうことで有名ですが、そのときいろは姫は実家に帰っていたんでしょうか。
大河ドラマで沢口靖子が演じていたのが懐かしい。
クイズ パンチ de デートさん

#07 池端弥次郎 2001/9/7 12:32 [No.2776 / 15915]
薩摩出身の武士。洗礼名パウロ弥次郎。日本人初のキリシタンです。
誤って人を殺してしまったため、海外へ逃亡していましたが、マラッカでザビエルに出会い、自分が人を殺してしまった苦悩をうち明けたところ、キリスト様を信じれば救われると言われ、インドのゴアで洗礼を受け、パウロ弥次郎と名乗るようになりました。
その後、日本にキリスト教を布教させたいと考えていたザビエルを案内して薩摩へ行き、島津貴久へ目通りして布教活動の許可をいただくことに成功しました。

ところで、五郎八姫はキリシタンではなかったように記憶していますが、いかかでしょうか？
鷹地照美さん

#08 ジュスト 明石全登 2001/9/7 13:58 [No.2777 / 15915]
明石掃部全登。
洗礼名ジョバンニ・ジュスト。
明石景親（元浦上宗景の臣、宇喜多直家に内応）の子。
熱心なキリスト教信者で十字架の旗を用いたという。
関ヶ原の戦いでは主君宇喜多秀家とともに参戦、8千の前衛部隊をひきいて福島正則隊と激突した。
西軍の敗戦となると捲土重来をはかって脱出、秀家はやがて捕まり流刑に処せられるが全登は備中に潜伏し時を待った。
大阪の冬の陣で突如として現れる。

夏の陣で大阪城が落ちると、また逃げる。

一説には自刃したというのが遺体はない。

徳川家康も明石全登を野放しにしておくのは危険と「明石狩り」を断行するが、最後まで行方はしれなかった。

以上

S. パウロ・アウグスチノ.T.

こと S P A Tでした。

spat さん

#09 黒田孝高 2001/ 9/ 7 14:26 [No.2778 / 15915]

意外や意外、(別にそうでもない?)、このひとも洗礼名シメオンというキリシタン。

摂津(?)の教会に熱心に通っていた様です。茶人としても有名な人物なので、イエスの教えは何か心に響かせるものがあつたに違いありません。

五郎八姫は、キリシタンゆえ忠輝との離婚を拒んだと言う逸話があるようです。

晩年は仏門に入ってますが。

ぼちぼちでんな～さん

#10 おたあジュリア 2001/ 9/ 7 20:12 [No.2779 / 15915]

朝鮮貴族の娘だが、小西行長の養女となり(この時に信者となったのかな?)、後に、徳川家康に仕える。

しかし、キリシタンを改宗しなかったため、神津島(東京都)に島流しとなり、ここで死去。

現在、お墓は観光ポイントの一つとなり、毎年、「ジュリア祭」が開催されています。

単純な興味としてなんです、が、「悪名高い」キリシタンとか宣教師とかいなのかな?

キリシタンというと、「悲劇の人」というイメージが強いもんで…

天邪鬼な私でした

ecc**ler さん

#番外 長嶋茂雄 2001/ 9/ 7 20:23 [No.2780 / 15915]

立教大学出身ですからミスターも。

しかし次男は駒沢大学中退。

長嶋家の宗教は?

kos*uya*h*nab*shi さん

#11 支倉常長 2001/ 9/ 8 6:17 [No.2781 / 15915]

伊達正宗の家臣で 1613 年に外洋帆船サン・ファン・パウテイスタ号で日本人初の太平洋横断をしてメキシコ経由で大西洋を超えスペインやパチカンを訪れた人。

このとき、立ち寄ったスペインで洗礼を受け「ドン・フィリップ・フランシス」という洗礼名を授かる。

しかし 1620 年に帰国した時、すでに徳川幕府によるキリシタン禁止令が布かれ、常長の業績は評価されず、常長自身のその後の生涯も謎を多く残したままである。

kuma_taro_7 さん

#12 大友宗麟 2001/ 9/ 8 7:40 [No.2782 / 15915]

もういわずもがなですが、いわゆるキリシタン大名・大友宗麟。洗礼名はドン・フランシスコ。

黒田如水と同じく、仏教の法号とキリスト教の洗礼名の両方を持っている人物ですね。

c6h14o6 さん

#13 細川ガラシャ夫人 2001/ 9/ 8 9:44 [No.2783 / 15915]

あんまり知らないので有名な人しか挙げられません。

「ガラシャ」って聖書の中の誰の意味だろうと思っていました、

昨日のテレビでは「G r a t i a」(おそらく「感謝」なんかの意味)

から来たようなことを言っていました。

光秀の娘のため、本能寺後は丹後に幽閉されたこともありました。

関ヶ原のときに西軍の人質になるのを拒んで自害しています。

「黄金の日々」というドラマでは、島田陽子さんが演じ、

侍女に襖の向こうから槍で突かせて亡くなります。

hui*_k さん

#14 有馬ジュアン晴信 2001/ 9/ 8 9:45 [No.2784 / 15915]

バリニャーノから洗礼を受け、バリニャーノが日本を離れるときに

天正遣欧使節を派遣した人です。

こちらの肥前有馬氏って、

久留米の有馬氏とは別なんですね。

hui*_k さん

#15 高山右近 2001/ 9/ 8 10:39 [No.2785 / 15915]

高山右近(1552～1615)は、戦国時代末期の高槻城主で、高槻は近畿地方におけるキリスト教布教の中心地でした。

宣教師ルイス・フロイスの記録によると、天正 2 年(1574 年)に高槻城主、高山右近(ジュスト)と父親の飛騨の守(ダリオ)父子はともに熱心なキリシタンであり、高槻城の教会堂を拠点として、領民へキリスト教の布教に力を注ぎました。

todo_51 さん

#16 内村鑑三 2001/ 9/ 8 10:58 [No.2786 / 15915]

キリスト教の人道的立場から、日露戦争を批判しました。また、天皇にたいする不敬罪でも有名。

ryoanpaku_69 さん

#番外 聖徳太子 2001/ 9/ 8 10:59 [No.2787 / 15915]

馬小屋生誕説など、キリスト教の前身の景教によるものと思われれます。

ryoanpaku_69 さん

#17 遠藤周作 2001/ 9/ 8 11:09 [No.2788 / 15915]

芥川賞作家、先例名はポール。

かくれキリシタンの里、長崎県外海町に遠藤周作記念館があります。

ryoanpaku_69 さん

#番外 由比正雪 2001/ 9/ 8 11:12 [No.2789 / 15915]

この頃の人々の意識では、ああした叛乱を起こすのだから、ヤソ教に通じているに違いないという発想が結構あったそうです。

後には、大塩平八郎キリシタン説というのも現れます。

hui*_k さん

↓ 「クリスチャン」ですが 2001/ 9/ 8 11:18 [No.2790 / 15915]

すいません。

明治維新後の信徒は、「キリシタン」とは呼ばないと思います。

「キリシタン」は、多分ポルトガル語ですが、現代日本で使うときは、「室町時代末期から江戸時代にかけて、キリスト教を信仰していた日本人信者」というような意味で使われると思うのです。

だから、外国人「宣教師」も、「バテレン」(ポ語の「パーデレ」、羅語の「パートレ」、英語の「ファーザー」、現代日本語の「神父さん」)ではあっても、普通狭義に用いて、「キリシタン」とは言いません。

spat さん

#16 井上筑後守正重 2001/ 9/ 8 11:19 [No.2791 / 15915]

で。16番にします。ECCOOLER さんの

> 「悪名高い」キリシタンとか宣教師とかいなのかな？

リクエストにお答えします。

まあ、悪名が上がったのは棄教後なんです。。。

遠藤周作の『沈黙』の登場人物として有名です。

棄教改宗した人を「転び」と言います。

まず井上筑後守

転びキリシタン。

若い頃はキリシタン大名 「G」に仕え、彼自身も洗礼を受けた。

転宗後は家光の時代、信者の取り締まりに精力を注ぎ、その功績により大目付と昇進したあげく、1640年代からは宗門改役(あらためやく)、寺社奉行配下の切支丹宗門奉行

として弾圧の総指揮に当たった。最後はギリギリ1万石の大名になっています。

次に沢野忠庵

転びバテレンこと、フェレイラ神父。

日本名を与えられ、妻を与えられ、「改め方」として活躍しました。

ほかに、上下東西老若男女さまざまな「転び」が、キリシタン目明しとして仲間売り、仲間狩りに奔走しました。

身内の弱点はわかりやすいんですよ。

優しい信者の転ばせ方、「お前が転ばなければ、こいつらを順々に殺すぞ」とか。

まじめな宣教師を女牢にいて、オンナに囲まれてすげべなことさせるように仕向けて落とすとか。

踏絵の考案者は不明ですが、効果をよく理解しており、フェレイラなどがよく使ったそうです。

spat さん

#番外 キチジロー 2001/ 9/ 8 11:22 [No.2792 / 15915]

#17の遠藤周作の『沈黙』に登場する男で、#07の池端にやや似た境遇でキリシタンになり、主人公のパドレを案内して日本に連れて来ますが、その精神の脆弱さゆえ何度も転んでは隠れキリシタンを密告し、それでいてパドレに付き纏い...しまいには忌々しくなってくるキャラクターです。

モデルは実在の人物なのだそうですが、はっきりしないので番外です。

hui*_k さん

#17 伊東マンショ 2001/ 9/ 8 12:33 [No.2793 / 15915]

そう、キリスト教にはぜんぜん詳しくないですが、やはりキリシタンと言うと、キリスト教伝来から、江戸時代までの信者の称号という感じがしますので、SPAT1997さんに続けて、#17で行きたいと思います。

イエズス会の巡察使、ヴァリニャーノのが推進役になり、#12の大友宗麟、#14の有馬晴信ともう1人O氏の九州の3大名が1582年に派遣した、4人の少年の、天正遣欧使節の正使いです、出発当時14歳。

長崎を出発後、アジア、インド洋を西進し、南アフリカの喜望峰を回って、2年半かけて1584年夏、リスボンへ上陸、ヨーロッパ各地で王侯貴族や大司教に歓迎され、翌1585年春には、ローマで教皇グレゴリウス13世の謁見を果たしました。

彼らは印刷機などのヨーロッパ文明の産物を土産に、8年を経た1590年に帰国しました。既に豊臣秀吉が伴天連追放令が出された後でしたが、秀吉は彼らを招き楽器の演奏をさせ、マンショは秀吉に、家来として召抱えるように言われましたが、断ったと言います。

4人はイエズス会で活動しますが、その後は棄教、追放、殉教といったそれぞれの道をたどり、マンショは司祭として活動を続けて後に病死したと言います。

Rockmosen さん

#18 蒲生氏郷 2001/ 9/ 8 20:39 [No.2794 / 15915]

信長の横死後、秀吉の家臣に移って数々の武勲をあげ会津100万石の領主となる、「世にすぐれた利発人」、と評せられたその器量を敬遠したため、秀吉が領地替えしたともいわれる、「利休七哲」のひとりにも数えられる知識人でもありません、また主役になる機会にめぐまれなかっただけともいわれる武将です。

内村鑑三、コリアン先生失礼しました。

ちなみに氏郷の洗礼名はレオンです、遠藤周作にとれば、氏郷は処世術のために改宗したのであって「永遠の脇役」と称しています。

ryoanpaku_69 さん

#19 毛利秀包 2001/ 9/ 8 21:01 [No.2795 / 15915]

毛利秀包(1567-1601)

毛利元就九男。後に兄の小早川隆景の養子に入り、小早川秀包と名乗るが、小早川家を

豊田秀吉の養子である羽柴秀秋が継いだため毛利姓に復し、新たに毛利家をたてます。

大友宗麟の娘を娶ったことがきっかけとなりキリシタンになったようです。

詳しいことはよくわからないので簡単に。

麿地照美さん

#20 天草四郎時貞 2001/ 9/ 8 21:06 [No.2796 / 15915]

天草四郎時貞(1622-1638)

小西行長家臣、益田甚兵衛の子。洗礼名フランシスコ。ジェロニモという説も。

本名、益田四郎時貞。ちなみに**#02** で挙がった彼の軍師森宗意軒も小西行長の元家臣。

いわずとした島原の乱の首謀者です。

なぜか皆さん遠慮なさっておられるようなので(笑)、最後に挙げてしましましょう。

島原領主、松倉重政は、検地を行った際、石高を実高以上に幕府に報告しました。

これは将軍家光の心証をよくするためです。

そのため領民から過酷な税の取り立てを行い、平行して、家光ににらまれないため、キリシタンを厳しく弾圧しました。

元々この土地は小西行長の領地であり、多くの農民がキリスト教を信じていました。

そうして農民達は厳しい弾圧にあっても、いつの日かゼズス(キリスト)様が

救ってくださると信じてじっと耐えていました。

そうした背景の中で、とりわけ天草四郎は「神の子」として尊敬されていました。

天草四郎 16 歳の時、ついに農民達は松倉の横暴に耐えかねて、四郎を祭り上げ、

廃城になっていた原城に立てこもり、幕府に反抗しました(島原の乱)。

その数は2万5千人〜3万7千人(資料によりばらつきあり)ほどだったといえます。

最初、幕府は農民達の集まりということで軽く考え、九州に地の利のある板倉重昌を、

一揆鎮圧のため派遣しましたが、板倉が鎮圧に苦心しているとの報告を聞き、

老中松平伊豆守信綱を追加派遣しました。

一方、板倉重昌は、松平信綱進発の報告を受け、到着する前に鎮圧しなければ

面目が保てないと考え、自ら陣頭指揮に立ち原城に総攻撃をかけましたが、

多くの鉄砲弾薬を保有する(一揆軍による島原城攻撃の時に奪ったもの)一揆軍は

五角以上に戦い、幕府軍5千人をうちとり、総大将板倉重昌も戦死してしまいます。

その後、ようやく島原に到着した松平信綱は強攻策を採らず、干し殺しの策(兵糧攻め)

を採り、やがて農民達が疲弊した頃合いを見計らって、一気に原城に総攻撃をかけ、

天草四郎もろとも一揆軍を全滅させました。

ついでに島原の乱についても書かせていただき、長文になってしまいました。

麿地照美さん

お題:「百」のつくもの 2001/ 9/ 8 21:34 [No.2797 / 15915]

祝 100 題達成!

なんと前回のお題が 100 題目だったそうです。そこで「お題 100 達成記念」と致しまして、

今回は wavenao88 さんが提案なさったお題でいきたいとおもいます。

歴史上で百がつくものを 20 解答挙げてください。

人物名、地名、物の名前などなど、百がつくものなら何でも OK です。

回答例:

#00 百足衆【むかでしゅう】

武田信玄の使い番(伝令)。

ムカデの絵を描いた指物を持ち、信玄の命令を前線に伝える役割を果たしました。

麿地照美さん

#01 お百度参り 2001/ 9/ 8 21:59 [No.2798 / 15915]

病気の平癒の祈願のため、社寺に行き、その境内の一定の距離を百回往復し、そのたびに礼拝することをいいます。

これがよく行われる社寺では、目印の百度石が置かれていて、そこから本堂や本社を往復するようになっています。

「百」のつくお題、私も考えていましたが、タッチの差で先に出てしまいました。

できたら次のお題にと思っています。

Rockmosen さん

#1 百姓 2001/ 9/ 8 21:59 [No.2799 / 15915]

農民を百姓と言う由来はよく分かりませんが、一説によると日本人の大半が、

農民に属するので、たくさんのお名前(百よりも多い姓)と言うことで百姓という

呼ばれる様になったとか。

あと、百姓という言葉は、未だに

放送禁止用語なんですかね?

kon**200*さん

#03 加賀百万石 2001/ 9/ 8 22:09 [No.2800 / 15915]

1 万石以上が大名ですので、百万も OK ?

前田氏の城下町金沢を中心に、加賀、能登などの領地を所有しました、徳川宗家を除けば最大の大名ですので、常に幕府

の厳しい目がありましたが、歴代藩主はバカ殿のふりをするなどして幕末まで、1 0 0 万石を維持しました。

ryoanpaku_69 さん

#02 百万遍 2001/ 9/ 8 22:10 [No.2801 / 15915]

これも宗教関係ですが。

本来は「百万遍念仏」のことで、浄土宗で、僧や信徒が集まり、弥陀の名号を唱えながら、1 0 8 0 願の大数珠を、1 0

0 回繰り回す行事を言います。

多くの寺院で行われているようですが、京都の知恩寺のものが名高く、それゆえ知恩寺を通称「百万遍」、この周辺の地名も百万遍と呼ばれています。

Rockmosen さん

#番外 山口百恵 2001/9/8 22:20 [No.2802 / 15915]
「百」の付く人と言うと、やはりこの人は出したいですね。
1959年1月17日生まれ。1973年「としごろ」で歌手デビュー、「横須賀ストーリー」「プレイバックPART2」「いい日旅立ち」などのヒット曲を連発し、「伊豆の踊り子」「潮騒」などの映画、「赤いシリーズ」のTVドラマで、女優としても活躍し、そこで共演を続けた三浦友和と結婚、普通の人なら大学を卒業して社会に出る前の21歳で芸能界を引退して、わらわれの前からきっぱり姿を消しました。某作家が「菩薩」と称しましたが、私的には納得しています。絶対に、安易なカムバックとかして欲しくないですね。

Rockmosen さん

#番外 力道山（百田光浩） 2001/9/8 22:30 [No.2803 / 15915]
本名、金信洛。日本名、百田光浩。北朝鮮と満州を行き来していた13歳のころ、蔭平虎松に拾われ相撲部屋、二所ノ関部屋に入門。1940年初土俵。46年入幕。49年関脇昇進。50年力士廃業、新田建設資材部長に。51年プロレスラーとしてデビュー。52年米国巡業。53年帰国し日本プロレス協会を設立。同時に興行をテレビ中継し日本中にファンを広げる。63年、赤坂のキャバレーで刺され死亡した。北朝鮮の英雄。
*どうしようかまよいましたが、結局番外で。

ryoanpaku_69 さん

#03 百地丹波守 2001/9/8 22:53 [No.2804 / 15915]
こんばんは名は正西(まさあき)とするものもあるが、世襲による呼称と思われる。
人物の特定はできない。
伊賀竜口と喰代(ほおじろ)にある伊賀上忍三家の一つ百地家の当主で
服部保長が京へ去った後に伊賀国内での実権を握る。
天正伊賀の乱の際には軍師的存在として国人衆を指揮し、信

長軍に抵抗した。
一説に大盗賊石川五右衛門は忍術の達人百地三太夫の弟子とされるが
三太夫がこの百地丹波である事を示す資料はない。
祝い100題って事で、百ですか(^-^)
KISSME_PLAY さん

#番外 百物語 2001/9/8 23:58 [No.2805 / 15915]
100本のろうそくに火を灯し、その中で一人ずつ怪談を語り、終わる毎にろうそくを一本ずつ消していき、最後に真っ暗になったとき・・・ああ、もうこれ以上は書けない！
怖いの苦手なので・・・
>祝い100題って事で、百ですか(^-^)
そうです。実に単純明快ですね。このような場を作って楽しませていただき、
KISSME_PLAY さまには改めて本当に感謝致します。
鷹地照美さん

#04 百合若大臣 2001/9/9 0:01 [No.2806 / 15915]
ホメロスの叙事詩「オデッセイ」はゲルマン神話中の「ユリシーズ」になぞらえられ、それが日本に伝わり「百合若大臣」という物語として、芝居などになったそうです。
hui*_k さん

#05 百済 2001/9/9 0:01 [No.2807 / 15915]
日本書紀に出てくる「任那」が、歴史の世界では風前の灯火となる中、日本の一番古い同盟国になるのでしょうか。
朝鮮語でも「ペクセイ」と読みますが、これを「くだら」と読むのは、仏教を伝えたことから、「ふだらく」と呼ばれたからではないかという説もありました。
反対に敵対する「新羅」は「シラ」と読むはずなのに、わざわざ「ぎ」をつけたのではということでした。
百済と新羅との対立は現代の朝鮮半島でも続いているそうで、全羅道出身の金大中は、そうした「恨(ハン)」を引きずっているともいわれます。

hui*_k さん

↓#07 です 2001/9/9 0:04 [No.2808 / 15915]
はい
hui*_k さん

はい 2001/9/9 0:12 [No.2809 / 15915]
そのとおりです。
実は交通整理のために番外で書き込んだのですが、肝心なことを書き忘れてしまっていました。ごめんなさい。
鷹地照美さん

#08 百円 2001/9/9 0:50 [No.2810 / 15915]
「おい、ひやくえん 食ってみろ」
「ひゃあ 食えん」
てなわけで、調べてみました。
1 流通紙幣
「い」「ろ」「A」の画像を見てませんのでどう違うんでしょ。
この分類名は一般的なもの？
たまたま見たサイトで便宜的に名付けたもの？
・・・・・・ 昭和19年 い百円券 聖徳太子
・・・・・・ 昭和20年 ろ百円券 聖徳太子
・・・・・・ 昭和21年 A百円券 聖徳太子
・・・・・・ 昭和28年 B百円券 板垣退助（裏・国会議事堂）
2 流通硬貨
・・・・・・ 昭和32年 鳳凰
・・・・・・ 昭和34年 稲
・・・・・・ 昭和42年 桜
3 記念硬貨
東京五輪 100円銀貨は、銀60%銅30%亜鉛10%
それ以外は流通硬貨と同じ比率の白銅貨 銅75%ニッケル25%
・・・・・・ 昭和39年 東京オリンピック記念（銀貨）
・・・・・・ 昭和45年 大阪万国博覧会記念

- 昭和47年 札幌オリンピック記念
 - 昭和50年 沖縄海洋博覧会
 - 昭和51年 天皇陛下御在位50年
- spat さん

#09 第百銀行 2001/9/9 1:25 [No.2811 / 15915]

むかしの、「国立銀行」ってのは、順々に数字を行名にしてたんですよ。

ぼくの住む三重県は、「百五銀行」があります。

そもそも、1872年、渋沢栄一の尽力により国立銀行条例が出され、全国に153行出来たようです。

当時からそのまんまのナンバーを名乗る銀行はもはや、ほんの数行（四、十六、十八、七十七、百五、百十四など）のようです。

たとえば、三和銀行。第三十四銀行・第十三銀行・第百四十八銀行の「三和」なんだそうです。

現八十二銀行は第十九銀行と六十三銀行の足し算なんだそうです。で、もとの八十二銀行は、現富士銀行が継承したようです。

で、で、で。

今回の回答「第百銀行」。

正式には東京第百銀行です。

明治11年創立。昭和2年、第百銀行は、明治13年創立の川崎銀行と合併して川崎第百銀行となった。昭和11年11月、再び商号を第百銀行に戻している。そして昭和18年4月、第百銀行と三菱銀行の合併により「三菱銀行」となり、さらに平成8年4月、三菱銀行と東京銀行の合併に伴って「現東京三菱銀行」となっている。

んだそうです。

spat さん

#10 百観音 2001/9/9 6:47 [No.2812 / 15915]

西国33ヶ所、坂東33ヶ所、秩父34ヶ所の観音霊場を総称して、こう呼びます。

西国が一番歴史が古く、奈良時代に徳道上人が設け、平安時代に花山法皇が再興したと言われ、この数については、観音

菩薩が33の姿に化身すると言われることにちなむと言われます。

秩父が1ヶ所多いのは、合計してちょうど100にするためです。

西国には、他に3つの番外札所があり、坂東は一巡した後信州の善光寺と北向観音にお礼参りするのが慣わしになっています。

実は4、5年前に、この百観音を坂東、西国では何度か宿泊して、全部回り、ご朱印を集めました。

白装束をしたり、般若心経を唱えたりはしませんでした、誰でも知っている名刹から、山中の巡礼者しか訪れないような静かな古刹まで、様々な札所があり、こちらは交通機関を駆使しているけど、昔の巡礼者は全部徒歩でこれを回ったのかと、信仰の深さを感じ入り、また各地の風物に接する事ができて、想い出深い旅でありました。

秩父などは、首都圏から日帰りもできて、割とコンパクトに札所がまとまっているので、また行きたいと思っています。そして遠い将来は、四国八十八ヶ所を.....

Rockmosen さん

#11 小倉百人一首 2001/9/9 7:10 [No.2813 / 15915]

藤原定家が、京都嵯峨の小倉山の山荘で、天智天皇から順徳天皇に至るまでの各時代の著名な歌人百人の名歌を、一首ずつ集め、それを山荘の障子に貼り付けたのが発祥と言われています。

時々、この百人一首のカルタ取りの大会を、TVで見たりしますが、選手になると、上の句を、続く下の句が分かるまで読んだ瞬間には、0.何秒かという感じの、目にも止まらぬ速さでカルタが弾かれて、優雅なようでも、瞬間的にはまるで格闘技だって思いました。

Rockmosen さん

#12 米百俵 2001/9/9 10:40 [No.2814 / 15915]

明治初期の長岡藩が財政難にもかかわらず支援米百俵を人材育成のための学校設立に使ったという内容。小泉首相が5月の所信表明の中で、将来を見据えた「改革の精神」として

紹介したことから大きな話題となった。

昨日、小泉首相、歌舞伎「米百俵」を鑑賞。

kos*uya*h*nab*shi さん

#13 百代思想 2001/9/9 11:37 [No.2815 / 15915]

皇統は百代続けばそこで断絶し、新しい王があらわれるというもの。

第百代天皇は後小松天皇にあたり、足利義満は天皇家乗っ取りを企てたといわれています。

tok**_00*_69 さん

#番外 百日紅 2001/9/9 12:47 [No.2816 / 15915]

今年は春先から季節が前倒し気味で、梅雨もそこそこにすっ飛ばして

7月には厳しい暑さが襲ってきましたね。

サルスベリは、夏の間中咲きつづける紅色の花ということで、「百日紅」の字が当てられますが、その百日紅も大方散ってしまいました。

でも、最近は「紅」色じゃない、薄い赤紫色がほとんどですね。

hui*_k さん

#13 百武賢兼 2001/9/9 15:01 [No.2817 / 15915]

こんにちは

竜造寺隆信の家臣。竜造寺四天王の1人。

その武勇は百人に勝ると言われ、隆信から百武の姓を賜った。その武勲は数知れない。「島原の戦い」では主従40人と共に壮絶な討ち死にをしはった。

KISSME_PLAY さん

↓#14 2001/9/9 15:13 [No.2818 / 15915]

_(^^;)ゞイヤー

KISSME_PLAY さん

#15 百貫デブ 2001/9/9 15:47 [No.2819 / 15915]

尺貫法が通用しない現代では悪口としての効果は薄い。100

貫=1000 匁=375kg 体重 375kg の肥満体をあざける言葉として使われるが、もともとの由来は百貫のように重みのある人を指して言う言葉らしい。

daw*_*さん

#16 百式 2001/ 9/ 9 17:49 [No.2820 / 15915]

百式重爆撃機「呑龍」、というのがあるそうです。百、百、百でどうしても「百式」(モビルスーツがね…、)しか思いつかず「百式」で歴史的になにかないか検索したところ、出てきました。

1941年3月に採用された陸軍の重爆撃機だそうです。「百式」の由来としては、1941年というのは皇紀では2601年なので本来なら「一式重爆」となりそうなところ前年の数字を取って「百式」となっている、という文がありました。

ふうむ。さすが戦時中。皇紀を元にしていいのか、と納得。そういえば昭和16(1941)年生まれは名前に「一」がつく人が多いという話を聞いたことがあります。(真偽は不明ですが)

もともとの「百式」はそういう意味なのでしょうかね？(じゃあモビルスーツは??…って、くどい?)

全く詳しくないのに投稿してしまってすみません。にざりいさん

#17 百年戦争 2001/ 9/ 9 19:27 [No.2821 / 15915]

1337年～1453年

Guerre de Cent Ans

フランス王位の継承問題に、フランドル地方の領有問題が加わって、百十余年にわたってイギリスとフランスが争った戦争

戦争状態が続いている間、常に戦闘が行われていたわけではなく、断続的な戦いが続けられてた

1328年カペー朝が絶えたフランスでバロア朝のフィリップ6世が王位につく

これに対し、イギリス王エドワード6世は母がカペー家の出身であることを理由にフランスの王位継承権を主張して宣戦した

戦争初期は、エドワード黒太子の率いるイギリス長弓隊がクレシーの戦い、ポアティエの戦いなどでフランス騎士軍を破り、1360年ブレティニーの和で領土を拡大したのちフランスは戦勢を回復したが1415年アザンクールの戦いで大敗

1428年国王シャルル7世はオルレアンに包囲されたが、ジャンヌ・ダルクラの活躍によって、フランス軍が優勢を確保カレーを除くフランス全国土を回復し、戦争は終結する。英仏の因縁はこの戦争からといわれています。

ryozanpaku_69さん

#18 藤原百川 2001/ 9/ 9 21:17 [No.2822 / 15915]

奈良時代の公卿。藤原宇合の八男。初名は雄田麻呂。天平宝字3年(759)従五位下に叙せられ、同7年智部少輔(ショウ) (宮内少輔)。さらに称徳朝で内匠頭、右兵衛督、中務大輔、河内守等に任ぜられたが、道鏡を皇位に即けようとした宇佐八幡神託事件では、配流された和氣清麻呂と同広虫(法均尼)を密かに援助している。宝亀元年称徳(孝謙)天皇が崩ざると、左大臣藤原永手・内大臣藤原良継らと計略をめぐらし、吉備真備の推す文室珍努・同大市を排して白壁王(光仁天皇)を皇嗣に擁立した。その功から光仁天皇に重用され、同2年大宰帥、次いで参議となる。翌年皇太子他戸親王を策略により廃し、自らの推す山部親王(桓武天皇)を新たに皇太子に立てることに成功。同5年従三位に昇り、のち式部卿・中衛大将も務めた。没後、延暦2年(783)右大臣、弘仁14年(823)正一位太政大臣を追贈された。

ryozanpaku_69さん

#19 吉見百穴 2001/ 9/10 0:28 [No.2823 / 15915]

よしみひやくあな。埼玉県比企郡吉見町にあり、東武東上線の東松山駅からバスで訪れることができます。山の斜面に200以上の横穴が掘られた古代遺跡です。

かつては、原始時代の住居かとの説もありましたが、現在では、古墳時代の墓穴であることが確認されているそうです。この百穴ですが、秘密基地の雰囲気があるので、かつては仮面ライダーや、人造人間キカイダーといった特撮番組で使われ、若い頃の山本リンダ、島田陽子、といったスターが、ライダーガールとしてアクションを演じたりしています。近くには、東松山の由来になった松山城跡や、#10の百観音の一つ、坂東33ヶ所1番札所の吉見観音などがあります。

Rockmonsénさん

#20 江戸三百藩 2001/ 9/10 2:18 [No.2824 / 15915]

所謂戦国時代も終わり徳川幕府の成立に伴い全国に300ヶ所の諸藩が置かれました。今後のお題に出そうなので藩名は書かないでおきます。KISSME_PLAYさん

お題 あなたの印象に残った場面... 2001/ 9/10 2:20 [No.2825 / 15915]

こんばんは(へー)それではわたしから出題させていただきます。今まで大河ドラマ、古代劇、時代劇など映画、TVなどの歴史ドラマでの熟演が印象に残ってはる人物を挙げてください。邦画洋画どちらでも結構です。↑には役どころを、↓には俳優名と印象に残ってはる場面などをお願いします。

#00 豊臣秀吉

大河ドラマでの太閤記です。父が熱心に毎週欠かさず観てはって始めは嫌々観てたんですけど

その内はまっちゃって・・・

緒形拳さまの演じる秀吉最期の場面。

語りはすっかり忘れてましたが

立ったまま鼻水を垂らし、逝ってしまいます。

その熱演には幼心にもしっかり

焼きついてはります。

森蘭丸役の片岡孝夫さま、明智光秀役の佐藤慶さま

石田三成役の石坂浩二さま他

今はこういった名優陣も

隅に追いやられて悲しいです。

KISSME_PLAY さん

すみません、訂正(^^;) 2001/ 9/10 8:57 [No.2826 / 15915]

メッセージ番号 2820、「百」のお題での#16「百式」内でのコメントを訂正させていただきます。

誤) そういえば昭和 16(1941)年生まれは

名前に「一」がつく人が多いという話を聞いたことがあります。

正) 昭和 15 (西暦 1940、皇紀 2600) 年からその翌年の昭和 16 年にかけて生まれた人の名前には

「紀」がつく人が多いそうです。

「紀元」の「紀」ですね…。

言い訳になりますが、昭和 16 年生まれの親の名前に両方の漢字が使われていて

「同年代にはこの字がついている人が多いのだ」と

聞いたことがあったのを、「一」のほうであったと勘違いしてしまいました。

にぎりいさん

お礼「キリシタン」 2001/ 9/10 9:59 [No.2827 / 15915]

遅くなりましたが、キリシタンのお題投稿ありがとうございました。

20 に到達しそうもなかったら、少年使節をかたっぱしから列挙するか?などと考えていました (なんちて)。

土日は PC をゆっくり見れなかったので、次のお題も参加できず、残念!!

取り上げられなかった人、大村純忠 (最初のキリシタン大名)、天草氏 (四郎とは別で、天草地方の豪族)、厳密にいうと NG だが和田惟政 (洗礼の直前に戦死、黒田孝高もこのひとの影響でキリシタンに) など。

ぼちぼちでんな～さん

#01 刃傷松の廊下 / 元禄太平記 2001/ 9/10 10:26

[No.2828 / 15915]

実は今回ぼくも似たようなお題を出そうと準備しておりました。

ぼくの場合は、以前どなたかがおっしゃっていたのをモディファイして、

「歴史上の人物を実際に演じた中でのほまり役」で、挙げるのは、歴史上の人物も、演じた役者さんも、一回だけとし、早い者勝ち、言ったもん勝ちという風に考えていました。

解答例も兼ねてあげようとしていたのが

#01 浅野内匠頭 / 片岡孝夫 の組み合わせで、

25 年くらい前の大河ドラマ『元禄太平記』での配役です。

若い頃の孝夫さんは、おっとりした美男子でありながら、

沈鬱で危なげな雰囲気うまく出ていて、まさに

内匠頭には打ってつけの配役だったように思います。

お蔭で、以来ぼくの頭の中には、内匠頭のイメージは

孝夫さんの顔のまま刷り込まれてしまって、

他の役者さんでは違和感を感じてしまいます。

ちなみに、このときの「あぐり」役は松坂慶子さんでした。

「昼行灯」の江守徹さんも好演でした。

hui*_k さん

#02 椿三十郎 2001/ 9/10 13:16 [No.2829 / 15915]

ラストシーン、三十郎が仇役 (仲代達矢が扮している) と対峙、にらみ合った末、抜き身で一瞬のうちに相手を切り捨てる・・・その瞬間、いかにもポンプで出しているような血の噴出、あれはすごかった。

三十郎はそれに備え、いつも指で刀を抜く練習をしているのが伏線となっていて、それも面白いものでした。

おまけ：あと、「乱」で、加藤武扮する家老が、軍団を率いて城を立ち去るシーンがあるんですが、それもすごくリアルでよかったなー。

ぼちぼちでんな～さん

「百」のつくもの、御礼 2001/ 9/10 16:35 [No.2830 / 15915]

皆さんどうもありがとうございます。結構、自分の予想しているものが出ず、

意外なものが出てきたので各解答を楽しく読ませていただきました。

今回は wavenao88 さんの思いつきを Huis_K さん風にアレンジしたお題でしたので、

全く私のオリジナリティがありません。

まあそのうち、又違った視線から歴史を眺められるようなお題を考えますのでよろしく。

でもちょっと難しいのになるかも (笑)。難しいのは避けた方がいいですか？

麿地照美さん

#03 愛新覚羅溥儀 2001/ 9/10 16:47 [No.2831 / 15915]

映画「ラストエンペラー」より、ジョン・ローン演じる最後の中国皇帝です。

これを書き出すと長文になりそうですが、なんとか短くしてみます。

不遇の皇帝ながら毅然とした態度と、戦犯としての「これが本当に元皇帝か」と

思わせるような哀れな姿を、とても対照的に印象強く演じておられます。

この映画は何と言っても坂本龍一のテーマ曲が素晴らしいです。今でもあの曲を聴くと、

映画を観たときの感動が即座に蘇ります。おまけに (失礼 (笑))、映画の中でも

甘粕役で出演しています。溥儀を皇帝とする満州国の、実質的な権力者という役です。

結局、無条件降伏した時、拳銃で自殺してしまいましたね。

また、この映画で唯一笑ってしまう場面があります。

それは、せっかく最後まで長々と溥儀の一生を事細かく描いておきながら、最後の場面で観光ガイドさんが溥儀の一生をたった一言で説明してしまうところです。

「おいおいそれはないだろう！私だって時代に翻弄されながらも必死に生きたのだ！」

という溥儀の声が聞こえてきそうでしたね。

麿地照美さん

#04 徳川慶喜 2001/9/10 16:52 [No.2832 / 15915]

先の、溥儀と似たような境遇の人ですが、慶喜は引退後は趣味三昧の生活だったようです。

つい最近の大河ドラマで、本木雅弘さんが演じておられました。

この中で慶喜の演技についての印象といえば、いかにも「お殿様」という感じでおっとり

構えていたところと、「禁門の変」の時、乗馬が得意なはずの慶喜が、自ら走って各所に命令を伝えていたところ（笑）。

麿地照美さん

#05 石川五右衛門 2001/9/10 17:51 [No.2833 / 15915]

またまた古い大河ドラマで申し訳ありませんが、呂宋助左衛門の生涯を当時の市川染五郎さん（松たかこパパ）が演じた

『黄金の日々』では、石川五右衛門役の根津甚八さんの渋さとカッコ良さが評判になりました。

その友人で、おそらく架空の人物であろう役どころを演じた川谷拓郎さんは、このドラマで一躍脚光を浴び、人気俳優の地位を手にしたという記憶があります。

川谷さんの役どころは信長暗殺に失敗して鋸轢き、五右衛門の方は秀吉（緒方拳さん）を殺そうと屋敷に忍び込み、

もう少しのところで捕らえられ、釜茹でにされます。

hui*_kさん

むむ、それは！ 2001/9/10 18:31 [No.2834 / 15915]

>川谷さんの役どころは信長暗殺に失敗して鋸轢きにたぶんそれは杉谷善住坊だ！

（実在の人物）

川谷さんのその役、見てみたいですね。

クイズ バンチ de デートさん

そうだったのか.... 2001/9/10 18:46 [No.2835 / 15915]

>たぶんそれは杉谷善住坊だ！

>（実在の人物）

調べてみたらそのようです。

<http://www.tk.airnet.ne.jp/mit/junjunland/981278.html>

こちらでも触れていますが、たしかに全体的に虚々実々綯い交ぜになったようなドラマで、信長暗殺に至る必然性が低すぎたこともあり、子供ながら勝手に架空の人物だと決め付けていました。

ご教示有り難うございます。

hui*_kさん

#06 豊臣秀長 2001/9/10 20:01 [No.2836 / 15915]

「おんな太閤記」での、中村雅俊さんの演技が印象に残ります。

名場面という程の場面があったわけじゃないけれど、このドラマのこの人のおかげで、「豊臣秀長」に興味を持ちました。永遠のNo.2というより、「史上最高のNo.2」と言ってもいいであろう人物。

戦も得意で内政にも多大な貢献、なにより家中の取り纏めが抜群に上手い、

そしてそのトップは限りない上昇志向と夢を持っている、理想的なコンビだと思います。

杉谷善住坊 とられてしまった...

ecc**lerさん

#07 徳川光圀 2001/9/10 20:52 [No.2837 / 15915]

超メジャーな人物ですが、時代劇も、大河ドラマも、ここ1

0年近くはご無沙汰しているもので。

黄門様というと、やっぱり一番印象が強いのは、故・東野英治郎氏ですね。

普段は好々爺に見えながらも、非道な役人、商人に向ける一瞬の厳しき、毎回ラストでの、あの高笑い、その後の2代目、3代目も、追いつけないって感があります。

今4代目は、石坂浩二氏だそうですね。ぜんぜん見てないですが、これまでの長年の黄門像を打ち破ろうとしているようですが、何かあの人と黄門というと、ピンと来ない気がします。

Rockmonsensさん

#08 織田信長 2001/9/10 21:20 [No.2838 / 15915]

大河ドラマ「秀吉」で渡哲也演じる信長。

妹、お市に夫である、浅井長政の髑髏の杯をさしだし、秀吉（竹中直人）に諫められ、涙をながすシーンです。

あの信長が泣くのかとおもいました。

お市役の頼近美津子はイメージと違いすぎる、娘の茶々役に松たか子がでていました。

ryozanpaku_69さん

#09 大谷吉継 2001/9/10 21:27 [No.2839 / 15915]

去年の大河ドラマで、細川俊之が演じていました。

いったんは三成の誘いを断った吉継でしたが、その夜、佐和山に訪れ、「おまえも阿呆だが、わしもあほだ」といって味方になることをもうしてました。

この時、吉継は馬に乗っていましたが、「馬に乗っているのはオカシイ」とNHKに抗議が殺到したとか？

ryozanpaku_69さん

#番外 「猿の惑星」のラストシーン 2001/9/10 21:39 [No.2840 / 15915]

未来も歴史です。

196X年、テイラー隊長ら優秀な科学者を乗せた宇宙ロケットがアメリカのケープケネディを後にした。

1年6ヶ月のあいだ宇宙を飛び続けた後、計器の故障で、地

球より 320 光年離れた、オリオン座のとある惑星に不時着した。宇宙飛行中の時間差で地球時間では 2000 年の歳月のが経過していた。地球への生還の望みを失ったテイラー隊長以下 3 名は足取り重く砂漠を越えると、恐ろしい光景を目の当たりにする。猿が人間のように言葉を話し、人間を支配する光景であった。テイラー等は馬を自由に駆ける猿の一群に包囲され、最高権力者ザイアス長官が統治する”猿の国”の捕虜となる。そこでは人間は無知無能であったため、英語を話し字を書く、テイラーは猿たちの驚異であった。数千年前の人間の文明を信じるジーラ博士と、その夫である考古学者コーネリアスの理解と助けを得て、猿の国を脱出する。ザイアス長官の追跡を逃れ海へ出たテイラーの目に映ったものは。ryoanpaku_69 さん

#10 島猛勝 2001/ 9/10 22:23 [No.2841 / 15915]

こんばんは
去年の大河ドラマ【葵三代】での夏八木勲さまの慰撫し銀の演技感動です。
最期の弾丸を浴びて、落馬し
虫の息で「一命捧げたてまつりまする」
ほんま泣きました。
KISSME_PLAY さん

#11 遠山左衛門尉景元 2001/ 9/10 23:48 [No.2842 / 15915]

モデルになった人物の本名はこの通りですが、この人と言え
ば、「遠山の金さん」って言い方が馴染み深いですね。
TV 時代劇の金さんと言えば、私的には何といっても中村梅
之助氏。
「おう！おう！おう！いい加減にしやがれ！この桜吹雪に見覚えがねえとは言わせねえぞ！！」
本人は江戸っ子と言うことですが、あの立て板に水の、きつ
ぷのいい台詞回しは、右に出る者がいないと思います。
ちょっと前病気で倒れて、闘病の末復帰したそうですが、今
は元気でしょうか？
Rockmonsens さん

#12 北条政子 2001/ 9/11 1:21 [No.2843 / 15915]

タイトルは忘れましたが、これも 20 年以上前の主として北
条政子の生涯を描いた
大河ドラマで、岩下志麻さんが北条政子を演じていました。
あんまりまじめに見ていませんでしたが、頼朝（石坂浩二さ
ん）との恋愛から、
息子頼家（郷ひろみさん）の追放、実朝（篠田三郎さん）の
擁立...
といった流れの中での尼将軍の存在感は強烈なものでした。
「ごくつま」もいいけど、あれは良かったなあ....
郷ひろみさんも、悲劇の将軍らしく憂愁を帯びた感じがなか
なか良かったですよ。
hui*_k さん

#13 清原家衡 2001/ 9/11 8:02 [No.2844 / 15915]

大河ドラマ「炎立つ」第二部より。豊川悦二さん演じる清原
家衡です。
兄の清原清衡（村上弘明）との領地争いののち、一旦和解し
たと見せかけ、
涙を流しながら兄に詫びた後、一人になった時に「ぶっ殺
す！」と眉間にしわを寄せて
つぶやくところが印象に残っています。
その後、清衡の家族を皆殺しにした後、源義家（佐藤浩市）
の兵糧攻めに遭い、
籠城の末、最後の一杯！というご飯（湯漬け？）を、体をが
たがた震わせながら
かきこむ姿などもよく覚えています。
磨地照美さん

#番外 小栗上野介忠順 2001/ 9/11 8:13 [No.2845 / 15915]

どの放送局の、何という番組か忘れてしまいましたが、
今北条時宗を演じておられる和泉元彌さんがこの役をやり、
『日本人で初めてアメリカに「NO!」と言った人物』という
紹介をしていました。
敵役として、今井雅之さんが勝海舟を演じておられました。

勝海舟はことごとく

小栗の出世の邪魔をしたという設定です。

「NO と言える日本」著者石原慎太郎氏の息子、石原伸晃氏
がそのためだけに
わざわざゲストに呼ばれていたのも印象的です。
小栗は、アメリカでの為替レートの交渉の場で、アメリカの
申し出たレートに

「NO!」と言いました。何でも日本の小判には銀なども含ま
れているのに、
アメリカ側は単なる金の含有量のみでレートを決めようと
した事に反発して、とか。
この時の和泉元彌さんは、今演じている優柔不断な時宗より
も、毅然としたカッコイイ
小栗上野介を演じていましたね。
小栗は新政府にたてついた人物と言うことで、その功績が正
当に評価されることが
少ないため、このような番組は珍しく、録画しとけばよかつ
たなあ、
と今でも残念に思っています。
磨地照美さん

#番外 織田信長 2001/ 9/11 8:16 [No.2846 / 15915]

番外続きですいません。織田信長は一度出てしまっているの
で番外としました。
これもどっかの民放局で年末の特番でやったものですが、
渡辺謙さんが演じる、背広姿の織田信長がと〜〜〜っても印
象的でした。
磨地照美さん

#番外 織田信長 2001/ 9/11 10:28 [No.2847 / 15915]

「はまり役」話になると必ず出てくるのが、高橋幸治さんの
信長で、
大河ドラマ「豊臣秀吉」では緒方拳さんの秀吉と見事なコン
ビネーション
だったそうで、「黄金の日々」ではそのコンビが復活したこ
とも話題を

呼んだようです（これは後から聞いた話）。
肖像だけでなくいろんな逸話からそれぞれが思い描いている信長像に合う
役者さんはそう多くはないのかも知れません。
hui*_k さん

#14 淀殿 2001/ 9/11 10:55 [No.2848 / 15915]

「おんな太閤記」での淀殿は池上季実子さんでした。
結構はまり役だったと思います。
なんでもはじめは松坂慶子さんの予定が、脚本の橋田寿賀子さんの意向で池上さんになったとか...
全体的に配役に無理がなくて、安心して楽しめたように記憶しています。
その他にも、浅野長政が尾藤イサオ、その奥さん（秀吉の妹）が泉ピン子、蜂須賀小六が前田吟、大政所が赤城春恵....
と個性的な役者が揃っていて... なんだ、橋田ドラマそのものじゃないか...
茶々の妹のおごうは、はじめ見たことのない女優さんで、「ちっともかわいくないじゃん」と思っていたら、いつのまにか五十嵐淳子さんになっていて、疑問を残しながらも納得した記憶があります。今は、同じドラマで羽柴秀長役を好演した中村正俊さんの奥様ですね。
調べてみたら、当時は無名だったので気がつかなかったけど、織田信孝が役所広司さん、浅井長政が風間杜夫さん、石田三成が宅麻伸さんだったそうです。
面白いですね。

hui*_k さん

#015 烏丸少将文麿 2001/ 9/11 11:44 [No.2849 / 15915]

深作欣二監督「柳生一族の陰謀」の登場人物で、今は亡き名悪役成田三樹夫さんが演じていました（この人物自体は架空の存在でしょうが、烏丸家というお公家さんは実在しています）。
公家ながらも剣の達人で、柳生十兵衛の弟（名前失念）を軽々と斬り捨ててしまうし、最期には十兵衛とほぼ互角の対決をします（もちろん負けるけど）。

主役の萬屋錦之助（但馬守）や千葉真一（十兵衛）をすっかり喰ってしまうほどの絶妙なキャラクターで、敵役ながらも実においしい役所でした。
以後、陰謀家風公家の役といえば成田三樹夫との定評を得ましたが、90年に55歳で早逝されました。本当に惜しい役者を早く亡くしたものです。
s11*3_0*さん

#16 清水一学 2001/ 9/11 12:03 [No.2850 / 15915]

これも深作欣二監督作品で、「忠臣蔵外伝・四谷怪談」の登場人物。
実在の吉良家の付き人（用心棒）で蟹江敬三さんが演じていましたが、作品が作品だけに、どこかこの世の人ではないような化け物
チックなキャラとして描かれていました。
吉良邸討ち入りで赤徳浪士数人を相手に不気味な笑い声をたてながら、立ち回る場面は圧巻。浪士は一学の猛襲にまったく歯が立たず
押しまくれるばかり。でも最期にはお岩の亡霊にとり殺されてしまいます。
↓で書いた成田三樹夫に匹敵する深作映画の名キャラといえましょう。
s11*3_0*さん

1 7 徳川家重 2001/ 9/11 16:09 [No.2851 / 15915]

江戸幕府第九代将軍。
八代将軍徳川吉宗が紀州藩主だった時に長男として生まれる。言語が不明瞭で病弱だった為、将軍家相続の時に長男である家重よりも次男の田安宗武を推す声もあった。
家重が将軍に就任した直後は大御所となった吉宗の力が強かったが、吉宗の死後は、唯一、家重の言語を聞き取れた大岡忠光が側用人となって重きを成し、老中を長期間勤めた松平武元等が家重を支えた。

NHK大河ドラマ『八代将軍吉宗』では中村梅雀さんが家重役を好演したのが今でも印象に残っています。喋り方、立ち居振舞い等、他の役者さんとは演技の格が違うように思い

ました。正直言って、主役の西田敏行さんよりも演技がうまかったです。やはり、歌舞伎の人はレベルが違うなと感心したものです。
あの独特な喋り方は当初、綿を口にに入れて喋る予定だったのですが、結局何も口に入れずに収録したとか。
当時、「八代将軍吉宗展」というのが和歌山市で催された時、会場内にいたオバチャン達が中村梅雀さんの演技を褒めちぎっていたのを覚えています。

一番印象に残っているのは吉宗に対して、『幼い頃、弟の宗武や宗尹はおんぶをされた事があるのに自分はおんぶをされた事が無い。だから自分は父上に嫌われていると思った。』と言い、その後、年老いた吉宗が家重をおんぶする場面ですね。

ちなみに中村梅雀さんはこの『八代将軍吉宗』の徳川家重役で第17回松尾芸能賞優秀賞を受賞しています。
hoh*emi*h*met*wn さん

1 8 毛利隆元 2001/ 9/11 18:26 [No.2852 / 15915]

毛利元就の長男で、輝元の父親。
同じ元就の子供でも、次男の吉川元春が武勇に優れ、三男の小早川隆景は知略に秀でているのに対し、隆元は目立った活躍が少なく、なおかつ元就よりも先に死んでしまうせいか影が薄い武将です。

NHK大河ドラマ『毛利元就』で、上川隆也さんが人のよさそうな隆元を演じていました。ドラマでは偉大な父と弟に挟まれ、劣等感に悩む武将として描かれていて、自分は家督を幸鶴丸（後の輝元）に譲るとまで言ってます。
しかし、後に冷静沈着な毛利家当主として活動するのですが、その後暗殺されてしまう悲劇の武将という事になっています。

酒宴の席で元就が舞を舞う姿を見て、元就は家臣を引っ張っていく当主だが、自分は家臣を支えていく当主だと考え、隆景に自分はこれからも毛利の当主を続ける事を告げる場面は良かったです。

演じていたのが上川隆也さんという事もあって、調略を潔く思わない、さわやかな武将として描かれていました。

実際、隆元は毛利家のまとめ役的な存在だったと思います。もし隆元が元就並に長生きしていたら、対織田戦線も変わっていたのではないのでしょうか。

hoh*emi*h*met*wn さん

#19 細川ガラシャ 2001/ 9/11 22:20 [No.2853 / 15915]

TBS系で放映された「関ヶ原」で栗原小巻が演じた、ガラシャが印象的。

キシタンゆえ自害できず、家老に胸を薙刀で突いてもらいました。

その後、大坂玉造の細川邸は炎上、その炎を見上げる、石田三成（加藤剛）、小山にいる細川忠興（竹脇無我）、その他豪華キャスト出演によるものでした。

ryozanpaku_69 さん

#20 土方歳三 2001/ 9/12 11:51 [No.2854 / 15915]

かつてNET（現テレビ朝日）で放映された「新選組血風録」「燃えよ剣」で、栗塚旭さんが演じた土方歳三はやはり絶品。それまでの新選組モノでは、どちらかというと地味な扱いであった土方のキャラクターを彼が一変させたといっても過言ではありません。

印象的な場面は数々あるけれど、やはり「燃えよ剣」の最終回、箱館での最期の場面は歴史の残る名シーンでしょう。

s11*3_0*さん

お題：箱館戦争・蝦夷共和国軍戦士20人 2001/ 9/12 11:56 [No.2855 / 15915]

やっと出題のタイミングが私にも回ってきました！！

さてお題ですが、戊辰戦争の最期を飾る箱館戦争。この戦いで薩長ら新政府軍相手に戦った蝦夷共和国軍の戦士たちを20人挙げて下さい。

直参旗本、諸藩藩士、旧幕府諸隊、外国人など出自は問いません。

s11*3_0*さん

#01 土方歳三 2001/ 9/12 14:08 [No.2856 / 15915]

前回の20番と今回の1番が同じ・・・

有名だからこれといって書きませんが、以前、北海道旅行の際、「土方歳三の血」というワインを購入した思いがあります。渋い、重い味でした。

fev*rq*ee*2jp さん

#02 甲賀源吾 2001/ 9/12 16:18 [No.2857 / 15915]

幕艦・回天の艦長で、宮古湾での海戦で残念ながら戦死しました。高等数学を学び、測量業務に従事するなど、かなり優秀な方だったようです。

ぼちぼちでんな～さん

#03 永井尚志(なおゆき) 2001/ 9/12 20:28 [No.2858 / 15915]

勝海舟も学んだ、長崎海軍伝習所の初代総取締で、幕府きつての開明派。

土佐藩建議の「大政奉還」を後藤象二郎から取次ぎ、坂本竜馬を援助したという話もある（「竜馬が行く」では重要な登場人物の一人）、そんな彼も函館戦争に参加することになる。そう考えると、薩長新政府って一体…

と思っちゃいますね。

戦後は新政府に出仕しています。

ecc**ler さん

#番外 菅原文太 2001/ 9/12 20:32 [No.2859 / 15915]

20年ほど前的大河ドラマ「獅子の時代」で会津藩士 平沼銑次として、函館戦争に参加してました。平沼銑次は主人公ですが架空の人物なので番外です。

ecc**ler さん

#04 大鳥圭介 2001/ 9/13 2:26 [No.2860 / 15915]

思いついたのは、土方を除くとこの人ぐらいでした。元幕府の歩兵頭で、会津若松が落城後、蝦夷共和国の総裁に

従って箱館入りし、陸軍奉行となりました。

箱館五稜郭落城後は、元総裁と同じく明治新政府に加わり、枢密顧問官などを勤めたそうです。

もう故人ですが、元奥さんの京唄子さんとコンビで、漫才や、「おもしろ夫婦」の司会をしていた鳳啓介さんは、この人にあやかって芸名をつけたのかな？

Rockmonsén さん

#05 榎本武揚 2001/ 9/13 10:48 [No.2861 / 15915]

旧幕府軍の総帥として官軍と戦いましたが、敗戦後は明治政府にあり、ロシアとの交渉などに尽力しています。

お題がぼくにはむつかし過ぎるので、メジャーなところしか挙げられません。

WTCのテロで、「歴史というのは、遠くから眺めると面白くても、近くで見ると非情なものだな」と暗澹とした気分になっています。

この2日ほど盛り上がりには欠けるのはそのせいかな…

hui*_k さん

#06 松平定敬 2001/ 9/13 14:10 [No.2862 / 15915]

このお題はかなり難しい・・・

桑名藩主、松平容保の弟。会津から箱館までつきあってます。戦後はどうされたのでしょうか、ちょっとわかりません。容保は孝明天皇(?)の手紙をずっと死ぬまで離さず持っていたといいますが。

クイズ パンチ de デートさん

出題者よりの提案 2001/ 9/13 19:06 [No.2863 / 15915]

>このお題はかなり難しい・・・

といったご意見が相次いでおり、ちょっと考えてしまいました。

最近、佐々木譲「武揚伝」を読んだばかりなのでこんな出題を試みたのですが、

なんか自分の思い入れだけで出題したようで申し訳なく思っております。

そこで提案なのですが、お題を多少緩和し、

「戊辰戦争・幕府側で戦った人たち20人」というのはどうでしょう。

「戊辰戦争」とは、いうまでもなく鳥羽伏見の戦いから箱館戦争までを指します。

条件は最初と同じで、直参旗本、諸藩藩士、旧幕府諸隊、外国人など出自は問いません

(後、大名もいますね)。

それから「戦士」という言葉、タイミング的にやや不穏当だったかもしれません。

テロリストを戦士と呼ぶつもりは毛頭ありませんが、奴らの味方の陣営からすれば

「〇〇の戦士」と呼ばれることが多々ありますからね。

尚、この提案に対しては私の一存ではなく、一人でも「そうしろ！」

と言われる方がありましたら上記のようにしたいと思います。

s11*3_0*さん

提案に賛成します。 2001/ 9/13 22:18 [No.2864 / 15915]

>そこで提案なのですが、お題を多少緩和し、

>「戊辰戦争・幕府側で戦った人たち20人」というのはどうでしょう。

>「戊辰戦争」とは、いうまでもなく鳥羽伏見の戦いから箱館戦争までを指します。

実はその提案、私も昨日あたりから考えていました。

箱館戦争の旧幕府側と言うか、蝦夷共和国側の人物だと、ほとんど知識がありませんで、少し図書やWEBで検索してみましたが、氏名や役職は載っていましたが、人となりはほとんど分からないし、無理にレスしてもカンニングの、機械的に書いた文になりそうなので、控えていました。

ただ、はっきりこちらから意思表示すると、出題したs112301さんに失礼になると思っていましたが、確かに戊辰戦争全体にあたっての幕府側の参戦者の方が、広範囲のレスが可能で、投稿も進みやすいと思いますので、私は賛成します。

ただやはり、トピ管理人さんや、複数の常連さんの意見も頂

いてからの決定がより適当と思いますので、レスを期待しております。

Rockmosen さん

#07 相馬主計 2001/ 9/13 22:37 [No.2865 / 15915]

こんばんは

天保十四年、常州笠間藩、船橋平八郎の子として生まれる。慶応三年十月、土方が江戸へ下り隊士を募ったときの新入隊士である。

同時期入隊者に池田七三郎や井上泰助がいる。

新選組の京都時代、最期の新入隊士である。

主計の他、肇、主殿(とのも)とも名乗った。

慶応四年、近藤が流山で投降した際、相馬は近藤救出を懇願するため、土方と共に勝海舟を訪ねた。

そして、幕臣、松濤権之丞の手紙を板橋の近藤に

届けて捕らえられた。近藤の処刑後釈放され、

戊辰戦争を戦う。

箱館渡航後、陸軍奉行添役として

土方の下に属し、明治二年の宮古湾海戦に参戦。

手傷を負いながらも生還する。その後は、

箱館市中の警備役として永井尚志の下に配属され、

弁天台場に入った。奮戦むなしく、弁天台場が陥落した後は最後の新選組隊長に推される。

五稜郭開城後、新選組の同志達とは別扱いで

東京に送還され、坂本龍馬殺害の取り調べを

受け、新島に流された。明治五年十月十三日赦免

された後、島の女性と結ばれ、静岡で新生活を送ったとか、江戸蔵前で生活を営んだとかいうが詳細は不明。

自刃したとも伝えられるが、最期を伝える話は、ない。

カンニングしました(へへ)

KISSME_PLAY さん

#08 岩村高俊 2001/ 9/14 10:45 [No.2866 / 15915]

さっそく、戊辰戦役のひとつ、長岡戦争の武将を挙げます。江戸城開城の際には、勝と西郷という役者が揃い、それまでの日本人になかったような画期的な結論を出す事が出来ま

したが、役者が揃わないと結末が喜劇的な悲劇になってしまう例として有名です。

譜代の名門長岡藩牧野家は、西から「戦争か服従か」の選択を要求しながらやってくる官軍と、背後に控え、奥州同盟への加盟を拒否した長岡を執拗になじり嫌がらせを仕掛けてくる会津との間で、苦境に立たされていました。

長岡藩の家老であるK氏は、小千谷にて官軍との会談を申し入れ「もう少し時間をいただきたい、そうすれば頑なに抵抗する会津を何とか諫めることが出来る」とはっきりしたヴィジョンのもとで提案しました。

ところが相手の役者が悪かった。

土佐出身の岩村は、結局は田舎育ちの小僧でしかないものの、薩長に取り入ることでのし上がってきただけの人物で、木戸孝允には「キョロマ」と呼ばれる、どちらかといえば、短慮、キョ傲、愚昧を絵に描いたようなとても一軍を任せられる人材ではなかった筈で、この男がK氏の申し出でを問答無用で跳ね除けたため、以来長岡の人々は無用の戦火に苦しむことになります。

K氏の軍は一度は山県有朋の軍を敗走させるなどの戦い振りでしたが、官軍の大軍には抗しきれず敗北し、K氏もその際の負傷が元で亡くなります。

岩村は、江藤新平の佐賀の乱の際にも、必要以上の大軍で押しかけ、却って事態収拾の可能性を失わせる弧とをやっています。

でも官軍側だったので、見事に男爵ゲット。

hui*_k さん

#09 齋藤一 2001/ 9/14 11:10 [No.2867 / 15915]

新撰組の初期からのメンバーだった齋藤も、会津戦争などに従軍しました。

司馬遼太郎の「燃えよ剣」では、箱館まで土方と同行しますが、そこで土方に諭されて東京へ帰ることになっています。明治、大正まで生きて往生しています。

数少ない新撰組の生き残りでしょう。

クイズ パンチ de デートさん

#10 今井信郎 2001/ 9/14 11:18 [No.2868 / 15915]

このひとは、どっちかというと坂本竜馬暗殺に関わったのではないか？という疑惑のほうが有名。

海陸裁判役兼軍艦という役職で、五稜郭でも戦っていますが、明治の世になって取り調べを受け、入獄もしています。ただ、すぐ出てきていることと、西南戦争に参加していることで、竜馬暗殺の黒幕は西郷隆盛説が出ました。

この人も大正まで生き、大往生しています。キリスト教にも入信したそうです。

クイズ パンチ de デートさん

Rockmosen さん 2001/ 9/14 12:39 [No.2869 / 15915]

ごていねいなメール、ありがとうございます。

その後、トピ管理人さんをはじめ、常連のみなさんからも特に異議がないようですので、

お題は「戊辰戦争・幕府側で戦った人たち20人」に変更させていただきます。

みなさん、どうもお手数をおかけました。

s11*3_0*さん

ごめんなさい、岩村高俊はNGです。 2001/ 9/14 12:53 [No.2870 / 15915]

Huis_K さん、この度はいろいろお手をかけました。

ところで大変申し上げにくいのですが、

お題は「戊辰戦争・幕府側で戦った人たち20人」とさせていただきます。

従って、官軍側の岩村高俊はNGです。

私が途中でお題を変えたりしたのが、混乱させる原因でした。本当に申し訳ありません。

s11*3_0*さん

では#08 河井継之助 2001/ 9/14 13:18 [No.2871 / 15915]

噂のK氏の方です。

hui*_k さん

↓#10 になります 2001/ 9/14 13:21 [No.2872 / 15915]

s1123_01 さん、よく読まずに失礼しました。

hui*_k さん

#11 松平太郎 2001/ 9/14 16:32 [No.2873 / 15915]

土方、榎本、大鳥ほどメジャーな存在ではありませんが、蝦夷共和国の副総裁です。

500石の旗本で、幕府陸軍奉行並も勤めました。江戸開城時の主戦派で、上野寛永寺に謹慎した

徳川慶喜の不興を買い解任されたといわれています。

ちなみに「太郎」という名は本来「太郎左衛門」といい、その家系は徳川家康の遙か昔の先祖松平親氏が

遊行僧として、三河松平郷に辿り着き、養子に入った松平家の本家中の本家です。

そんな由緒のある家なのに、万石以上の大名にはならず、石高の低い旗本だったとは・・・。

それでも徳川宗家を少しも恨むことなく、最期まで戦い抜いたのは「三河武士魂」といったところでしょうか。

箱館陥落後獄につきましたが、やがて釈放され、北海道開拓使として新政府に出仕しています。

s11*3_0*さん

#12 飯沼貞吉 2001/ 9/15 2:44 [No.2874 / 15915]

会津若松の飯盛山で、城下に炎が上がったのを、落城と信じ集団自決した、白虎隊の唯一の生存者です。

藩士の子弟の中でも、文武に優れ多彩脳を持ち、15歳で白虎隊に入隊したと言います。

白虎隊士中二番隊は、総勢37人で出陣しましたが、援軍は農民、僧侶などの500人の勢力で、2700余名の敵軍との戦闘となり、衆寡敵せず敗走となり、20人で飯盛山へたどり着きそこで自刃となりましたが、彼も脇差で喉を突きましたが、急所を外したため一命をとりとめ、そこを通りかかった農婦のムメと嫁のハツに助けられ、領内の農村で手厚い看護を受けて、降伏後の城下へ戻って、両親との再会を果たします。

その後の貞吉は明治5年に通信省の技官となり、日清戦争に工兵大尉として出征しますが、危険だから銃を携帯するよう

部下が薦めるのを「一度死んだ身、不要だ」と言い、短い手槍を持つだけだったと言います。

彼はその後、明治、大正を生き抜き、昭和6年2月12日に、波乱に富んだ78歳の生涯を閉じましたが、仲間の元で眠りたいという遺志を受けて、彼の墓は飯盛山にあります。

彼は終生、生き残ったことを、死んだ仲間申し訳ないと悔やんでいましたが、彼が生き残ったからゆえ、飯盛山の悲劇が、後世広く伝えられるようになったと言えます。

最近読んだ、星亮一の「よみなおし戊辰戦争」によると、会津戦争の会津側の死者は、新政府軍側に「賊軍の死骸に手をつけるな！」と埋葬を禁じられ野ざらしのままになり、白虎隊士も、地元の農民が埋葬しようとする、逮捕投獄されたといえます。

その後の、極寒で土地も荒れた斗南藩への強制移住や、「白河以北一山百文」と呼ばれ、県庁は他の市に置かれ、旧制高校も、鹿児島や山口に置かれたのに、会津若松には高校も専門学校も出来なかったなどの冷遇を会津は受けていました。近年になって、長州の萩の市長が、会津若松市長と和解を何度か求めたが、拒まれたと言う話を聞き、

「百何十年も経ってるのに」と言う違和感を持ってましたが、そう簡単にすっきり因縁を克服できない根深いものがあるのだと感じました。

Rockmosen さん

#13 佐川菅兵衛 2001/ 9/15 11:01 [No.2875 / 15915]

会津藩家老。鳥羽伏見の戦いから参戦し、会津城開城後も降伏を認めず松平容保に説得されるまで戦い続けた。その後警視庁に出仕、西南戦争で戦死している。

daw*_*さん

#14 近藤勇 2001/ 9/15 11:17 [No.2876 / 15915]

新選組局長、近藤勇は1834年、10月9日、武州多摩郡で農家・宮川久次郎の三男として生まれた。幼名は勝五郎。1848年11月、15歳で天然理心流三代目宗家・近藤周助の試衛館に入門した。剣術の才能に長けた勇は、わずか入門8ヶ月

後で近藤周助から天然理心流の目録が与えられた。1849年、その才能を見込まれ、周助の養子となる。1860年3月29日にツネと結婚、2年後に瓊子という子をもうけた。1861年、天然理心流四代目宗家・近藤 勇となる。1863年、2月5日、清河八郎の浪士組募集の呼びかけに、 勇は土方、沖田ら試衛館の面々をつれ、小石川伝通院に参上した。しかし、京都・新徳寺で、清河の野望を聞き、芹沢鴨らとともに 浪士組を離れた。3月、芹沢鴨・新見錦・近藤勇を筆頭に会津藩配下 壬生浪士を結成。その後、芹沢鴨・新見錦らを排除し、新選組 の局長となる。池田屋騒動で、新選組は名を全国に知らしめ、その 局長として尊攘派志士に恐れられた。1867年12月18日、近藤は高台 寺党の残党に狙撃され、肩を負傷した。鳥羽伏見の戦いでは、指揮 を土方に任せた。 鳥羽伏見 の敗戦後、江戸に戻り、甲陽鎮撫隊を 組織し、政府軍と戦ったが 敗れた。その後、下総流山で再起を図 るが、政府軍に投降。1868年、4月25日板橋で処刑された。 享年35歳。首は京都でさらされ、その後持ち出されて行方が分からない。kos*uya*h*nab*shi さん

#15 山川浩 2001/9/15 16:21 [No.2877 / 15915]

会津藩士です。

会津戦争のとき日光口で総督として戦っていたのを藩主に呼び戻され、彼岸獅子という獅子舞を先頭に大楽団を組織して、敵の銃列の中を威風堂々と行進して鶴ヶ城に入城したそうです。

会津藩降伏の後、斗南藩の最高責任者として会津からの移住者の世話役を勤め、その後軍人として陸軍少将になったときは、山県有朋が「賊軍出身の者を将官にするとは何事か」と激怒したそうです。

鹿鳴館の華大山捨松夫人の長兄で、捨松が生まれる直前に死んだ父に代わって捨松の親代わりをつとめています。

すぐ下の弟の健次郎は、若すぎて白虎隊に入れず、後に理学博士、東京帝大総長になっています。

hui*_k さん

#16 西郷頼母 2001/9/15 16:50 [No.2878 / 15915]

(1830-1903)会津藩家老

会津藩家老・西郷頼母近思の嫡男として生まれる

14歳のとき側役小姓頭に任じられ、22歳で結婚、1855年、父の死により家督を相続する

1862年、家老に就任する

同年、松平容保の京都守護職就任において、頑強に反対したため家老職を解任される

その後、4年間程隠棲生活を送る

1868年、鳥羽伏見の戦いで敗戦が決まったあと家老に復職し、また、白河口の総督にも就任する

家老に就任すると、まず軍制改革を行った

そして、新政府に嘆願書を幾度となく提出し、同時に藩に帰順策を提示していたが、意見が容れられることはなかったやむなく戦争に参加し、白河城の守りにつくが、新政府軍に陥落させられる

白河城が陥落すると会津若松城下に戻り、藩に和議恭順を主張するが聞き入れられなかった

そして、閉門塾居を命じられる、また全員玉砕を発議するもこれすら聞き入れられず、絶望し、若松城を脱出する

そして、母や妻ら一族21名は自刃し、後々まで卑怯者呼ばわりされることとなる

その後、米沢、仙台に入り、最後は箱館戦争に加わる

1869年、蝦夷共和国は敗北すると捕らえられ、禁固刑に処せられる

のちに許され東照宮の禰宜を務める

享年74歳

ryozanpaku_69 さん

#17 萱野権兵衛 2001/9/15 20:15 [No.2879 / 15915]

会津藩士が続きますが。家老として京都で容保を補佐した。会津戦争では城外戦を指揮、落城後は容保や若い家臣たちを守るため一人で交戦の責任を背負い自刃した。

daw*_*さん

#18 中島三郎助 2001/9/15 21:53 [No.2880 / 15915]

(1820-1869)幕臣

浦賀与力を勤める家柄に生まれる

黒船来航の際、小舟で旗艦に乗り込み最初に対応した

1855年、長崎海軍伝習所の一期生として勝海舟らとともに入所する

後に軍艦教授、軍艦頭取等を歴任する

戊辰戦争では、榎本艦隊に同行して北海道に渡り、箱館奉行並として千代ヶ岡の守備を担当する

1869年5月の新政府軍総攻撃後、恭順を説く軍使がやってくるもこれを拒否する

そして同年5月16日、長男・恒太郎、次男・英次郎らと共に奮戦するも玉砕し戦死する

享年50歳

ryozanpaku_69 さん

#19 天野八郎 2001/9/16 0:55 [No.2881 / 15915]

慶応4年(1868)2月、渋沢成一郎を頭取、天野八郎を副頭取として、徳川家直轄の江戸治安部隊として、彰義隊が結成されました。

しかしまもなく江戸城が開城となった後は、將軍職を辞した徳川慶喜が謹慎している上野寛永寺を本拠とした、新政府に敵意を持った約3000人の軍事組織となりました。

同年5月、西郷隆盛はついに彼らの討伐を決意し、15日には上野の山を舞台に戦争が勃発しました。

その頃には、渋沢は和戦をめぐる意見の対立から戦場を去り、天野が実権を握っていましたが、大村益二郎を指揮官とする新政府軍は、新兵器のアームストロング砲を撃ち込むなどで、彰義隊を圧倒し、戦いはわずか10時間程度で彰義隊の壊滅で終わりました。

天野は、運良く戦場から脱出しましたが、7月13日には潜伏先で捕らえられ、11月18日には獄中で死亡、享年38歳でした。

上野の山には、彰義隊士の墓が後に立てられましたが、賊軍と言うことで、政府をはばかり、その隊名を墓石に刻めずに、山岡鉄舟の筆で、「戦士之墓」とのみ刻まれています。この墓のすぐ近くに、あの西郷隆盛の銅像がありますが、この像は彰義隊士の霊を鎮めるために建てられたという異説

もあるそうです。

Rockmosen さん

#20 伊庭八郎 2001/ 9/16 9:01 [No.2882 / 15915]

<いば はちろう>(1844-1869)幕臣・幕府遊撃隊

心形刀流宗家の伊庭軍兵衛の子として江戸下谷御徒町に生まれる

若くして剣を極める

1864年、将軍の親衛隊である奥詰に選ばれる

1866年、奥詰と講武所詰の者が遊撃隊として編成されると、そのまま遊撃隊士となる

鳥羽伏見の戦いで新政府軍に敗れて江戸に帰還後、遊撃隊の一部を率い箱根に転戦する

そして、三枚橋のたもとで敵兵の斬撃を左手に受け、皮一枚を残して手首が切断される重傷を負う

その後、榎本武揚軍に加わって北上しようとするが乗っていた船が座礁し、やむなく上陸、潜伏する

1868年、北海道に渡り、蝦夷共和国に参加するが木古内で負傷し、箱館に移される

五稜郭で療養中、劇薬であるモルヒネを飲み、眠るようにして死亡する

享年26歳

kos*uya*h*nab*shi さん

お題：流刑にされた人物 2001/ 9/16 9:41 [No.2883 / 15915]

次のお題は、流刑にされた人物と言うことで、時の権力者の怒りに触れ、意思に反して、当時の離島や、辺地へ流された人物を20人、挙げていただきたいと思います。

なお、権力者ですが、国の中央政府に限らず、藩などの地方権力であってもOKとします。

天皇、上皇、皇族、武将、僧侶、芸術家、芸人など、多数いると思います。

#00 世阿弥

能を大成させた人物で、「風姿花伝」など21の能楽の理論書を書いていますが、気に入られていた足利義満の死後は、

転落の道をたどり、6代将軍義教になると彼が、ライバルの、甥の音阿弥を最肩にしたため、佐渡へ島流しにされました。

Rockmosen さん

#01 後醍醐天皇 2001/ 9/16 12:41 [No.2884 / 15915]

第96代天皇。在位文保2～暦応2・延元四(1318 - 39) 後宇多天皇の第2皇子、母は談天門院忠子。諱は尊治。文保2年

践祚し、元亨元年(1321)後宇多法皇の院政を廃して天皇親政を実現。記録所を再興して政治の刷新に努めた。親政の実を

あげるため鎌倉幕府打倒を謀り、正中元年(1324)計画が事前に漏れていったん挫折したが(正中の変)、その後も倒幕計画を積極的に進めた。元徳3・元弘元年(1331)再び幕府に探知

され、笠置に逃れたが捕えられて翌年隠岐に流された(元弘の乱)。護良親王・楠木正成らの再挙が引金となり諸国の反幕運動が急速に展開した機に乗じて正慶2・元弘3年隠岐を脱出

し、伯耆船上山に拠り討幕の宣旨を発した。幕府倒壊後、京都に帰り公家一統の政治を開始、翌年建武と改元。記録所の

ほか、恩賞方、武者所、雑訴決断所などの中央諸機関を整備すると共に、地方に国司と守護を併置して治安維持にあたら

せたが、その政治の朝令暮改と恩賞の不公平さなどから諸人の不満を招き、新政は2年たらずで破綻を来たした。建武2年(1335)足利尊氏が反し、翌年尊氏の強請で持明院統の光明天皇と和し、神器を渡したが、間もなく吉野に走り南朝を建てた。その後、京都回復を企てたが成らず、後村上天皇に譲位、翌日崩じた。

神器は偽者といわれていて、これが南朝正統説になっています。

また、後醍醐は重祚しています。

kos*uya*h*nab*shi さん

#02 本多正純 2001/ 9/16 13:30 [No.2885 / 15915]

宇都宮城主で、改易となった最上氏の居城の受け取りのため出羽に向かう途中で、自身の改易を言い渡され、そのまま出

羽国由利郡に留め置かれ、5万石余りへの移封という形での決着を本人が辞退したため、佐竹氏に預けられ出羽の地で亡くなります。

有名な宇都宮釣り天井事件は後世の創作だともされていますが、この頃の秀忠に家康の寵臣を煙たがるようなところがあつたのか、あるいは、#2592なんかを読むと、武闘派の逆襲だったのか...

hui*_k さん

hui*_k さん

#03 順徳院 2001/ 9/16 13:34 [No.2886 / 15915]

承久の乱で流された三上皇のひとりで、佐渡に流されたときは25歳だったといわれています。

上皇は歌人としても知られていて、百人一首にも歌が入っています。

佐渡は遠流の地として、他にも芸能界の乙氏、公卿界のH氏、仏教界のN氏なども流され、都の上流階層の文化が直接もたらされ、それが伝統民俗のような形で現代にも伝わっている

そうです。

hui*_k さん

#04.源頼朝 2001/ 9/16 16:41 [No.2887 / 15915]

初めまして。私もお仲間に入れて下さい。殆ど独学なので、間違える事も多いと思いますが・・・宜しくお願いします。

ご存知、鎌倉幕府の創始者。しかし12歳の初陣で捕まり、殺されるところを池禅尼の命乞いで、蛭ヶ小島に流刑。以降、男盛りの19年間でここで読経三昧で過ごす羽目になります。

(済みません、今資料が手元になくて・・・嘘八百かも)

この場合、島じゃなかったと思うんですが・・・もしかしてそういう場合、NGですか？

wak*k*97 さん

#05 宇喜多秀家 2001/ 9/16 20:29 [No.2888 / 15915]

豊臣秀吉に愛され、彼の養女で前田利家の娘、豪と結婚し、昇進のスピードも速く、最終的に五大老にまでなりましたが、

関ヶ原の戦い。西軍に付き、部下明石氏らとともに猛戦する

が、敗戦、そして逃亡。

島津家にかくまわれましたが、自首、死罪は免れたもの、八丈島に流され、1655年死亡、享年84歳、将軍は4代家綱になっていました、秀家の墓は八丈島にあり、結構島の人たちに崇められて、想像するほど悲惨ではなかったようです...

八丈島には浮田という名字が多い。

ryoanpaku_69 さん

#06 俊寛 2001/9/16 23:35 [No.2889 / 15915]

平安時代末期、真言宗の僧侶。法勝寺の執行(しゅぎょう)。後白河上皇の近親として活躍。1177年、鹿ヶ谷で平氏討滅の謀議、いわゆる鹿ヶ谷の陰謀を企てたとして捕縛され、鬼界ヶ島に流される。大赦があり、同じく鬼界ヶ島に流された2人の人物は赦免となったが、俊寛だけは除外され同地で没したといわれる。この俊寛の物語は、能・文楽・歌舞伎などでも今に伝えられています。

c6h14o6 さん

#07 菅原道真 2001/9/17 8:53 [No.2890 / 15915]

845~903年。
宇多天皇の信任を得る。遣唐使の廃止を進言。
右大臣にまでなるも太宰府へ左遷となる。
藤原時平の讒言とも言われている。

幼い頃から学問に秀でていて、いまでも学問の神様『天神様』として各地で祀られている。
これも配流と考えてよろしいでしょうか？
にぎりいさん

#08 源為朝 2001/9/17 11:23 [No.2891 / 15915]

宇喜多秀家は八丈島配流第一号だそうで、大島配流第一号がこの源為朝だそうです。
抜群の強弓の引き手であった鎮西八郎為朝は、保元の乱で敗れた後、二度と強弓が引けないようにと腕の筋を切られて伊豆の大島へ流されました。
しかし、ここから英雄不滅伝説が始まり、

大島を小船で抜け出した為朝は、潮に乗り奄美大島から琉球に渡り、琉球王朝の祖になったという伝説も生まれます。でも伊豆大島から潮に乗ったら、カツオと一緒に太平洋を大きく周回するんじゃないかな？

あっ、ダジャレが源のダメもと
いっちょダメもとで琉球でも行って一旗挙げてみるか...
nizaly さん、お久しぶりです。

菅原道真はオッカーだと思います。
後醍醐天皇の配流にしても、正式には「隠岐行幸」だそうですから。

hui*_k さん

御礼「戊辰戦争・幕府側参戦者」 2001/9/17 11:58 [No.2892 / 15915]

みなさん、お題への投稿どうもありがとうございました。遅ればせながら御礼申し上げます。
それから当初「箱館戦争」に限定したため、投稿が進みにくく、大変お手数をおかけしましたことを、改めてお詫び致します。

箱館戦争参戦者で名前が挙がったのは12人。別にこだわるわけではないのですが、あとこんな人たちが居たことをご報告させていただきます。
荒井郁之助(元幕臣・海軍奉行)
人見勝太郎(元遊撃隊隊士・松前奉行)
松岡磐吉(元幕臣・ばん竜丸艦長)
星洵太郎(仙台額兵隊隊長・歩兵頭並)
古屋作左衛門(元幕臣・歩兵頭並)
榎本対馬(元幕府目付・会計奉行)
沢太郎左衛門(元幕府海軍・開拓奉行)
野村利三郎(新選組隊士 *宮古湾で戦死)
中島 登(新選組隊士)
市村鉄之助(新選組隊士 *土方歳三付き)
ブリュネ(仏軍事顧問・砲兵大尉)
カズヌーブ(同・予備役伍長) e t c

とにかく無事終了し、胸をなでおろしています。これに懲りず、また参加させてください。

本当にありがとうございます。

s11*3_0*さん

#09 絵島・生島 2001/9/17 13:39 [No.2893 / 15915]

絵島は江戸時代、大奥に勤める、権力のある女中でしたが、あるとき芝居を見物に行き、終了後役者の生島(すごいイイ男らしい)たちと宴会を開きます。うっかり門限を過ぎてしまい、門を通せ、通さないのトラブルとなり、大問題となってしまいます。

このときの大奥は前将軍(家宣)の正室・天英院と現将軍(家継)の生母月光院の勢力争いがあり、この事件は天英院側に利用され、大奥の風紀取締に使われます。1000人を超えるひとが摘発されたとか。

絵島は死罪になりますが、その後減じて高遠に流され、生島は三宅島に流されます。

その後、吉宗が将軍になったときは絵島以外は全員赦免されています。

クイズ パンチ de デートさん

#10 後鳥羽上皇 2001/9/17 16:02 [No.2894 / 15915]

承久の乱で隠岐に流されました。
歌手の西川峰子が8月に結婚しましたが、その相手は後鳥羽上皇の墓守りで、49代目にあたる人でした。

クイズ パンチ de デートさん

#11 西郷隆盛 2001/9/17 19:22 [No.2895 / 15915]

国父、島津久光の怒りにふれ奄美大島に配流されました。
西郷は自殺未遂までしています。

ryoanpaku_69 さん

#12 親鸞 2001/9/17 21:28 [No.2896 / 15915]

よく 知んらん
えへ。

spat さん

13 和気清麻呂 2001/ 9/17 22:22 [No.2897 / 15915]
備前国(岡山県・そういえば「和気」と言う地名があります)の出身で、姉の広虫(尼になって法均と名乗る)が、孝謙天皇に仕えていた関係で、女帝が親密にしていた、僧道鏡の天皇の地位に就く野望について、可否の神託を九州豊前の宇佐八幡宮に求めるため、宇佐へ派遣されましたが、その神託は、

「わが国は開闢以来、君臣定まれり。臣をもって君とすること、いまだこれあらず。天つ日嗣には、かならず皇緒を立てよ。無道の人はやよろしく早く掃除すべし」

これに怒った女帝は、清麻呂を別部穢麻呂(わけべのきたなまろ)と改名させて大隅へ、方均は還俗させて別部狭虫(わけべのさむし)として、備後へと、正反対の蔑称を付けて流罪にしました。

しかし女帝は、この追放劇の半年後には世を去り、白壁王が光仁天皇として即位、道鏡は失脚となり、二人は都へ呼び戻されました。

w a k a k o 9 7 さん、初めまして。
n i z a l y さん、お久しぶりです。

今回のお題は、離島に限らず当時の辺地や、辺鄙な場所でもなくとも、実質的に従来の実力が発揮できない場所へ流罪や、左遷させられた場合はOKとしていますので、どちらのレスももちろんOKです。

Rockmosen さん

#14 崇徳上皇 2001/ 9/17 23:24 [No.2898 / 15915]
75代天皇ですが、弟の近衛天皇の没後、我が子の即位を望んでいたのに、弟の、文にもあらず、武にもあらずと呼ばれた、品格の悪い雅仁親王が、後白河天皇として即位したのに怒り、同時期に骨肉の対立をしていた藤原氏や、源氏、平氏も崇徳上皇と後白河天皇の陣営に分かれ、保元の乱(1156年)が起こりました。
上皇側には、藤原頼長、源為義・為朝、平忠正、天皇側には

藤原忠通、源義朝、平清盛がつき戦いましたが、天皇方が奇襲攻撃で勝利し、頼長は戦死、為義、忠正は処刑、為朝は#08の通り大島へ流刑となり、崇徳上皇は讃岐国へ流されることになりました。

崇徳上皇は、配流先の讃岐でも、後白河天皇に恨みを抱き、「日本国の大魔縁にならん」と唱え、9年後に没しますが、これには暗殺説もあります。

その後の、江戸時代の作品「雨月物語」では、西行法師が上皇の陵墓がある、讃岐の白峯寺を参拝の際、上皇の怨霊があらわれ、一晚中論戦を戦わす場面が描かれています。

そして明治維新、王政復古で権力を取り戻した明治天皇は、真っ先の崇徳上皇の霊を京都に移し、白峰神社を設けて、怨念を沈めるように努めました。

Rockmosen さん

#15 軽太郎女 2001/ 9/18 9:51 [No.2899 / 15915]
允恭天皇の皇女。
日本書紀によると、皇太子であった同母兄の軽皇子(木梨軽太子)と密通したことが露見し伊予に配流されたとあります。

古事記によるとその後同母弟の穴穂皇子との争いに敗れて流されてきた軽皇子を流刑地まで追い、心中したとあります。

ふう、やはり見ているだけでは“うずうず”してしまいまた『投稿への道』(?)に入ってしまった(^^)

Huis_K さん、Rockmosen さん、暖かくお迎えいただきありがとうございます。

皆々様もお久しぶりでございます。

またがんばりますので(←?)よろしく願います。
にざりいさん

#16 日蓮 2001/ 9/18 10:07 [No.2900 / 15915]
立正安国論が鎌倉幕府の怒りに触れて、佐渡へ流されています。3年で戻ってきたようです。
あと100件で3000件ですね。

ぼちぼちでんな～さん

#番外 ナポレオン・ボナパルト 2001/ 9/18 11:05 [No.2901 / 15915]

フランス皇帝ナポレオン・ボナパルトは、冬将軍に敗れた後退位して地中海のエルバ島に流されます。その後脱出し百日天下といわれる間にワーテルローで敗れ、今度は脱出不可能な大西洋上の絶海の孤島セントヘレナに流されます。

その死は暗殺によるとも言われていますが、一度帝位に就いたものは殺してしまう訳に行かないというのが

洋の東西を問わないというところでしょうか。

いまだに「王を殺したようなヤツら」とフランス人を揶揄する人もいるそうですから。

hui*_k さん

#17 福島正則 2001/ 9/18 11:06 [No.2902 / 15915]
ちょっと微妙ですが、一応事実上の配流として知られています。

秀吉子飼いの勇将で、「賤ヶ岳の七本槍」のひとり。秀吉亡き後は石田三成らとの確執が強まり、そこに目をつけた

家康により、東軍の先方として清洲に配置されます。

早くから家康に恭順を示していた清正に比べ、時として「家康なにすものぞ」とでも言うような強硬な態度も示したといわれます。

関ヶ原後は広島50万石を与えられますが、勝手に城を改築したという理由で川中島に事実上の配流になり、4万石に減封され軟禁状態のまま亡くなっています。

hui*_k さん

#18 沢庵 2001/ 9/18 13:47 [No.2903 / 15915]
将軍家光とも親しく、諸大名からの招請を断りながら大徳寺の住職も

務めた臨濟宗の高僧でしたが、大徳寺などの住職の印である紫衣をつけるものは、事前に幕府の許可を得なければならないという法に反して、朝廷が住職を勝手に任命し、元住職の沢庵も幕府に抗議をしたため、出羽上山に流されました（紫衣事件）。上山の城主土岐氏には手厚くもてなされ、3年ほどして赦され、家光によって江戸に呼ばれ、品川に東海寺を開いています。沢庵漬けは、「たくわえづけ」が訛ったとも、家光が命名したとも言われます。
hui*_kさん

#19 早良親王 2001/ 9/18 14:08 [No.2904 / 15915]

750～785年。
光仁天皇の皇子で、桓武天皇の同母弟。
はじめ出家していましたが、兄の山部親王が即位する（桓武天皇）と、皇太弟にたてられました。
785年、平城京から遷都された長岡京の造営工事を見回っていた藤原種継が何者かに暗殺され、その首謀者として早良親王の名前が挙げられ、幽閉。早良親王は抗議の断食をするが、淡路島への配流が決定、移送中に憤死したといわれます。（…なもんで、配流先にはたどりついておりませんが…）
その後、桓武天皇の夫人、生母、皇后が相次いで死亡、疫病の発生、皇太子となった安殿親王（平城天皇）が病気になるなど異変が続いたので陰陽師に占わせたところ、早良親王の祟りのせいということになります。
結局それが元(?)で長岡京から平安京へとさらに遷都され、早良親王の霊を静めるために神社を築いたり、霊を慰め鎮める祭りを行ったそうです。
にぎりいさん

#19 松平忠輝 2001/ 9/18 14:10 [No.2905 / 15915]

家康六男の彼は、大阪夏の陣で進軍しないなどや、他の家の家来を切っちゃったりして伊勢、その後諏訪に預けられます。（確か、埼玉の深谷にも幽閉されてたような）
本人の性格もあるが、舅の伊達政宗の野望を未然に防ぐためとの説もあります。
ぼちぼちでんな～さん

↓20です。 2001/ 9/18 14:11 [No.2906 / 15915]

NGになりませんように。

ぼちぼちでんな～さん

お題：日本史上の兄弟喧嘩 2001/ 9/18 14:42 [No.2907 / 15915]

以前「仲良し兄弟」というのをを出してみたら、割合おもしろかったので、今度は「仲の悪い兄弟」もしくは「兄弟喧嘩」で行ってみたいと思います。
歴史上の兄弟喧嘩ですから、殺し合いに発展した場合も多いと思います。

あるいは、行きがかり上、敵味方に分かれて戦ったというのでもオッケーです。

静かな反目や陰湿な関係でもオッケーです。

「喧嘩」の定義は主観でも構いませんが、「兄弟」は、実の兄弟姉妹（異母兄弟も含む）に限ります。
hui*_kさん

#01 毛利元就と元綱 2001/ 9/18 15:45 [No.2908 / 15915]

兄の興元が死んだ後、毛利家で家督争いがおこり、尼子と接近したい家老の思惑もあって元綱が謀反を起こします。
元就は刺殺団を送り来んで元綱を殺し、家中をひとつにまとめるのです。
クイズ パンチ de デートさん

#02 伊達政宗と小次郎 2001/ 9/18 15:54 [No.2909 / 15915]

母の義姫に2回も殺されそうになった政宗は、反勢力の中心、弟の小次郎を切り殺します。
義姫は実家の最上の実家に逃亡します。
自分以外の、家中の騒動に兄弟が巻き込まれただけなのかもしれません。
小次郎本人が、家督の座につきたかったのかどうか・・・。
政宗は、しばらく亡霊に悩まされたといいますから、罪の意識がかなりあったと想像します。
クイズ パンチ de デートさん

#03 足利尊氏と直義 2001/ 9/18 18:11 [No.2910 / 15915]

元々は直義と高師直の幕府内での対立が原因。
尊氏は師直と謀り直義を幕府中枢から遠ざけますが、やがて直義が巻き返し兄尊氏軍を撃破。
師直とその弟（兄という説も）師泰を謀殺することに成功します。
ところがまたまたどんでん返しがあり、最終的に尊氏の軍門に下った直義は兄自らの手によって毒殺されます。
本来この兄弟はとても仲の良い兄弟で、北条時行の中先代の乱で尊氏は危機に陥った直義を救うため朝廷の命令を無視してまで関東に出兵し、直義は將軍としての尊氏の至らぬところをよくフォローしたといいます。
そんな弟に自ら毒を盛らざるを得なかった尊氏の心中、いかにばかりであったか・・・。。
敵味方の旗幟が鮮明とならず、日本中が大混乱に陥った南北朝動乱が生んだ悲劇といえるかも知れません。
s11*3_0*さん

平城天皇&嵯峨天皇 2001/ 9/18 18:14 [No.2911 / 15915]

810年・薬子の変。
平城天皇は、妃の母親である藤原薬子を寵愛し

薬子は権勢をほしいままにしていました。

病気のため弟の嵯峨天皇に位を譲り平城京の方へ移った平城天皇でしたが

その後こんどは嵯峨天皇が病気になると官人の一部を平城京に勤務させ、

さらに平城京への遷都を強行しようとした。

嵯峨天皇が薬子の官位を剥奪すると兵をおこして東国に入ろうとしたが

遮られたために剃髪し、薬子は服毒自殺しました。

熟女の魅力??

にぎりいさん

↓#04 です。 2001/ 9/18 18:15 [No.2912 / 15915]

すみません、番号付け忘れしました。

にぎりいさん

#05 家光と忠長 2001/ 9/18 18:33 [No.2913 / 15915]

二人の両親である秀忠とお江与の方は忠長を偏愛していたので

時期將軍は忠長がなるであろうという雰囲気になっていたところを

春日の局が家康に直談判して『後継ぎは家光』となったという話。

去年のNHK大河ドラマ『葵・徳川三代』でお江与の方を岩下志麻さんが演じてました。

乳母に長男をとられた悲しみを癒すべく次男を偏愛してしまふというあたりが

15年程前に放映されていた『独眼竜政宗』での義姫とだぶるだぶる。(だって義姫も岩下志麻さんだったし)

最終的に駿河大納言忠長は、目に余る乱行の末蟄居を命じられ、自刃して果てます。

にぎりいさん

#06 織田信長と勘十郎信行 2001/ 9/18 19:13 [No.2914 / 15915]

代表的なところで。

信長と違い信行は優等生タイプの間人であったといわれる。そのため信長より信行を跡継ぎに担ぐ家臣も現れ、彼自身も

工作を行った。父信秀の死後家臣団の一部が信長派と信行派に分かれた。一度は両派で軍事的接触があったが、生母の取

りなしで和解。しかしその後、再度の信行の謀反計画が信行派から密かに寝返った柴田権六勝家によって信長に露頭。信

長が信行を清洲城(愛知県西春日井郡清洲町)に呼びそこで殺害しました。

しかしながら、詳細は今もって不明で弟殺しは信長も本意ではなかったと思われ

ryozanpaku_69さん

#07 北条時宗と時輔 2001/ 9/18 19:46 [No.2915 / 15915]

旬な話題で。

時輔は時宗の3歳年長の兄。宝治2年(1248年)、5代執権北条時頼と側室の讃岐局の間に生まれる。幼名は、宝寿丸。

弘長元年(1261年)、時頼に兄弟の順を改められ弟の時宗の下に位置することになる。時頼の死後、時宗が連署に就任すると六波羅探題に任ぜられ、京に赴く。

やがて、蒙古問題をめぐり時宗と考えを異にし、反幕府勢力を含めた対立が生じてくる。

文永9年(1272年)、2月、時宗はついに、兄時輔追討の下知を発する。ようやく逃げのびた時輔は、九州の地で蒙古襲

来に巻き込まれていく.....

大河ドラマではこうなっていますが、実際は二月騒動で滅ぼされたとおもいます。

tok**_00*_69さん

#08 清原(藤原)清衡と家衡 2001/ 9/18 21:15 [No.2916 / 15915]

奥州藤原氏の初代清衡、彼は藤原経清と安部頼時の娘の子でしたが、

母が安部氏滅亡(この時経清も殺される)の後清原氏に再婚(連れ子として清原氏の養子に)、そして生まれた弟が家衡。清原氏の相続を巡るこの二人が、「後三年の役」。陸奥の守源

義家の助けを借りて家衡を滅ぼした清衡は、

姓を元の藤原に戻し、奥州藤原氏の繁栄を築き上げます。

なんとも複雑な兄弟の争い...

ecc**lerさん

#09. 天智天皇と天武天皇 2001/ 9/18 22:08 [No.2917 / 15915]

実際、この二人に関しては異母兄弟であったとか、兄弟でさえなかったとか、最近色々面白い説も出てますが.....

取り敢えず、最初の中臣鎌足も交え、協力して仲良くやっていたようですが、次第に陰悪になり始め(原因についてもお兄

ちゃんが弟の恋人であった額田王を取ったからだとか、天智天皇が始めは弟を皇太弟として立てていたのに、息子の

大友皇子に跡を継がせなくなって、天武が邪魔になったとか、その両方共が原因だとか.....)、鎌足が死ぬと、完全に決裂。

お兄ちゃんの死後、結局天武は壬申の乱を起こして、甥である大友皇子を死に追いやってしまいます。

昔あったドラマ「額田王」(主人公は岩下志麻)で玉座に就いた天武(松平健)が、

「(天皇位は)大友から奪ったのではない。貴方(天智の事)から奪ったのだ」と呟くシーンがありました。かなり前の事なので、台詞はちょっと違うかも知れませんが.....何だか、

二人の確執の深さを感じさせる台詞でした。因みに天智天皇は近藤正臣でした。

wak*k*97さん

#09 源頼朝 と 義経 2001/ 9/18 22:08 [No.2918 / 15915]

東国にできた 武装農場主連合の各代表である諸侯連邦国家の

土地なし名ありの盟主になった兄。

てっきり、平家の変わりに 源氏という氏族政権ができるものだと思いこんでいた弟。

「我が家の名誉だと思いましたので」って通じるわけ ねえよな。

一流の軍人 政治を知らず。

spatさん

↓ 補足 2001/ 9/18 22:22 [No.2919 / 15915]

え～

まず #10 です。

あと、読み返してみたら表現がわかりにくかったです。

「武装農場主連合の各地区代表である諸侯こと御家人による連邦国家」

かな。

やっぱり わかりにくい？

spat さん

「流刑にされた人」お礼 2001/ 9/19 0:17 [No.2920 / 15915]

今回も詳細なご回答、ありがとうございました。

想定していた人物はほとんど登場し、またこれまで知らなかった流刑者もあり、また勉強させていただきました。

外に想定していたのは、和気清麻呂と同時代で、権力抗争に破れた淳仁天皇（淡路廢帝）や道鏡、応天門の変の陰謀が発覚して遠流になった伴善男、承久の乱でやはり土佐へ流された土御門上皇、修善寺に幽閉された源頼家、建武新政前夜に、後醍醐天皇の倒幕計画に加わり、発覚し、佐渡へ流された日野資朝、親鸞と同時期にやはり四国へ流された法然、ぐっと時代が下がって、関ヶ原戦後、紀州九度山に蟄居させられた真田昌幸・幸村、そして番外で、維新後に

下北半島の斗南藩へ強制移住させられた会津藩士など考えていました。

Rockmonsén さん

#11 藤原忠通と頼長 2001/ 9/19 0:50 [No.2921 / 15915]

この二人、「流刑された・・・」の崇徳上皇の所でも取り上げましたが、骨肉の争いをして、保元の乱では敵味方に分かれています。

理由としては、二人の父の藤原忠実が、罷免された直後に忠通が関白になったことなどで、忠通を嫌い頼長を最厚し、後に忠通に「摂政の位を頼長に譲れ」と求めて拒否されたことを恨み、氏の長者の地位を忠通から奪ったことなどもあって、

対立を深め、保元の乱の際は、忠通が後白河天皇方、頼長が崇徳上皇方について参戦し、結果は敗軍の頼長が自ら命を絶つ形で終わりました。

Rockmonsén さん

#12 崇徳天皇と後白河天皇 2001/ 9/19 17:28 [No.2922 / 15915]

実は兄弟ではなく大叔父と兄の孫という関係とも言われますが、...

この二人はマヂで仲が悪かったような気がします。

もとは、崇徳天皇の方がどちらかといえば知的、温厚、実直なタイプで、天子に相応しい人物と自負していて、それに比べると、若い頃に子供まで作っちゃった後白河天皇はチャラチャラした遊び人で、とても皇位を継がせられる器ではないと目されていました。

崇徳院としては、近衛天皇のあとは息子の重仁親王が品格も立派で皇位を継ぐべきと思っていたので、チャライ弟が位に就くと我慢ならず、保元の乱を起こします。

ところが乱の後には、後白河院が長く院政を敷きながら、平家が権勢を振るう中で、なかなか老獪な面を見せて皇室を守ったのに対して、崇徳院の方は、キレにキレまくって、その怨念を後世まで及ぼすことになりました。

hui*_k さん

#13 西郷隆盛と従道 2001/ 9/19 23:34 [No.2923 / 15915]

本当は仲の良い兄弟ですが、

西南戦争では、一線を画しました。

有名なキヨソネの西郷隆盛の肖像画の上半分は弟、従道を模したものだそうです。（下半分は従兄弟の大山巖）

ryoanpaku_69 さん

#14 真田信之と幸村 2001/ 9/20 2:41 [No.2924 / 15915]

この兄弟ですが、関ヶ原の合戦時に、二人の父昌幸と、弟幸村が上田城に残って徳川勢を迎え撃ち、一方の兄信之は徳川方について、戦う形になります。

しかしこれは、天下が二分される中で、東西どちらの軍が勝

っても、どちらが生き残り、真田家が家を保つための父昌幸の深慮遠謀だといわれます。

また、敗軍になった方を片方が命乞いできるよと言いう意図もあり、現に昌幸・幸村は処刑を免れ九度山へ蟄居のみですみました。

幸村は大奮戦の末、大坂夏の陣で討ち死にしましたが、信之は93歳まで長寿を全うし、真田家は信州松代の城主として、明治維新まで存続しました。

Rockmonsén さん

番外 鳩山由紀夫と邦男 2001/ 9/20 17:19 [No.2925 / 15915]

政治理念が違うから仲が悪いのか、仲が悪いから政治が違う方向に行くのか・・・

良く分かりません。

ぼちぼちでんな～さん

番外 君島立洋氏と明氏 2001/ 9/20 17:52 [No.2926 / 15915]

やはり現代でも、殊に異母兄弟というのは双方の母親を交えてごたごたを起こすものですね。

父親の遺骨をどうするかでももめていたこの兄弟は、長男の立洋氏は主として遺産を、二男の明氏はブランドの方を相続しましたが、ごたごたの影響もあり、ブランドイメージがすっかり衰えてしまい、大変なようです。

hui*_k さん

#15 徳富蘆花と蘇峰 2001/ 9/20 18:02 [No.2927 / 15915]

文学界を代表するこの兄弟は仲が悪かったらしい。・・・でも、どんなふうにならったのか、良く知らないのです。だれか教えてください。

ぼちぼちでんな～さん

#16 足利義政と義視 2001/ 9/20 21:04 [No.2928 / 15915]

政治に嫌気がさしていた、八代将軍義政。引退したいのだが子がいないので、弟の義視に将軍を譲ると

約束。ところが…

その直後に、正妻日野富子に男子が
こうなりゃ、父親としては、やっぱり我が子に將軍職を
弟にしてみれば、ちょっと待てよ、俺の立場はどうなんねん？

結局、この反目が、応仁の乱の一因となったはず。

応仁の乱は複雑過ぎてようわからん

ecc**ler さん

#17 少弐景資と経資 2001/ 9/20 21:53 [No.2929 / 15915]
前者の方の弟は、文永&弘安の役で、テレビ上でも大活躍です。しかし、家督争いで鎮西守護の兄・経資と対立。

景資は安達泰盛の息子盛宗と仲がよく、ともに元寇を戦った
toka。ところが経資は、得宗御内人筆頭の平頼綱と接近。
北条時宗死後、安達泰盛は平頼綱に打ち取られ(霜月騒動)、
その余波で兄弟が家督を争う戦に発展、岩門合戦となります。
景資は討死、経資は家督を篡奪します。

ちなみに、竹崎季長の「蒙古襲来絵詞」には、安達泰盛や少弐景資の姿があります。ちなみに、この制作が始まったのが、平頼綱が北条貞時に粛清された年。製作目的に、霜月騒動で死んだ二人の恩人への追悼の意思があったらしいです。

tokacyan さん

#18 長尾晴影と影虎（上杉謙信） 2001/ 9/20 22:19 [No.2930 / 15915]

病弱な兄、晴影に変わって影虎を擁立する一派が謀反を企てているのを察知した晴影一派が先に攻撃しましたが、栃尾の戦いで破り、影虎が家督を相続しました。

kos*uaya*h*nab*shi さん

#番外 堤清二と義明 2001/ 9/20 22:31 [No.2931 / 15915]
西武グループを仕切るこの二人も異母兄弟ということで…

kos*uaya*h*nab*shi さん

#19 足利義詮と直冬 2001/ 9/20 23:16 [No.2932 / 15915]
腹違いの兄弟だが観応の擾乱で敵味方となる。このケンカが

終わるのは義満の代。

NOBUSERIsan さん

#20 藤原兼道と兼家 2001/ 9/20 23:31 [No.2933 / 15915]
兄兼道 925-977

弟兼家 929-990

朝廷における出世争いで有名。摂政の座を巡っての対立が「大鏡」にある。

所詮は兼道の優位だったがのちに兼家派が盛り返し道長によって決着がつく。

これにてお題は終了。次への移行を望む。

NOBUSERIsan さん

お題：苗字が変わった男 2001/ 9/21 0:53 [No.2934 / 15915]

ちょっと気楽なお題を。

日本史に登場する男性の中で、
養子に入ったり、朝廷から賜ったり、
あるいは自分で適当に改名してみたり…
ともかく生きている間に苗字が変化した人を
20人挙げてください。

#00 塩原金之助→夏目金之助

夏目家の末っ子だった金之助（漱石）は、ごく幼い頃に塩原家に養子に出され、高等学校くらいまでは塩原姓でした。子供の頃、祖父だと教えられていたのが実の父で、養父とのいざこざがあって養子縁組解消で夏目姓に復しています。

ちなみに「→」は「みぎ」「やじるし」などで変換可能です。

hui*_k さん

#01 斎藤一 2001/ 9/21 7:05 [No.2935 / 15915]

幕末で改名した人といえばこの人でしょう。

山口一→斎藤一→山口次郎→一戸伝八→藤田五郎

資料が残っているものだけでこんなに。最後の藤田五郎は松平容保から賜った名前であまり以後は改名していないようです。現世で名前を変えまくったせいでしょうか、彼は遺言で戒名を拒み藤田五郎の名で命がけて守った会津の地に眠っています。

daw*_*さん

#02 長尾景虎→上杉景虎 2001/ 9/21 11:44 [No.2936 / 15915]

後の戦国武将、上杉謙信は、旧姓長尾景虎でしたが、関東管領の上杉氏が、関東に勢力拡大を続ける北条氏に押されまくり、ついに当主の上杉憲政は、唯一擁護してくれる景虎を養子に迎え、彼は上杉景虎となりました。

その後も彼は、上杉政虎→上杉輝虎→上杉謙信と改名を続け、謙信の急死で天下は取れなかったものの、上杉氏自体は越後から会津→米沢と移封を続け、領地も狭まりましたが、明治維新まで大名の地位を保ちました。

Rockmonsensan さん

#03 中臣鎌足→藤原鎌足 2001/ 9/21 11:53 [No.2937 / 15915]

大化の改新の功労者。

死の直前に藤原姓を賜ります。

しかし、……、

乙巳の変から、死までの空白が、どうしても埋まらない。

それどころか、出自の説もバラバラ。

不等人の研究はある程度進んでいるのに。

これだけの有名人が、こんなに謎だらけだなんて。

伝説でもいいです。

「それからの鎌足」御存じの方、教えて下さい〜〜。

b_blue_hearts さん

「兄弟喧嘩」御礼 2001/ 9/21 13:26 [No.2938 / 15915]

みなさま有り難うございます。

「仲よし兄弟」とは少し趣きの異なる顔ぶれが揃い、歴史の中の骨肉相食む争いについて勉強させていただきました。

連荘で申し訳ありませんが、この数回は、比較的格調の高い解答が揃うお題が続いたような気がするのですが、今回はすこしくだけたテーマにしてみました（といっても昨晚思い付いたばかりですが）。

hui*_k さん

#04 諏訪四郎勝頼→武田四郎勝頼 2001/ 9/21 18:43 [No.2939 / 15915]

もともと信玄の四男ですが、母方の実家諏訪家の名跡を継ぎ諏訪姓を名乗っていましたが、武田家嫡男、義信の自害？により、武田姓を名乗るようになりました。

kos*uya*h*nab*shi さん

#05 結城秀康→松平秀康 2001/ 9/21 18:47 [No.2940 / 15915]

家康の次男ですが、小牧の役の後人質として羽柴秀吉の元に養子にだされました、ですから、一時羽柴姓も名乗っていました。

のち、結城家に養子にだされ、結城姓へと変わり、関ヶ原ののち、松平姓をゆるされました。

秀康は家康の実子ではないという説があります。

kos*uya*h*nab*shi さん

#06 豊臣秀秋→小早川秀秋 2001/ 9/21 21:12 [No.2941 / 15915]

豊臣秀吉の正室、北政所の兄、木下家定の五男として生まれ、3歳で秀吉の養子となり、豊臣秀秋を名乗りましたが、後に淀殿に男子（後の秀頼）が生まれると、小早川隆景の養子にされました。

関ヶ原の合戦では、西軍として参戦しながら、有名な寝返りでの西軍攻撃を行い、東軍勝利の第一の要因になっています。しかし彼は気が弱く、優柔不断なところがあるようで、寝返りすべきか迷っているところを、家康側の自陣への発砲で、やっと決意したり、捕虜になった石田三成に「太閤の恩を忘れて、約束を違え、裏切りまでして、それで武将として恥ずかしくないのか！」と罵倒され、これに心を病んで病気にな

り、それが原因で、合戦のわずか2年後に20歳で夭折したとも言われています。

彼の死により、小早川家は断絶となりました。

Rockmosen さん

#07 白石国倫→平賀国倫（源内） 2001/ 9/22 0:00 [No.2942 / 15915]

源内の先祖に当たる甲斐信濃源氏の平賀三郎国綱は、村上義光らとともに大塔宮護良親王に付き従い吉野や熊野に転戦し、「平賀が智」と皇子に信頼された太平記中の英雄で、その子孫は信州海野口城主だったのが武田氏に滅ぼされ、伊達氏の臣下として奥州白石に住み白石氏と称したそうです。

伊達氏の分家が宇和島に封ぜられたときに四国に従い、同僚の讒言で讃岐に流され土民の列に入り、その後高松藩志度浦の蔵番として仕えていたのが源内の父親になるそうです。源内はこの国綱という先祖を誇りにして、幼児期より太平記をこよなく愛したそうで、自ら白石姓を平賀に復しています。

後に、浄瑠璃「神霊矢口渡」などを書いたりもしています。

hui*_k さん

#08 乾退助→板垣退助 2001/ 9/22 10:10 [No.2943 / 15915]

明治になってから、板垣を名乗るようになりました、武田24将のひとり、板垣信方の子孫ということで、戊辰戦争の勝沼の戦いの際墓参りをしているとのことですが、本当かな？
ryoanpaku_69 さん

#09 羽柴秀吉→豊臣秀吉 2001/ 9/22 12:11 [No.2944 / 15915]

あ、あのお～、いままで出なかったのは、皆様にご遠慮されて？

それともこんなメジャーすぎるのではないものを求めているらっしゃるから？

はっ！まさか#20 要員(?)でしたか！？

ちなみに羽柴秀吉の前は木下藤吉郎でございましたね。

羽柴は「丹羽長秀」と「柴田勝家」から一字ずつとってつけたとか…。

にざりいさん

#10 庄五郎→長井新九郎→斎藤道三 2001/ 9/22 16:10 [No.2945 / 15915]

こんにちは、ご無沙汰しておりました。

斎藤道三は、一般的には上記の変遷が有名ですが、実際には、法蓮坊→庄五郎→西村勘九郎→長井新九郎→斎藤利政→斎藤道三

となります。

このほかにもまだあるらしいけど、資料も不確実だし、最近では道三2人説もあって、まだまだ謎が多いです。

麿地照美さん

#11 藤原仲麻呂→恵美押勝 2001/ 9/22 16:15 [No.2946 / 15915]

奈良時代、藤原四兄弟が天然痘で相次いで亡くなった後、衰えてしまった藤原氏を盛り立て、太政大臣にまでなり、淳仁天皇から恵美押勝という名前を賜りました。

その後、孝謙上皇と対立し、乱を起こします(恵美押勝の乱)が、

近江と越前の国境で上皇軍のはさみうちに遭い戦死(又は刑死?)しました。

麿地照美さん

#12 松平元康→徳川家康 2001/ 9/22 19:10 [No.2947 / 15915]

正式には間に松平家康が入りますね。

天文一六(一五四七)年、人質として駿府の今川義元の元へ送られるはずが、戸田康光によって敵国・尾張の織田信秀の元に送られ、天文一八(一五四九)年の義元の安城攻めにより人質となった信秀の庶長子・織田信広と交換されるまで尾張にて過ごしたのち、駿府で人質生活を送る。弘治元(一五五五)年に元服し、松平元信と名乗る。永禄元(一五五八)年、初陣、

また元信から元康へ改名している。永禄三(一五六〇)年、今川義元の先鋒として大高城兵糧入れや丸根砦攻略で軍功を顕すが、大将の義元が桶狭間で敗死し、これを機に今川氏から自立、松平氏の本拠の三河・岡崎城に入る。永禄六(一五六三)年に、家康と改名。永禄七(一五六四)年、前年から続いていた一向一揆を平定する。永禄九(一五六六)年には、松平姓を徳川姓に改姓している。

ryoanpaku_69 さん

#13 正親町三條実愛→嵯峨実愛 2001/ 9/23 13:04 [No.2948 / 15915]

討幕の密勅を連署したひとりと言われる

正親町三條実愛(おおぎまちさんじょうさねなる)は、後に天皇から嵯峨姓を与えられています。

正親町三條家は大臣家なのではじめ伯爵でしたが実愛の功勞により侯爵に陞爵しています。

実愛のひ孫に当たる浩(ひろ)は、政府の方針で、清朝のラストエンペラー溥儀の弟愛新覺羅溥傑に嫁しています。

hui*_k さん

1 4 安生鍬三→根岸肥前守鎮衛 2001/ 9/23 13:39 [No.2949 / 15915]

もともと安生太左衛門定洪の三男でしたが、根岸九十郎衛規が30歳で死亡した為、根岸家へ養子に入り家督を継ぎました。

その後、勘定吟味役、佐渡奉行、勘定奉行等を経て江戸南町奉行を17年も勤めています。下々にもよく通じ、庶民からも人気のあった町奉行でした。

また、世間の噂話や気になる事を書き綴った、「耳袋」という随筆を書いています。

Ginga_red_Ryoma さん

#15 田安(徳川)定信→松平定信 2001/ 9/23 14:57 [No.2950 / 15915]

徳川御三卿田安宗武(田安家初代)の七男として生まれる。幼少の頃より英邁の誉れ高く、将軍への期待もあったが

白河藩主 久松系松平定邦の養子となり家督を継ぐ。

その後一橋治済らの推挙もあり老中首座となりさらに將軍の補佐に任ぜられ、いわゆる寛政の改革を行った。

spat さん

#16 村田蔵六→大村益次郎 2001/ 9/23 15:59 [No.2951 / 15915]

村田を氏とし、家は世々医を営んだ。父と共に吉敷郡秋穂村に移った。天保十三年防府宮市の梅田幽齋に医学と蘭学を学び、翌年豊後の広瀬淡窓の門に入り、弘化三年大坂の緒方洪庵に学び塾頭に進んだ。嘉永三年帰郷して四辻で医業を開いたが、六年伊予宇和島藩に招かれて蘭学・兵学を教授し、安政三年江戸に赴いて鳩居堂を開塾、また幕府の蕃書調所教授方手伝となり、翌年講武所教授に任ぜられた。万延元年萩藩に抱えられ、藩の蘭学に貢献し、文久二年帰国し、西洋学兵学教授となって山口普門寺塾で兵学を教えた。ついで藩の兵制を改革し、元治元年下関外艦和議の応接掛を勤め、慶応元年軍務掛となり、二年の幕長戦に石川口の総参謀として連勝ののち、山口明倫館兵学寮に帰り、兵学の教授に当たった。明治元年討幕軍進發に世子に従って出兵上京し、二月太政官から軍防事務局判事加勢を命ぜられて軍政改革に尽力、親兵を編成し、東北平定のため江戸へ進軍、五月江戸府判事を兼任した。ついで上野の彰義隊を討伐、さらに奥羽・北越の平定に尽し、十月軍務官副知事となり、二年箱館を鎮定して六月永世禄一五〇〇石を賜わった。同年七月兵部省新置の時、兵部大輔に任ぜられ、兵制の大改革を企て、東京を發して大坂・兵庫を巡回し、九月京都の三条木屋町の旅宿で暴徒に襲われ重傷を負い、十月大坂鈴木町の病院に入院したが、療養中に死亡した。

靖国神社に益次郎の像があります。

ryoanpaku_69 さん

#17 真田源五郎→武藤喜兵衛→真田昌幸 2001/ 9/23 19:07 [No.2952 / 15915]

真田安房守昌幸。

まだ真田源五郎と名乗っていた7歳の時、人質として甲府に

送られ、その頃から奥近習として信玄の身近に仕えた。

信玄の命で、絶家となっていた甲斐の名門・武藤家の名跡を継ぎ、武藤喜兵衛となった。

設楽ヶ原で兄二人が戦死した為旧姓の真田に復姓、真田昌幸と名乗りを変える。

todo_51 さん

#18 桂小五郎→木戸孝充 2001/ 9/23 19:32 [No.2953 / 15915]

天保4年(1833年)に藩医、和田昌景の長男として生誕しました。明治維新に活躍した有名な桂小五郎を始め、6つの号を持っていることでも知られています。

todo_51 さん

#19 清原清衡→藤原清衡 2001/ 9/23 21:26 [No.2954 / 15915]

平安時代後期、清衡がまだ元服する前、父親である藤原経清は、安倍貞任と共に源頼義、清原武則の連合軍と戦い(前九年の役)、敗れて処刑されました。

その後、母親は清原武貞の後妻となったので、清衡も元服後は清原清衡と名乗りました。

約二十年後、今度は成長した清原三兄弟の争いが起こり、源義家の介入により

一時収まりましたが、異父兄弟の関係にある清衡と家衡による領地争いが起こり、

最後は源義家により清原家衡は滅ぼされ(後三年の役)、清衡は元の藤原姓に復し、奥州藤原氏の基盤を築きました。

鷹地照美さん

#20 蠣崎慶広→松前慶広 2001/ 9/23 21:32 [No.2955 / 15915]

蠣崎慶広は豊臣政権下では秀吉に従っていましたが、秀吉死後、徳川家康に従う証として、松前慶広と改姓しました。

松前の解釈ですが、#09の羽柴秀吉にあやかっ、松平と前田から一字ずついただき、家康に接近しつつも、前田氏への配慮も考えたということと、松平の御前（つまり臣下を意味する）という、二つの意味があるようです。

いずれにしても慶広の世渡り上手な一面を垣間見るような改姓のしかたですね。

鷹地照美さん

お題：小説の主人公になった日本人 2001/ 9/23 22:53 [No.2956 / 15915]

タイトルに人物名、メッセージ欄に代表作とわかればその作者名を記入してください。

人物名がそのままタイトルになった作品名だとちょっと味気ないので、避けていただけるとうれしいです。

#00 吉村貫一郎

壬生義士伝 浅田次郎著 これ読みながら電車の中で号泣して恥ずかしい思いをしたことがあります。

daw*_*さん

「名字が変わった男」お題御礼 2001/ 9/23 23:07 [No.2957 / 15915]

またまたヘンテコなお題にお付き合いいただいて有り難うございます。

気楽なお題のつもりが意外と格調高いものになりましたね。

はじめは20人も思い付いていなかったのですが、お蔭さまで内容も豊富で面白いものになりました。

挙げられた以外に考えていたのは、

中山安兵衛→堀部安兵衛

箕作大麓→菊池大麓

伊勢新九郎長氏→北条早雲

徳大寺公望→西園寺公望

などでした。

お疲れさまでした。

hui*_kさん

#01 高丘親王 2001/ 9/24 0:14 [No.2958 / 15915]

洪沢龍彦『高丘親王航海記』（文春文庫）

平城天皇の皇子で、薬子の変のため廃太子され、仏門に入り空海の高弟となり、実際にその後天竺を目指して航海に出て、スマトラで虎に食われたとされる高丘親王が主人公の大人のメルヒェン小説です。

hui*_kさん

#02 寿桂尼（今川義元母） 2001/ 9/24 9:45 [No.2959 / 15915]

『姫の戦国』永井路子著

私の心の中で、歴史の師とお慕い申し上げております、永井氏の著です。

今川氏親の正室、義元の母寿桂尼の生涯を描いています。

寿桂尼は「駿河の大御所」と言われた大政治家ですが、出身は大納言中御門宣胤の娘、公家の姫です。

守護大名の名門が、中世の殻を破り、近世の扉を開いていく過程が、よくお勉強できます。

のちに、あまりにも見事に織田徳川にヤラれてしまう今川家だけに、

つつい、後世軽視されてしまいますが、

この一冊を読んだおかげで、ずいぶん見方が変わりました。

spatさん

#03 この世をば（藤原道長） 2001/ 9/24 16:03 [No.2960 / 15915]

永井路子続きで、平安時代の作品です。主人公は、御堂関白こと藤原道長。兄道隆や道兼の嫉妬を抑えてみごと栄花を果たす、その道のりを描いております。

この作品での道長の口癖は、「なんたること、なんたること」。おそらくは、どこかの文献から道長の台詞を引き出したのだ

と思われま。これをつぶやく道長のキャラクターが、なかなか面白いです。

tokacyanさん

#03 井伊直弼 2001/ 9/24 19:52 [No.2961 / 15915]

『花の生涯』舟橋聖一著

世情騒然たる幕末に、開国の英断を下した大老井伊直弼の波瀾に富んだ一生を描いた小説。

記念すべき第1回大河ドラマに選ばれました。

ryozanpaku_69さん

↓#04 2001/ 9/24 19:53 [No.2962 / 15915]

失礼

ryozanpaku_69さん

#05 村田蔵六 2001/ 9/24 20:08 [No.2963 / 15915]

失礼ついでに、もうひとつ大河ドラマ関連より。

司馬遼太郎著『花神』

江戸時代末期、桂小五郎との出会いによって、田舎の医者から討幕司 令官に身を転じ、明治維新の実現に尽くした大村益次郎(村田蔵六)。

波乱に満ちた彼の生涯を中心に、激動の時代を生き抜いた男女の人間群像を描く。

ryozanpaku_69さん

#06 大石内蔵助と柳沢吉保 2001/ 9/25 0:08 [No.2964 / 15915]

南条範夫作「元禄太平記」

ごめんなさい、またも大河ドラマの原作です。でも中二の時に初めて読んで、以来赤穂浪士にはまってしまいました。(歳がばれるな・・・) 夢中になった余り、四十七士全員の名前を覚えてしまった時期もあります。

この時代の様々な有名人に加え、想像上の人物も交えて、退廃した、だけど豪華絢爛な元禄時代が判り易く書かれた小説でした。凄く面白くて、何度も読み返した記憶があります。

wak*k*97さん

#07 長谷川平蔵 2001/ 9/25 10:01 [No.2965 / 15915]

池波正太郎『鬼平犯科帳』

ニヒルでダンディーな平蔵を描いています。

火付盗賊改（略して火盗改）

kos*uya*h*nab*shi さん

#07 島津義弘 2001/ 9/25 10:05 [No.2966 / 15915]

池宮彰一郎著「島津奔る」

先日読み終えた最新刊です。それでもなお、関が原当日の島津軍の不可解な行動に、私自身に明白な動機を与えてくれるものではありませんでした。

とにかく、この時期の九州の武将にはなかなか魅力のある人が多く、地理的な不利さえなければ、もっと歴史的にメジャーな人物を排出したことでしょう。

kt104net さん

#09 大友宗麟 2001/ 9/25 10:13 [No.2967 / 15915]

白石一郎著「火炎城」

#07 ダブってしまいましたね。

島津義弘の所でも触れましたが、彼も九州の武将の一人です。白石さんはこの「火炎城」の解説によると博多在住のようで、九州に纏わる小説を多く手がけられているとのこと。

kt104net さん

#?? 在原業平 2001/ 9/25 15:18 [No.2968 / 15915]

出題者さま、これはOKなのでしょうか？

作者不詳『伊勢物語』(岩波文庫など)の主人公ですが、物語中では単に「をとこ」として登場します(といっても、途中で挫折したきり読んでいませんが)。

我々が考える小説という概念は坪内逍遙が訳したことから始まったそうですし...

hui*_k さん

#10 徳川慶喜 2001/ 9/25 15:21 [No.2969 / 15915]

司馬遼太郎『最後の将軍』(文春文庫)

小説は余り読まないのですが、これだけは読みました。

これも小説に含まれるかと言うと疑問が生じますが...

ふたつで合せ技というのは... ?

hui*_k さん

[前の 5 件 | 次の 5 件]

#11 在原業平、OK ですよ。(出題者) 2001/ 9/25 17:44

[No.2970 / 15915]

通説では彼がモデルとされていますのでOKです。せっかく回答していただいたので#11 にさせていただきますね。

daw*_*さん

#番外 藤原道長 2001/ 9/25 18:50 [No.2971 / 15915]

紫式部の「源氏物語」の主人公、光源氏は道長がモデルといわれています。

ryozanpaku_69 さん

#12 原田甲斐 2001/ 9/25 20:25 [No.2972 / 15915]

山本周五郎「樅の木は残った」

仙台伊達お家騒動の極悪中心人物とされてきた原田甲斐に、180度違った角度から光を当て、幕府の大藩取りつぶし計画から伊達六十万石を救うべく孤独に闘い抜く姿を描いたお話。

kos*uya*h*nab*shi さん

#13 長曾我部元親 2001/ 9/25 20:57 [No.2973 / 15915]

司馬遼太郎「夏草の賦」

「人間の情熱」がテーマ。四国統一への漲る情熱。しかし目前にして(秀吉により)挫折、嫡男も失い、無気力・無感動の人間に変貌してしまう。その無気力が、長曾我部家滅亡の遠因となった。伊達政宗と好対照の人生。戦国時代ファンには知名度が高いにもかかわらず、取り上げられることの少ない人物に脚光を当てた作品。タイトルも良い。

ykm6812 さん

1 4 高田屋嘉兵衛 2001/ 9/26 23:57 [No.2974 / 15915]

菜の花の沖 司馬遼太郎

武士じゃなくてもいいんですよね？

この人の勇気と度胸と忍耐と・・・にはとにかく頭が下がります。

han*m*zuki*9*9 さん

#15 花の慶次雲のかなたに 2001/ 9/27 1:26 [No.2975 /

15915]

こんばんは(^-^)

隆慶一朗さまの遺作となってしまいましたね。

大好きな前田慶次がモデルとして活躍しはる単行本です。一度読んだらやめられまへん！！

一度お試しあれ(^.^)

KISSME_PLAY さん

#16 浜口雄幸 2001/ 9/27 13:13 [No.2976 / 15915]

城山三郎『男子の本懐』

これもNHKのドラマで見たもので、小説の方は読んでいませんが...

昭和初期に首相を務めた浜口雄幸を中心に、その盟友で蔵相を務めた井上準之助との二人にスポットを当てた小説(ドラマ)でした。

軍や大衆の圧力に屈せず金解禁を断行し、最後はどちらも凶弾に倒れることになるこの二人の墓は青山の墓地に並んでありました。

でも、この頃の秀才たちって、政治的には毅然としていても、財政的には古典主義一本槍だったんですよね...

hui*_k さん

#17 佐々木道誉 2001/ 9/27 16:03 [No.2977 / 15915]

山田風太郎「婆娑羅」

倒幕→建武の新政→南北朝動乱から三代将軍足利義満の時世まで、婆娑羅大名として奔放に生き抜いた佐々木道誉を主人公とした、山田風太郎氏の室町ものの代表作。

後醍醐天皇、足利尊氏・直義、高師直、楠木正成、北畠親房、

足利義満、世阿弥

といった同時代人と道誉の、いささか怪しげな絡みが、風太郎氏の天才的想像力

で各章ごとに描かれています。

忍法帖、明治ものもいいけど、私は個人的に室町ものが大好き。

この作品と「柳生十兵衛死す」「室町少年倶楽部」を私は風太郎の“妖説太平記”

三部作と勝手に呼んでいます。

s11*3_0*さん

#18 徳川家康 Vs 石田三成 2001/ 9/27 17:09 [No.2978 / 15915]

関が原合戦を基に、備兵多門という人物が主人公となった安部龍太郎さま著の《関が原連判状》。

三成憎しと豊臣家恩顧の武将は、家康へと気流れしていく
結局、徳川家康 Vs 石田三成というよりも、豊臣家恩顧の武将 Vs 石田三成って感じになってしまいましたね。

KISSME_PLAY さん

#19 土方歳三 2001/ 9/27 18:01 [No.2979 / 15915]

司馬遼太郎「燃えよ剣」

説明を要しないほど超有名だけど、やはりこれははずせないのでは。

新選組ものの小説や映画で、どちらかといえば脇の存在であった土方歳三に

新たな光を当てた作品として画期的であったと思います。

s11*3_0*さん

#20 斎藤道三 2001/ 9/27 19:16 [No.2980 / 15915]

司馬遼太郎「国盗物語」

「取る」ではなく「盗む」となっているところが道三らしい。

あまりの長編で、実際は読んでいません。

ごめんなさい。

ryozanpaku_69 さん

名前にバ行がつく人4人ずつ計20人 2001/ 9/27 19:19

[No.2981 / 15915]

ちょっとまた気楽なお題で遊びましょう。

日本史に現れる日本人の中で、名前の読み

「バ」「ビ」「ブ」「ベ」「ボ」の

いずれかが含まれる人を挙げてください。

それぞれにつき4人ずつ、合計20人を挙げてみましょう。
二種類以上含まれる場合は、好きな方を採用していただければ結構です。

#ベ0 武蔵ぼうべん慶

バ行が二つ付く目出度い名前ですが、

とりあえず「ベ」の方で挙げてみました。

... と、こんな感じで、れっつらごー。

hui*_k さん

#01 ババ美濃守信春 2001/ 9/27 19:30 [No.2982 / 15915]

馬場美濃守信春

武田二十四将のひとり。

信州牧島城主。智勇にすぐれ、21度の合戦に加わり、かすり傷一つ受けず、9回もの褒章を受けた。人間味あふれる
思慮深さは人の心を引きつけ、部下の統率力はすばらしかったといわれている。

こんな感じ？

kas*m*_w_27*3 さん

#02 ↓ 2001/ 9/27 20:05 [No.2983 / 15915]

こんばんは(^-^)

立花道雪(たちばなどうせつ)

1513～1585

大友家家臣。若いころ雷に打たれ半身不随となりはる。

しかし戦時には勇猛果敢に采配を下し常に勝利をもたらしはる。

しかし大局を変えることはできず没しはる。

津軽為信(つがるためのぶ)

1550～1607

南部家に従属していたが南部晴政の後継ぎを巡る争いに目

をつけ独立しはる。

謀略を巧みに使い勢力を拡大しつつ

小田原の陣に進んで参戦し羽柴秀吉から大名として所領を安堵されはる。

鍋島直茂(なべしまなおしげ)

1538～1618

龍造寺家家臣。龍造寺家を盛り立て活躍しはるも

当主・龍造寺隆信は直茂を重く用いることはなかった。

結果、直茂が止めるのも聞かず出陣し戦死しはる。

次の当主となった龍造寺政家は覇気がなく

直茂の独断による豊臣秀吉への降伏により所領を安堵されはった。

塙直之(ばんなおゆき)

1567～1615

加藤家家臣。

加藤嘉明に仕えるが一番手柄を狙うため軍令違反を起こし追放される。

豪快な人物で引く手あまただったが嘉明の横槍で仕官かなわず

大坂城入りし再び名を上げようとしはったが戦死しはった。

問題を把握してなかったらごめんなさい。

KISSME_PLAY さん

すみません 2001/ 9/27 21:00 [No.2984 / 15915]

ヘンテコなお題でお騒がせしております。

「ば」「び」「ぶ」「べ」「ぼ」それぞれで4人ずつ、全部で20人、と考えております。

なので、#01の方は、「#バ1」という形が望ましいと思います。

hui*_k さん

「小説の主人公に…」御礼 2001/ 9/27 21:44 [No.2985 / 15915]

私は歴史の勉強をする際、興味のある人物の小説を読んでその時代の概要を知ってから資料を読むことにしています。

定番の小説が並ぶかと思いきや、皆さんこだわりの一冊をご

紹介いただき楽しく拝見させていただきました。ありがとうございます。

daw*_*さん

#バ2 羽柴秀吉 2001/ 9/27 21:51 [No.2986 / 15915]

豊臣秀吉のまえはこの名前でした。

ryozanpaku_69 さん

#ビ1 阿比留鋭三郎 2001/ 9/27 21:54 [No.2987 / 15915]

あびるえいざぶろう、新選組隊士。浪士組に参加して上洛するが近藤・芹沢一派とともに京に残留。大病を患っていたらしく上洛の翌年に病死。

daw*_*さん

#ベ1 堀部安兵衛武庸 2001/ 9/27 22:40 [No.2988 / 15915]

ご存知、赤穂浪士の一人。仇討ち急進派で、大石内蔵助を散々悩ませたようです。高田の馬場の仇討ちも有名ですね。

wak*k*97 さん

#ビ2 吉備真備 2001/ 9/27 23:35 [No.2989 / 15915]

ビが2つもつきます。奈良時代の学者。遣唐使としてG氏らとともに入唐し帰朝。儒学、天文、兵学などに通じT氏の元で活躍した。しかし、藤原仲麻呂政権下では左遷され、仲麻呂没落後称徳天皇の信任を得て右大臣となったが、後継者の擁立に失敗し、光仁天皇の即位後辞任した。

c6h14o6 さん

#ボ1 阿保親王 2001/ 9/27 23:39 [No.2990 / 15915]

「ボ」が少なそうなので、入れてみました。稀代の「まめ男」在原業平の父親です。

<http://www.geocities.co.jp/Bookend/8675/dazaifu/dazaif01.html>

tokacyan さん

#ブ1 南部師行 2001/ 9/27 23:56 [No.2991 / 15915]

もっと人気のなさそうな「ブ」で探してみました。

建武元年、北畠顕家に付き従って奥州に出向き、国代となって糠部八戸に城を築いた人物です。本人は顕家の上京にこれまた付き従って、和泉石津での高師直と戦い、主人である顕家同様に討死しました。

しかし、南部家自体は糠部郡に強い勢力を張り、やがては安藤氏を圧迫するほどの強大な勢力となります。それが近世を迎える頃には、岩手・青森を支配する大名となるのでした。

tokacyan さん

#ブ2 紫式部 2001/ 9/28 4:02 [No.2992 / 15915]

ご無沙汰してました。

前題の小説の主人公は、歴史小説はほとんど読んでいないので、ROMするにとどめていました。

完全には読んでいないですが、片鱗には触れた、大河小説「源氏物語」の作者です。

「式部」が付く人は、もう1人確実にいますが、外にもいたかな？

Rockmonsén さん

#ボ2 梵天丸 2001/ 9/28 4:51 [No.2993 / 15915]

伊達政宗の幼名です。

永禄10年（1567）に、米沢城主伊達輝宗の長男として生まれ、5歳の夏に疱瘡（天然痘）を患い右目の視力を失い、満10歳になった天正5年（1577）に元服して藤次郎政宗を名乗り、2年後の天正7年には、三春城主田村清頭の子の愛姫と結婚しています。

政宗は、この幼時の失明を、生涯コンプレックスにしていたようで、死の間際にも、「自分の画像や木像を作る際は、両眼健全な顔で作ってくれ」と遺言しております。

その中で、宮城県松島の瑞巖寺にある政宗像のみは、真影の失われるのを憂いた夫人の依頼で、唯一独眼の像になっています。

Rockmonsén さん

#ブ3 大浦為信 2001/ 9/28 10:18 [No.2994 / 15915]

大浦氏は津軽地方を南部氏から独立させ、津軽藩の礎を作った人。

おかげで、いまでも八戸地方と津軽地方は仲が悪いといいますが。

クイズ パンチ de デートさん

#ボ番外 ボボ・ブラジル 2001/ 9/28 10:46 [No.2995 / 15915]

むかし活躍したプロレスラーです。

hui*_k さん

#ブ4 織田三郎信長 2001/ 9/28 11:02 [No.2996 / 15915]

こうすれば「ブ」がふたつになります。

これにて「ブの部」は終了です。

その他、「のぶ」の付く人は山ほどいますし、和泉式部、武列天皇、建礼門院右京太夫（けんれいもんいんのうきょうのだいぶ）なんかもいますね。

hui*_k さん

#ベ2 阿部正弘 2001/ 9/28 17:30 [No.2997 / 15915]

幕末に老中となった彼は、開国をせまるアメリカの対応に迫られ、日米和親条約を結びます。しかし過労のためか 39 才の若さで死去します。

クイズ パンチ de デートさん

#ベ3 新渡戸稲造 2001/ 9/28 21:01 [No.2998 / 15915] (1862－1933)

新渡戸稲造は 1862 年（文久 2）十次郎の三男として盛岡（現岩手県盛岡市）に生まれました。9 歳で叔父太田時敏の養子となり東京へ出る。札幌農学校卒業後、アメリカ、ドイツへ留学。農学、経済学などを学び、札幌農学校教授、台湾総督府技師、京都帝大教授、旧制第一高等学校校長、東京帝大教授などを歴任。教育者として多くの人材を育てる。1911 年（明治 44）初の日米交換教授としてアメリカで講義。当時立ち遅れていた女子教育にも取り組み、1918 年（大正 7）東京女子大学初代学長となり設立に尽力。1920 年（大正 9）国際連盟

設立時には事務局次長としてジュネーブに滞在（1926 年退任）。太平洋問題調査会理事長などもつとめ、国際平和に貢献。1933 年（昭和 8）カナダ・バンフ太平洋会議に日本側理事長として出席し、ビクトリアで逝去。71 歳。1984 年（昭和 59）五千円札の肖像画となっている。主な著書「Bushido-the soul of Japan」（英文・武士道／1900 年）「農業本論」（1898 年）「修養」（1911 年）「世渡りの道」（1912 年）など多数。
ryoanpaku_69 さん

#ピ3 備中屋長左衛門 2001/ 9/28 21:12 [No.2999 / 15915]
元禄頃の紀州の炭問屋。
紀州南部で焼かれる、良質の堅炭を、全国に広めることに成功し、「備長炭」の名が冠せられたと言われる。
本当かどうかは知りませんが…
以前、会社の同僚に、「備長炭の備長て、今の何県？」と聞かれたことが
歴史地理って、会社生活では無用だけど、こんな発言聞くと、もう少しちゃんと教えたほうがいいんじゃないかと思う今日この頃。
ecc**ler さん

#ボ番外 モロボシ・ダン 2001/ 9/28 21:26 [No.3000 / 15915]
ウルトラセブン
他のウルトラヒーローは、人間（地球人）にウルトラマンが取り付いているのに、
彼とウルトラマンレオは、宇宙人が人間に変身している。
ということは…、当然戸籍があるわけない。
ウルトラ警備隊って、そんな身元不詳の怪しい人物を平気で入隊させるアバウトな組織なわけ？
ecc**ler さん

#バ番外 バンババン 2001/ 9/28 22:42 [No.3001 / 15915]
♪いばったやーつはきらいだぜえ…♪

「侍ジャイアンツ」の主人公です。
バ行が3つもつきます。
ECCOOLER さん、3000キリ番ゲットおめでとうございます。
気にしていっちゃるようなので、もっとしょうもないものでバランスを取ってみました。
hui*_k さん

#ボ3 大久保利通 2001/ 9/28 22:45 [No.3002 / 15915]
維新三傑のひとりですが、YAHOOで検索してもできません。
人気のない人ですね。
kos*uya*h*nab*shi さん

#ボ4 天一坊 2001/ 9/29 0:46 [No.3003 / 15915]
将軍徳川吉宗の時代に、将軍の御落胤だと幕府に訴え、あと一歩で認められるところでしたが、大岡越前守忠相の、執念の調査で、紀州時代の吉宗の腰元の子だと言う出生の言われを偽ったのが判明し、死罪にされました。
歌舞伎の「天一坊大岡政談」のほか、多くの小説や映画に取り上げられた人物です。
これで「ボ」は終わりですね。
Rockmosen さん

#ベ4 阿倍比羅夫 2001/ 9/29 1:00 [No.3004 / 15915]
斉明天皇の治世の、658年と660年の2回、蝦夷を支配下に置くため、東北・北海道に遠征しています。
1回目は、武力を背景に無血で恭順させましたが、2回目は反乱があったため、武力で制圧しました。
しかし当時は、征夷大將軍が官職としてなかったの、そうは呼ばれなかったようです。
これで「ベ」も完了ですね。
Rockmosen さん

#ビバ番外 前田ビバリ 2001/ 9/29 1:06 [No.3005 / 15915]
漢字でどう書くのか忘れました。

男装の麗人がはまり役です。
真木蔵人は… 息子だったような… 違ったかな？
hui*_k さん

#バ3 滝沢馬琴 2001/ 9/29 2:55 [No.3006 / 15915]
もしくは曲亭馬琴。言うまでもなく「南総里見八犬伝」の作者です。
c6h14o6 さん

#バ4 司馬江漢 2001/ 9/29 6:58 [No.3007 / 15915]
1747-1818（延享4-文政1）
江戸に生まれる。父は町人であつたらしい。名は峻、字は君嶽、号は不言道人、春波楼など。はじめ狩野派に入門し絵を学ぶが、粉本伝写による画技修練に飽きたらず、のちに長崎派の画家・宋紫石に南蘋派を学ぶと同時に、春重の名で鈴木春信ばりの浮世絵を手がけたりした。安永年間(1772—81)に、平賀源内・小田野直武らの影響により洋風画に転じ、天明3(1783)年には日本最初の銅版画制作に成功。同8(1788)年頃からは油絵も描きはじめ、寛政年間(1789—1801)を中心に、西洋の手法を取り入れた油彩による日本風景図を相次いで世に出した。なかでも富士山を主題にした作品は多い。また、天文学や地理学についても、当時あっては先駆的な業績をのこした人物として知られる。晩年には進歩的な哲学者、社会思想家として『春波楼筆記』などすぐれた随筆をのこした。「バ」もおわり、あとは、「ピ」だけですね。
ryoanpaku_69 さん

#ビ4 美福門院 2001/ 9/29 9:59 [No.3008 / 15915]
藤原得子（1117～1160）。
鳥羽天皇の皇后で近衛天皇の母。
父は藤原長実、母は源俊房の娘・方子。
近衛天皇の死後、崇徳上皇の皇子・重仁親王を退けて後白河天皇の即位に加担、保元の乱の原因を作りました。
にざりいさん

#ボ 番外 ボボボーボ・ボーボボ 2001/ 9/29 10:54

[No.3009 / 15915]

「週刊少年ジャンプ」誌連載マンガのタイトル兼主人公名。少年向けギャグ を越えてるような気もするが、結構 ハマってる。

spat さん

新題 歴史に登場した「動物」 2001/ 9/29 11:05 [No.3010 / 15915]

久々にお題出してみます。

牛肉が妙に不気味になった この頃です。

さて、日本史に登場した動物 をお答えください。

今回は 種や科や属や目の総称 はNG。

(つまり 「馬」「犬」はNGです。)

その代わり、

1 個体名がわかってなくてもよい。

(○○氏の愛犬)

2 絵画彫刻、文学の登場動物として表されているものも可。

(○○寺のふすま絵に描かれたハト)

3 想像上の動物も可。

(竜)

4 実在が確定しないものも可。

#00 目黒で殿様が食べたサンマ

spat さん

#01 江南従四位白象 2001/ 9/29 11:40 [No.3011 / 15915]

享保14年(1729)、前年に現在のベトナムから送られて来た、雌雄2頭の象の雄の方が(雌は死亡)長崎より、はるばる山陽道、東海道を歩いて、江戸へやってきました。

途中、京都で中御門天皇が見物をするため、「江南従四位白象」の位を得て、宮中への参内を許可されました。

そして江戸城で、将軍吉宗や諸大名の前で、芸を披露しましたが、とにかく食べる餌の量が半端ではないので、用意するのが間に合わず、翌年栄養失調で死んだと言います。

Rockmosen さん

#02 忠犬ハチ公 2001/ 9/29 11:56 [No.3012 / 15915]

これは昭和戦前の話ですが、もう歴史上の出来事と言っているかなと思います。

ハチは、秋田県大館に生まれた純粋な秋田犬で、東京帝国大学の上野英三郎教授に引き取られて可愛がられ、教授が急死した後も、変わらずに7年に渡って毎日、渋谷駅へ迎えに行き、忠義や孝行が重んじられた時代ですから、新聞にも取り上げて称えられ、生前に銅像も作られ、修身教科書の教科書にも載ったそうです。

ハチ公は、銅像が立った後間もなく死亡し、墓は主人の上野教授の墓に寄り添うように建っているそうです。

銅像の方は、戦時中に兵器を造るための金属供出で姿を消しましたが、戦後に復活し、今も毎日、渋谷の待ち合わせ場所で賑わっているのは、ご存知の通りです。

10年以上前に、泊まったホテルのビデオで見ましたが「ハチ公物語」はいい作品でしたね。

Rockmosen さん

#03 ツン 2001/ 9/29 12:01 [No.3013 / 15915]

銅像つながりで浮かんだのがこれ、西郷隆盛の猟犬の名前です。

上野で西郷さんと一緒に銅像になってますね。

麿地照美さん

#04 一休さんが捕らえようとした屏風絵の虎 2001/ 9/29 12:08 [No.3014 / 15915]

江戸時代の「一休咄」より。

あるとき、将軍足利義満は一休さんに難題をふっかけます。義満「これ一休、この屏風の中の虎を捕らえてみよ」

一休、しばらく考え、やがて荒縄を持ち出し、

ねじり鉢巻きにタスキがけで屏風絵に向かって身構えました。そして、

一休「準備は出来ました。さあ将軍様、早速屏風の中の虎を追い出してください。そこを私が捕らえます」

義満「はっはっは。こりゃ〜一本取られたわい」

こんな感じでいいですか？(まだお題をよく理解していないかも)

麿地照美さん

#05 葛の葉(狐) 2001/ 9/29 13:40 [No.3015 / 15915]

陰陽師・安部晴明の母親という話があります。

なにしろこの晴明、陰陽師としての力が並外れていたので『狐の子』という説が生まれたらしいです。

この葛の葉、元は、晴明の父・安部保名が助けた狐であり、恩返しを兼ねて保名のもとへ来て

そのうち産まれたのが童子丸(晴明)。しかしそのうちに帰らなくてはならなくなり

『恋しくば たずね来てみよ 和泉なる 信太の森のうらみ葛の葉』

という句を残して立ち去ったそうです。

う〜ん、一般的(?)な伝説や、物語としてかかれているものがあって話はいろいろあるのですが、

私は歌舞伎の『芦屋道満大内鑑(あしやどうまんおおうちかがみ)』にて葛の葉を知りました。

狐の化身ということで、歌舞伎では上記の句を書き残すときに

最初は右手で障子に書いていき、途中から泣く我が子(童子丸)をあやししながら

左手に筆を持ち替え、最後は口に筆をくわえて書き上げるんです。

昔は役者さんが練習して本当に書いていたらしいですが、いまはどうなんだろう…。

面白いお題ですが、なんだかよくのみこめないんですけど(すみません…)

こんな感じでいいのでしょうか？

にぎりいさん

#06 ヤマタノオロチ 2001/ 9/29 18:46 [No.3016 / 15915]

ヤマタノオロチは頭が八つ、尾が八つ、眼は赤かがち(赤い

ほおずき) のようで腹はいつも血でただれ、背中に松や柏が生え、八つの丘、八つの谷にわたるとい物凄いオロチ(大蛇)です。この神話は須佐之男命がヤマタノオロチをお酒に酔わせて退治し、オロチの生け贅にされようとした奇稲田姫(くしいなだひめ)を救うというお話です。

ヤマタノオロチを製鉄と結び付けて解釈する考え方がいくつかあります。例えば、このオロチの様は、実は山間のあちこちの谷沿いで鉄を治す野だたらの炎を形容したものでないか、とか、オロチの尻尾から出て来た天叢雲劍(あめのむらくものつぎ)は、後に草薙劍(くさなぎのつぎ)と改称され、皇室の三種の神器の一つになったことから、当時すでに奥出雲に製鉄が行われていたことを示すものではないかと言われています。さらにヤマタノオロチは古志のヤマタノオロチであり、古志すなわち越の国を本拠とする古代製鉄民族を新羅から渡来した須佐之男命が滅ぼし、新しい製鉄技術を伝えた物語だと解釈する人もいます。

ryoanpaku_69 さん

#07 八咫鳥 2001/ 9/29 18:56 [No.3017 / 15915]

咫とは、「あた」という古代の単位です。親指と中指を開いた長さだそうです。(岩波古語辞典)

八咫は、つまり8倍の咫という意味ですが、八は、古代では大きいことをあらわしたので、単に大きさが大きいという意味にとっても良いでしょう。

八咫鳥は大きいカラス、

QchannoImouto さんのコピペ

八咫鳥はサッカー日本代表のエンブレムにもなっています。足が3本ある鳥で想像上の動物でしょう。

ryoanpaku_69 さん

そんな感じでいきましょう 2001/ 9/29 19:49 [No.3018 / 15915]

はいはい。

みなさん。

そんな感じで結構です。

spat さん

#8 ランラン 2001/ 9/29 21:04 [No.3019 / 15915]

1972 年中国から友好の証として雄のカンカンと共に来日したパンダ。2 世誕生が期待されたが悲しくも妊娠中毒症で死亡した。私も幼いころ家族で新幹線に乗って見に行きました。daw*_*さん

#09 銅鐸に描かれた鹿 2001/ 9/29 21:51 [No.3020 / 15915]

記紀の動物が出たので、出土物から。

代表的なのは、神戸市桜ヶ丘遺跡出土4号銅鐸、弥生時代中期。

銅鐸に鹿の絵を書く理由ですが、鹿の角の生え変わりが再生を連想させ、豊饒を祈ったという説があります。

#07 どこかで見た文章だと思ったら・・・あはは。ありがとうございます。あれから、3ヶ月くらいかな?今なら、もう少しコメントできます。

カラスは、古代中国では、太陽を運ぶ鳥と考えられてました。それで、太陽神である天照大神の子孫の神武の神話に登場するみたいですね。足が3本というのは、道教や陰陽道という陽数・陰数に関係あるらしいです。

qch*nn*im*uto さん

#10 今城塚古墳のニワトリ埴輪 2001/ 9/29 21:59 [No.3021 / 15915]

最近の話題から。

いろんな埴輪が見つかったようですが、このお題で、まだ、ニワトリは出ていなかったかな?それで、ニワトリにしました。

天岩戸神話にも、確かに出てきますね。

qch*nn*im*uto さん

#11 梶原景季と磨墨(するすみ) 2001/ 9/29 23:48 [No.3022 / 15915]

景季の父景時が頼朝の持つ二つの名馬池月と磨墨の内、池月の方を所望したものの、頼朝は「自分が乗るつもりだ」

ということで磨墨の方を与え、景季は宇治川へと急ぎます。つづく

hui*_k さん

#12 佐々木高綱と池月 2001/ 9/29 23:49 [No.3023 / 15915]

さて、次の日佐々木高綱が頼朝のもとへ現れ

「出陣すれば生きて帰れぬかもしれないので今一度主君にお目通り願おうと

三日三晩駆けて参りましたので馬はもう走れません」というので池月を与えてやり

「梶原が欲しがっていたが与えなかったものだから、そこどころ心得て...」

宇治川の手前で梶原に会ったところ、梶原は不覚と感じて刺し違えようとしたが、

高綱が頼朝の言葉を思い出して機転を利かせ、

「おぬしに与えなかったものを自分に下さる訳はないから盗んできたのだ」

ということで、その後は「宇治川の先陣争い」になり、高綱が勝利します。

hui*_k さん

1 3 黄金十両の名馬 2001/ 9/30 0:30 [No.3024 / 15915]

固有名が確認できなかったので、こんな題になります。

織田信長が、京都で御馬揃の時、群を抜くたくましい名馬が立っていて、信長が誰の持ち物かと尋ねたところ、当時信長に仕えはじめたばかりの山内一豊の所有するもので、話を聞くと、妻のお千代が、密かにへそくりを蓄えた金十両で、一豊が安土の市で素晴らしいと思いながらも、買うのは諦めていた名馬を、求めることが出来て、こういう晴れ場で、居並ぶ信長の家臣たちに誇ることが出来たと言う逸話は名高く、戦前は内助の功の手本として、小学校の教科書にも載りましたが、それもまた、この名馬があつてこそ。馬の名前、小説や映画・ドラマでは、ついているかも知れませんが、その名をご存知の方はいませんか?

Rockmonsensan さん

1 4 八房 2001/ 9/30 1:05 [No.3025 / 15915]

物語の登場動物(笑)も多く出てますので、ここでもう1つ。
滝沢馬琴の大作「南総里見八犬伝」の冒頭に、大名里見義実が、合戦で敵軍に追い詰められ、苦し紛れに、娘の伏姫の飼い犬、八房に、「敵の大將の首を取ってきたら、姫をお前の嫁にやる」という場面があります。

これを何と、八房は果たしてしまい、敵將の首を挙げてきます。約束を守った義実は、姫と犬を洞窟で一緒に暮らすようにさせますが、やがて犬の気を宿した姫は、犬の子を産むことを恥じて自刃しますが、この時姫が首にかけていた宝珠が、犬の気を受け止め、八方に散って行きます。この珠を受けた男8人が、八犬士として活躍していく訳です。

八房は、いわば八犬士の父親的存在でしょうか？

しかしこの作品というと、原作本より印象が強いのは、小学6年頃に、NHKで毎夕放送していた人形劇の「新八犬伝」ですね。

黒頭巾を被った、故坂本九氏の絶妙のナレーションや、辻村ジュサブロー氏の、魂がこもっているような精巧でリアルな人形など、今も印象が強いです。

話によると、今はビデオ原版がほとんど残ってなくて、再放送も難しそうで、寂しい限りです。

Rockmonsensan さん

番外 少年仮面ライダー隊の伝書鳩 2001/ 9/30 1:14 [No.3026 / 15915]

たまには、特撮ネタなどを(笑)

「仮面ライダー」の後半、立花藤兵衛会長、滝和也隊長で、ショッカーの情報を探り、仮面ライダーに協力するために結成された、「少年仮面ライダー隊」

凶暴な怪人たちを擁するショッカーを相手にするのに、子供達を使うなんて危ないじゃない？親から訴えられるぞ！というツッコミはともかく、少年隊員から、本部への通信に使われたのは、伝書鳩でした。

次の「仮面ライダーV3」では、「ポーポーポーと伝書鳩・・・」

と歌も出来たりしています(笑)

Rockmonsensan さん

1 5 山内一豊の馬 2001/ 9/30 3:11 [No.3027 / 15915]

有名な「内助の功」のエピソード。

彼が織田家に仕官した際に、妻が嫁入りの時から鏡の裏に貯めておいた金で名馬を手に入れます。

その後彼は出世し、徳川の時代には遂に土佐一国を手に入れる・・・というお話。

その後、土佐に上士、郷士の身分制度を敷き、幕末の土佐勤皇党の悲劇の呼び水になったことを考えると「めでたしめでたし」とは言えないけどね・・・。

ちなみに久しぶりに来ました。3000カウント突破おめでとうございます。

mum*san*9 さん

番外 ポチ 2001/ 9/30 3:14 [No.3028 / 15915]

花さかじいさんの裏の畑で鳴いてた犬。

もっとも話によっては「シロ」だったり「タロ」だったりするんだけどね。

mum*san*9 さん

#16 鳥浜貝塚出土の猿 2001/ 9/30 4:17 [No.3029 / 15915]

縄文時代。石器で頭割られちゃってます。頭骨です。

先日、抱っこさせていただきました。

qch*nn*im*uto さん

すみませんが、# 1 3 と # 1 5 はダブリ 2001/ 9/30 8:42 [No.3030 / 15915]

mumasan99さん、久しぶりの投稿されたところ、申し訳ありませんが、# 1 3 で私がレスした、「黄金十両の名馬」と、今度の# 1 5 「山内一豊の馬」は、同じ馬のダブリになると思います。

良かったら、また投稿いただけますか？

皆様、と言うわけで次は1つ戻って# 1 6 からお願いいたします。

Rockmonsensan さん

#16 加藤清正の虎退治 2001/ 9/30 11:43 [No.3031 / 15915]

朝鮮出兵の際、当時は至る所に虎が群れをなして棲んでいました。あらゆる所にあらわれて兵士たちに害を与え、日本軍を悩ました。清正の軍でも馬数匹が殺され、上月佐膳という小姓が最初の犠牲になったので清正は怒り、頼朝の富士の巻狩(周りを取り巻いてする狩り)を行い、昔の人の用いた策略に倣い、全軍の士気を鼓舞するため、たびたび大虎狩りをしました。そして獲物の数に応じて褒美を与えたと云われています。

槍で退治したと言われていますが、実際は鉄砲だったそうです。

kos*uya*h*nab*shi さん

#17 毛利元就のペットの鶏 2001/ 9/30 12:22 [No.3032 / 15915]

毛利元就は幼い頃、白鶏をペットにしていたそうです(「名将言行録」より)。

鷹地照美さん

#18 白鳥 2001/ 9/30 15:13 [No.3033 / 15915]

第12代・景行天皇の皇子、ヤマトタケルノミコト(日本武尊/倭建命)は

その生涯を終えた後、白鳥となって飛び去ったそうだとにざりいさん

#19 因幡の白兔 2001/ 9/30 19:14 [No.3034 / 15915]

白兔(素兔)がワニを騙して並んでもらって海を渡ったためワニたちの怒りを買って毛を奪われ、八十神に聞いたら海の塩水に漬かると良いというので言う通りにしたら却って悪くなって真っ赤に腫れてしまったので

今度は通りかかった大国主命にそれまでの事情を話したら、大国主命はたいそう驚いて

「う.. ウサギがしゃべった！」

「ワニ」とはこの地方では「サメ」のことだと言われていま

すが、

背中の上を渡るのには「ワニ」の方がグッドですね。

#20 ニッポニア・ニッポン（朱鷺） 2001/ 9/30 22:08
[No.3035 / 15915]

シーボルトが日本研究のなかでヨーロッパに紹介しました、
ニッポニア・ニッポンは学名です。

ryoanpaku_69 さん

お題 異説、珍説、とんでも説 2001/ 9/30 22:29 [No.3036
/ 15915]

以前こんなトピがあったような。

学会ではみとめられていないが、巷間では一部熱烈に指示さ

れている説えを、

#00 源義経=チンギス・ハン説

こんな感じで。

ryoanpaku_69 さん

#01 織田信長は酒が飲めない 2001/ 9/30 22:32 [No.3037 /
15915]

たまにドラマなどで信長が酒をがぶがぶ飲んでいるシーンを

見掛けます。

確かに1杯位なら飲めるでしょうが、実は酒が飲めない体質

だったらしいです。

本当かな？

麿地照美さん

「動物」御礼 2001/ 9/30 22:57 [No.3038 / 15915]

お題を思いついたときに、すぐ思いついた3つが、

いきなり#01 #02 #03 だったので、びっくりしま

した。

ほかには

斉明天皇に宍戸(長門)国司が献上した白雉(白いキジ)。白雉

(650~654)に改元。

元正天皇に献上された、めでたい亀。霊亀(715~717)

に改元。

聖武天皇に献上された、めでたい亀。神亀(724~729)

に改元。

光仁天皇に献上された、めでたい亀。宝亀(770~780)

に改元。

この2つも献上カメのせいかな？

後柏原天皇(文亀1501~1504)、正親町天皇(元亀1570

~1573)

醍醐天皇に官位をもらったサギ 五位鷺(ゴイサギ)

勅命だから降りて来いって言ったら降りてきたんだって。

富士川の水鳥 平家もビックリ

ひよどり越えて畠山重忠が背負ったと言われる 愛馬三日

月

徒然草で「連歌しける法師」が猫まただと思った飼犬

日光東照宮の 国宝「眠り猫」(伝 左甚五郎作)

おなじく「三猿：見ざる・言わざる・聞かざる」

徳川綱吉時代に小姓の伊東基久が生類憐れみの令によって

処罰されるきっかけになった、ほっぺで叩き殺した蚊

夏目漱石著「我輩は猫である」の主人公。

そんなにかと思っていきましたが、

結構あるもんですね。

spat さん

#02 安徳天皇陵 2001/ 9/30 23:47 [No.3039 / 15915]

鹿児島からはるか100キロ南の海上、硫黄島こと、昔の名

前は「鬼界ヶ島」。

ここに、「安徳天皇陵」があります。

先日ひょんな縁で、WEB 検索で調べてみたら、全国に9ヶ

所「安徳天皇陵」はありました。

そのうち5ヶ所は、宮内庁で、「安徳天皇陵参考地」と認定

し、宮内庁が管理しています。

一応正式には、赤間神宮ですが。

平家落人伝説とくつついて、安徳天皇もずいぶんあちこち御

幸されました。

地元ではきっとそれぞれの説を熱烈に指示しています。

spat さん

宇佐美定満・・・有名ですよ？ 2001/10/ 1 0:49 [No.3040
/ 15915]

上杉謙信家中随一の名将。武田家軍師山本勘助と存在が似て

いるかな・・・。

tos**aki040*さん

#04 上杉謙信女性説 2001/10/ 1 2:01 [No.3041 /
15915]

謙信と言え、これも時々聞く話です。

謙信は、「生涯不犯」を誓ったと言う話で、現に正室、側室

もとも設けず、実子がなく、それが後の養子同士の家督争い

の遠因になったりしますが、それゆえ実は女性では？という

奇説が出たりしました。

Rockmosen さん

#05 明智光秀=天海説 2001/10/ 1 2:11 [No.3042 /
15915]

天台宗の僧で、徳川2代将軍秀忠、3代将軍家光の顧問役に

なり、寛永寺を建て、108歳まで生きたと言われる天海和

尚ですが、実は明智光秀の後身だという説を良く聞きます。

年輪的にも合うし、また、豊臣秀吉に天下を奪い取られた恨

みを、徳川氏に付くことで晴らしたなどと言われています。

Rockmosen さん

#06 影武者・徳川家康 2001/10/ 1 12:48 [No.3043 /
15915]

本物の徳川家康は関ヶ原で死亡、以後は影武者が本人になり

すましていた・・・と、これは隆慶一郎の小説ですが、やたら

と説得力がありました。

ドラマ化もされましたが、小説の世界をうまく表現するには

いたらなかったと記憶しています。

クイズ パンチ de デートさん

#07 豊臣秀頼生存説 2001/10/ 1 12:56 [No.3044 / 15915]

大阪城落城と同時に、秀頼は秘密の抜け穴を通して、海から船で日向の国に逃げ、そこで余生を過ごしたと言うもの。

昔読んだ本に書いてあったものですが、墓も現存しているというのです。

ホントかな～。

クイズ パンチ de デートさん

#08 大正天皇遠眼鏡事件 2001/10/ 1 15:39 [No.3045 / 15915]

これも巷間広く伝わるものの、いちおう異説であるようです。大正後期、議院開院式の詔勅の後、詔書を丸めて遠眼鏡を覗くようにして周囲を見渡したことになっていて、脳病が進行したことによるという内容も含めて、むしろ元老山県らを中心に喧伝されたことのようにです。

実像は天皇としては自由で奔放過ぎるものの人情味のある人柄だったようで、当時は体力が優れず、きちんと巻けたかどうかをやや覚束ない仕種で確認したのではないかとも言われています。

hui*_k さん

#09 源為朝、琉球王朝の祖となる 2001/10/ 1 16:38 [No.3046 / 15915]

こちらをご参照方。

<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=G&action=m&board=1835208&tid=nrbkbb3bcje0f>

[ea52a1aa5e0&sid=1835208&mid=2891](http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=G&action=m&board=1835208&tid=nrbkbb3bcje0f)

ぼくが書き込んでいる内容の多くは、「異説」に属するような気もしています。

hui*_k さん

#09 百地三太夫、藤林長門同一人物説 2001/10/ 1 16:39 [No.3047 / 15915]

伊賀忍群の2人の頭目、百地三太夫と藤林長門。2人はライバル関係にあり、時として血を血で洗う抗争もあったようです。

しかし実は2人は同一人物であり、対立する頭目を1人2役で演じ、それぞれの配下を競わせつつ、伊賀全体を巧みに支配した

という話があります。

この話は市川雷蔵主演の大映映画「忍びの者」(村山友義原作)に登場。今は亡き怪優・伊藤雄之助が、全く性格の違う三太夫

と長門の2人を見事に演じ分けていました。また白土三平の「ワタリ」にも似たような話がでできます。

s11*3_0*さん

↓#10です。 2001/10/ 1 16:46 [No.3048 / 15915]

タッチの差で#10になりました。

失礼しました。

s11*3_0*さん

#番外の番外 ゴルゴ13の先祖は・・・ 2001/10/ 1 17:51 [No.3049 / 15915]

すみません。私自身が考えたとんでもない説ですので、番外のさらに番外に。

謎のスナイパー、ゴルゴ13の出自はこれまでいろいろな説が作品の中で書かれてきましたが、未だこれといった決め手がありません。

そこでこんなのはどうでしょう。

箱館で戦死したといわれる土方歳三の死骸は確認されていない。実は彼は生きていた。銃弾を受けた後、彼の部下の1人が必死の思いで助け出し、介抱しつつ蝦夷地を奥地へ、奥地へと逃げた。

アイヌの部落などに匿われ、薩長側の残党狩りを切り抜けた彼はやがてサハリンを経てシベリアへ。

そこでロシア人の娘と恋に落ち、生まれたのがゴルゴの祖父(もしくは父)。

ズバリ、ゴルゴ13は土方歳三の曾孫(もしくは孫)であった。

ゴルゴが依頼人に対し自分のルールを厳しく強いるのは、歳三の作った新選組局中法度に基づいているのでは・・・。さて歳三の本当の最期(?)は、ロシア革命に身を投じ、そこに死に場所を求め、革命戦争の中で勇敢に散ったというのがふさわしいでしょう。

これマジに台本化して、さいとうたかおプロに投稿しようと思ったことがあります。

ごめんなさい。変な話しにつきあわせて。失礼しました。

s11*3_0*さん

四境戦争(石州口) 2001/10/ 1 18:31 [No.3050 / 15915]
益次郎、遼太郎幕末ファンです。

大村益次郎に関係深い長州～石州の史跡取材を先月決行し、近々に紹介する予定です。現時点では未だ未完成ですが、今月中旬くらいまでには公開予定ですので、皆さん是非ご覧になられてください。

<http://www.webkohbo.com/>

より幕末歴史探訪へ。

mas*i*hir*u さん

#12. 天智と天武は兄弟ではなかった 2001/10/ 1 21:11 [No.3051 / 15915]

前にも仲の悪い兄弟、と言うお題の時にちょっと書いたと思うのですが・・・この二人、本来なら舒明天皇と皇極天皇の間に生まれた同父・同母の兄弟と言う事になっているのですが、実は天武の方が兄なのだけれど、父親が身分の低い人だった為に皇位継承権がなく、弟扱いにされていたとか、果ては二人共外国人で全然関係がなかったとか・・・。

他にも実は天智天皇は日本書紀にあるように病気で死んだのではなく、誘拐されて殺された・・・なんてのもありました。あの頃の事って、何か他に資料が余りないだけに言いたい放題って感じもありますが・・・。

ところでこれ・・・#12、でいいんですよね?

wak*k*97 さん

#11 徳川家光は家康と春日局の子 2001/10/ 1 21:14

[No.3052 / 15915]

家光は春日局を信頼し、家康を異常なほど、尊敬していたそうです。

また、実母が弟の忠長を可愛がっていたことなど、いろいろと辻褃が合ってきます。

kos*uya*h*nab*shi さん

次は #13 からお願いします。 2001/10/ 1 21:16 [No.3053 / 15915]

四境戦争（石州口）は宣伝のようです。

ryozanpaku_69 さん

#13 不比等皇胤説 2001/10/ 2 0:52 [No.3054 / 15915]

功なり名を遂げ位階を極めた人には、皇胤説というのは必ずと言って良いほど付き纏うものの様ですが、藤原家では不比等が天智天皇の御落胤であるという話が現在でも信じられているという噂を聞いたことがあります。「近衛さんとこの先祖は鎌足ですね」と聞くと、「不比等です」と答えるそうです。

hui*_k さん

1 4 イエス＝キリスト青森渡来説 2001/10/ 2 2:38 [No.3055 / 15915]

これは、源義経→チングス＝ハン説といい勝負の異説ですが。青森県の新郷村には、「キリストの墓」が存在します。

その由来によると、ゴルゴダの丘で処刑されたのは、イエスの弟のイスクリで、イエスはシベリアを渡って、日本につき、こちらで妻を娶って106歳まで長寿をまっとうしたという話があり、この村の旧名「戸来村」（へらいむら）も、「ヘブライ」が語源だとか、現地に伝わる盆踊りの台詞が、ヘブライ語だとか言われています。

信憑性を問われると???ですが、こういう話が1つか2つあるのも、ロマンがあっていいかなというのが実感です。

ちなみに、新郷村のサイトはこちらです。

<http://www02.so-net.ne.jp/~shingou/>

Rockmonsén さん

#15 坂本竜馬 vs 中岡慎太郎相打ち説 2001/10/ 2 10:16 [No.3056 / 15915]

竜馬暗殺の異説の中でも、異説中の異説。

どこで見たのかも忘れまして。

主戦派の中岡が、大政奉還を推進した坂本を斬りにゆき、相打ちになったというもの。

ばれたら土佐の恥なので、必死に板垣が新撰組に罪を擦り付けた。

その所為で、近藤が斬首の憂き目を見たというのですが、、、まあ、デリカシーのない異説ですね。

b_blue_hearts さん

#番外 反町隆史、岩城晃一の息子説 2001/10/ 2 10:24 [No.3057 / 15915]

数年前に流行りました。

hui*_k さん

#16 中臣鎌足鹿嶋出身説 2001/10/ 2 10:31 [No.3058 / 15915]

定説では、中臣氏の支族の内、現在の大阪を拠点にしていた一族の出身とされていますが、平安期の藤原氏の文書（出典失念）などに、常陸の国が故郷とした物があります。

鹿嶋神宮と春日大社のつながりが傍証だとか。

面白いのは、鎌足こそ、日本の剣法の創始者五世の孫で、「鹿嶋の太刀」中興の祖であるというもの。

その流れが、塚原卜伝だというのですが、、、

武芸の地、鹿嶋ならではの異説ですね。

不等人皇胤説。

兄の浄慧（真人）は明らかに孝徳の子とされています。

彼が出家し、しかも横死するにいたる経緯は、不等人の出自と関係あるのでしょうか？

b_blue_hearts さん

番外空海役小角行基ボーリング技師説 2001/10/ 2 11:03 [No.3059 / 15915]

各地の温泉に伝わる伝承が事実だと仮定すれば、彼らは全員ボーリング技師で、それぞれが多くの部下を抱えながら合名会社を組織し、配下の技師を全国に派遣し、温泉の発掘に成功して行ったとしか考えられません。

># 不等人皇胤説。

>兄の浄慧（真人）は明らかに孝徳の子とされています。

>彼が出家し、しかも横死するにいたる経緯は、不等人の出自と関係あるのでしょうか？

ありがとうございます。

ぼくの知識はほとんど異説と、とんでも説の間くらいなので....

hui*_k さん

#17 西郷隆盛同性愛説 2001/10/ 2 11:27 [No.3060 / 15915]

僧・月照と入水自殺を図ったから、というのですが、たぶんウソだと思います。

上杉謙信の説と一緒に聞きました。

ぼちぼちでんな～さん

#18 日本人ユダヤ人同根説 2001/10/ 2 13:26 [No.3061 / 15915]

明治に入り、西洋の文物がどっと入るようになると、日本の古来の文化と、西洋との結びつきを研究する動きが盛んになったようですが、そのうちに強い願望が働いて無理矢理結びつけようとする人も現れ、日本人の祖先はユダヤ人であるとかという「異説」も、そうした流れの中で発生したそうです。

hui*_k さん

#19 将門岩 2001/10/ 2 14:29 [No.3062 / 15915]

比叡山山頂付近に「将門岩」というのがあり、平将門と藤原純友はこの岩の上で平安京を見下ろしながら、どうやって攻め込もうか相談したという伝説があります。そして、東西で反乱を起こし同時に京へ攻め込もうと盟約を結んだということです。

平将門の乱
藤原純友の乱
事実、ほぼ同時期にこの二つの乱が起きています。
・・・でもたぶん偶然でしょうね。
麿地照美さん

#19-2 将門塚 2001/10/ 2 14:30 [No.3063 / 15915]
平将門の乱で敗れた将門の首は京都へ送られ、獄門磔となりましたが、
三日後関東に向かって飛び去り、途中で力尽きて武蔵国豊島郡（現在の東京大手町付近）に
落ちたという説があり、そこには将門塚（将門の首塚）があります。
麿地照美さん

#番外 イチローと鈴木一真は親戚説 2001/10/ 2 14:35
[No.3064 / 15915]
Huis_K さんの番外を見て私も書いてみたくなりました。
イチロー選手（鈴木一郎）と俳優の鈴木一真さんは親戚だという噂があります。
顔がよく似てるんですよ。名前も一字違いだし。
誰か真相を教えてください。
麿地照美さん

番外 フランキー堺と張本勲は親戚説 2001/10/ 2 14:42
[No.3065 / 15915]
この二人は似てたな～、子供のころはほんとに間違えてました。
ぼちぼちでんな～さん

#番外 みやむーA V 出演疑惑 2001/10/ 2 16:29 [No.3066 / 15915]
98年に突如、沸き起こったのがこの騒動。
あの顔と特徴ある声は本人に間違いないと言う人がいれば、ほくろの位置が違うので別人だと主張する人もいました。
結局は白黒はつきりせず、うやむやになってしまい、今では

そんな騒動があった事すら知らない人がいるぐらいです。
kazusige_k さん

#18 英ユ同祖論 2001/10/ 2 17:53 [No.3067 / 15915]
イギリス人が実は、消えたイスラエルの十支族の末裔であるという説。
このほか、
アメリカインディアン（ネイティブアメリカン）が 同
インカ・アステカ人が 同
などなど。
ユダヤ人の側には、生き別れになったイスラエルの十支族を探したいという願望があること。
西欧文明の中で、孤立した民族であるがゆえに、仲間がほしいという願望。
そういった、ユダヤ人の願望が反映されているそうです。
spat さん

#20 三好義賢→三好清海入道説 2001/10/ 2 18:07 [No.3068 / 15915]
いや、これは三好政康だったか？真田十勇士のひとりになったと言う説、十勇士がすでに架空なので、ウソですね。
ちなみに、伊三入道が三好長逸だっけかな。
ぼちぼちでんな～さん

「異説、珍説、とんでも」御礼 2001/10/ 2 19:16 [No.3069 / 15915]
完了したようですね。
さすが皆様博識です、
その他では、
織田信長＝外国人説
明治天皇すり替え説
生類憐れみの令＝八百屋繁盛対策説
など、
四大ミステリー（邪馬台国、本能寺、東洲齋写楽、坂本竜馬暗殺）などは、とんでも説のオンパレードですが、以外にでませんでした。

皆様お疲れ様。
ryoanpaku_69 さん